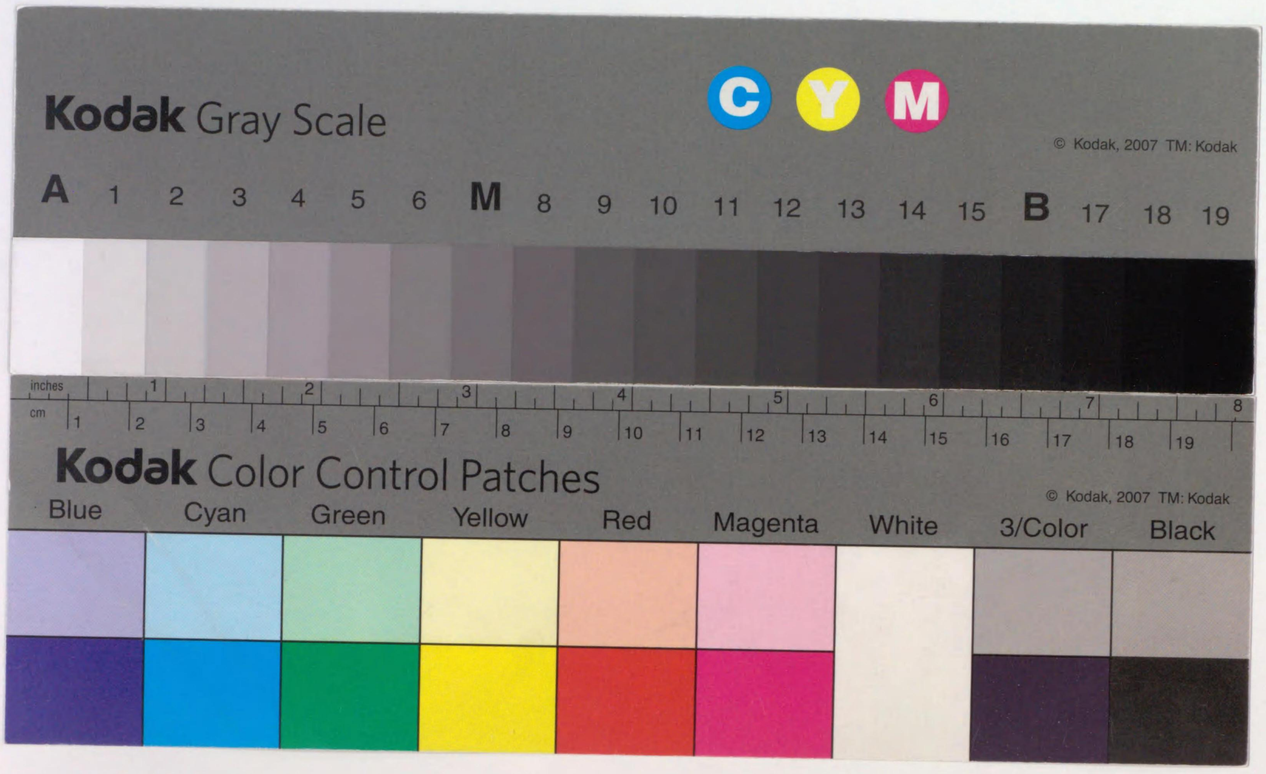


648 44
648-44
12005015687772

典籍大其圖解明圖式

卷三第

卷下・篇先互

著郎次爲木鈴

627

鈴木爲次郎著

圖式解明
圍碁大辭典

互先篇 下卷

株式會社 誠文堂新光社刊行

日本棋院藏版

648-44

例言

一、本書は、實戰に當り必要に應じて繙かれたい。恰も讀書又は作文に際して臨機に辭書を開かれると同じ意味であります。また始より順序を追ふて學習されれば、上達期して見るべきものがあらうと信じます。

一、圖譜の蒐集には、（互先局に於ける）凡ゆる變化の網羅を指標とし、且つ悉く實戰に役立つもののみを志しました。從つて名家の實戰棋譜より拔萃したものも少くありません。

試みに是等名手の一部を擧げますと——

古代に於ては、かの不世出の才と曠世の略を謳はれし延寶元祿年間の本因坊道策。明和天明年間の碁壇に王座を占めし本因坊察元。天明以降文政年間の本因坊元丈、竝びにこれと前後七十有二戰に亙つて千古の名局を遺せし安井知得。文化文政年間に雄深豪宕の棋風を以て一世を風靡せし本因坊秀和。さては又、天保四傑の隨一と聞えし太田雄藏。下つて嘉永文久年間に至つては、道策と共に碁道の前聖後聖と双び稱せらるる本因坊跡目秀策、等、等、等。

近代に入つては、例へば、村瀨秀甫、本因坊秀榮、巖崎健造、中川龜三郎、野澤竹朝、本因坊秀哉、岩佐銕、瀨越憲作、加藤信、木谷實、小野田千代太郎、岩本薰、久保松勝喜代、林有太郎、宮坂栄二、光原伊太郎、吳清源、前田陳爾、橋本宇太郎、長谷川章、村島誼紀、篠原正美、福田正義、關山利一、等、等、等。尙ほ此外に、著者の實戰譜からも採錄しました。

更に、支那碁壇よりは、王子晏、旺漢年、盛大有、周元服、吳祥麟、潘朗東等を拔き、交ふるに、紳士棋界よりは、

頭山滿翁、故青木徹二氏、エフ・デューバル氏（獨逸本因坊）等の實戰譜を以てしました。

一、必要に臨んで不明の點を本書に質されるには——

先づ**基本索引**を引いて次に**本索引**に至れば、容易に明解なる回答が發見出來るやう考案しました。その容易なることと、恰も嚢中の錐を求むるが如きものがありませう。

一、**定石索引**も亦、便利にして重寶なるもの、錦上更に花を添ゆるに役立てば幸甚であります。（但し、第三卷定石索引のうちには、定石の外、常形及び正着をも含ませました。）

一、基本序圖の外は、各項とも凡て基本原圖竝に基本圖を以て始め、項末毎に平明なる要點約言を附しました。尤も時にこの要點約言を缺ける場合は、それに前驅せる基本圖の項に充分意を悉してゐます。

一、**本索引**の番號の前に★を附せるものは、實戰上重要なりと著者の認めたものであります。

一、基本圖第何型を細別するには、先づ**イロハ**等を以てし、次に**イ**の**一**、**ロ**の**一**、**ハ**の**一**の如く分ち、更に必要に應じては之を第一變化、第二變化といふやうに小別しました。それに伴ふ基本圖のカットも自ら體裁を違へて睹易きやうにしておきました。

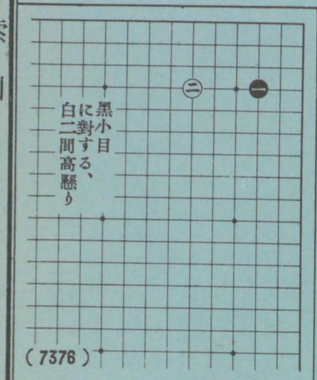
明解圖式

圍碁大辭典 第三卷 目次

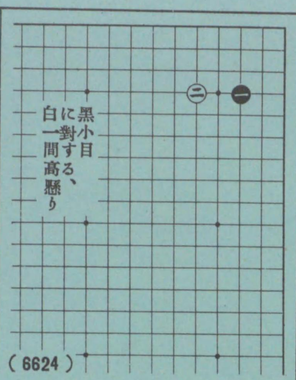
一、基本索引……一頁
二、本索引……一頁—四二頁
三、定石索引……一頁—三二一頁
四、本文……一頁—六八二頁
イ、黑小目、白小斜走懸り、黑變則の打ち方……（六三一圖—六六二三圖）……一頁—二九頁
ロ、黑小目、白一間高懸り……（六六二四圖—七三七五圖）……三〇頁—九八頁
ハ、黑小目、白二間高懸り……（七三七六圖—八一八三圖）……九九頁—一八一頁
ニ、黑小目、白大斜懸り……（八一八四圖—八三三二圖）
及び、其他の變則の打ち方……（八三三三圖—八四四七圖）……一八二頁—二〇七頁
ホ、高目の先據……（八四四八圖—一〇五二二圖）……二〇八頁—四一二頁
ヘ、目外しの先據……（一〇五二三圖—一二三四四圖）……四一三頁—五九五頁
ト、大斜千變……（一二三四五圖—一三一四六圖）……五九六頁—六八二頁

——目次終——

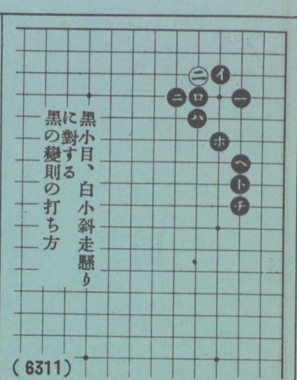
基本索引


黒小目に對する、白二間高懸り

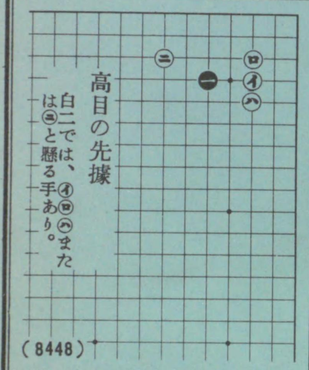
（7376）


黒小目に對する、白一間高懸り

（6624）

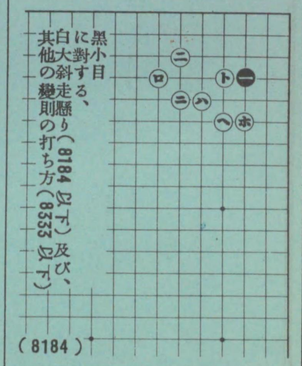

黒小目、白小斜走懸りに對する黒の變則の打ち方

（6311）

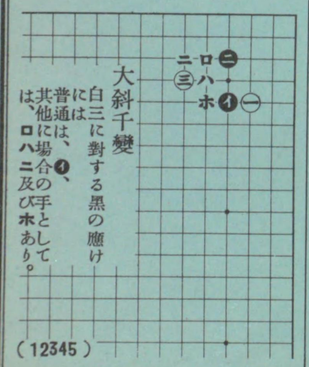

高目の先據

白二では、㈣㈥㈧また㈢と懸る手あり。

（8448）

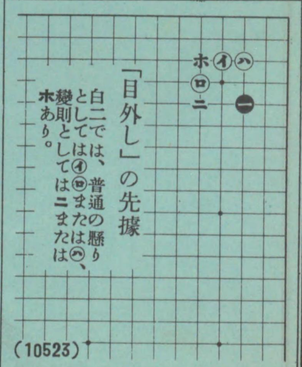

黒小目に對する、白大斜走懸りの其他の變則の打ち方（8184以下）及び、（8333以下）

（8184）


大斜千變

白三に對する黒の應けには普通は、㈠、其他に場合の手としては、ロハニ及びホあり。

（12345）


「目外し」の先據

白二では、普通の懸りとしては㈣㈥または㈧、變則としてはニまたはホあり。

（10523）

此基本索引は、**本索引**の變化の根本をなすもの丶拔粹なり。これによつて、先づ、求めんとする圖の番號を推定し、尋でその番號に從つて、次掲**本索引**の基本圖を見られたい。本辭典は頁數によらず、總て番號による。

基本圖の後の變化は、本文に明細なり。

圍碁大辭典 卷三 目次

本索引

(6538) (6537) ★(6536) ★(6519) (6503)

(6570) (6565) (6563) (6562) ★(6545)

★(6594) ★(6585) ★(6583) (6578) (6576)

★(6626) (6624) (6606) (6603)

黒小目、白一間高懸り

(6627) ★(6625) (6607)

★(6643) (6642) (6630) (6629) (6628)

三手紋

(6686) (6680) (6674) ★(6667) ★(6666)

★(6314) (6313) (6312)

(6311)

小目先據への、小斜走懸りに對する（黒三での）黒の變則の打ち方

(6333) (6332) (6317)

(6352) (6350) (6340) (6339) (6338)

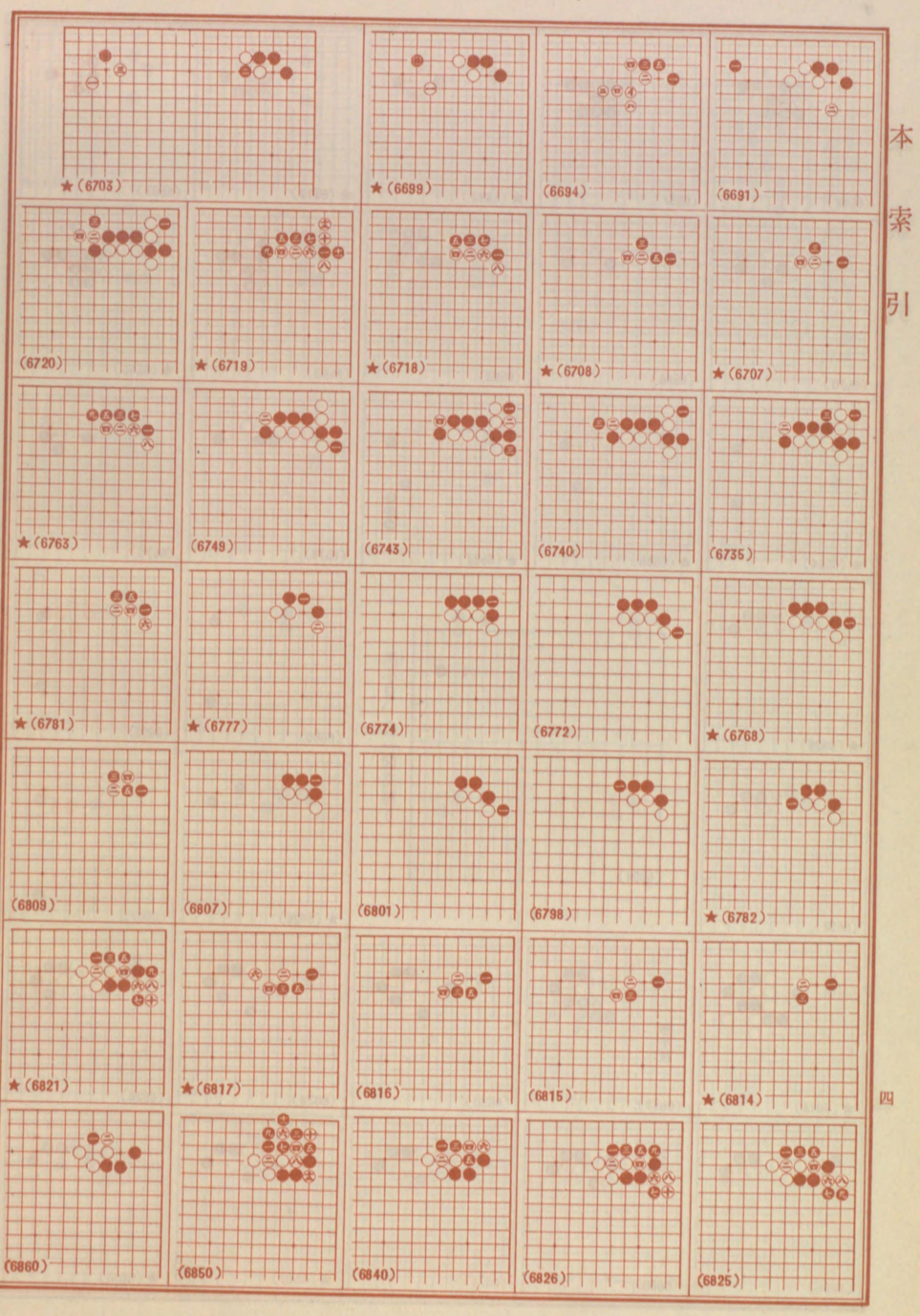
★(6371) (6367) (6358) ★(6357) ★(6356)

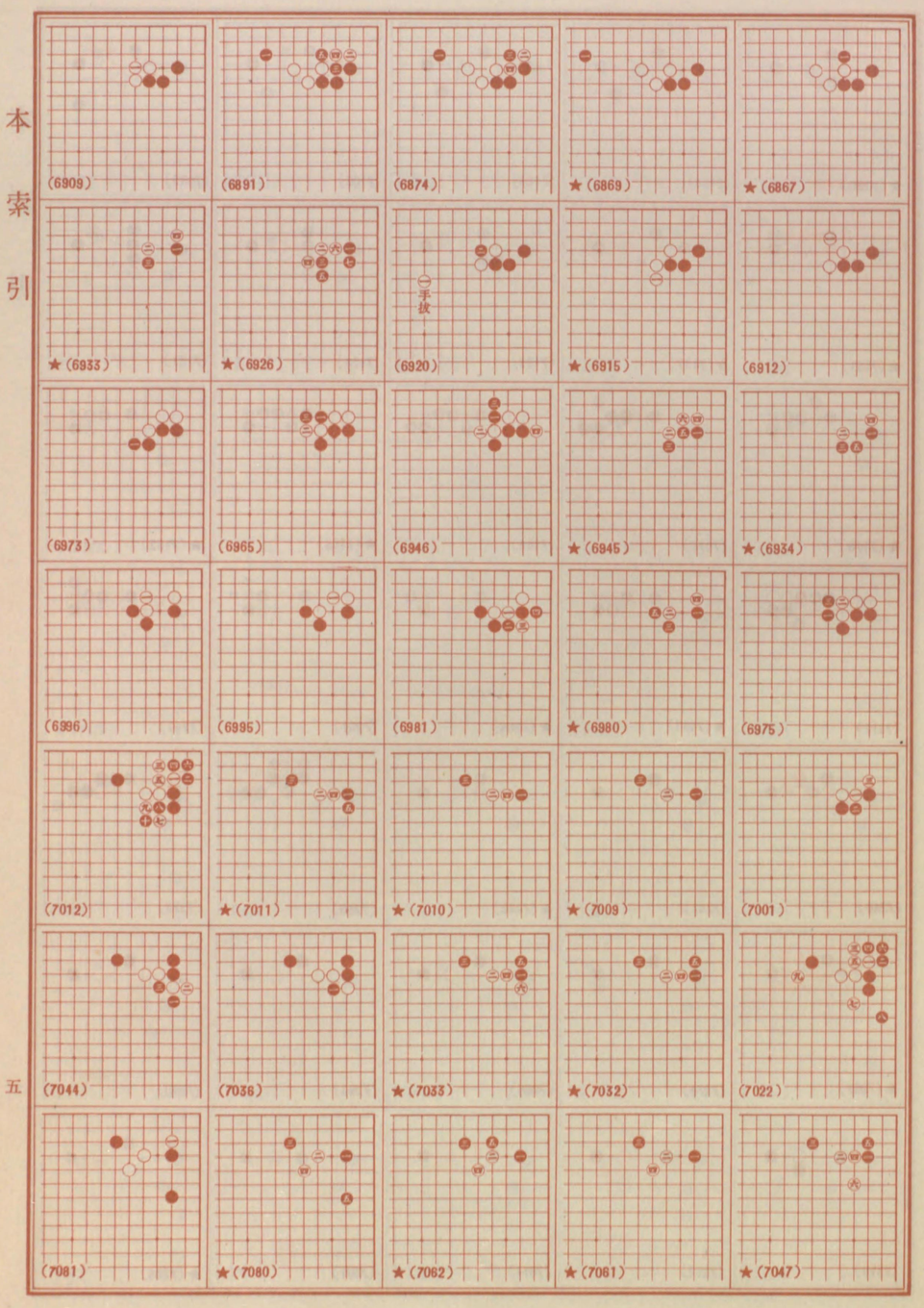
(6430) (6404) (6394) ★(6393) ★(6381)

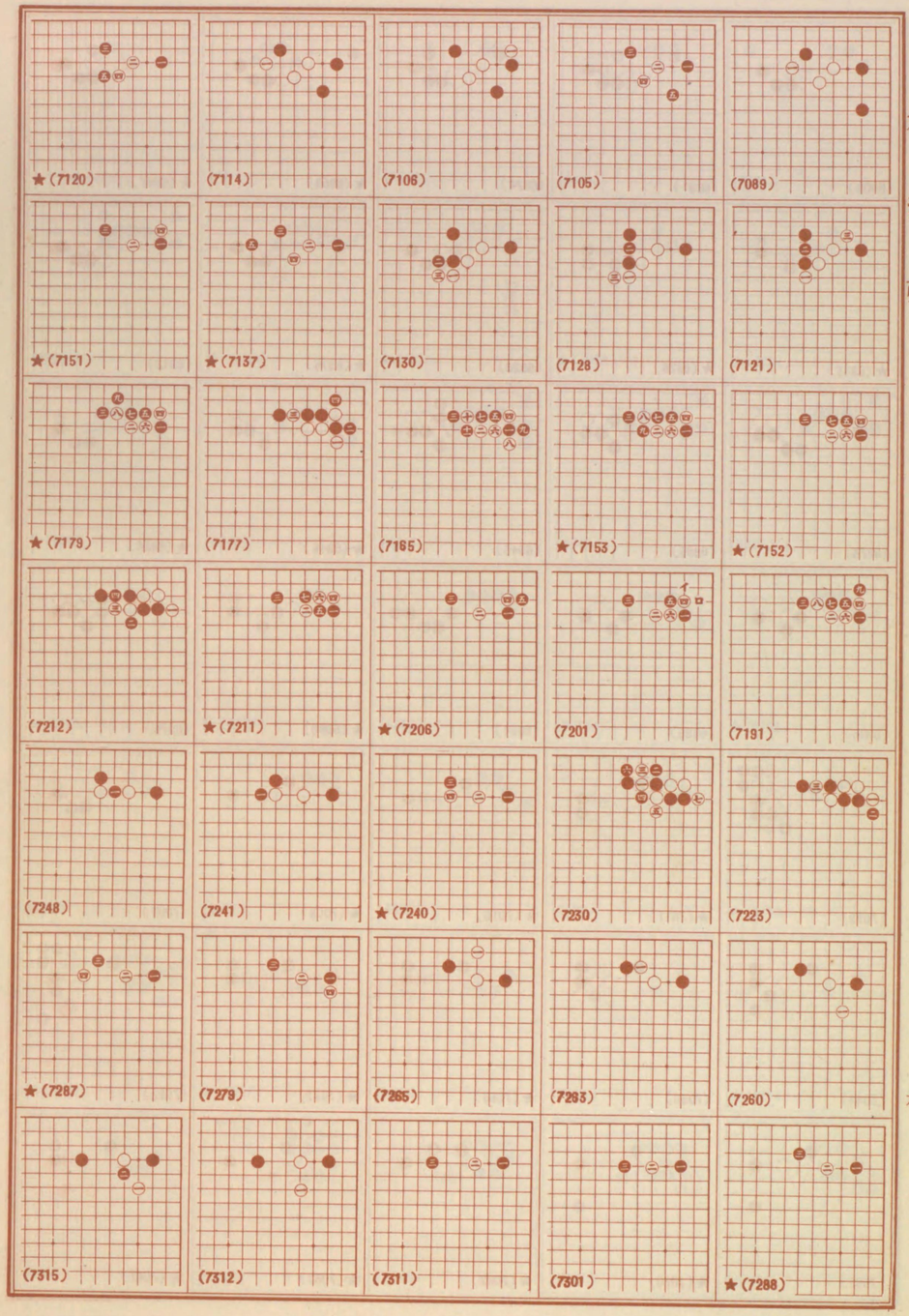
(6469) (6453) (6446) ★(6437) ★(6436)

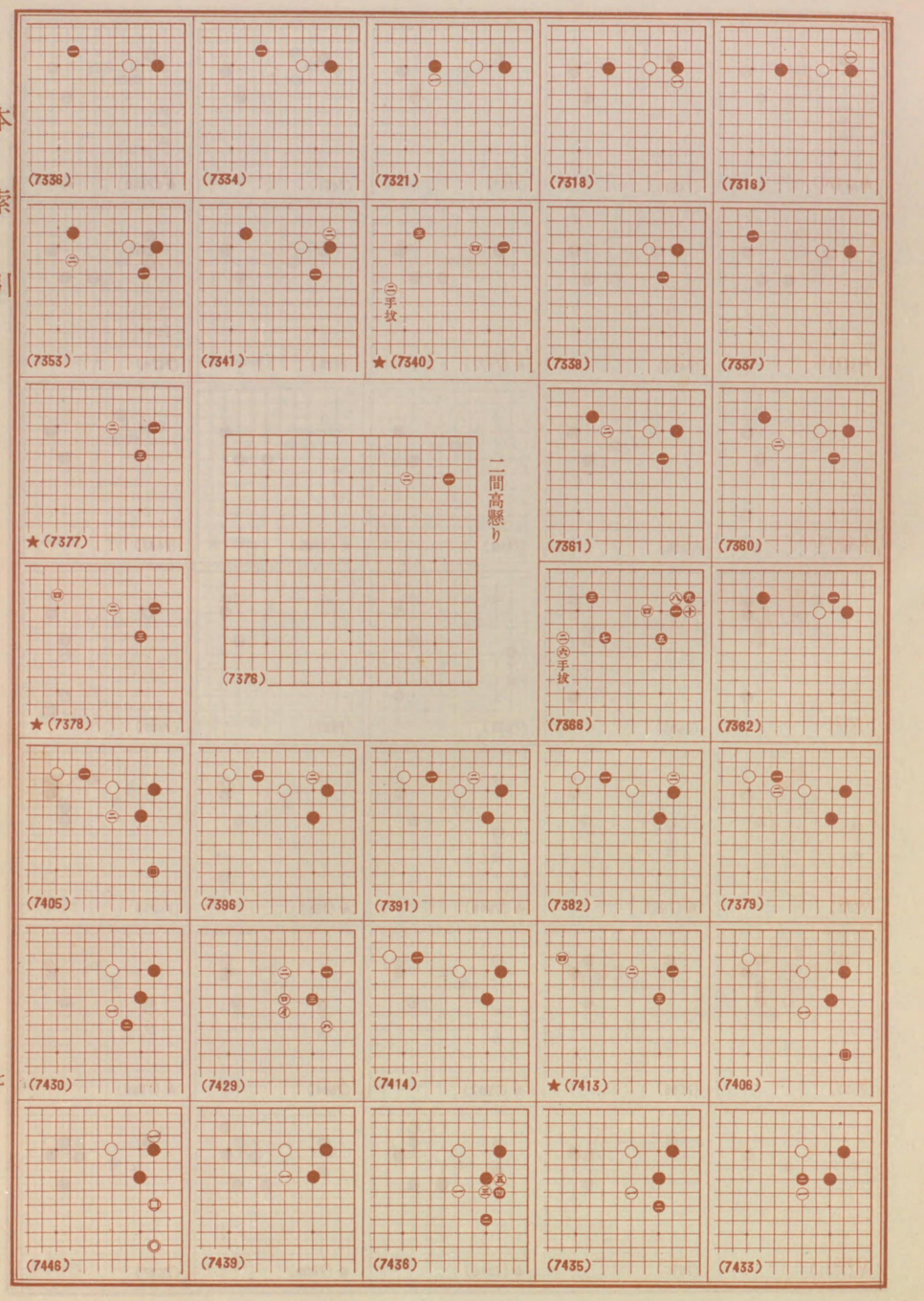
(6492) (6491) ★(6490) ★(6489) (6477)

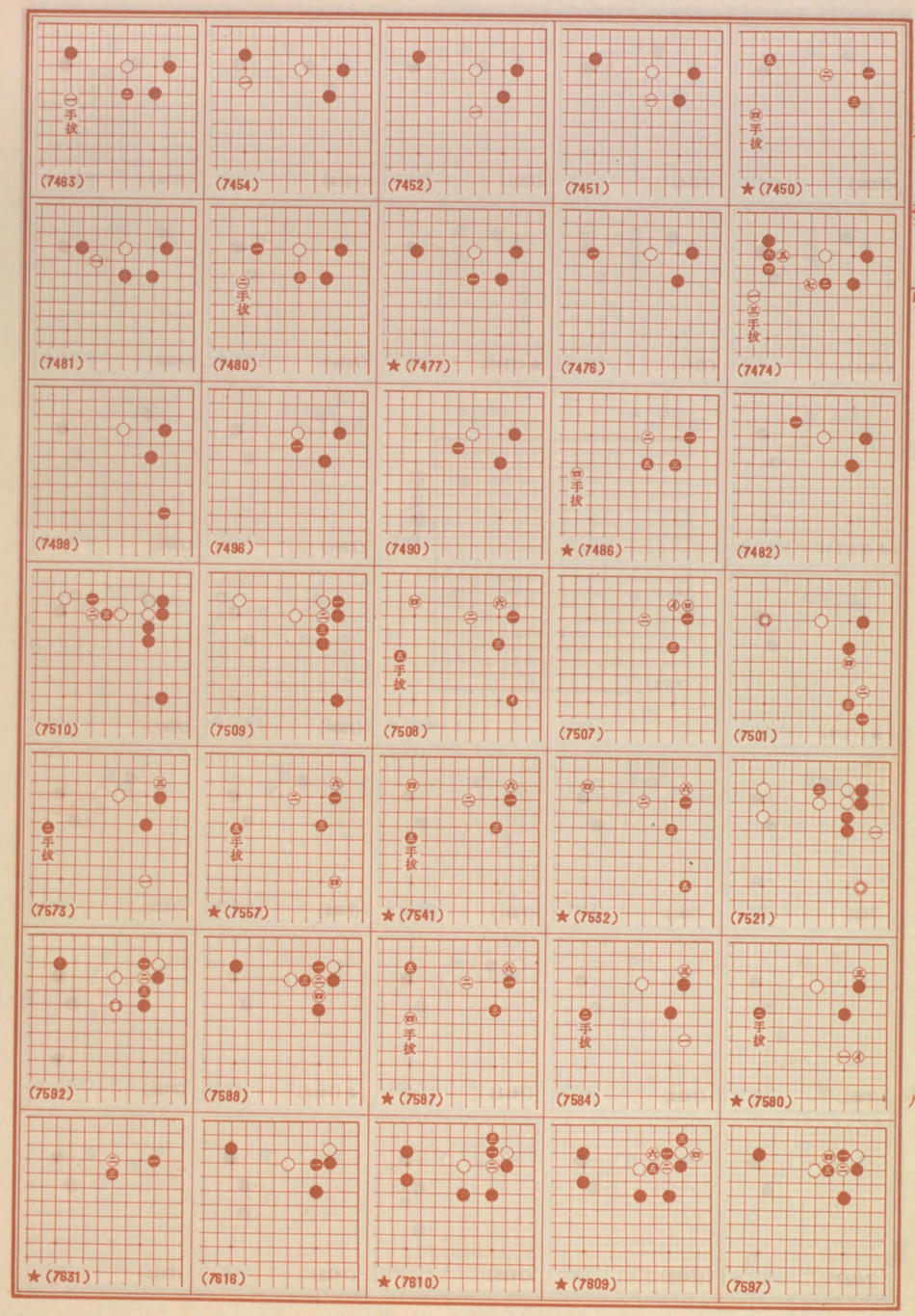
手抜

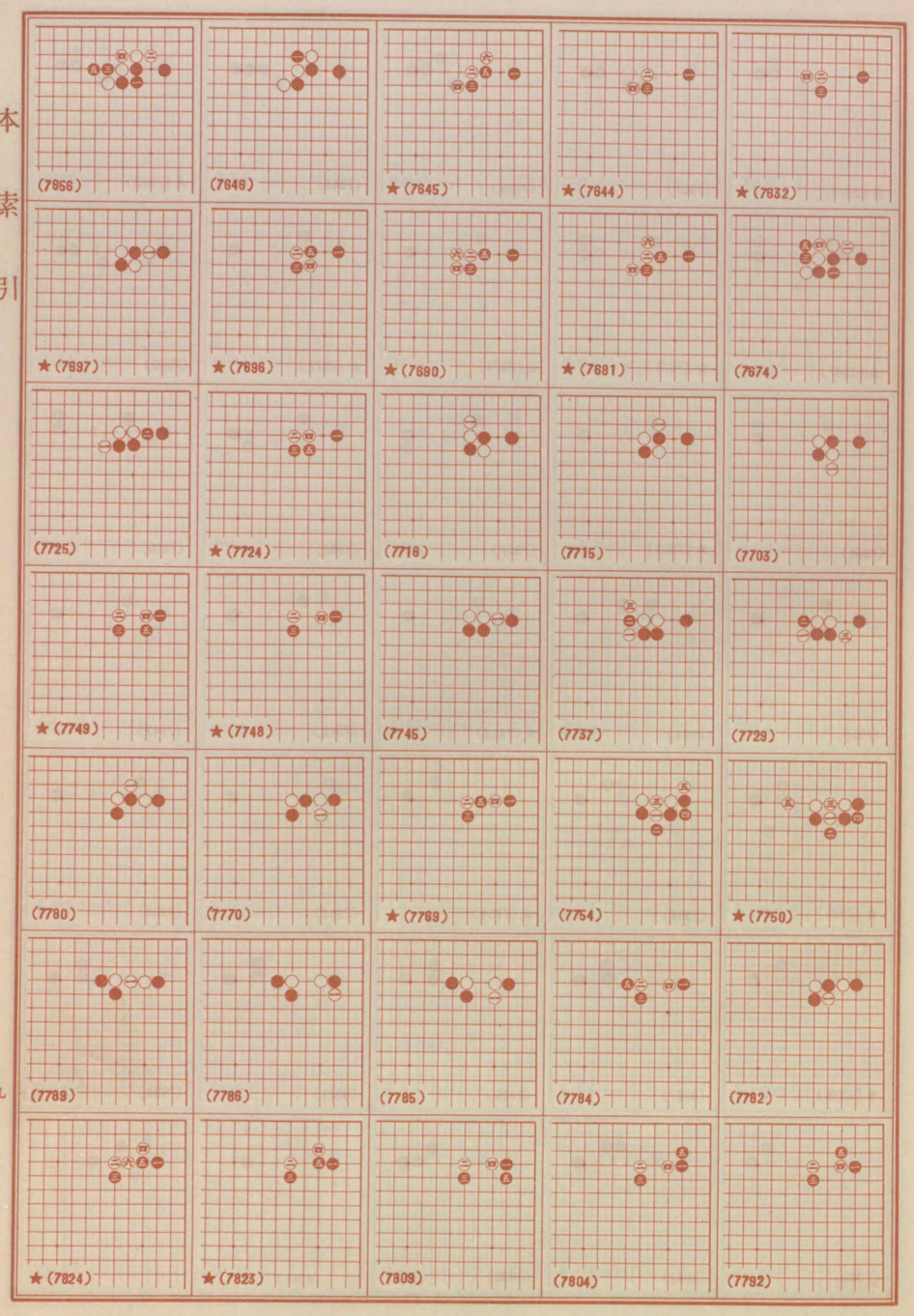

★(6703)
★(6699)
(6694)
(6691)
(6720)
★(6719)
★(6718)
★(6708)
★(6707)
★(6763)
(6749)
(6743)
(6740)
(6735)
★(6781)
★(6777)
(6774)
(6772)
★(6768)
(6809)
(6807)
(6801)
(6798)
★(6782)
★(6821)
★(6817)
(6816)
(6815)
★(6814)
(6860)
(6850)
(6840)
(6826)
(6825)


(6909)
(6891)
(6874)
★(6869)
★(6867)
★(6933)
★(6926)
(6920)
一手拔
★(6915)
(6912)
(6973)
(6965)
(6946)
★(6945)
★(6934)
(6996)
(6995)
(6981)
★(6980)
(6975)
(7012)
★(7011)
★(7010)
★(7009)
(7001)
(7044)
(7036)
★(7033)
★(7032)
(7022)
(7081)
★(7080)
★(7062)
★(7061)
★(7047)


★(7120)
(7114)
(7106)
(7105)
(7089)
★(7151)
★(7137)
(7130)
(7128)
(7121)
★(7179)
(7177)
(7165)
★(7153)
★(7152)
(7212)
★(7211)
★(7206)
(7201)
(7191)
(7248)
(7241)
★(7240)
(7230)
(7223)
★(7287)
(7279)
(7265)
(7263)
(7260)
(7315)
(7312)
(7311)
(7301)
★(7288)


(7338)
(7334)
(7321)
(7318)
(7316)
(7353)
(7341)
(二)手抜
★(7340)
(7338)
(7337)
★(7377)
(7376)
一間高懸り
(7381)
(7380)
★(7378)
(二)(六)手抜
(7366)
(7362)
(7405)
(7398)
(7391)
(7382)
(7379)
(7430)
(7429)
(7414)
★(7413)
(7406)
(7448)
(7439)
(7436)
(7435)
(7433)


一手拔
(7483)
(7454)
(7452)
(7451)
四手拔
★(7450)
(7481)
二手拔
(7480)
★(7477)
(7476)
一三手拔
(7474)
(7498)
(7496)
(7490)
四手拔
★(7486)
(7482)
(7510)
(7509)
八手拔
(7508)
(7507)
(7501)
三手拔
(7573)
八手拔
★(7557)
八手拔
★(7541)
★(7532)
(7521)
(7592)
(7588)
四手拔
★(7587)
(7584)
三手拔
★(7580)
★(7631)
(7616)
★(7610)
★(7609)
(7597)


(7858)
(7848)
★(7845)
★(7844)
★(7832)
★(7697)
★(7696)
★(7690)
★(7681)
(7674)
(7725)
★(7724)
(7718)
(7715)
(7703)
★(7749)
★(7748)
(7745)
(7737)
(7729)
(7780)
(7770)
★(7769)
(7754)
★(7750)
(7789)
(7786)
(7785)
(7784)
(7782)
★(7824)
★(7823)
(7809)
(7804)
(7792)

★(7853) (7851) (7850) (7843) ★(7842)

★(7887) ★(7875) ★(7874) ★(7872) (7868)

(7934) ★(7923) (7917) (7902) (7900)

(7959) (7954) ★(7953) (7948) (7947)

★(7996) (7995) ★(7994) (7983) (7968)

★(8035) (8027) (8025) (8021) (7998)

(8049) (8042) (8038) (8031)

(8093) (8092) (8080) (8089) (8059)

(8112) (8111) (8108) (8106) (8103)

(8141) (8140) (8128) (8121) (8118)

(8169) (8166) (8160) (8159) (8152)

★(8187) ★(8186) (8172)

(8190) (8188) ★(8185)

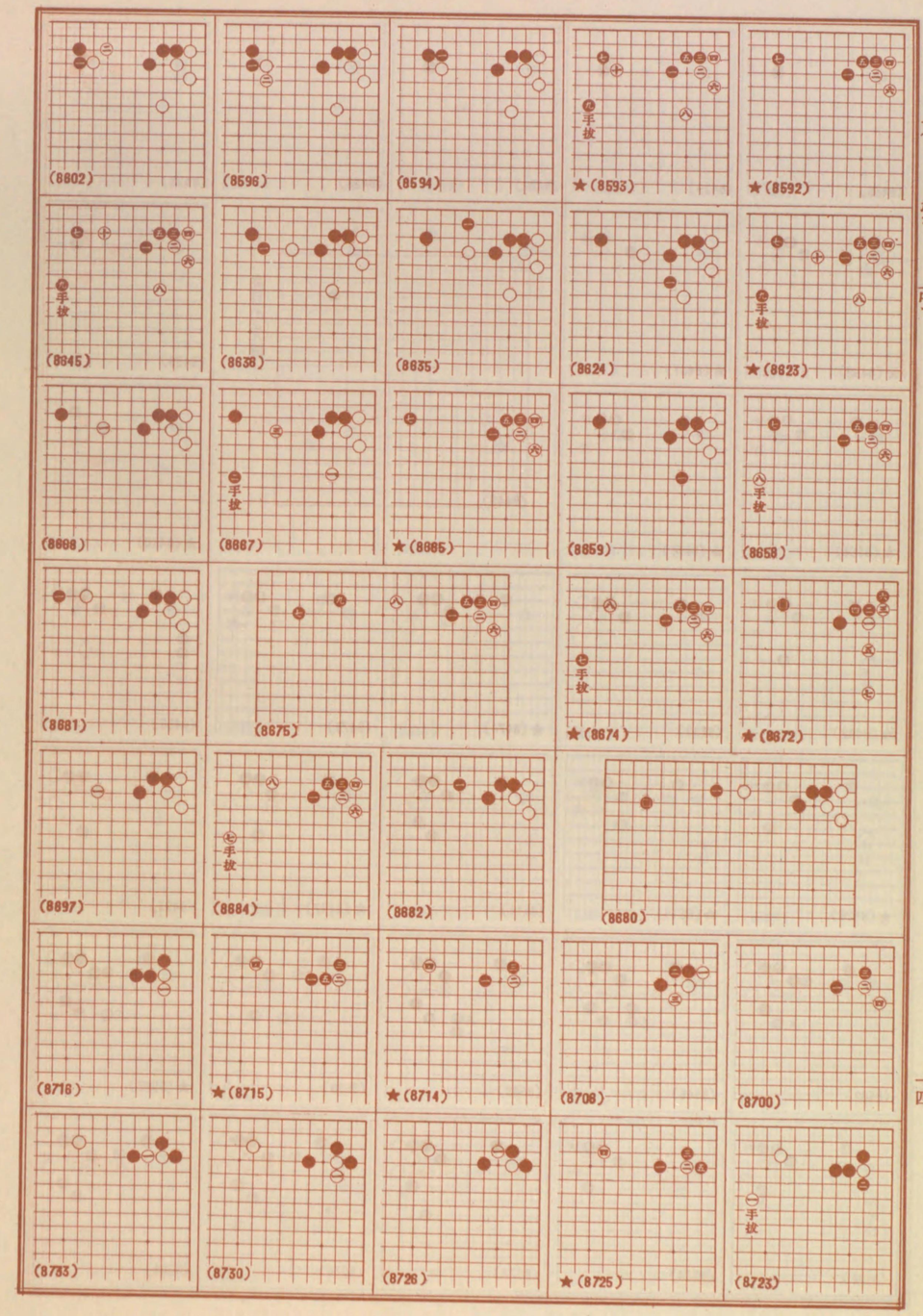
(8184)

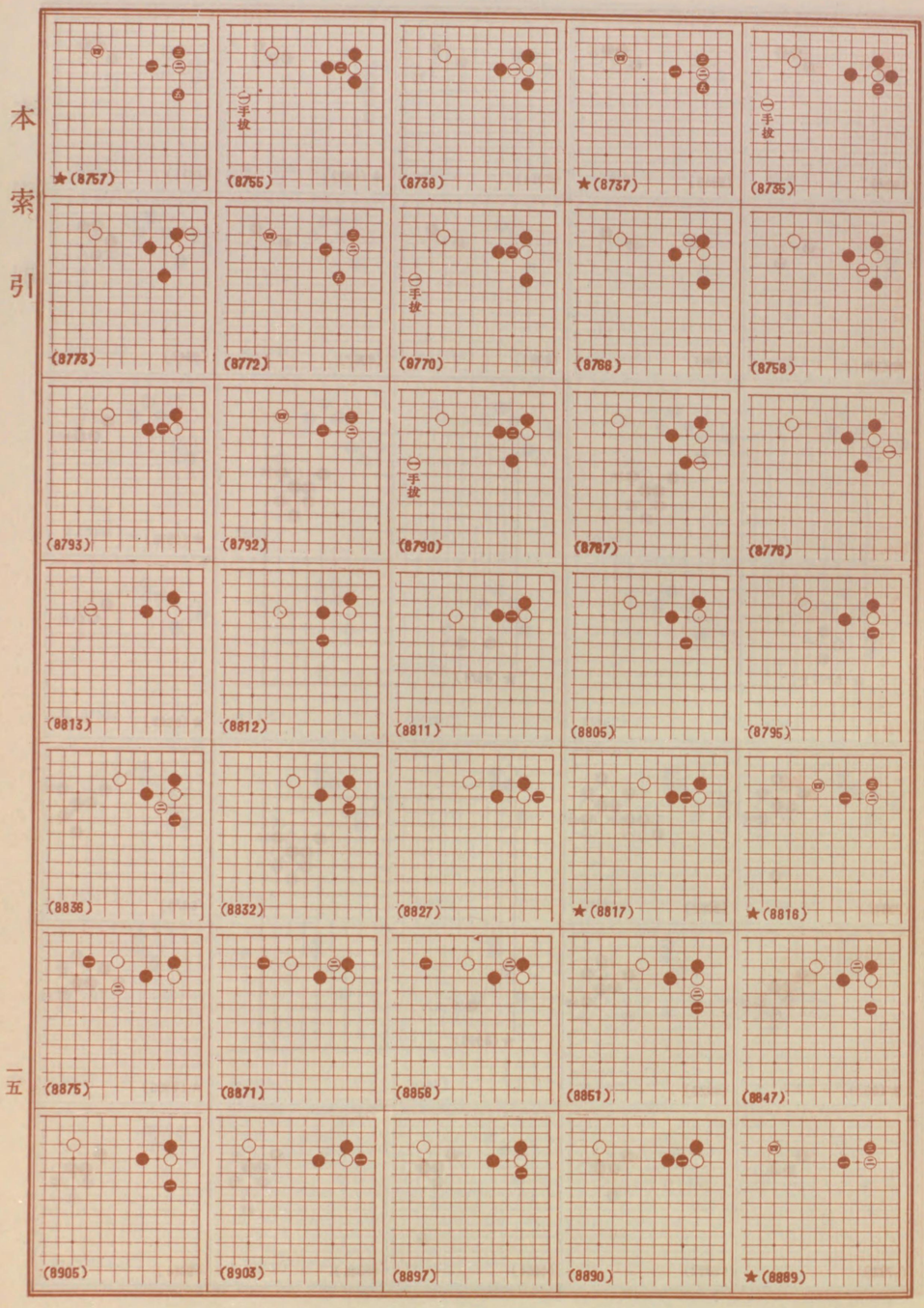
大斜走懸り其他
變則の打ち方

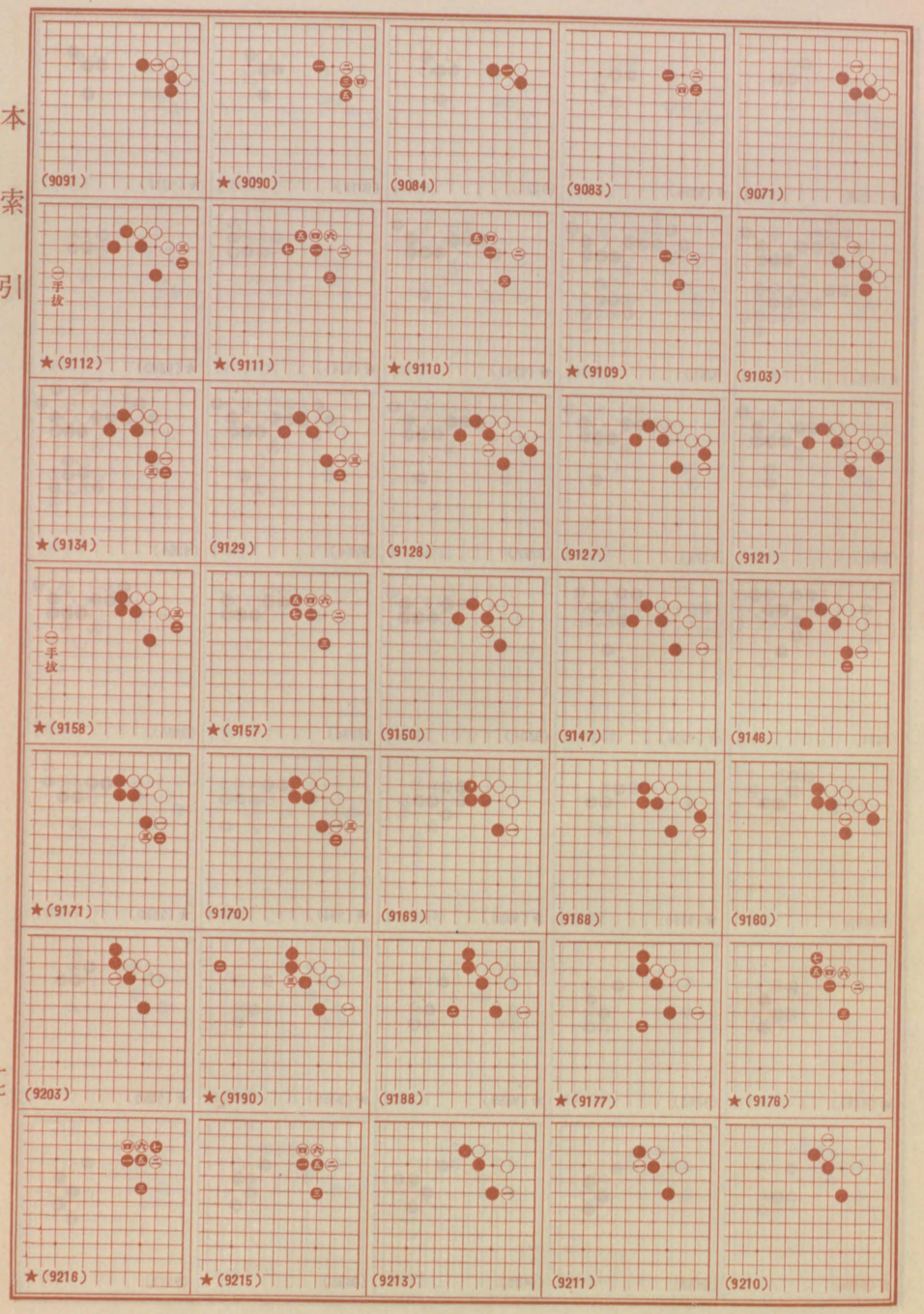
(8223) (8214) (8204) ★(8203) (8199)

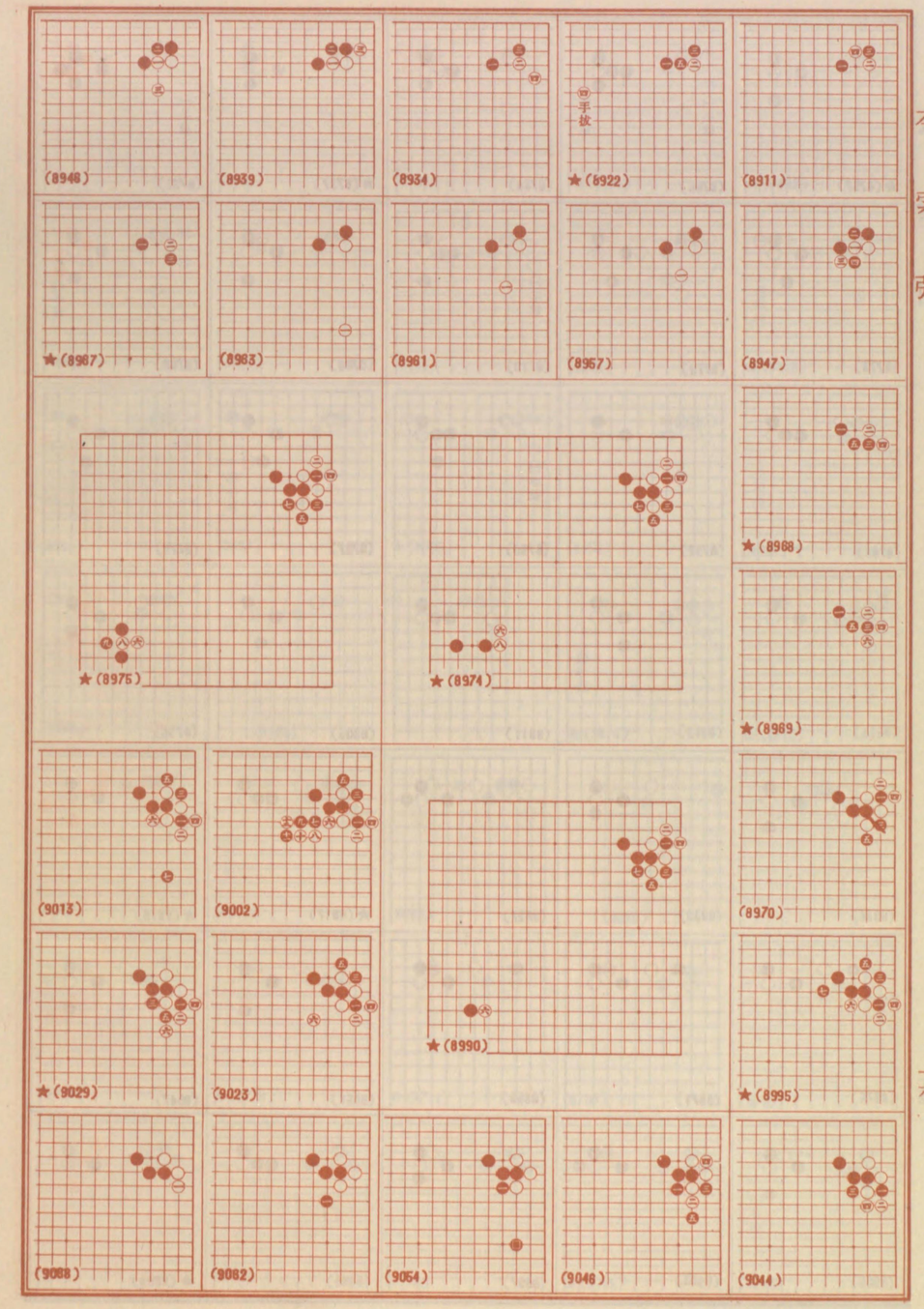
(8438)
(8429)
(8428)
(8425)
(8422)
★(8452)
★(8451)
高目の先撮
(8448)
(8439)
★(8454)
★(8453)
★(8450)
八手抜
★(8492)
(8486)
★(8474)
(8473)
二三手抜
(8455)
八手抜
★(8526)
八手抜
★(8516)
二手抜
(8514)
★(8497)
(8493)
(8582)
(8545)
(8543)
(8528)
★(8527)
八手抜
(8582)
(8578)
(8573)
(8570)
(8569)

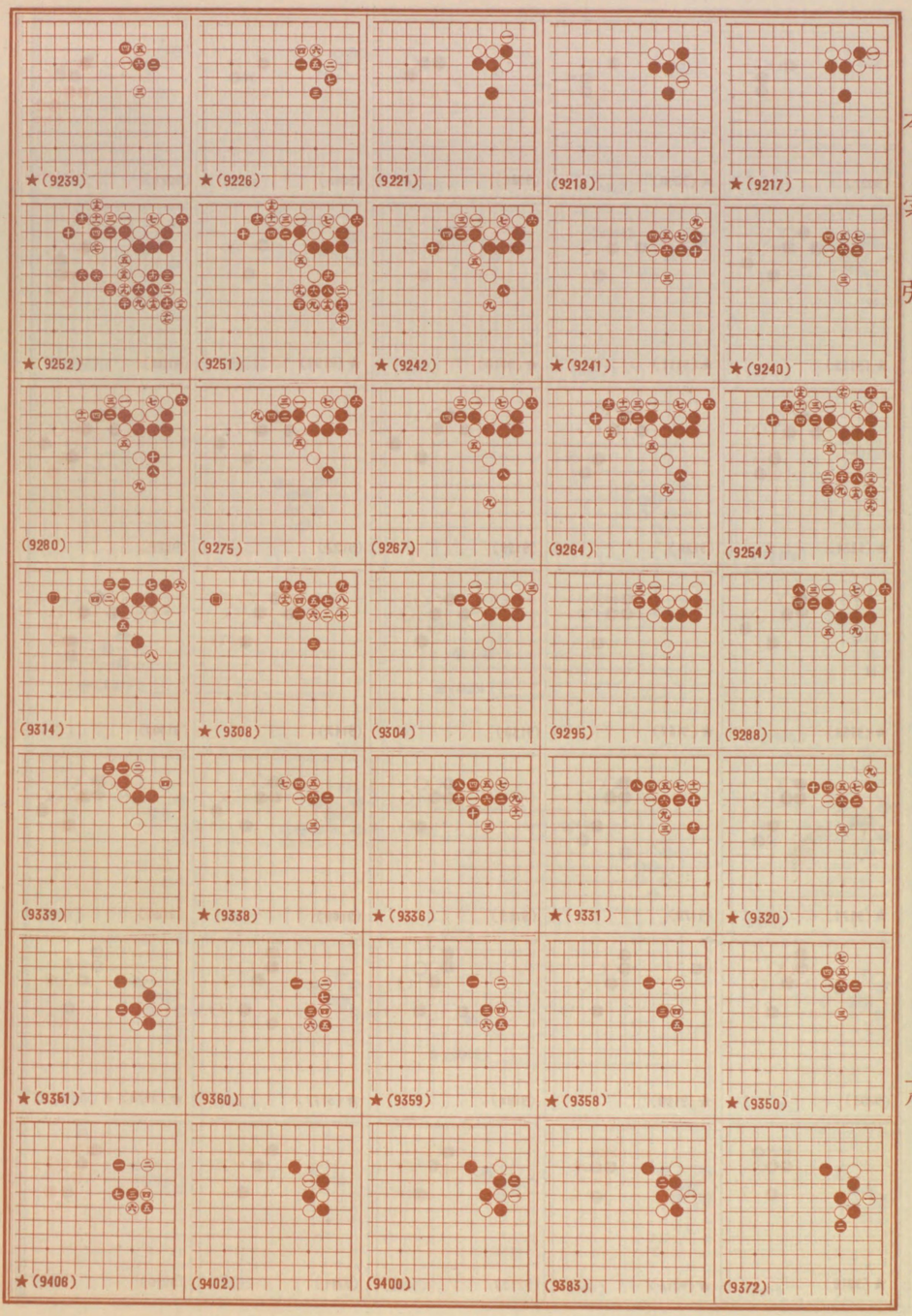
(8247)
(8246)
★(8235)
★(8234)
(8225)
(8285)
(8284)
(8274)
(8271)
(8252)
★(8317)
(8307)
(8302)
(8290)
(8287)
(8338)
(8335)
(8334)
(8329)
★(8328)
(8359)
★(8358)
(8355)
(8354)
(8353)
(8397)
(8385)
(8384)
(8381)
(8386)
(8419)
(8418)
一手抜
(8411)
(8407)
(8403)

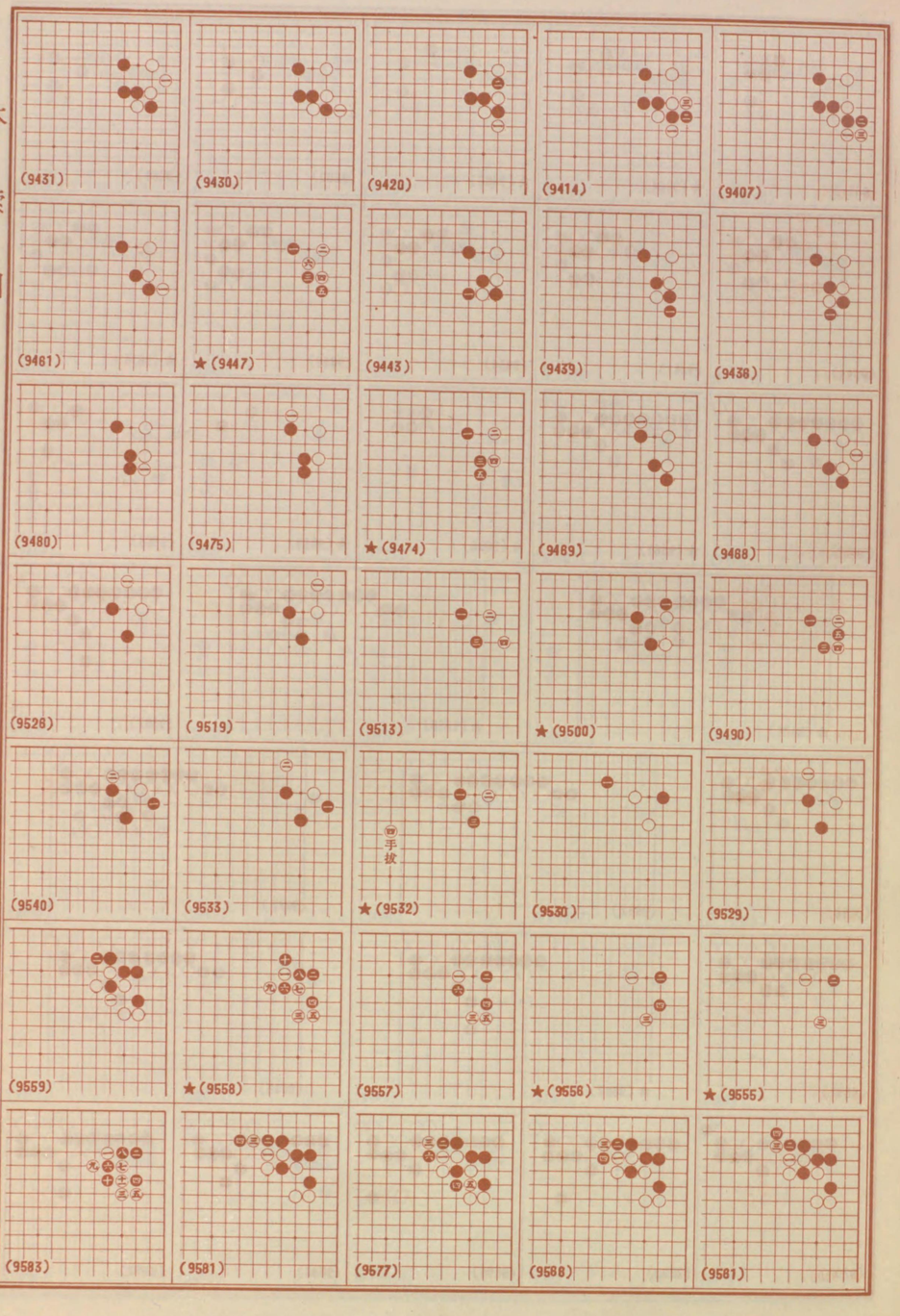

(8802)
(8598)
(8594)
七手拔
★(8593)
★(8592)
七手拔
(8845)
(8638)
(8635)
(8624)
七手拔
★(8623)
(8898)
二手拔
(8887)
★(8885)
(8859)
八手拔
(8858)
(8881)
(8875)
七手拔
★(8874)
★(8872)
(8897)
七手拔
(8884)
(8882)
(8880)
(8718)
★(8715)
★(8714)
(8708)
(8700)
(8733)
(8730)
(8726)
★(8725)
(8723)

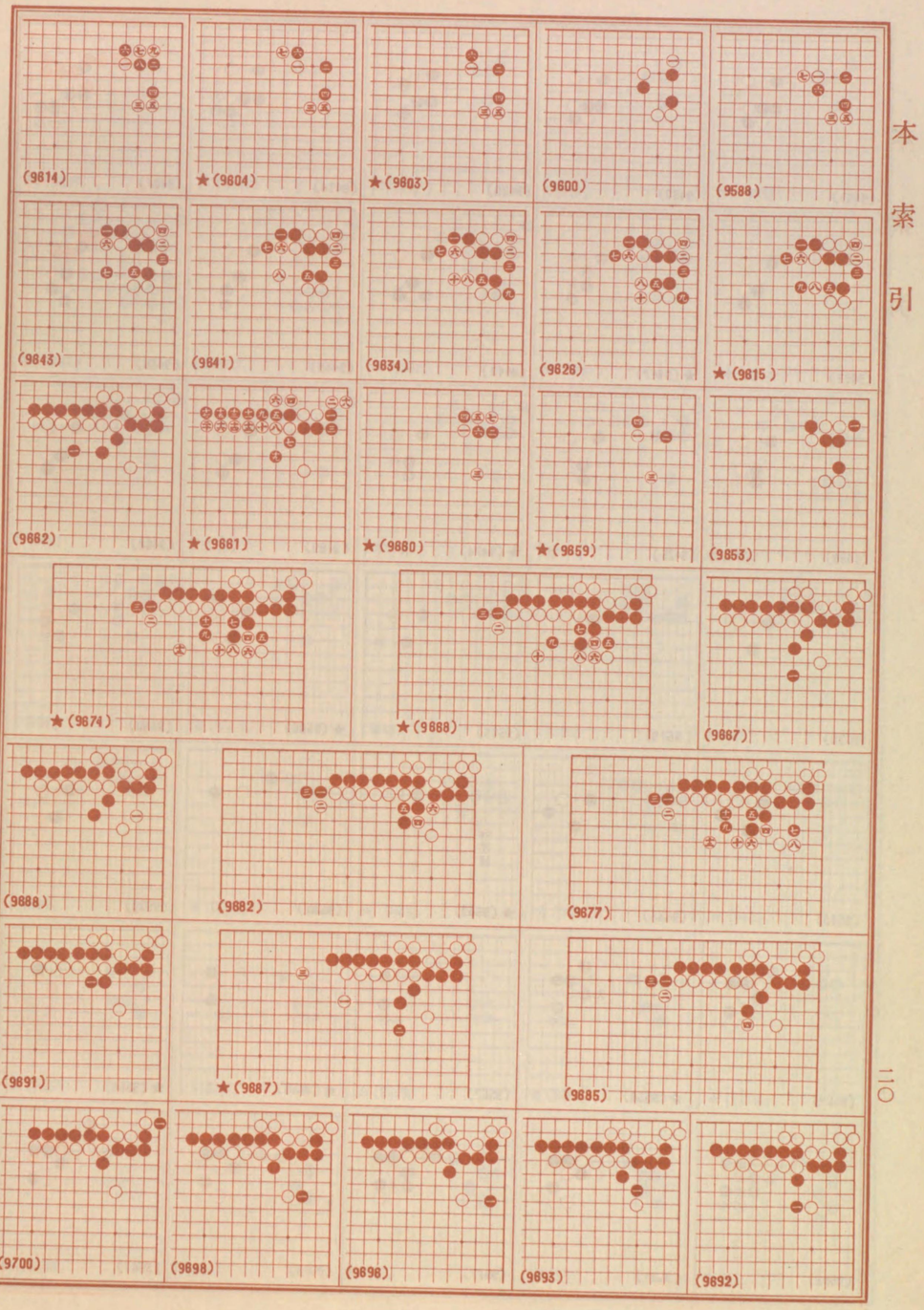

★(8757)
(8755)
(8738)
★(8737)
(8735)
(8773)
(8772)
(8770)
(8768)
(8758)
(8793)
(8792)
(8790)
(8787)
(8778)
(8813)
(8812)
(8811)
(8805)
(8795)
(8838)
(8832)
(8827)
★(8817)
★(8818)
(8875)
(8871)
(8858)
(8851)
(8847)
(8905)
(8903)
(8897)
(8890)
★(8889)

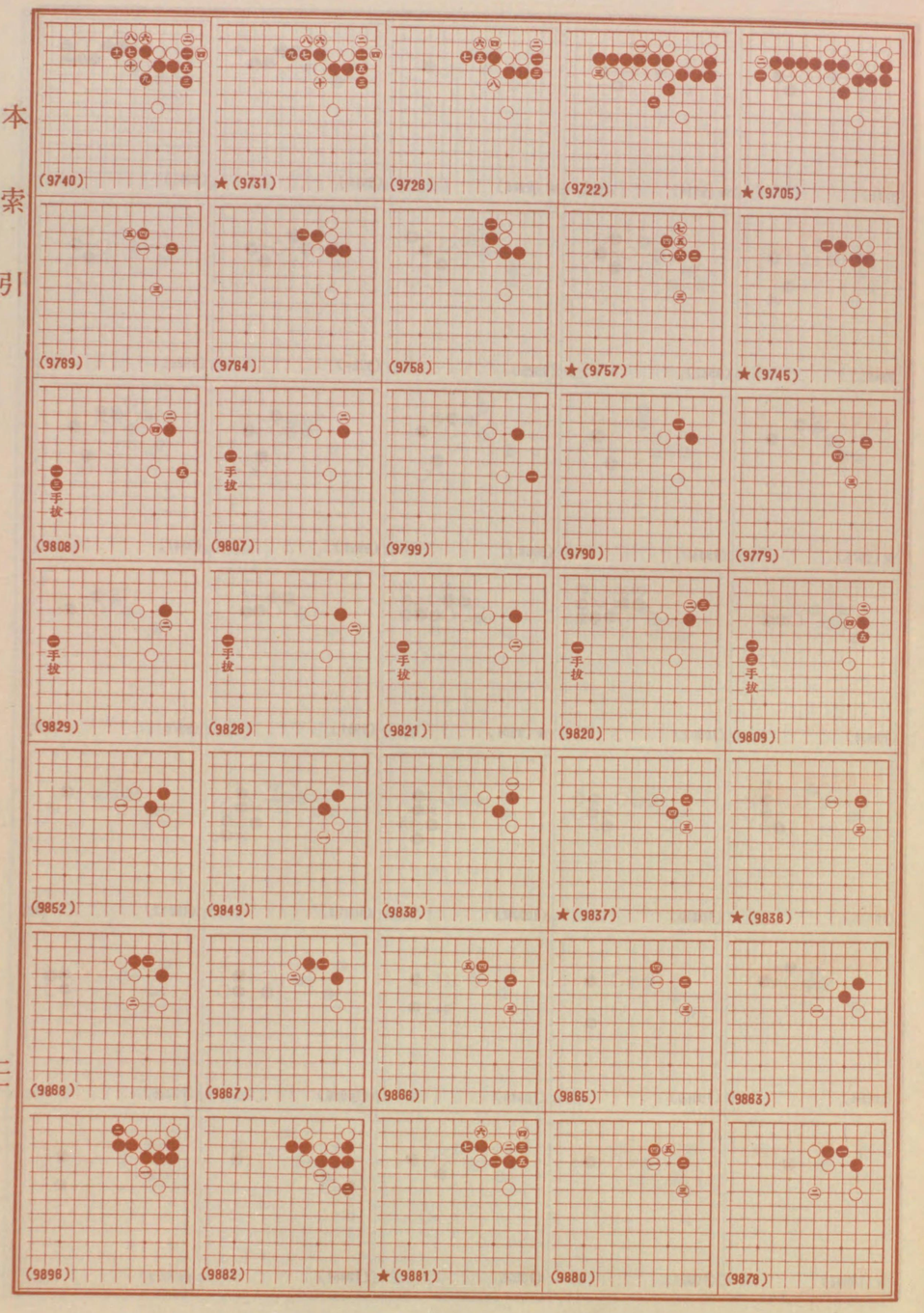

(9091)
★(9090)
(9084)
(9083)
(9071)
一手抜
★(9112)
★(9111)
★(9110)
★(9109)
(9103)
★(9134)
(9129)
(9128)
(9127)
(9121)
一手抜
★(9158)
★(9157)
(9150)
(9147)
(9148)
★(9171)
(9170)
(9169)
(9168)
(9160)
(9203)
★(9190)
(9188)
★(9177)
★(9176)
★(9218)
★(9215)
(9213)
(9211)
(9210)

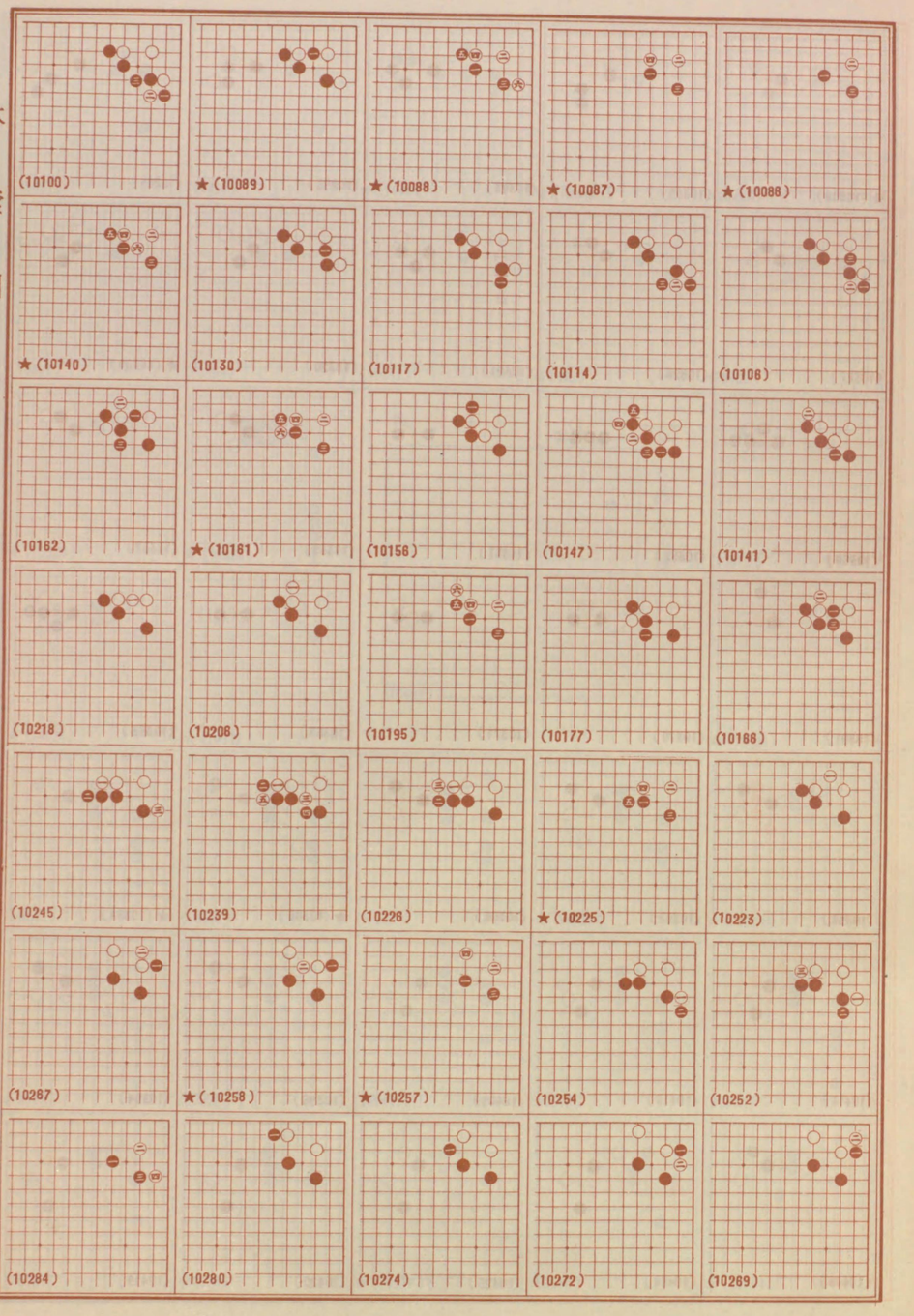

(8948)
(8939)
(8934)
四手抜
★(8922)
(8911)
★(8987)
(8983)
(8961)
(8957)
(8947)
★(8975)
★(8974)
★(8968)
★(8989)
(9013)
(9002)
★(8990)
(8970)
★(9029)
(9023)
★(8995)
(9088)
(9082)
(9054)
(9046)
(9044)

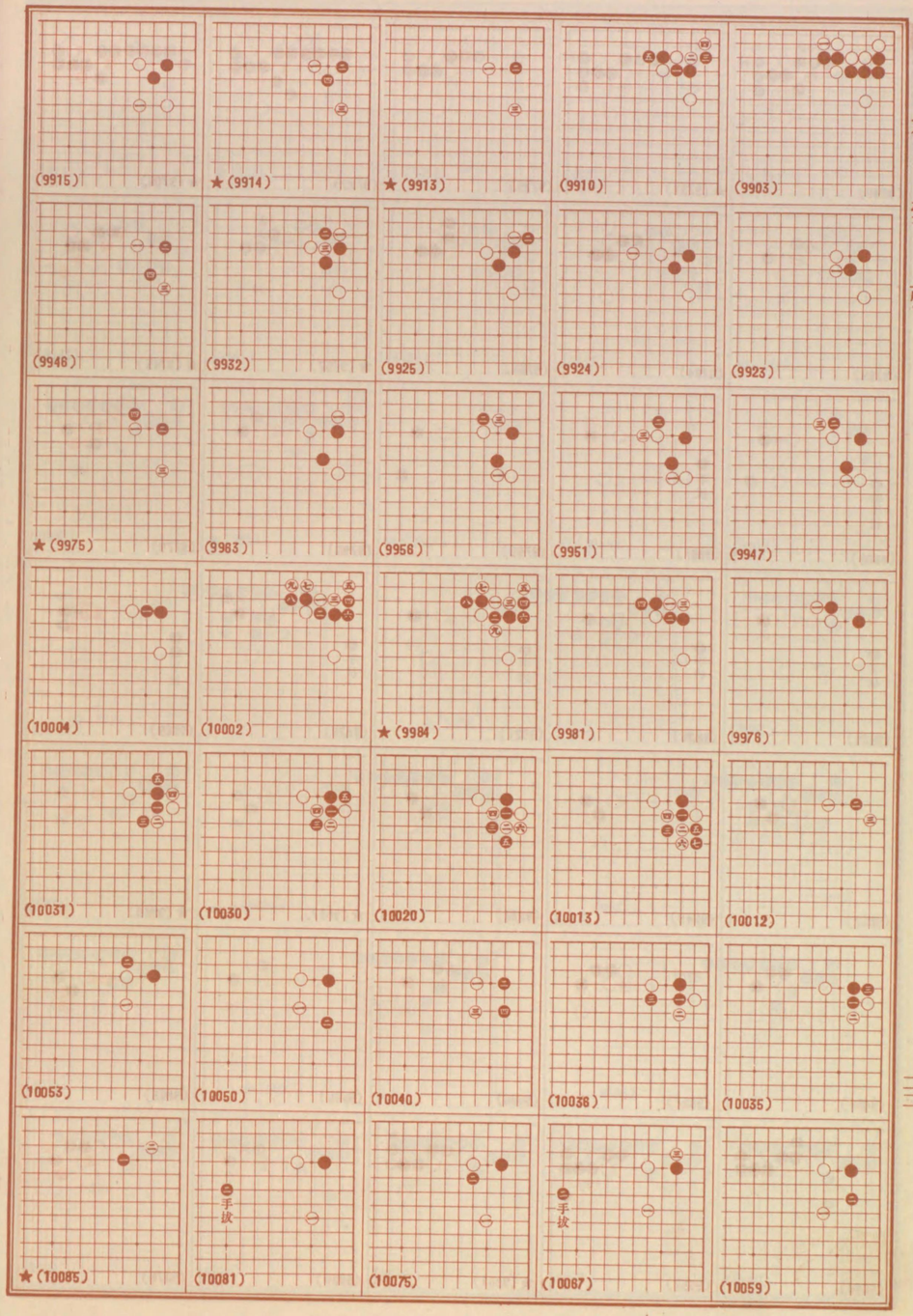

★(9239)
★(9226)
(9221)
(9218)
★(9217)
★(9252)
(9251)
★(9242)
★(9241)
★(9240)
(9280)
(9275)
(9267)
(9264)
(9254)
(9314)
★(9308)
(9304)
(9295)
(9288)
(9339)
★(9338)
★(9336)
★(9331)
★(9320)
★(9361)
(9360)
★(9359)
★(9358)
★(9350)
★(9406)
(9402)
(9400)
(9383)
(9372)

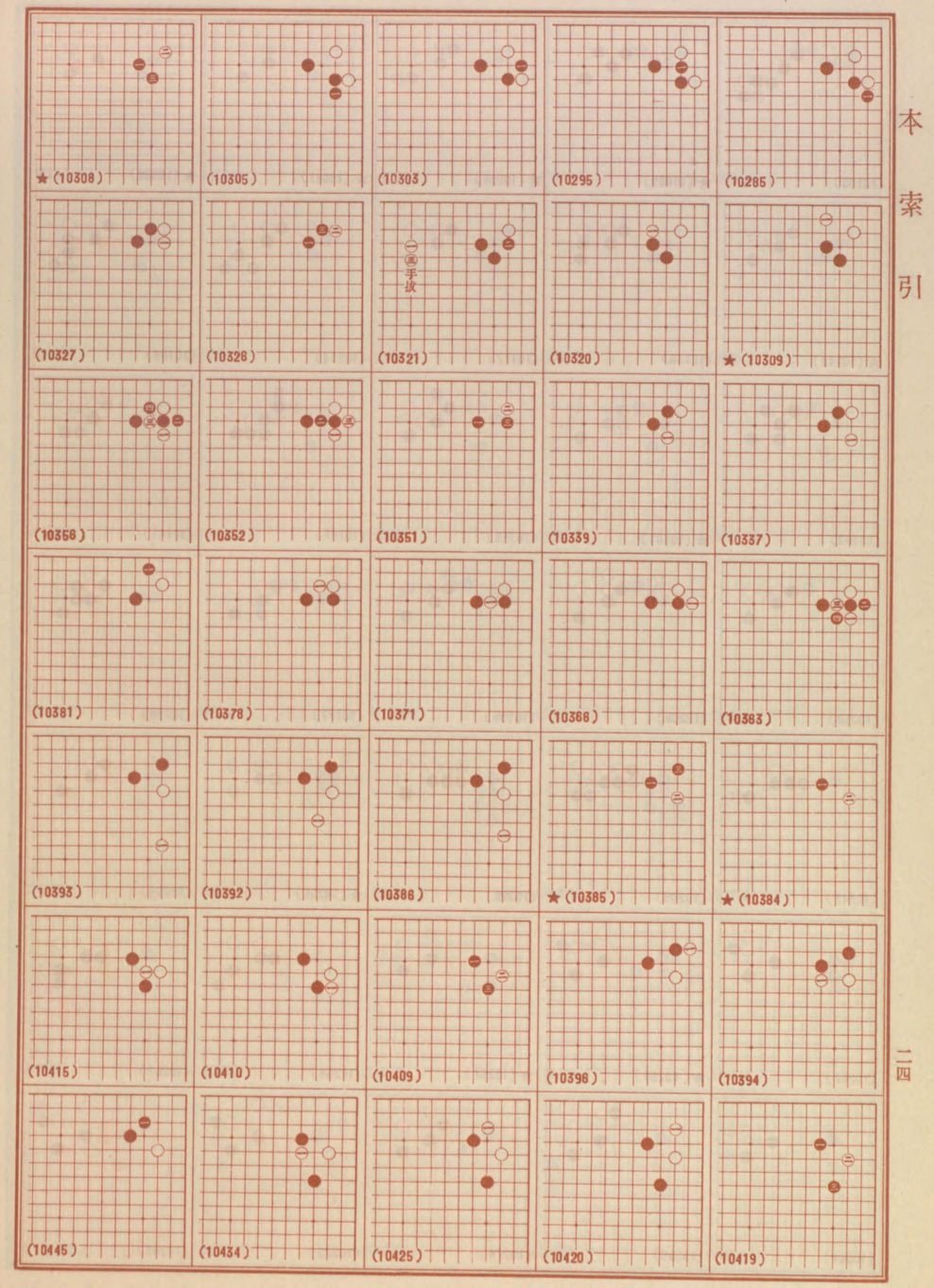

(9431)
(9430)
(9420)
(9414)
(9407)
(9481)
★(9447)
(9443)
(9439)
(9438)
(9480)
(9475)
★(9474)
(9489)
(9488)
(9528)
(9519)
(9513)
★(9500)
(9490)
(9540)
(9533)
手拔
★(9532)
(9530)
(9529)
(9559)
★(9558)
(9557)
★(9558)
★(9555)
(9583)
(9581)
(9577)
(9588)
(9581)

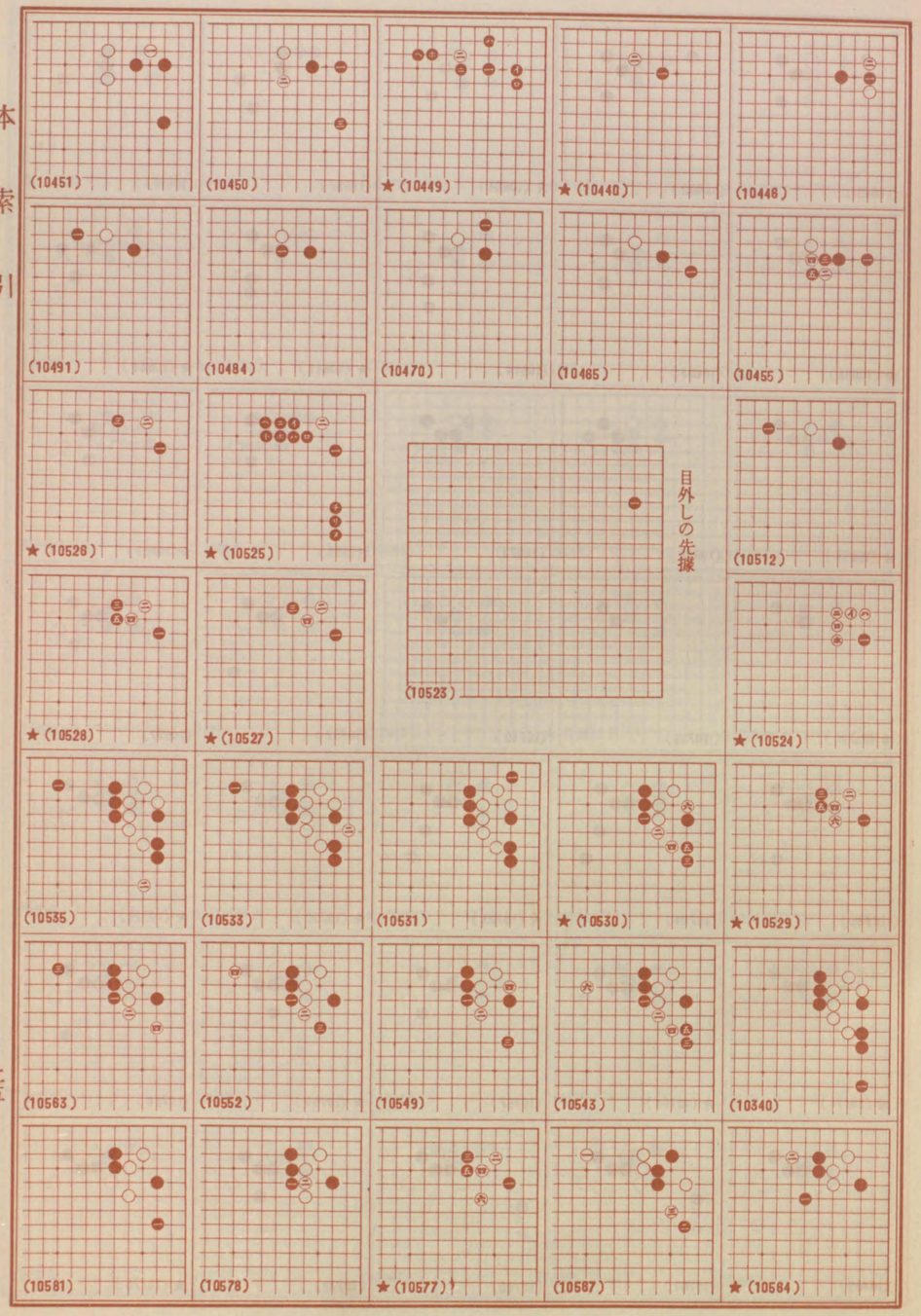

(9814)
★(9804)
★(9803)
(9600)
(9588)
(9843)
(9841)
(9834)
(9826)
★(9815)
(9682)
★(9681)
★(9880)
★(9859)
(9853)
★(9674)
★(9888)
(9887)
(9888)
(9882)
(9877)
(9891)
★(9887)
(9885)
(9700)
(9898)
(9898)
(9893)
(9892)

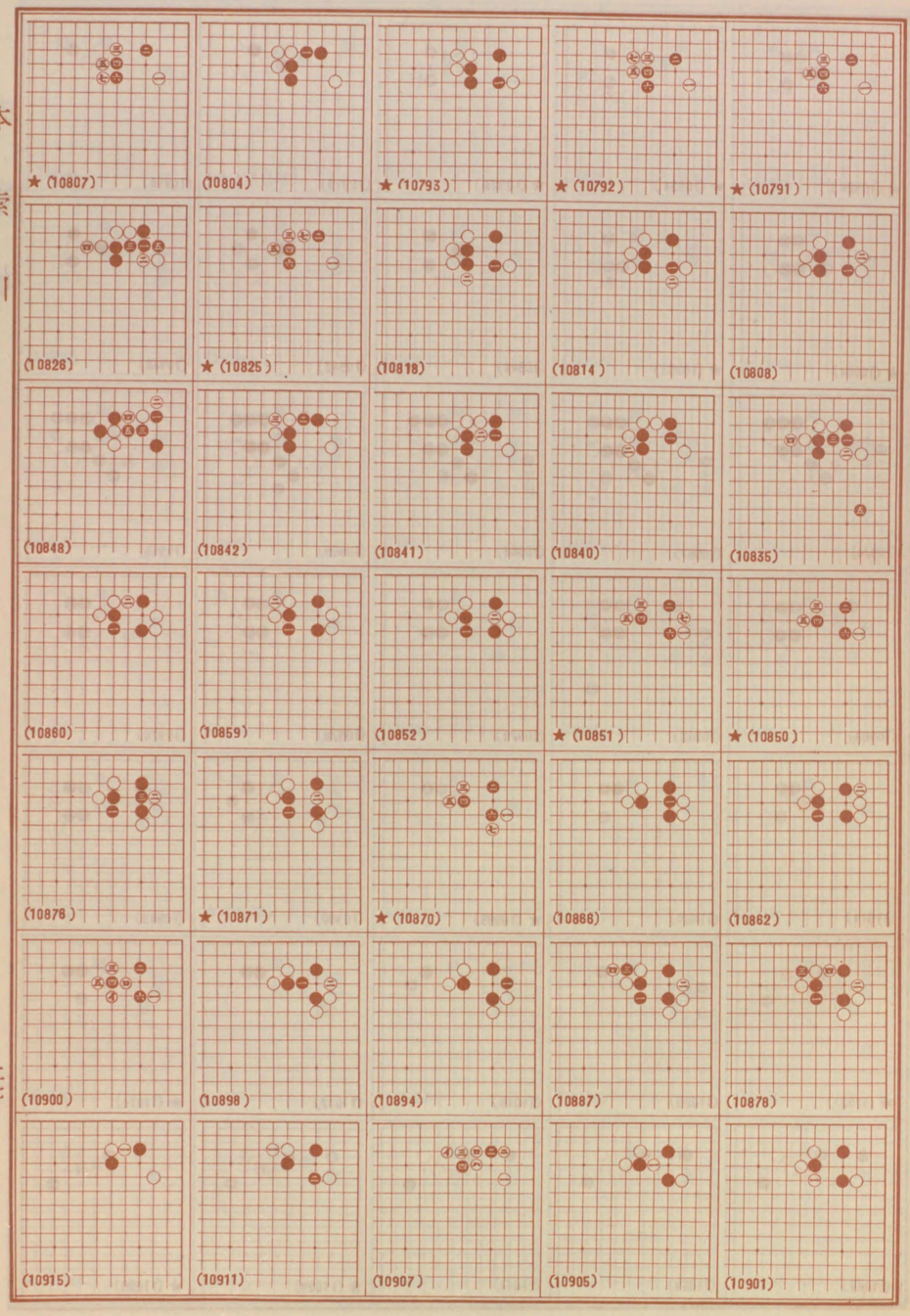

(9740)
★(9731)
(9728)
(9722)
★(9705)
(9789)
(9784)
(9758)
★(9757)
★(9745)
一手拔
(9808)
一手拔
(9807)
(9799)
(9790)
(9779)
一手拔
(9829)
一手拔
(9828)
一手拔
(9821)
一手拔
(9820)
一手拔
(9809)
(9852)
(9849)
(9838)
★(9837)
★(9838)
(9888)
(9887)
(9886)
(9885)
(9883)
(9898)
(9882)
★(9881)
(9880)
(9878)

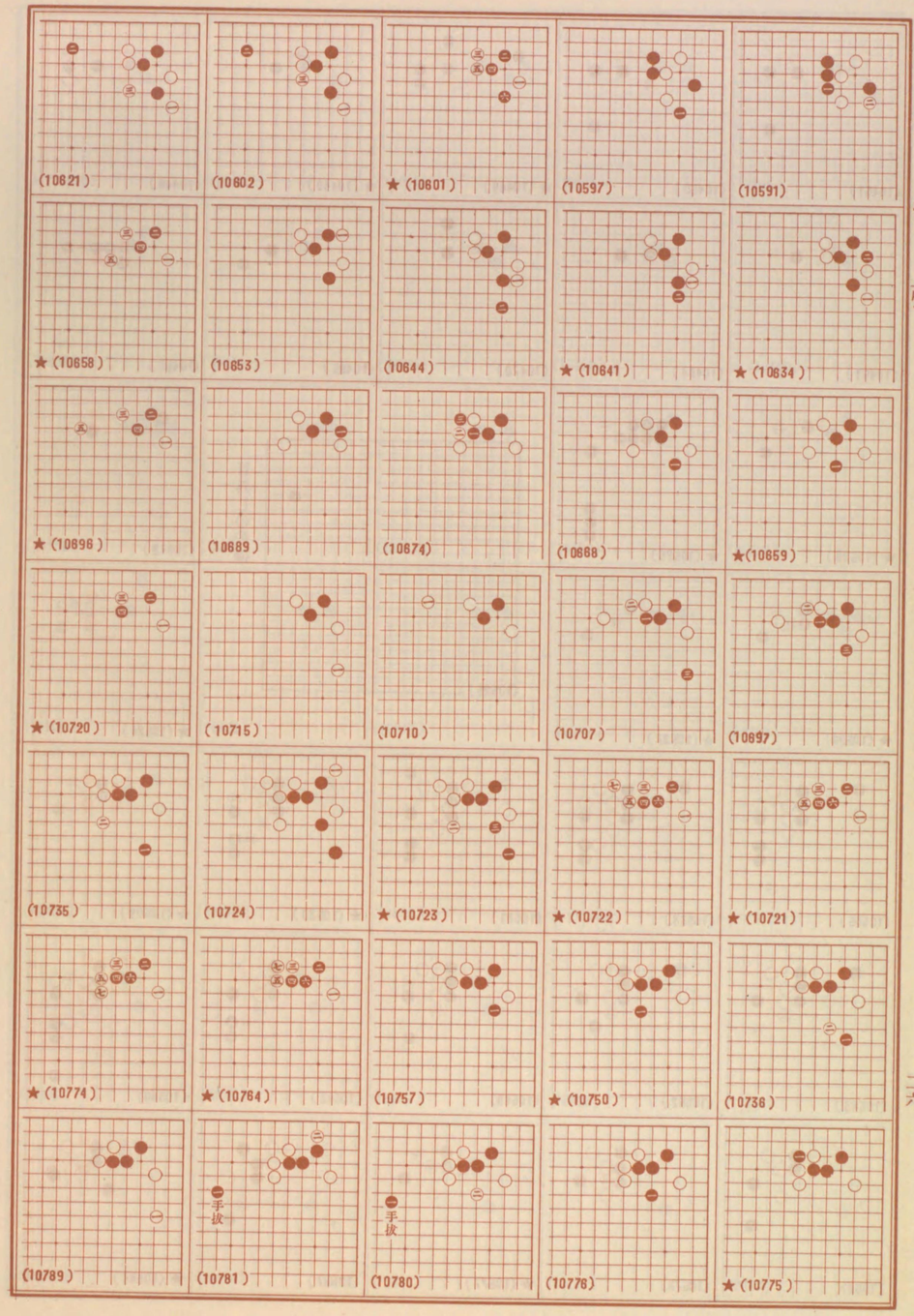

(10100)
★(10089)
★(10088)
★(10087)
★(10088)
★(10140)
(10130)
(10117)
(10114)
(10108)
(10182)
★(10161)
(10158)
(10147)
(10141)
(10218)
(10208)
(10195)
(10177)
(10168)
(10245)
(10239)
(10228)
★(10225)
(10223)
(10287)
★(10258)
★(10257)
(10254)
(10252)
(10284)
(10280)
(10274)
(10272)
(10269)

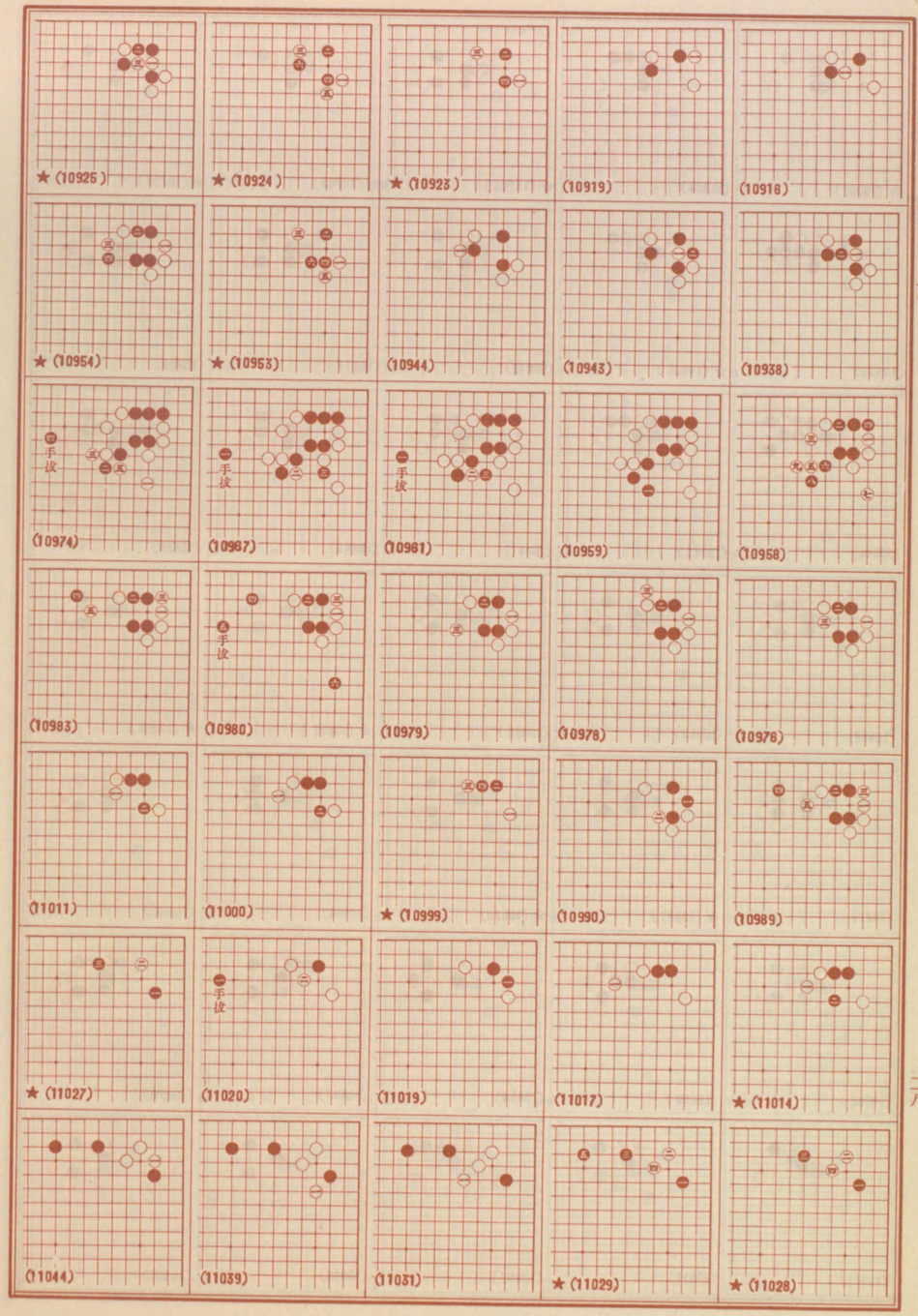

(9915)
★(9914)
★(9913)
(9910)
(9903)
(9946)
(9932)
(9925)
(9924)
(9923)
★(9975)
(9963)
(9958)
(9951)
(9947)
(10004)
(10002)
★(9984)
(9981)
(9976)
(10031)
(10030)
(10020)
(10013)
(10012)
(10053)
(10050)
(10040)
(10038)
(10035)
★(10085)
(10081)
(10075)
(10067)
(10059)
一手收
一手收

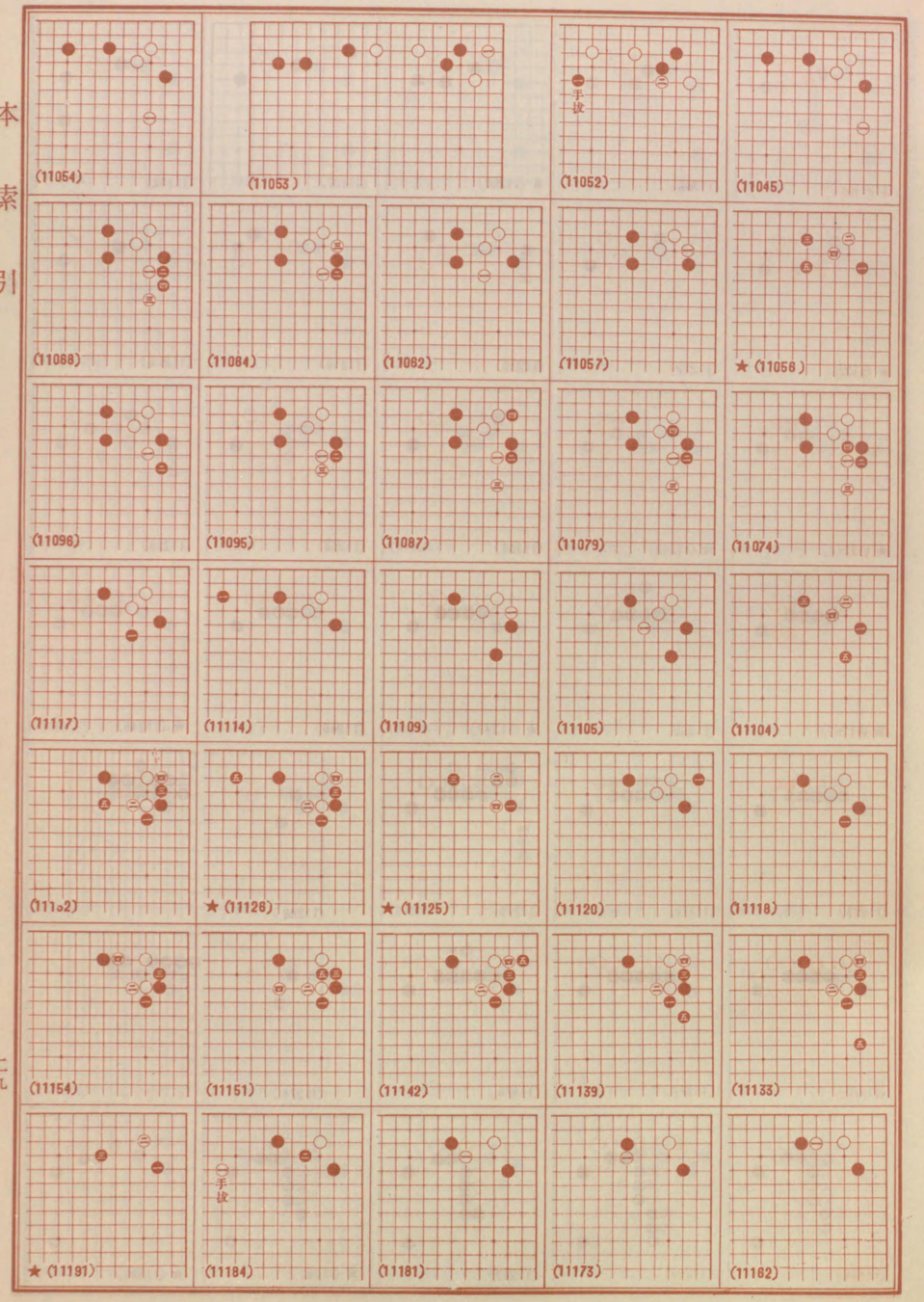

★(10308)
(10305)
(10303)
(10295)
(10285)
(10327)
(10328)
(10321)
(10320)
★(10309)
(10358)
(10352)
(10351)
(10339)
(10337)
(10381)
(10378)
(10371)
(10366)
(10363)
(10393)
(10392)
(10386)
★(10385)
★(10384)
(10415)
(10410)
(10409)
(10398)
(10394)
(10445)
(10434)
(10425)
(10420)
(10419)

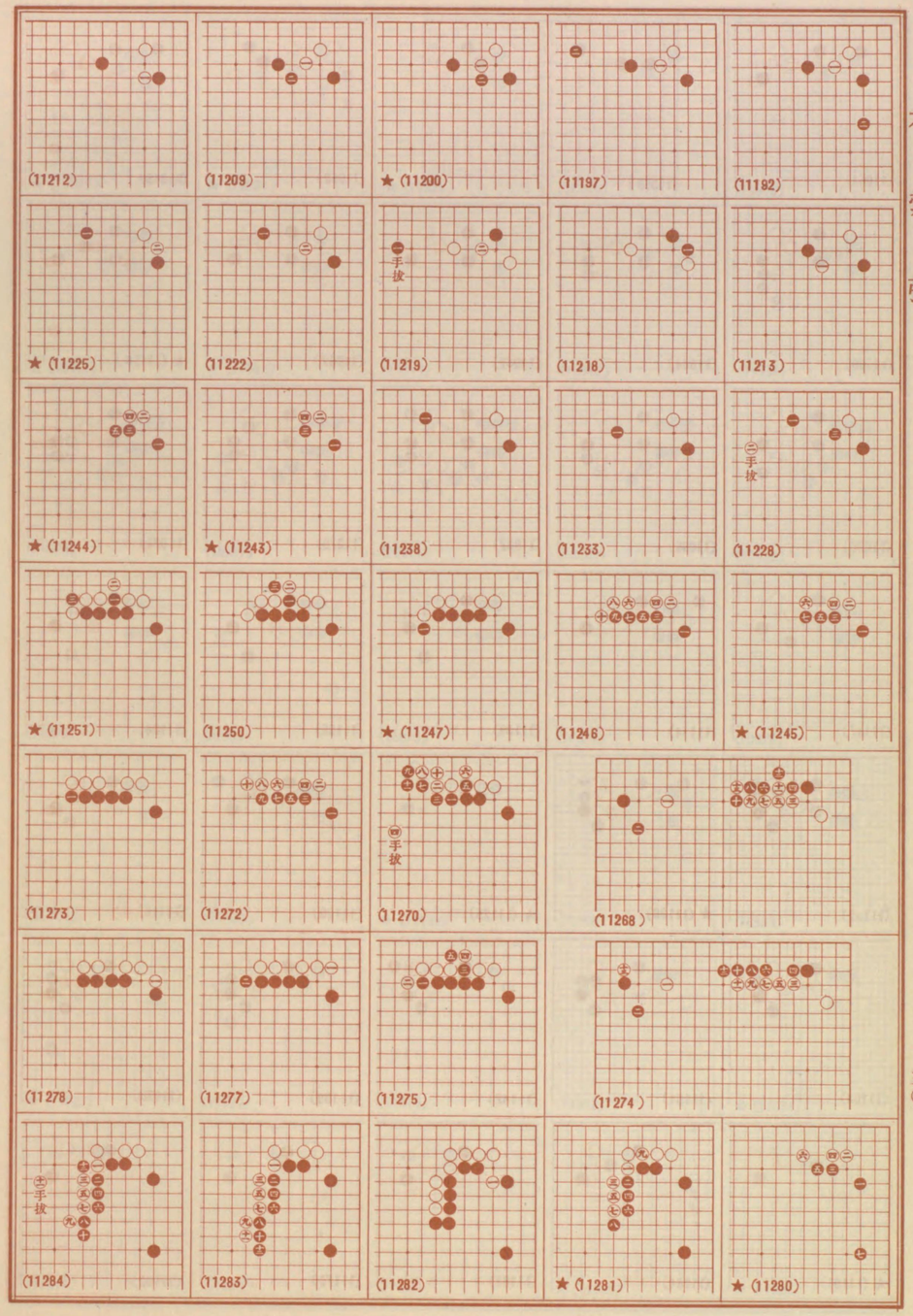

(10451)
(10450)
★(10449)
★(10440)
(10446)
(10491)
(10484)
(10470)
(10485)
(10455)
★(10528)
★(10525)
目外しの先據
(10523)
(10512)
★(10528)
★(10527)
★(10524)
(10535)
(10533)
(10531)
★(10530)
★(10529)
(10563)
(10552)
(10549)
(10543)
(10340)
(10581)
(10578)
★(10577)
(10587)
★(10564)

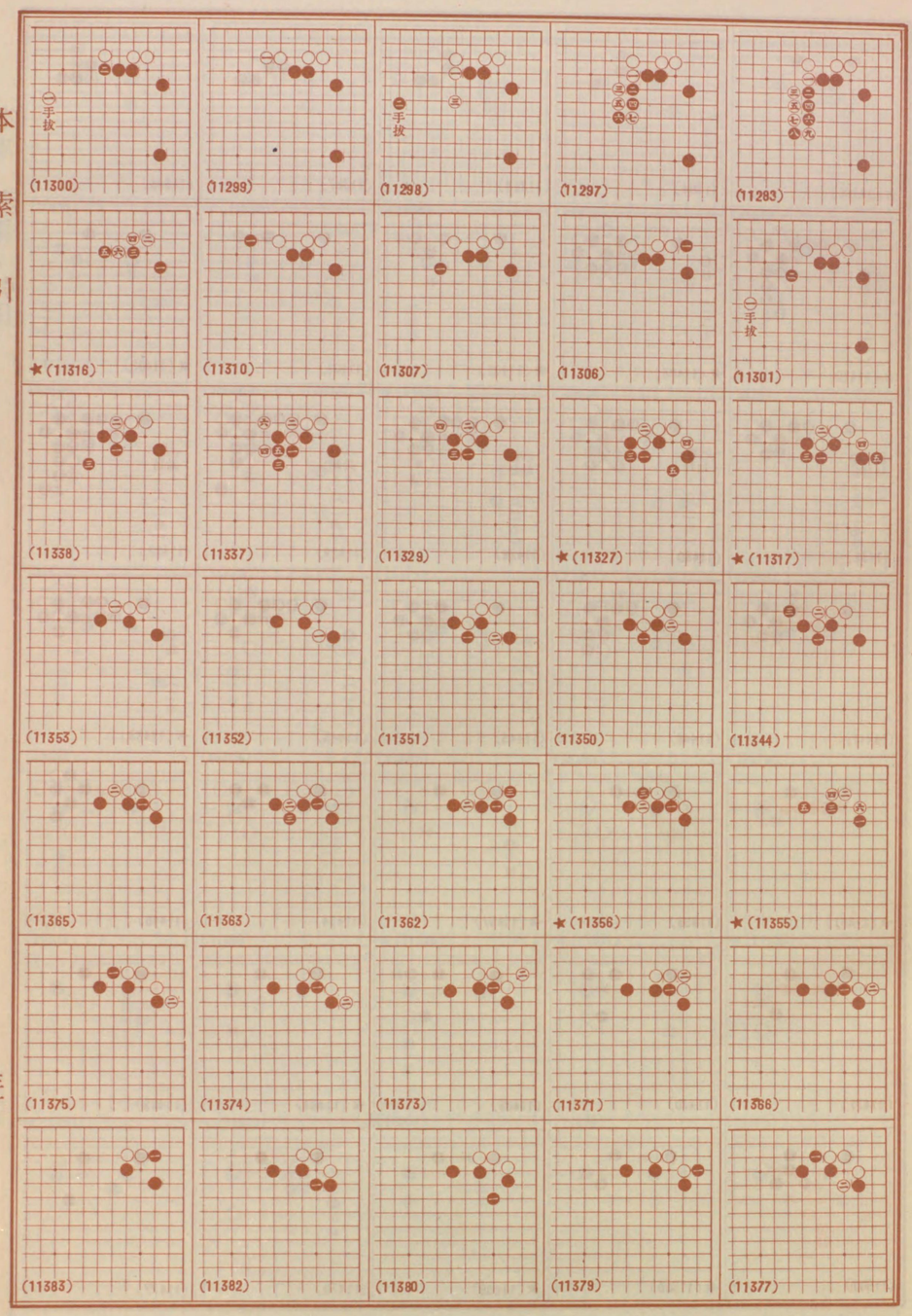

★ (10807)
(10804)
★ (10793)
★ (10792)
★ (10791)
(10826)
★ (10825)
(10818)
(10814)
(10808)
(10848)
(10842)
(10841)
(10840)
(10835)
(10860)
(10859)
(10852)
★ (10851)
★ (10850)
(10878)
★ (10871)
★ (10870)
(10868)
(10862)
(10900)
(10898)
(10894)
(10887)
(10878)
(10915)
(10911)
(10907)
(10905)
(10901)


(10821)
(10802)
★ (10801)
(10597)
(10591)
★ (10658)
(10653)
(10644)
★ (10641)
★ (10634)
★ (10696)
(10689)
(10674)
(10668)
★(10659)
★ (10720)
(10715)
(10710)
(10707)
(10697)
(10735)
(10724)
★ (10723)
★ (10722)
★ (10721)
★ (10774)
★ (10764)
(10757)
★ (10750)
(10738)
(10789)
一手拔
(10781)
一手拔
(10780)
(10776)
★ (10775)


★ (10925)
★ (10924)
★ (10923)
(10919)
(10918)
★ (10954)
★ (10953)
(10944)
(10943)
(10938)
(10974)
(10967)
(10961)
(10959)
(10958)
(10983)
(10980)
(10979)
(10978)
(10976)
(11011)
(11000)
★ (10999)
(10990)
(10989)
★ (11027)
(11020)
(11019)
(11017)
★ (11014)
(11044)
(11039)
(11031)
★ (11029)
★ (11028)


(11054)
(11053)
(11052)
(11045)
(11088)
(11084)
(11082)
(11057)
★ (11056)
(11096)
(11095)
(11087)
(11079)
(11074)
(11117)
(11114)
(11109)
(11105)
(11104)
(11102)
★ (11126)
★ (11125)
(11120)
(11118)
(11154)
(11151)
(11142)
(11139)
(11133)
★ (11191)
(11184)
(11181)
(11173)
(11162)


(11212)
(11209)
★ (11200)
(11197)
(11192)
★ (11225)
(11222)
(11219)
(11218)
(11213)
★ (11244)
★ (11243)
(11238)
(11233)
(11228)
★ (11251)
(11250)
★ (11247)
(11246)
★ (11245)
(11273)
(11272)
(11270)
(11268)
(11278)
(11277)
(11275)
(11274)
(11284)
(11283)
(11282)
★ (11281)
★ (11280)


(11300)
(11299)
(11298)
(11297)
(11283)
★ (11316)
(11310)
(11307)
(11306)
(11301)
(11338)
(11337)
(11329)
★ (11327)
★ (11317)
(11353)
(11352)
(11351)
(11350)
(11344)
(11365)
(11363)
(11362)
★ (11356)
★ (11355)
(11375)
(11374)
(11373)
(11371)
(11366)
(11383)
(11382)
(11380)
(11379)
(11377)

(11521) ★(11520) (11518) (11511) (11510)

白二で④または⑤ (11545) (11540) ★(11539) ①手抜 (11532) (11523)

(11574) (11572) (11571) (11584) (11559)

①手抜 (11587) ①手抜 (11585) (11582) (11580) (11575)

①手抜 (11603) (11599) ★(11598) ★(11591) ★(11590)

★(11611) ★(11610) ①手抜 (11607) (11608) (11605)

★(11631) ★(11630) (11619) (11618) (11617)

★(11399) ①手抜 (11394) (11393) (11387) (11388)

八劫トル(二右) ★(11410) 八劫トル(二右) ★(11403) ★(11402) (11401) ★(11400)

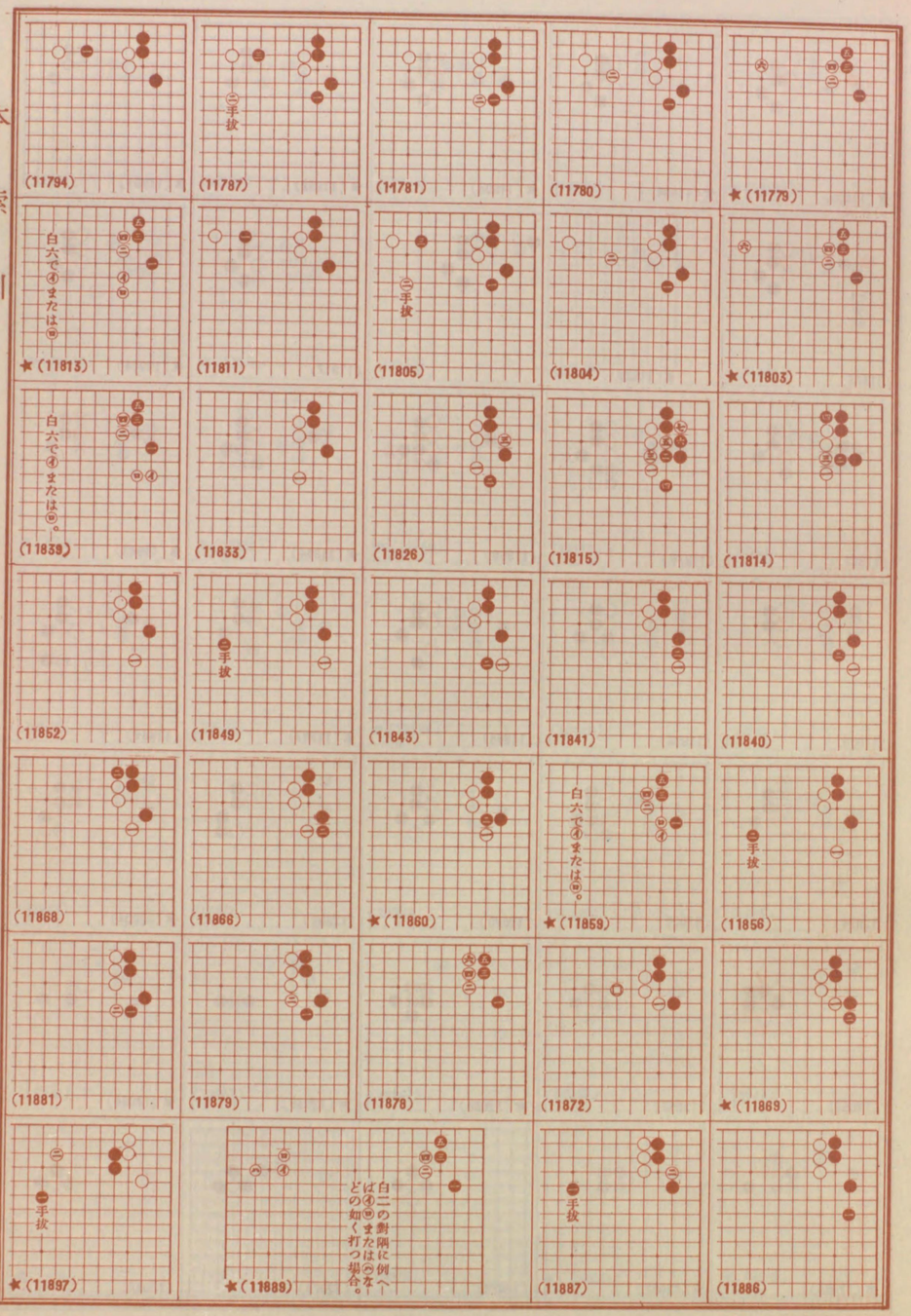
八劫トル(二右) (11432) 八劫トル(二右) (11430) 八劫トル(二右) (11426) 八劫トル(二右) (11424) 八劫トル(二右) (11422)

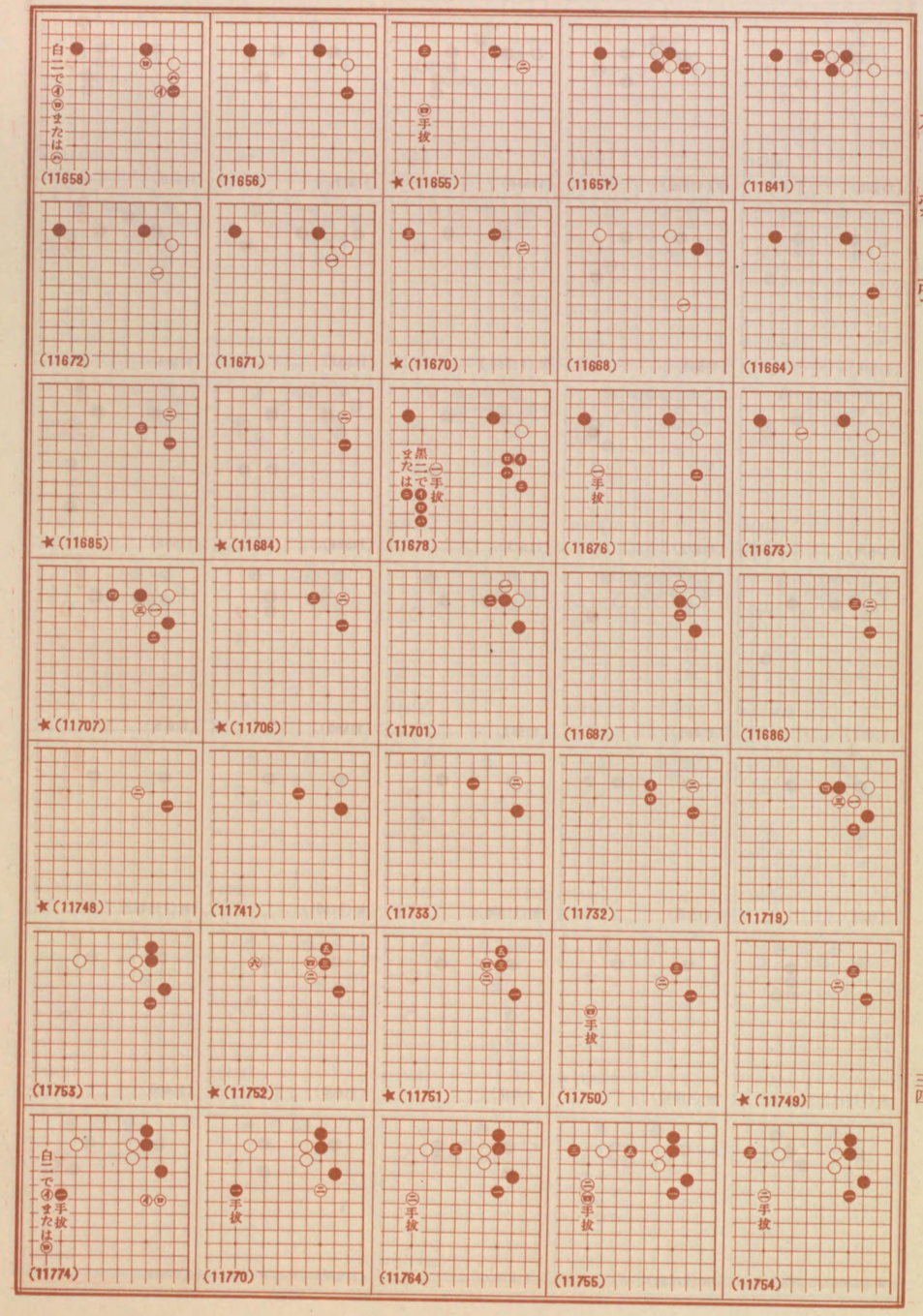
(11447) (11446) ツグ(二右) (11445) 八劫トル(二右) (11443) 八劫トル(二右) ★(11433)

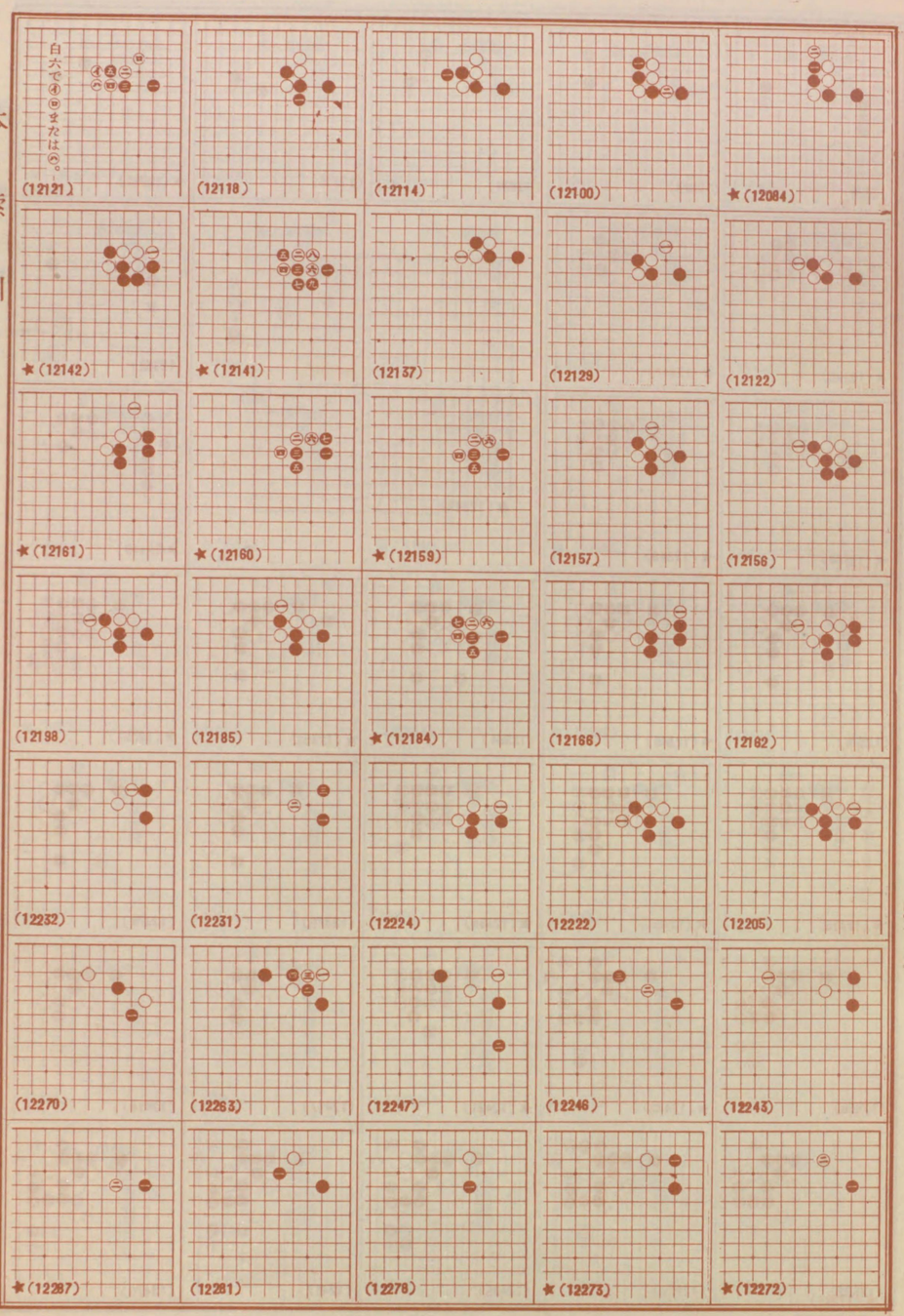
★(11461) (11458) ①手抜 ★(11457) (11454) (11448)

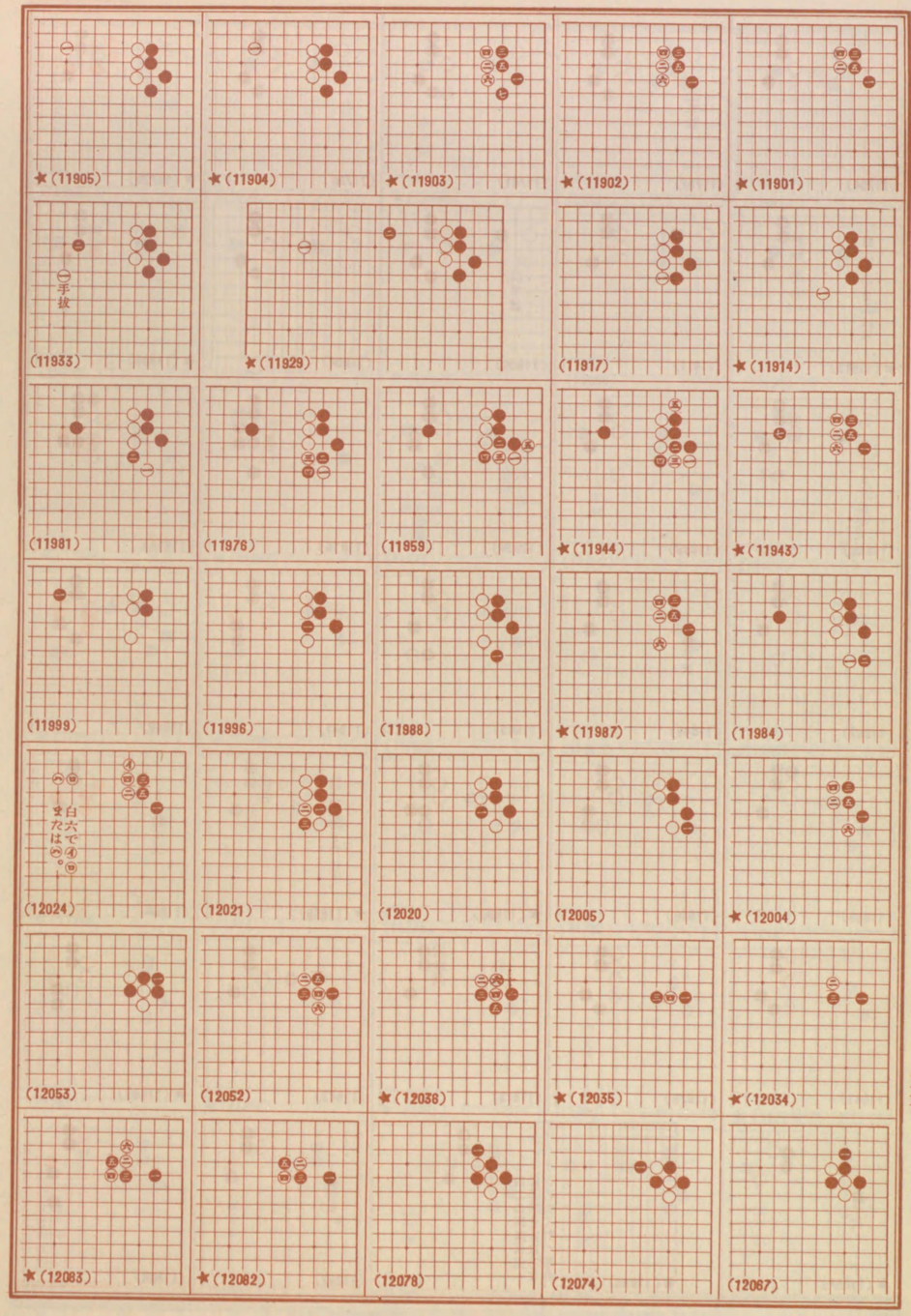
(11471) (11470) (11465) ★(11464) (11462)

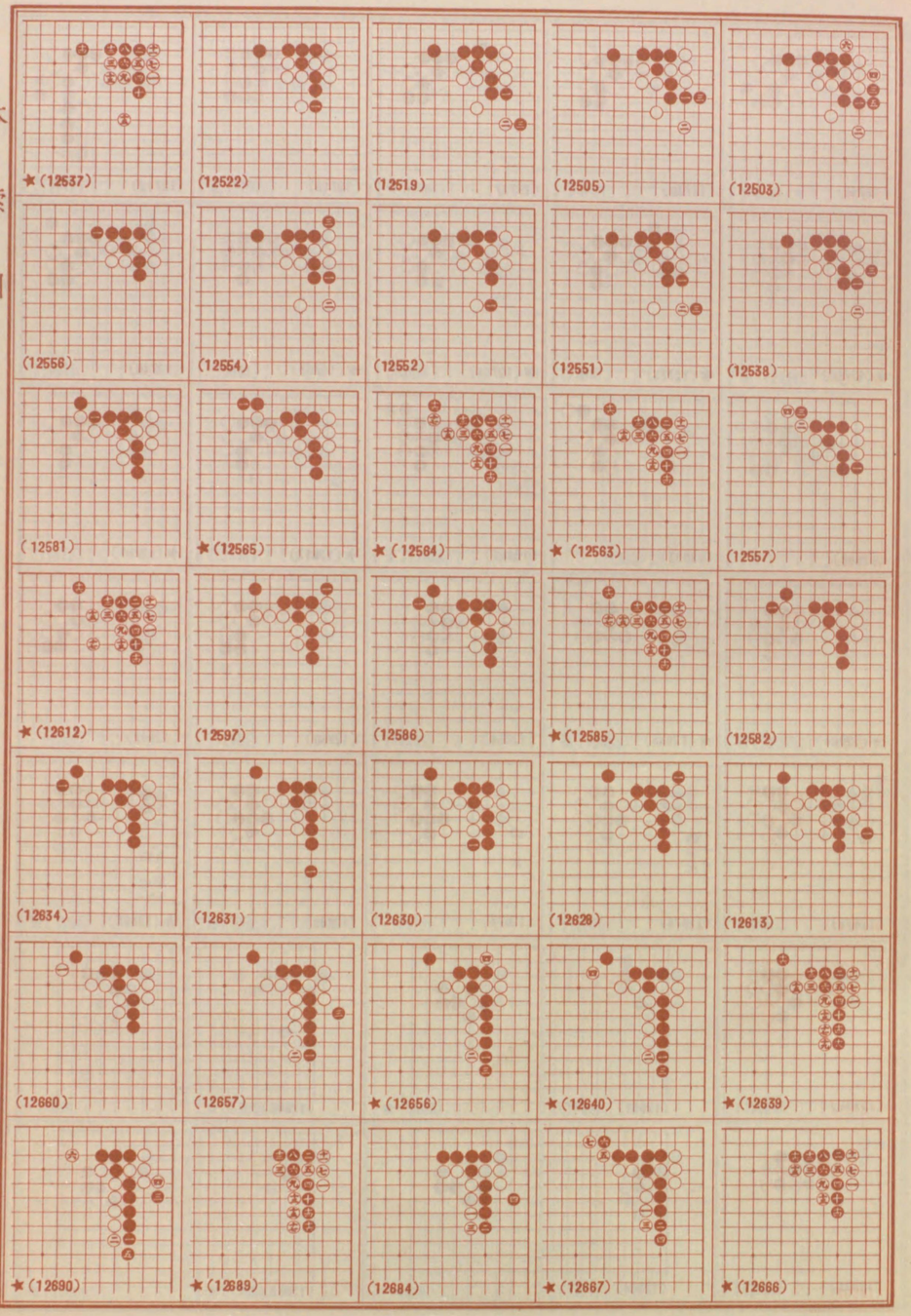
(11501) ★(11500) ★(11499) ①手抜 (11479) (11477)

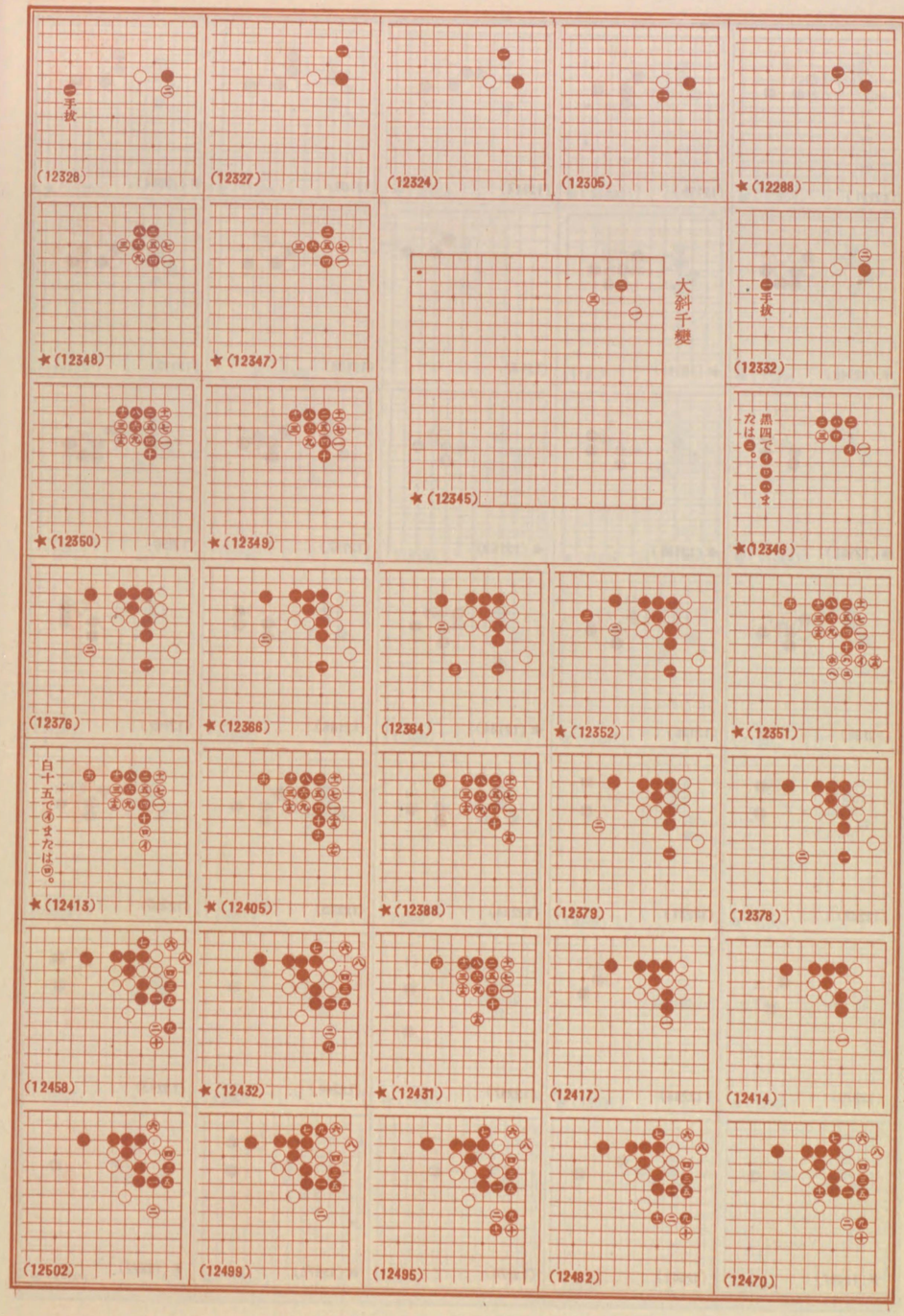

(11794)
(11787)
二手抜
(11781)
(11780)
★(11779)
白六で㋑または㋺。
★(11813)
(11811)
(11805)
二手抜
(11804)
★(11803)
白六で㋑または㋺。
(11838)
(11833)
(11826)
(11815)
(11814)
(11852)
(11849)
二手抜
(11843)
(11841)
(11840)
(11868)
(11866)
★(11860)
白六で㋑または㋺。
★(11859)
一手抜
(11856)
(11881)
(11879)
(11878)
(11872)
★(11869)
一手抜
★(11897)
白二の劫隅に例へば㋑㋺または㋩をどの如く打つ場合。
★(11889)
一手抜
(11887)
(11886)

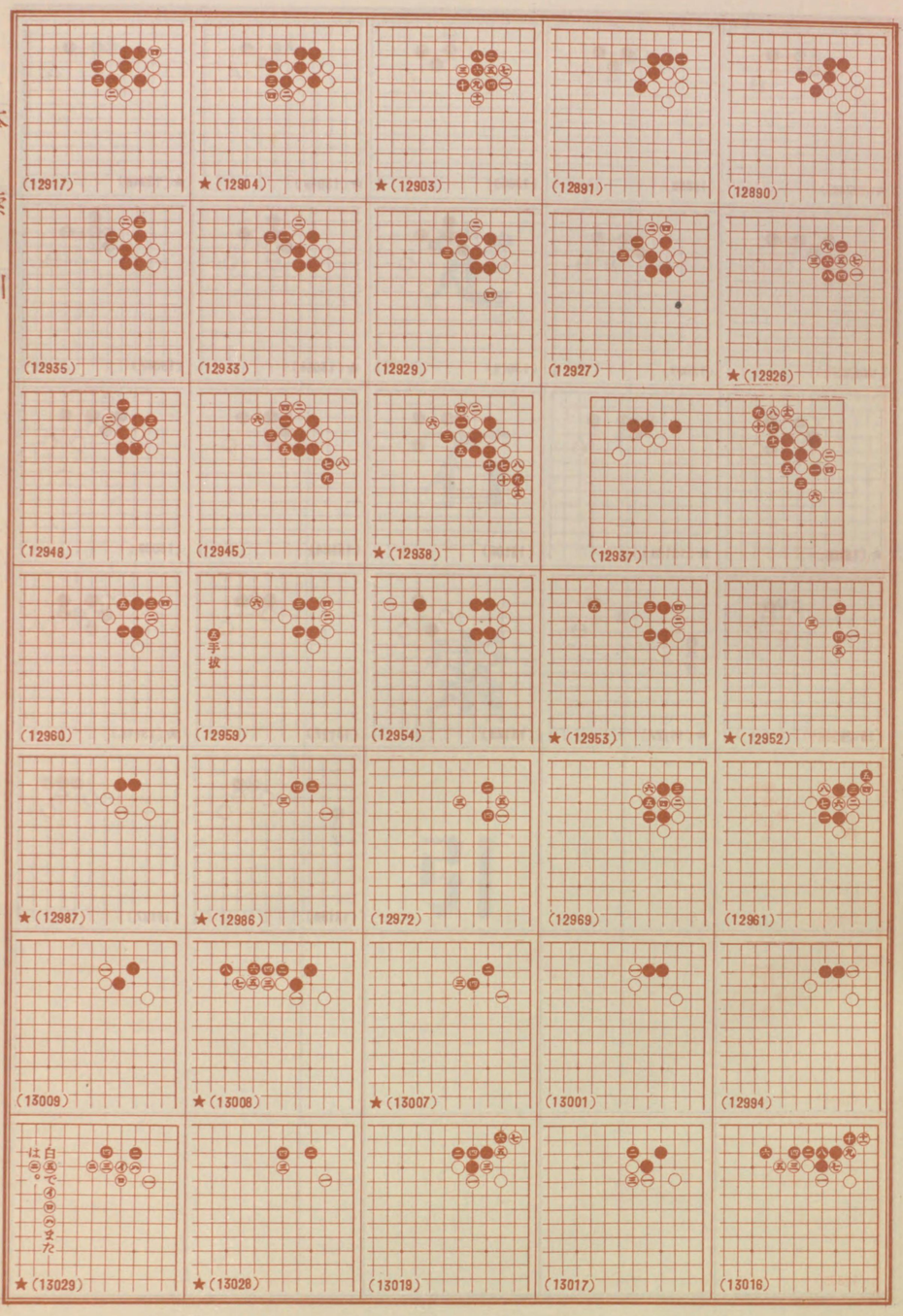

白二で㋑㋺または㋩
(11658)
(11656)
四手抜
★(11655)
(11651)
(11641)
(11672)
(11671)
★(11670)
(11668)
(11664)
★(11685)
★(11684)
黒二で㋑または㋩
二手抜
(11678)
二手抜
(11676)
(11673)
★(11707)
★(11706)
(11701)
(11687)
(11686)
★(11748)
(11741)
(11733)
(11732)
(11719)
(11753)
★(11752)
★(11751)
四手抜
(11750)
★(11749)
白二で㋑または㋺
一手抜
(11774)
一手抜
(11770)
二手抜
(11764)
二手抜
(11755)
二手抜
(11754)

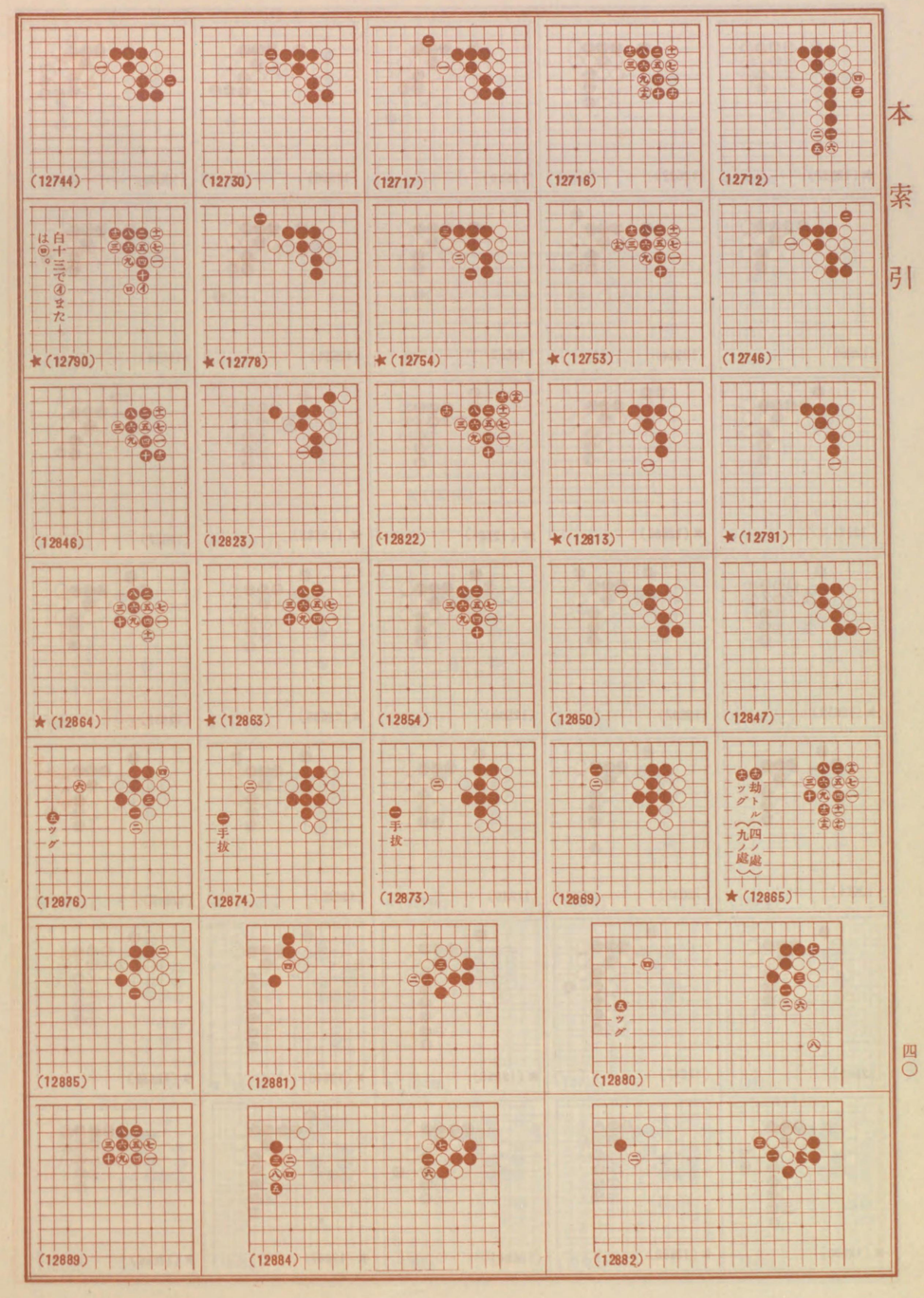

白六で④またはへ。
(12121)
(12118)
(12114)
(12100)
★(12084)
★(12142)
★(12141)
(12137)
(12129)
(12122)
★(12161)
★(12160)
★(12159)
(12157)
(12156)
(12198)
(12185)
★(12184)
(12166)
(12162)
(12232)
(12231)
(12224)
(12222)
(12205)
(12270)
(12263)
(12247)
(12246)
(12243)
★(12287)
(12281)
(12278)
★(12273)
★(12272)


★(11905)
★(11904)
★(11903)
★(11902)
★(11901)
(一)手抜
(11933)
★(11929)
(11917)
★(11914)
(11981)
(11976)
(11959)
★(11944)
★(11943)
(11999)
(11996)
(11988)
★(11987)
(11984)
白六でまたは。
(12024)
(12021)
(12020)
(12005)
★(12004)
(12053)
(12052)
★(12038)
★(12035)
★(12034)
★(12083)
★(12082)
(12078)
(12074)
(12067)

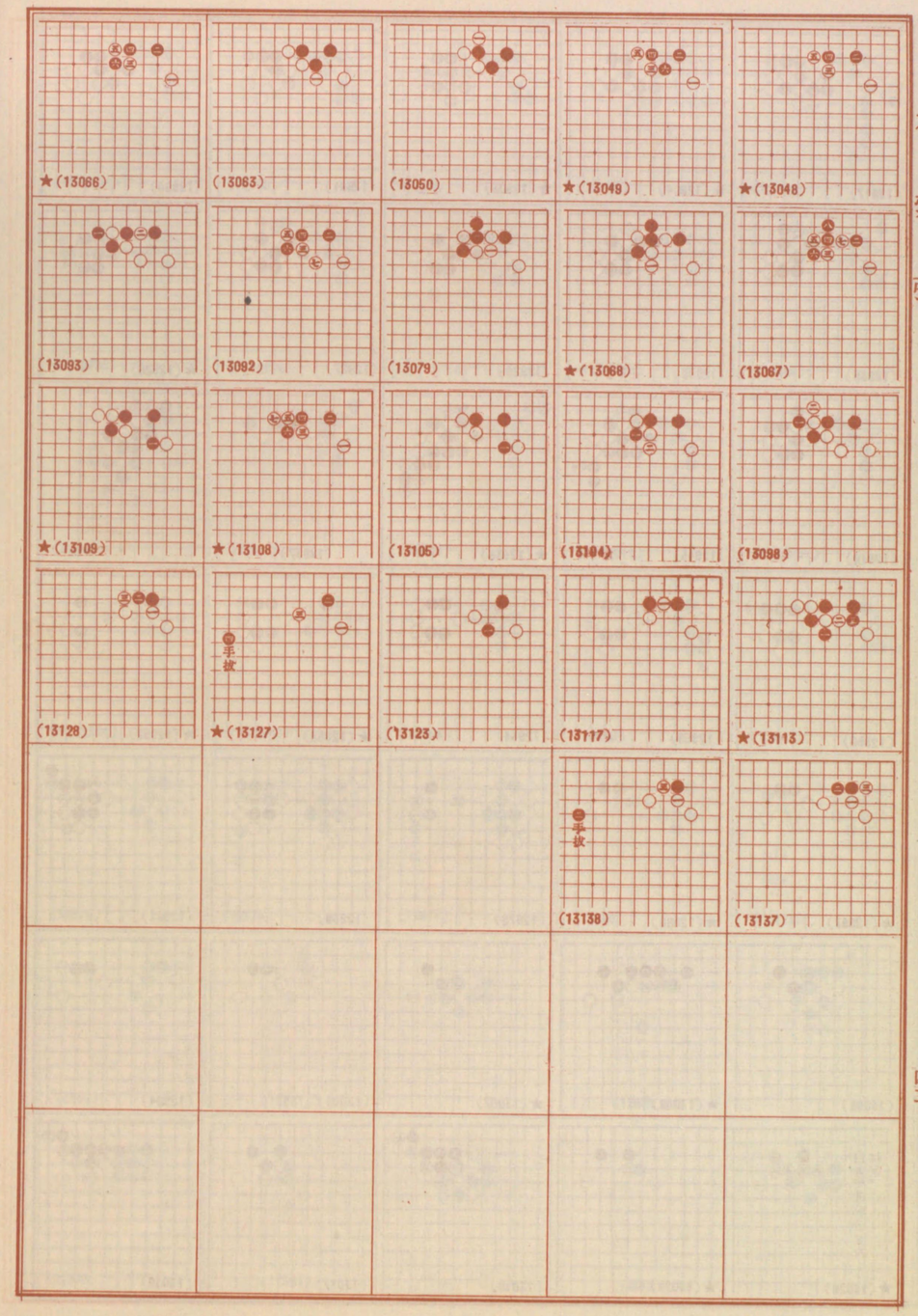

★(12537)
(12522)
(12519)
(12505)
(12503)
(12558)
(12554)
(12552)
(12551)
(12538)
(12581)
★(12565)
★(12584)
★(12583)
(12557)
★(12612)
(12597)
(12586)
★(12585)
(12582)
(12634)
(12631)
(12630)
(12628)
(12613)
(12660)
(12657)
★(12656)
★(12640)
★(12639)
★(12690)
★(12689)
(12684)
★(12667)
★(12666)

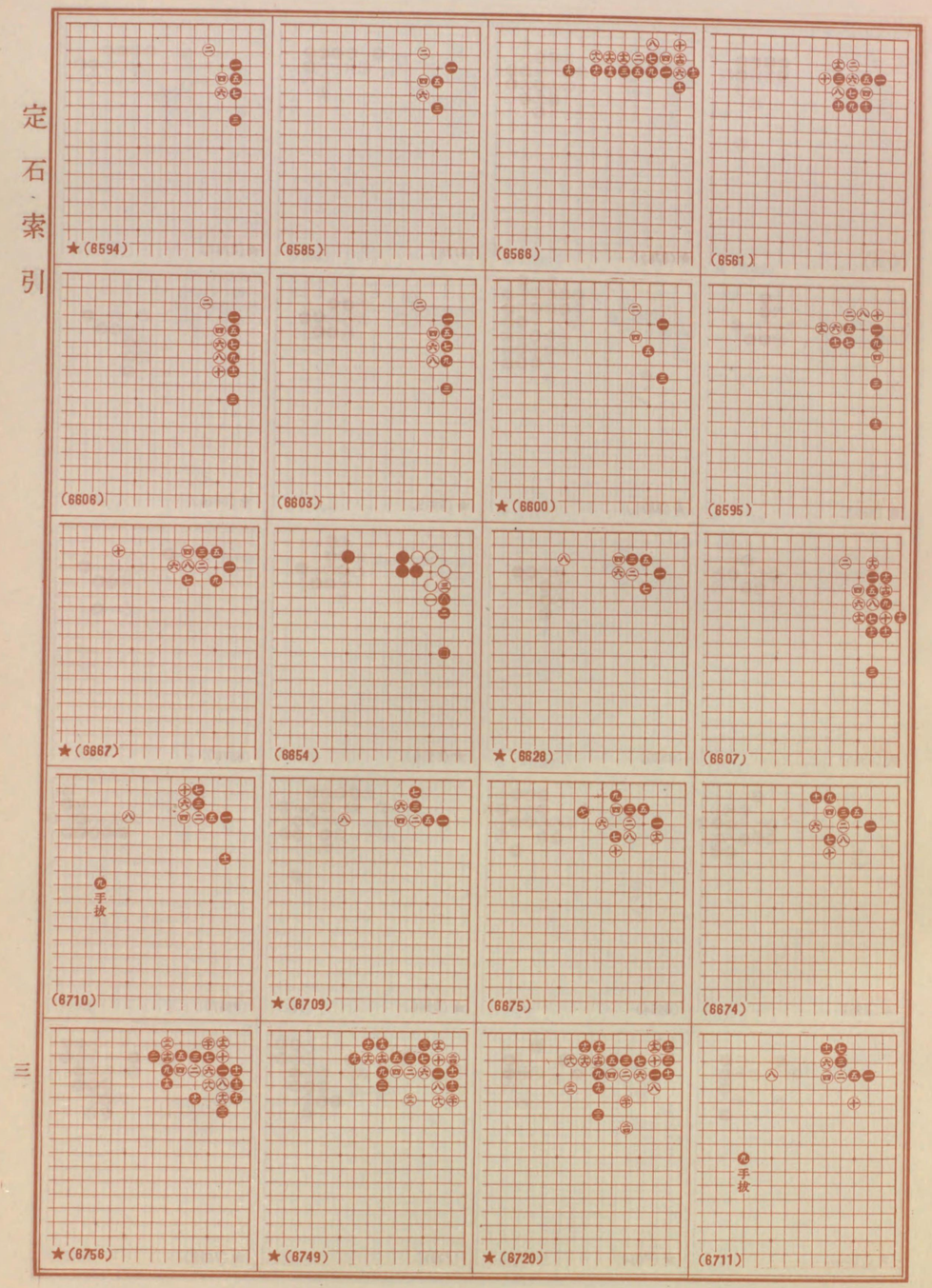

一手抜
(12328)
(12327)
(12324)
(12305)
★(12288)
★(12348)
★(12347)
大斜千變
★(12345)
一手抜
(12332)
黒四でなければ●。
★(12346)
★(12350)
★(12349)
(12376)
★(12366)
(12364)
★(12352)
★(12351)
白十五で㋑または㋺。
★(12413)
★(12405)
★(12388)
(12379)
(12378)
(12458)
★(12432)
★(12431)
(12417)
(12414)
(12502)
(12499)
(12495)
(12482)
(12470)

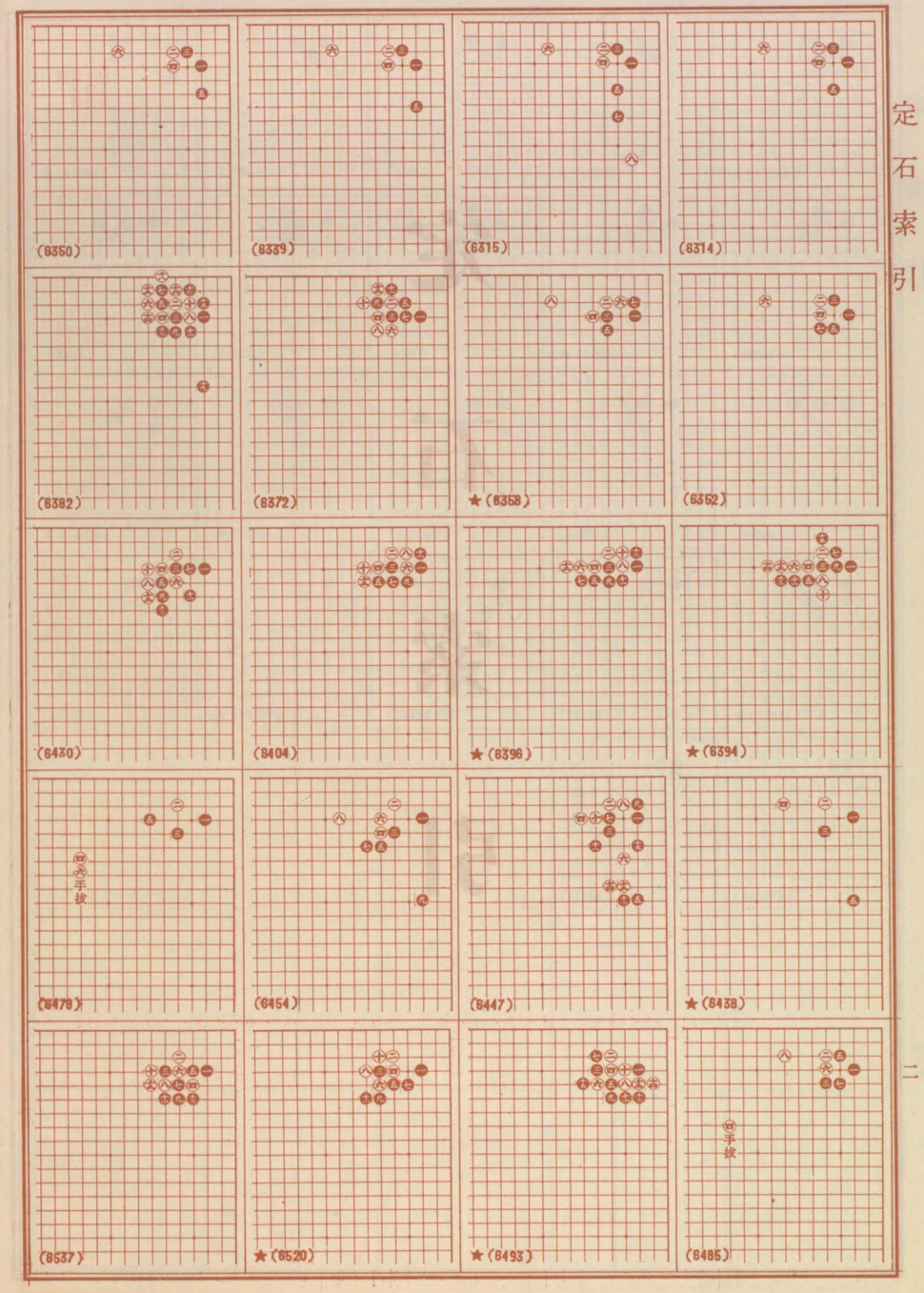

(12917)
★(12904)
★(12903)
(12891)
(12890)
(12935)
(12933)
(12929)
(12927)
★(12926)
(12948)
(12945)
★(12938)
(12937)
(12960)
(12959)
(12954)
★(12953)
★(12952)
★(12987)
★(12986)
(12972)
(12969)
(12961)
(13009)
★(13008)
★(13007)
(13001)
(12994)
白五でイ㊃へ立たは㊂。
★(13029)
★(13028)
(13019)
(13017)
(13016)

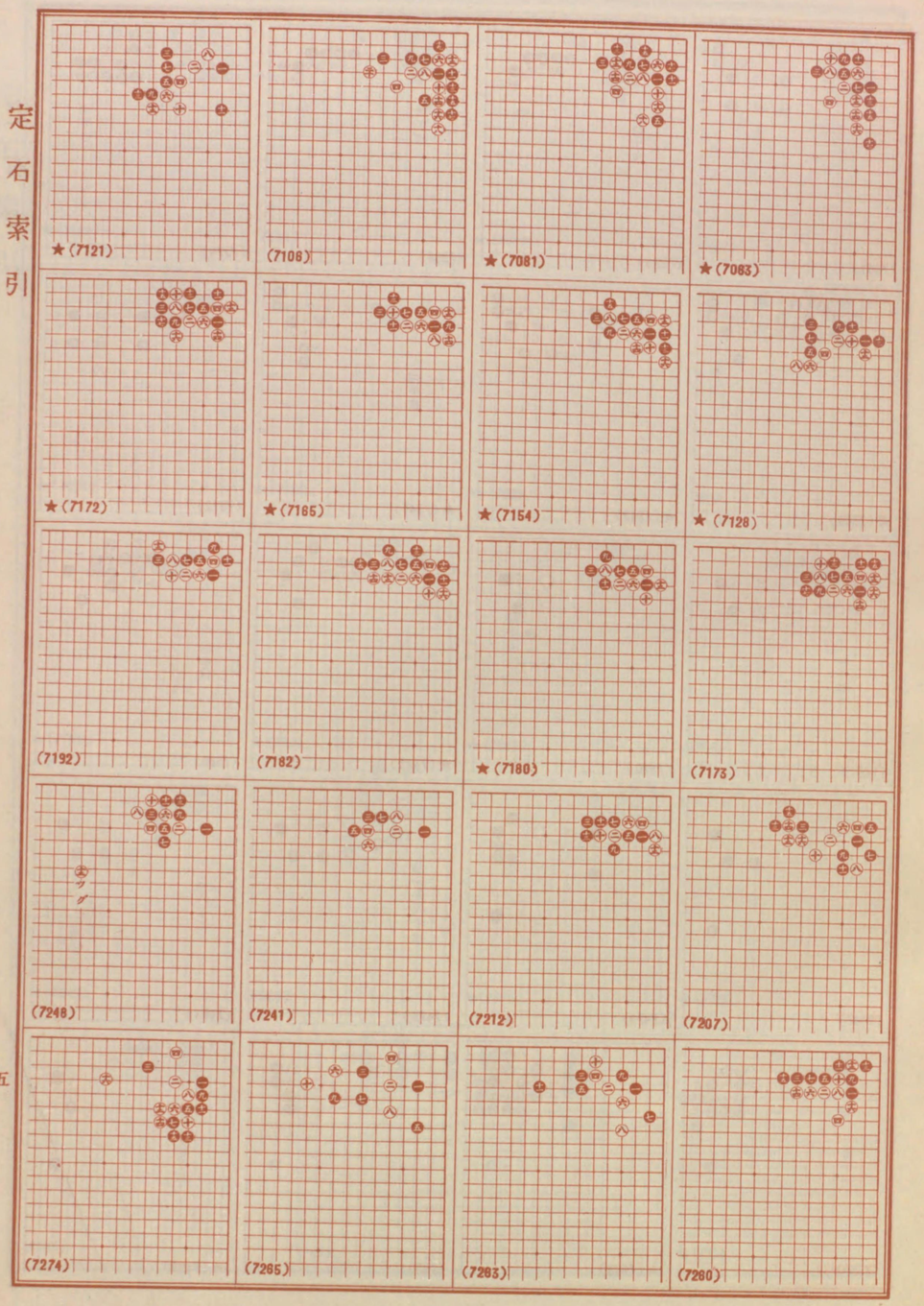

(12744)
(12730)
(12717)
(12716)
(12712)
白十三でイ立たは㊂。
★(12790)
★(12778)
★(12754)
★(12753)
(12746)
(12846)
(12823)
(12822)
★(12813)
★(12791)
★(12864)
★(12863)
(12854)
(12850)
(12847)
(12876)
(12874)
(12873)
(12869)
★(12865)
(12885)
(12881)
(12880)
(12889)
(12884)
(12882)

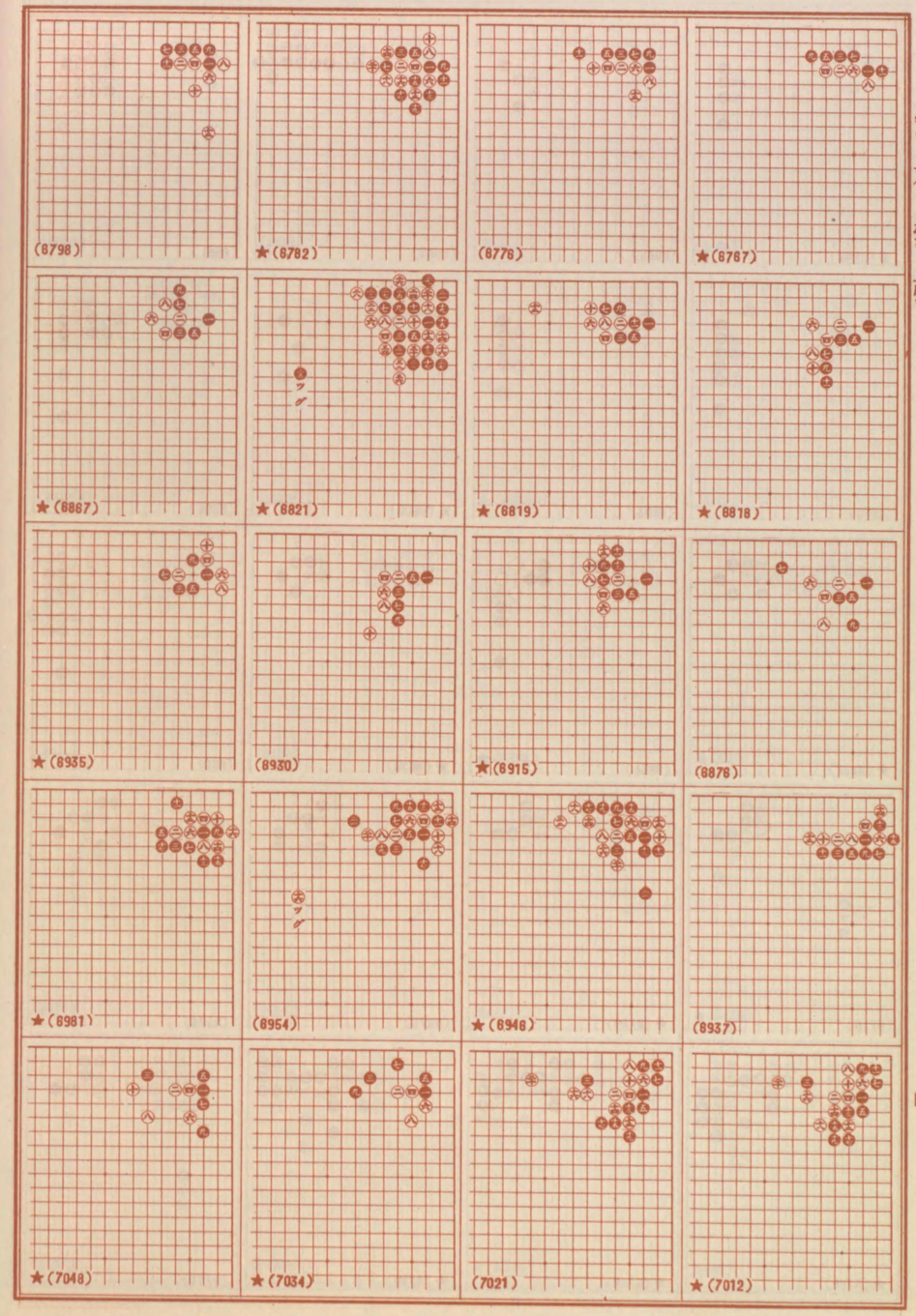
定石索引

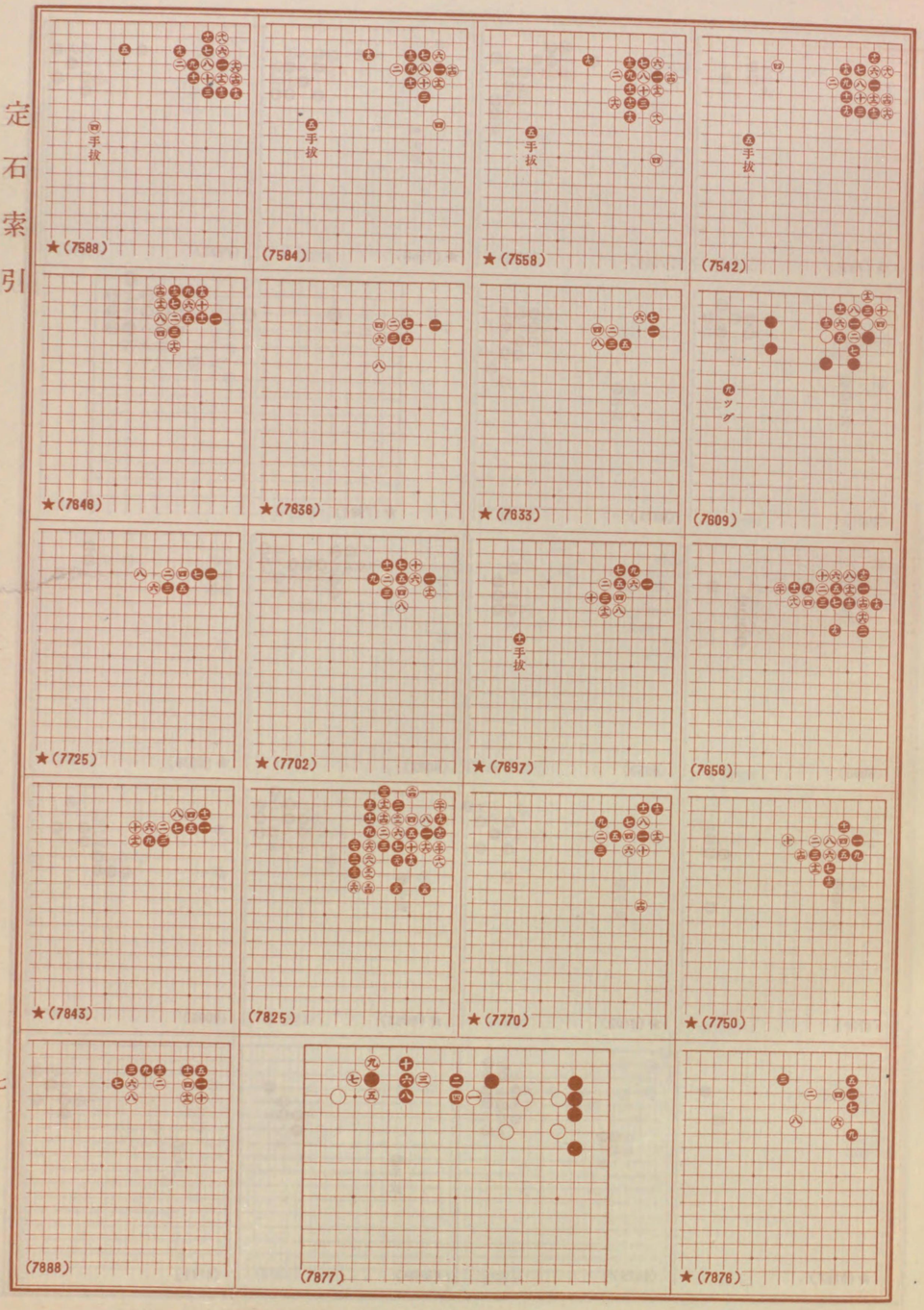

★(13066)
(13063)
(13050)
★(13049)
★(13048)
(13093)
(13092)
(13079)
★(13068)
(13067)
★(13109)
★(13108)
(13105)
(13104)
(13098)
(13128)
★(13127)
(13123)
(13117)
★(13113)
(13138)
(13137)

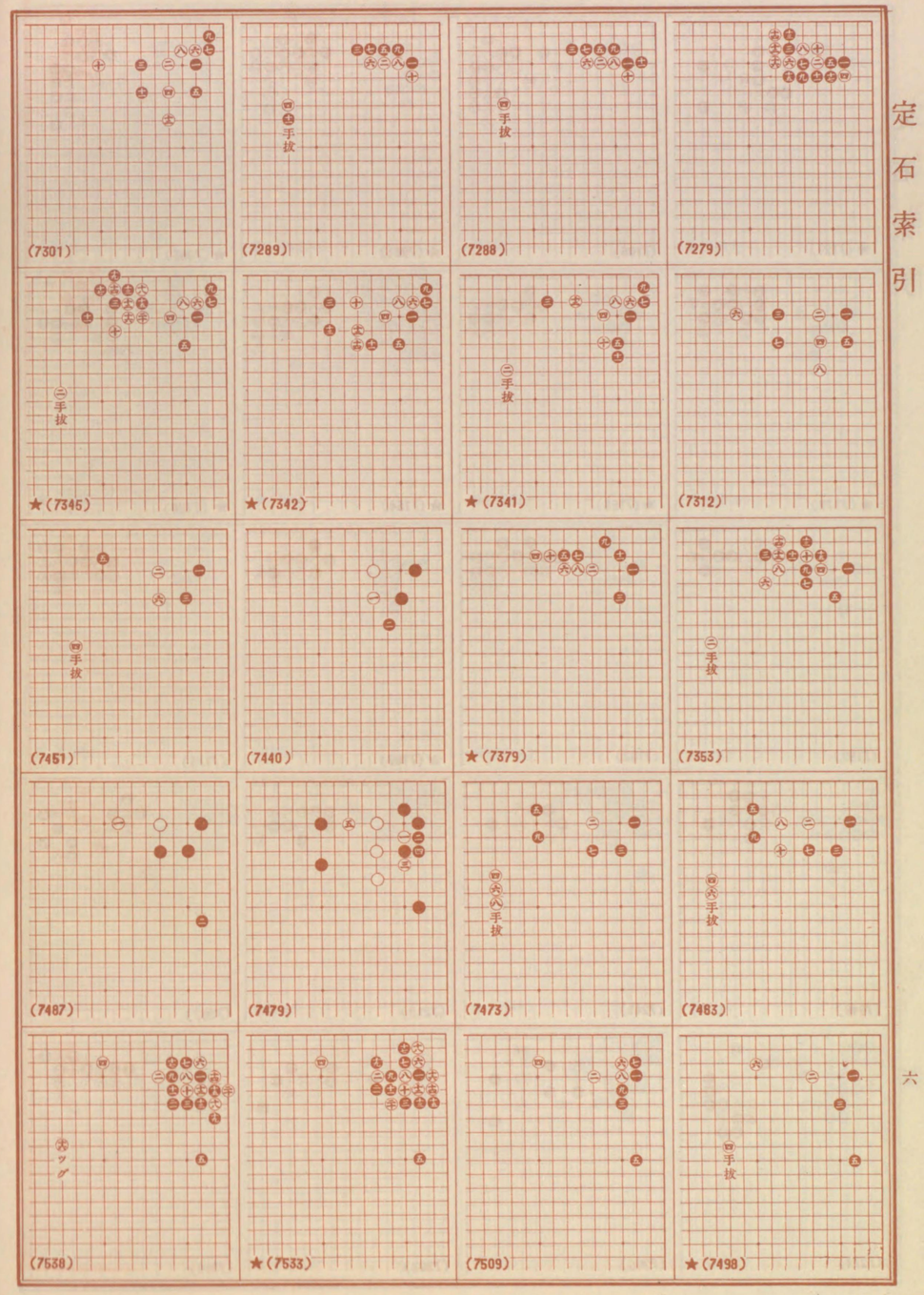

★(8594)
(8585)
(8588)
(8581)
(8608)
(8603)
★(8600)
(8595)
★(8867)
(8854)
★(8828)
(8807)
手抜
(8710)
★(8709)
(8675)
(8674)
★(8758)
★(8749)
★(8720)
手抜
(8711)

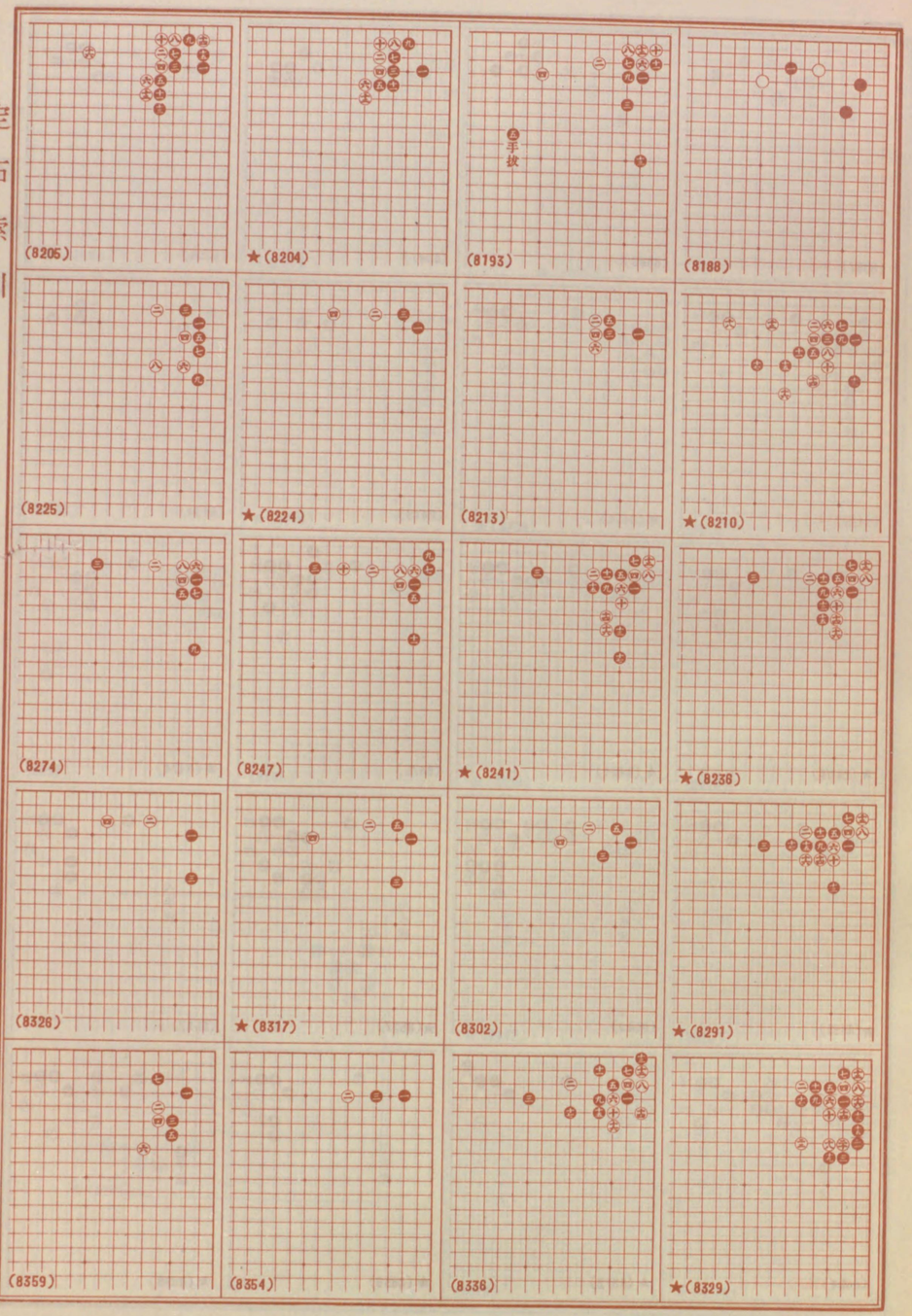

(8350)
(8339)
(8315)
(8314)
(8382)
(8372)
★(8358)
(8352)
(8430)
(8404)
★(8398)
★(8394)
手抜
(8478)
(8454)
(8447)
★(8438)
(8537)
★(8520)
★(8493)
手抜
(8485)

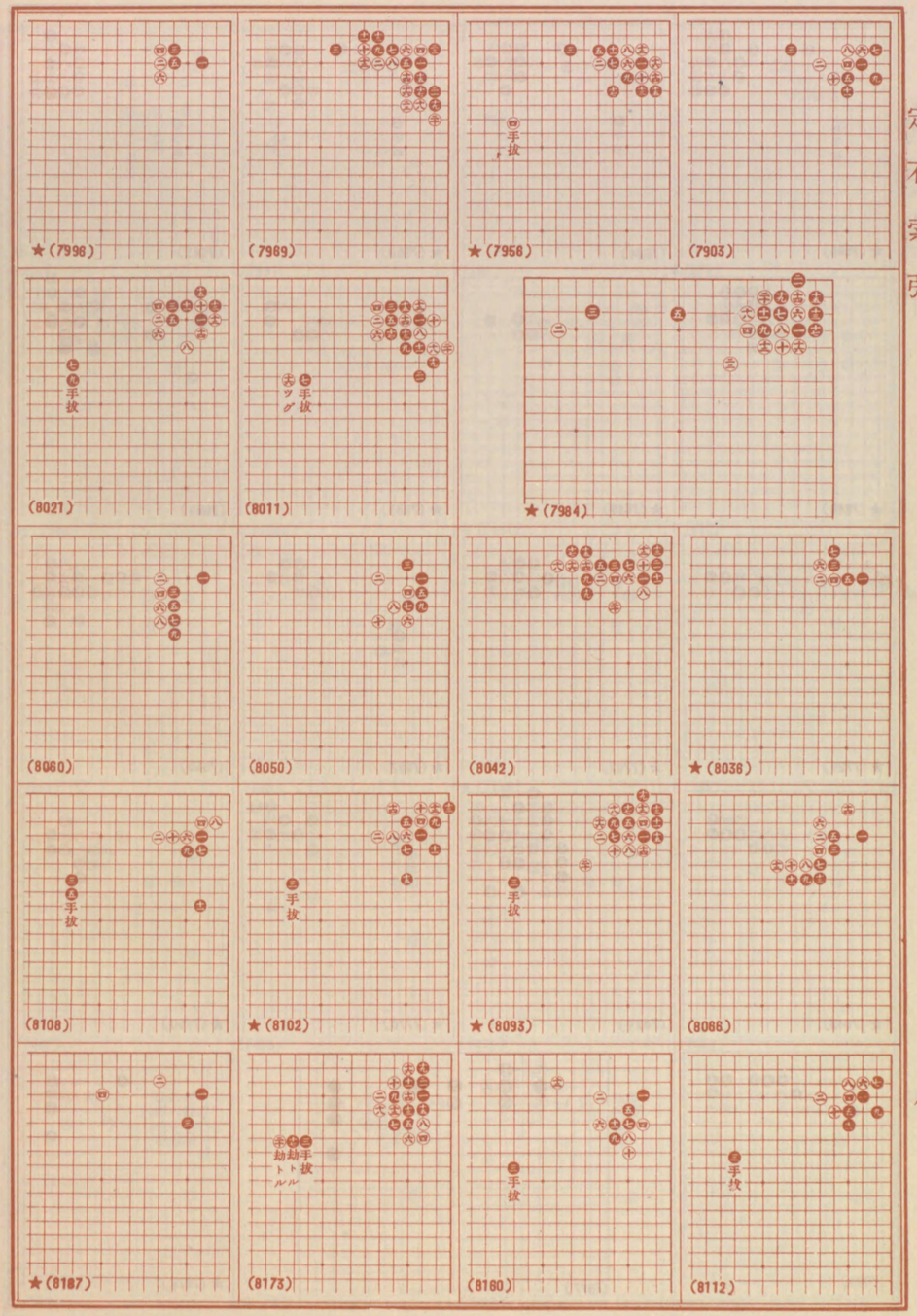

★(7121)
(7108)
★(7081)
★(7063)
★(7172)
★(7165)
★(7154)
★(7128)
(7192)
(7182)
★(7180)
(7173)
(7248)
(7241)
(7212)
(7207)
(7274)
(7265)
(7263)
(7260)

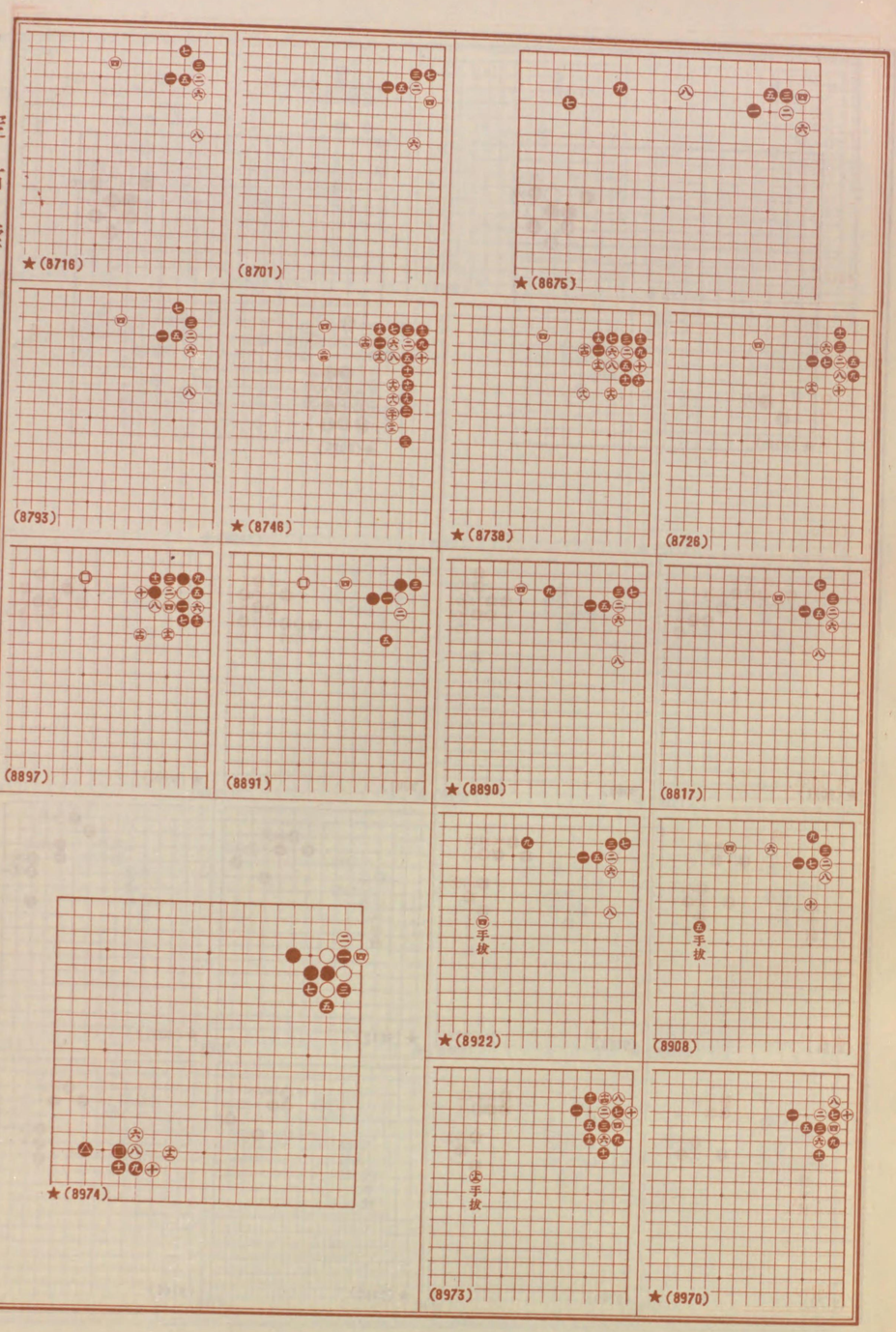

(8798)
★(8782)
(8778)
★(8767)
★(8887)
★(8821)
★(8819)
★(8818)
★(8935)
(8930)
★(8915)
(8876)
★(8981)
(8954)
★(8948)
(8937)
★(7048)
★(7034)
(7021)
★(7012)

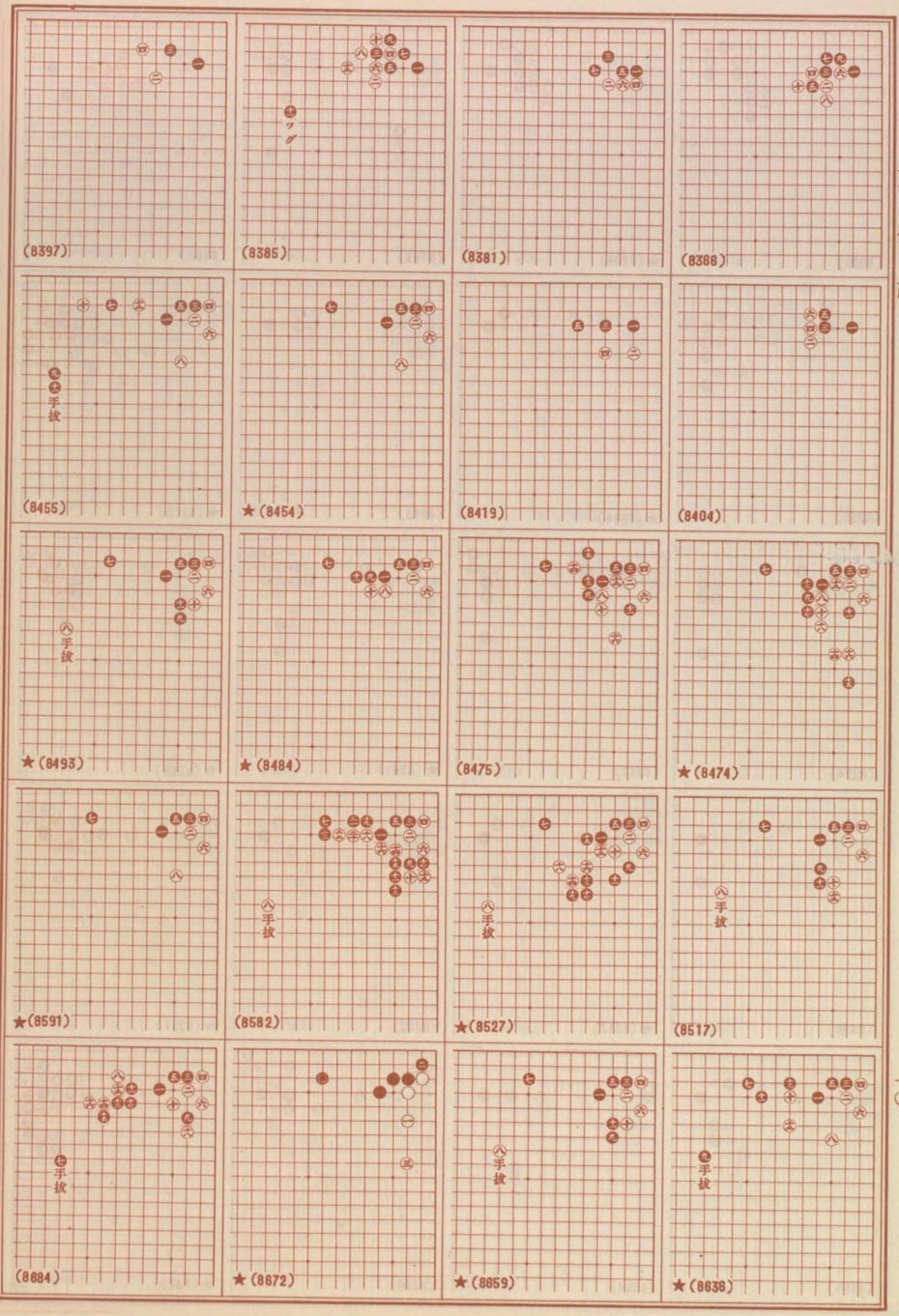

★(7588)
(7584)
★(7558)
(7542)
★(7848)
★(7838)
★(7833)
(7809)
★(7725)
★(7702)
★(7897)
(7858)
★(7843)
(7825)
★(7770)
★(7750)
(7888)
(7877)
★(7878)

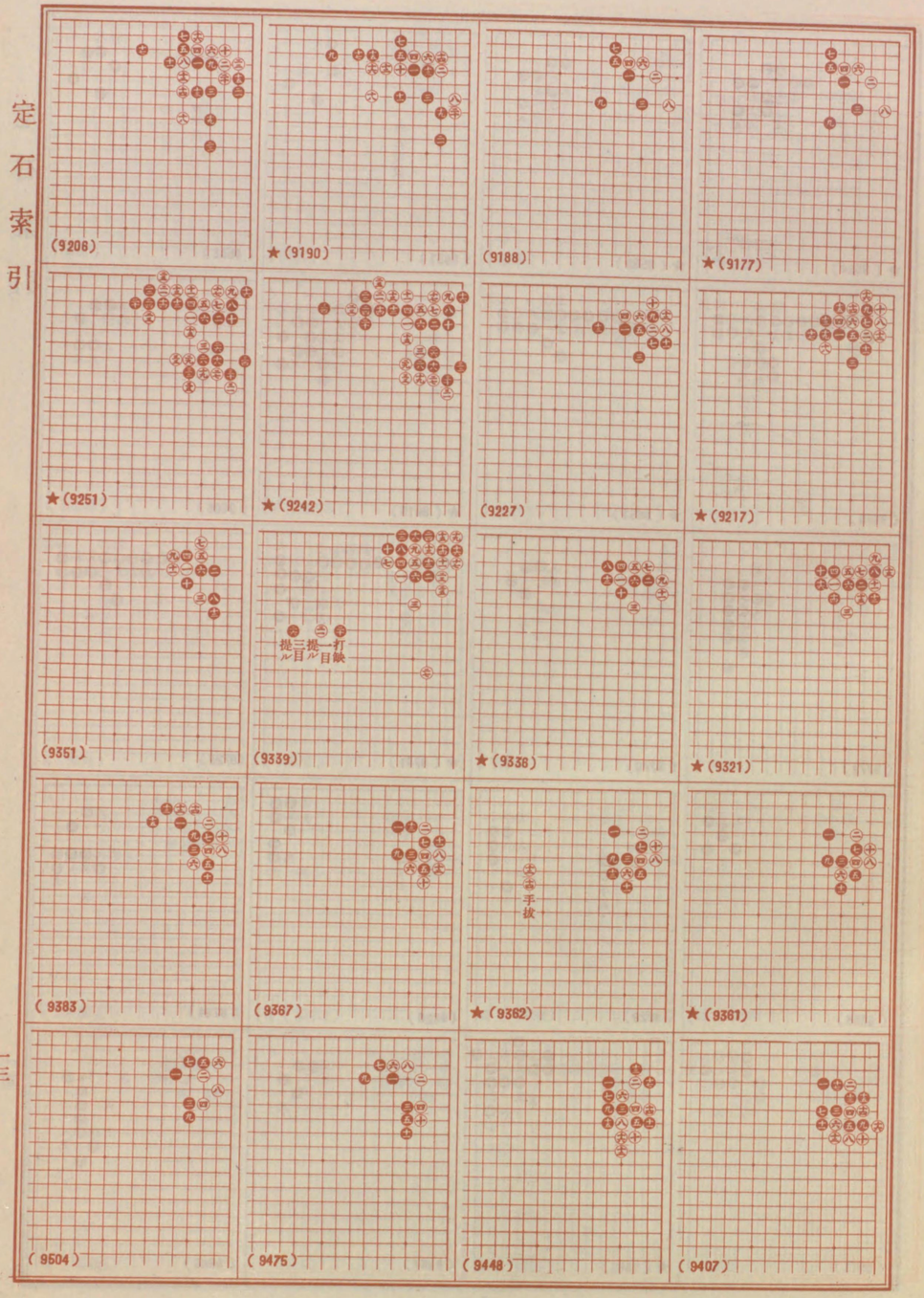

(7301)
(7289)
(7288)
(7279)
★(7345)
★(7342)
★(7341)
(7312)
(7451)
(7440)
★(7379)
(7353)
(7487)
(7479)
(7473)
(7483)
(7538)
★(7533)
(7509)
★(7498)

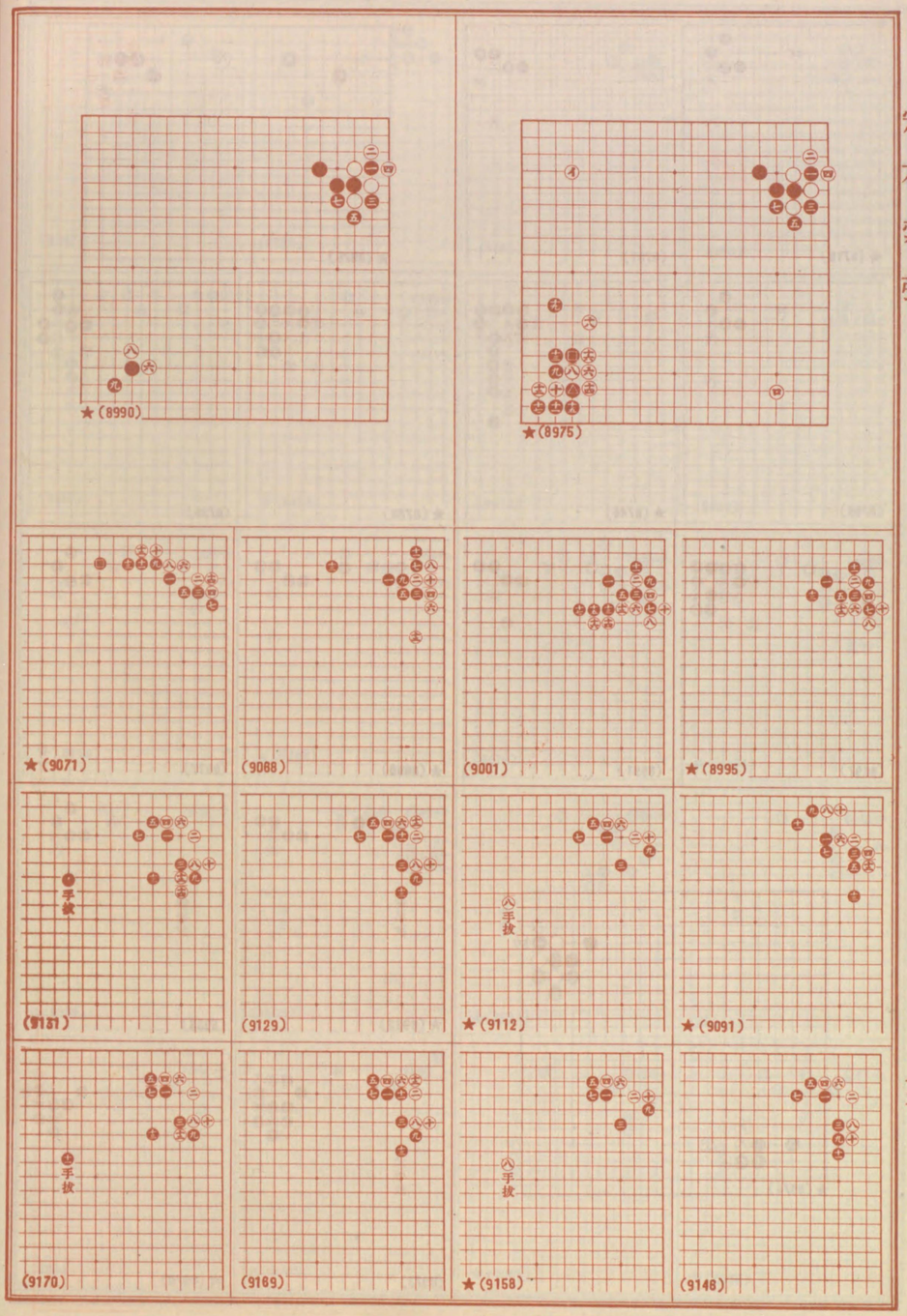

(8205)
★(8204)
(8193)
(8188)
(8225)
★(8224)
(8213)
★(8210)
(8274)
(8247)
★(8241)
★(8236)
(8326)
★(8317)
(8302)
★(8291)
(8359)
(8354)
(8336)
★(8329)

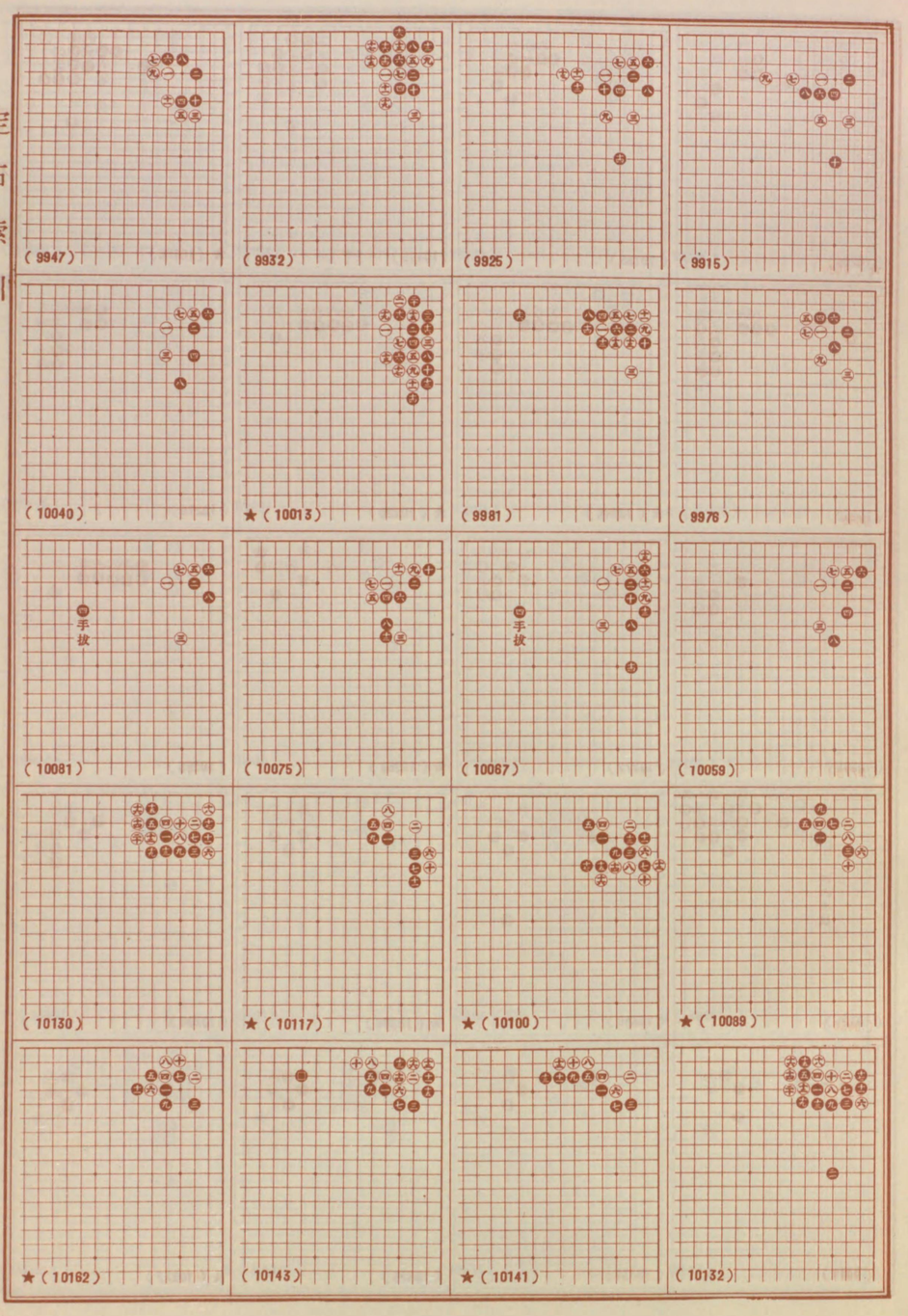

★(7998)
(7989)
(7958)
(7903)
(8021)
(8011)
★(7984)
(8060)
(8050)
(8042)
★(8038)
(8108)
★(8102)
★(8093)
(8068)
★(8187)
(8173)
(8160)
(8112)

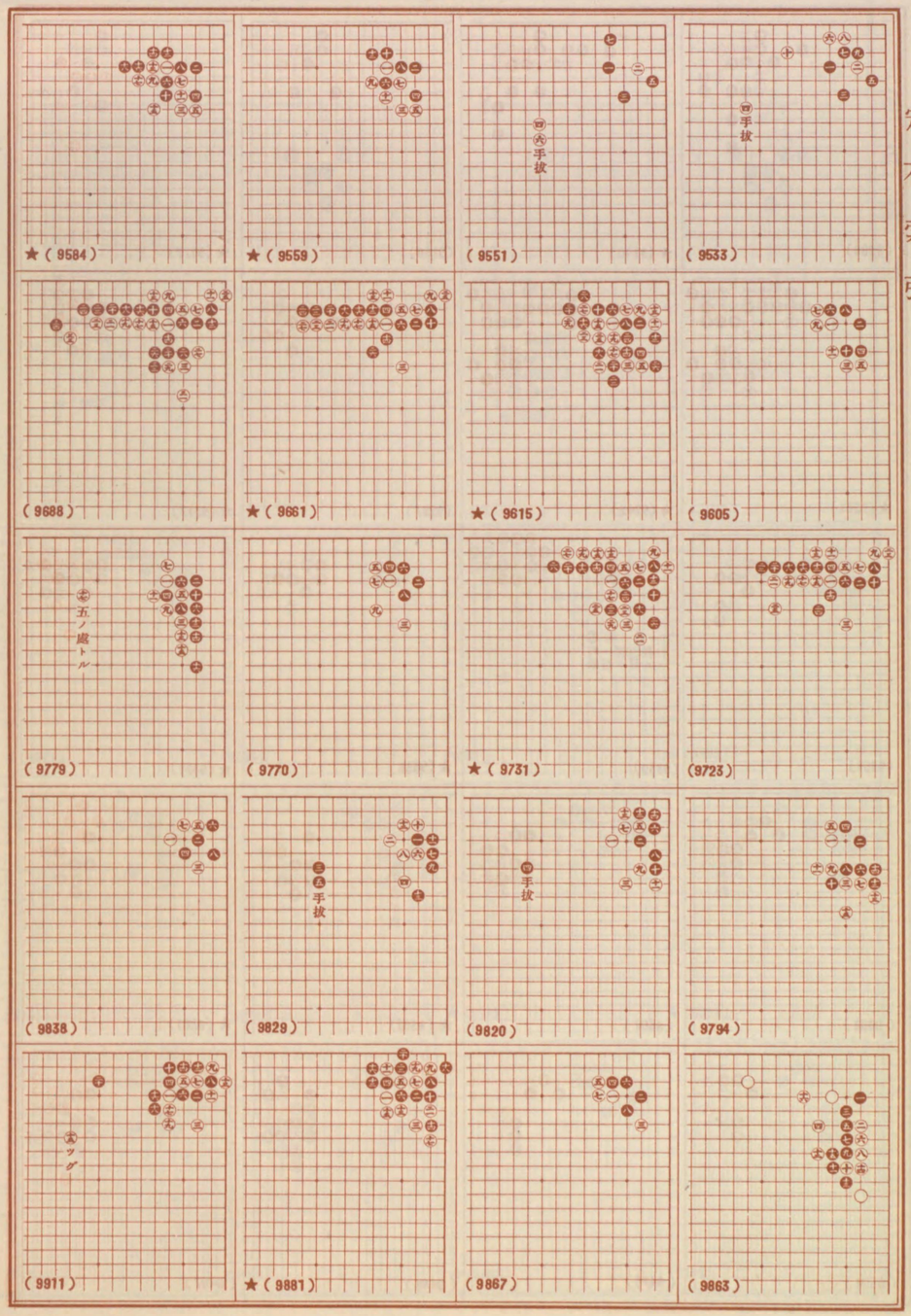

★(8716)
(8701)
★(8675)
(8793)
★(8746)
★(8738)
(8726)
(8897)
(8891)
★(8890)
(8817)
★(8974)
★(8922)
(8908)
(8973)
★(8970)

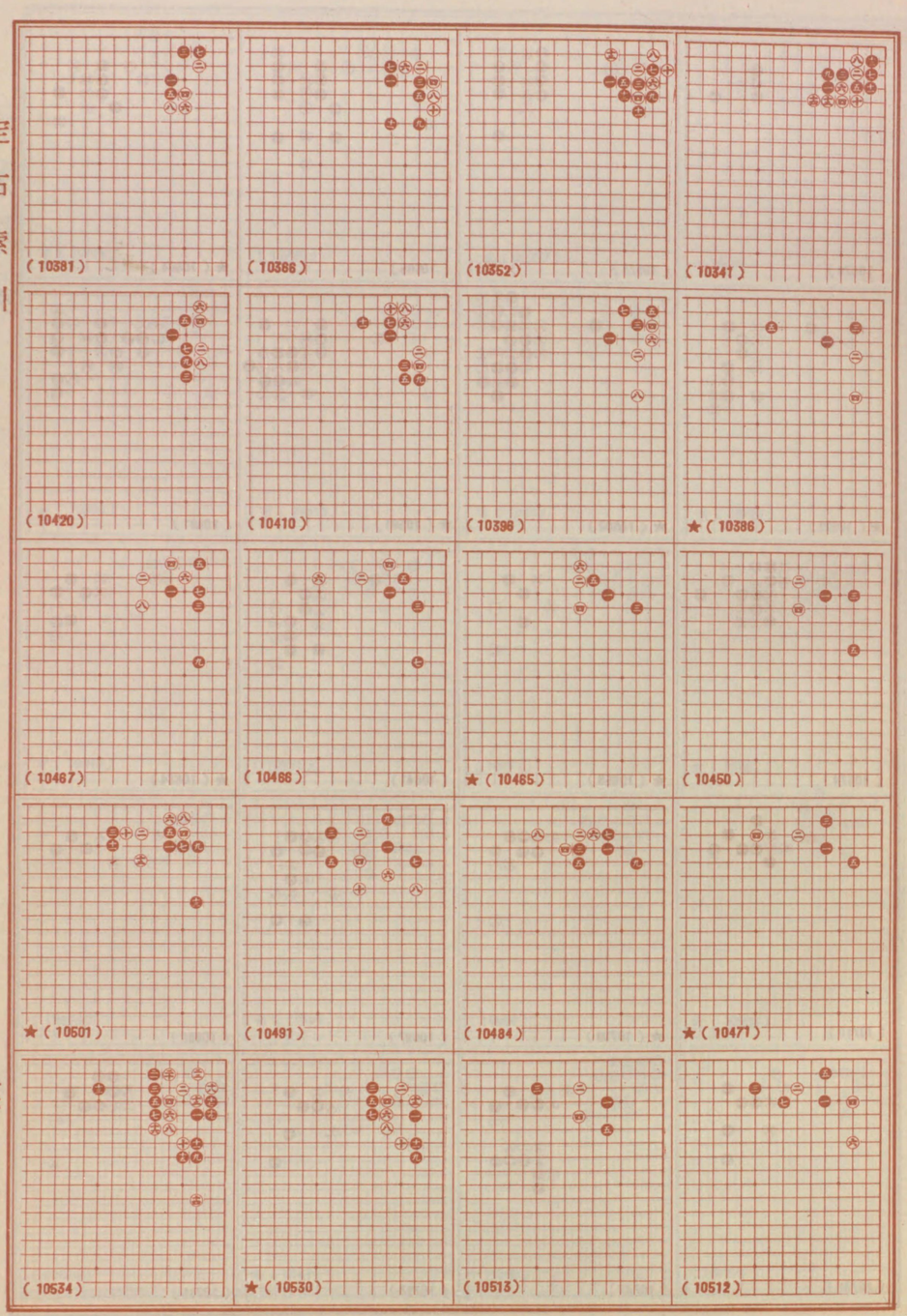

(8397)
(8385)
(8381)
(8388)
(8455)
★(8454)
(8419)
(8404)
★(8493)
★(8484)
(8475)
★(8474)
★(8591)
(8582)
★(8527)
(8517)
(8684)
★(8672)
★(8859)
★(8638)

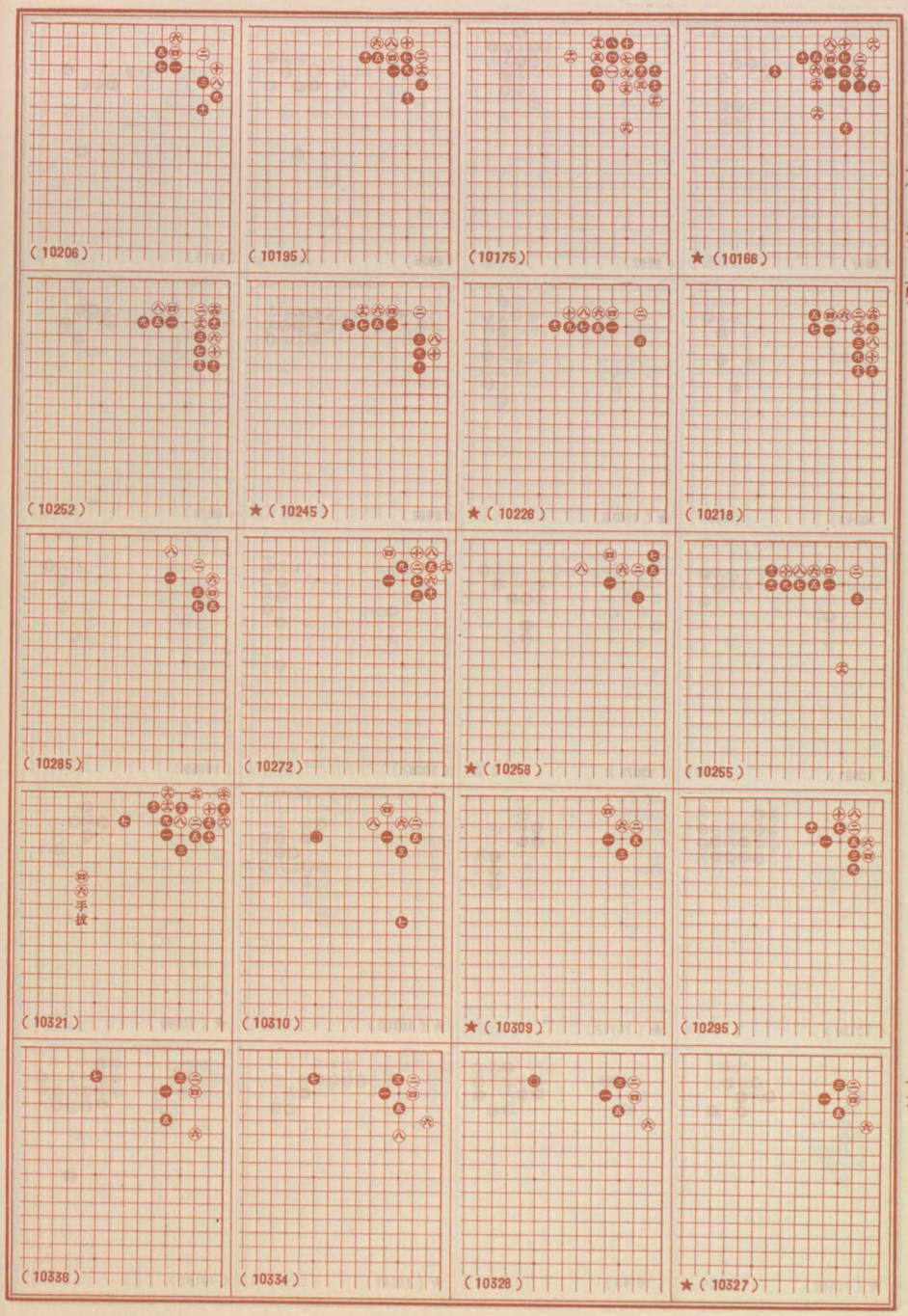

(9206)
★(9190)
(9188)
★(9177)
★(9251)
★(9242)
(9227)
★(9217)
(9351)
(9339)
★(9338)
★(9321)
(9383)
(9367)
★(9362)
★(9381)
(9504)
(9475)
(9448)
(9407)

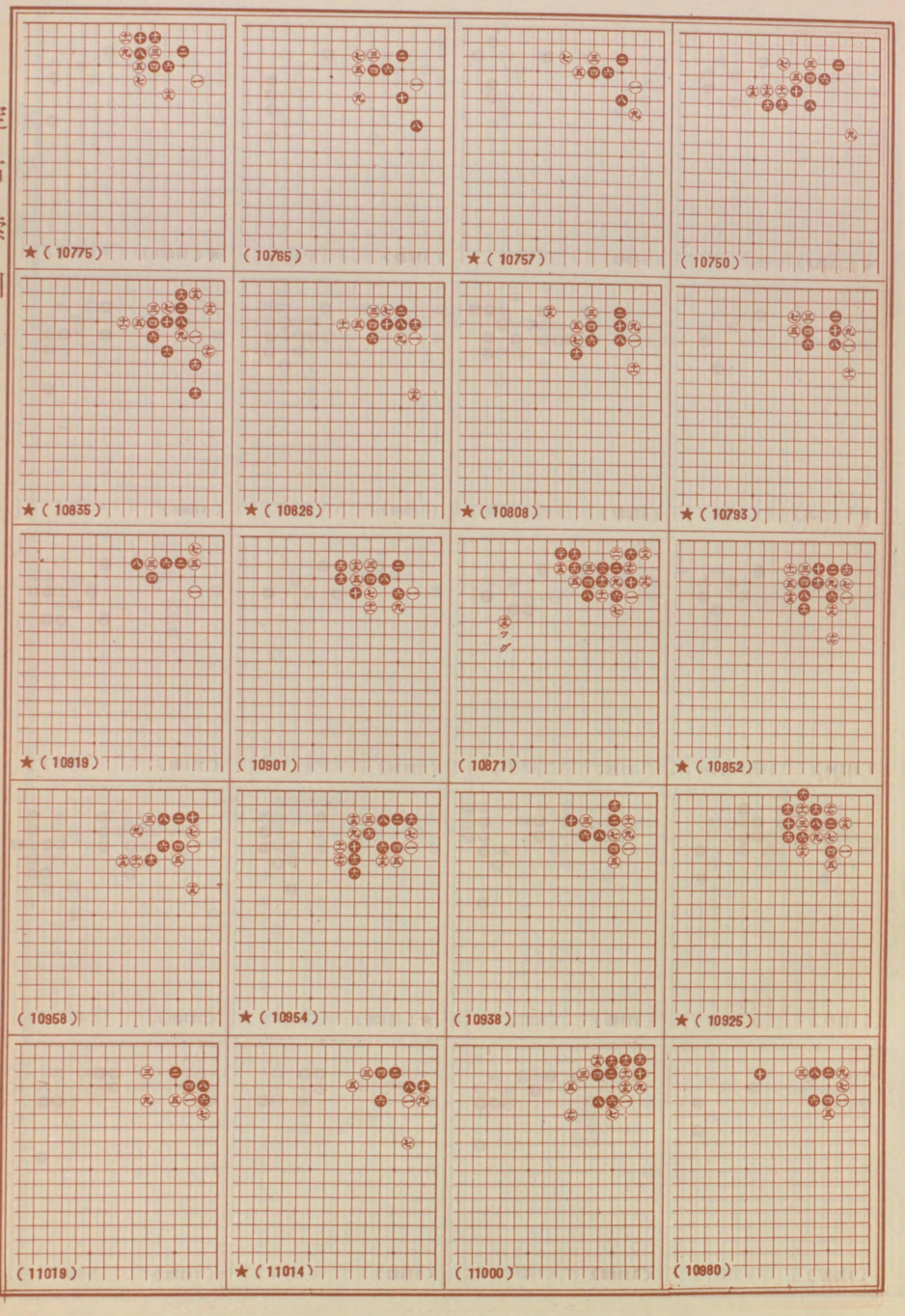

★(8990)
★(8975)
★(9071)
(9088)
(9001)
★(8995)
(9131)
(9129)
★(9112)
★(9091)
(9170)
(9169)
★(9158)
(9148)

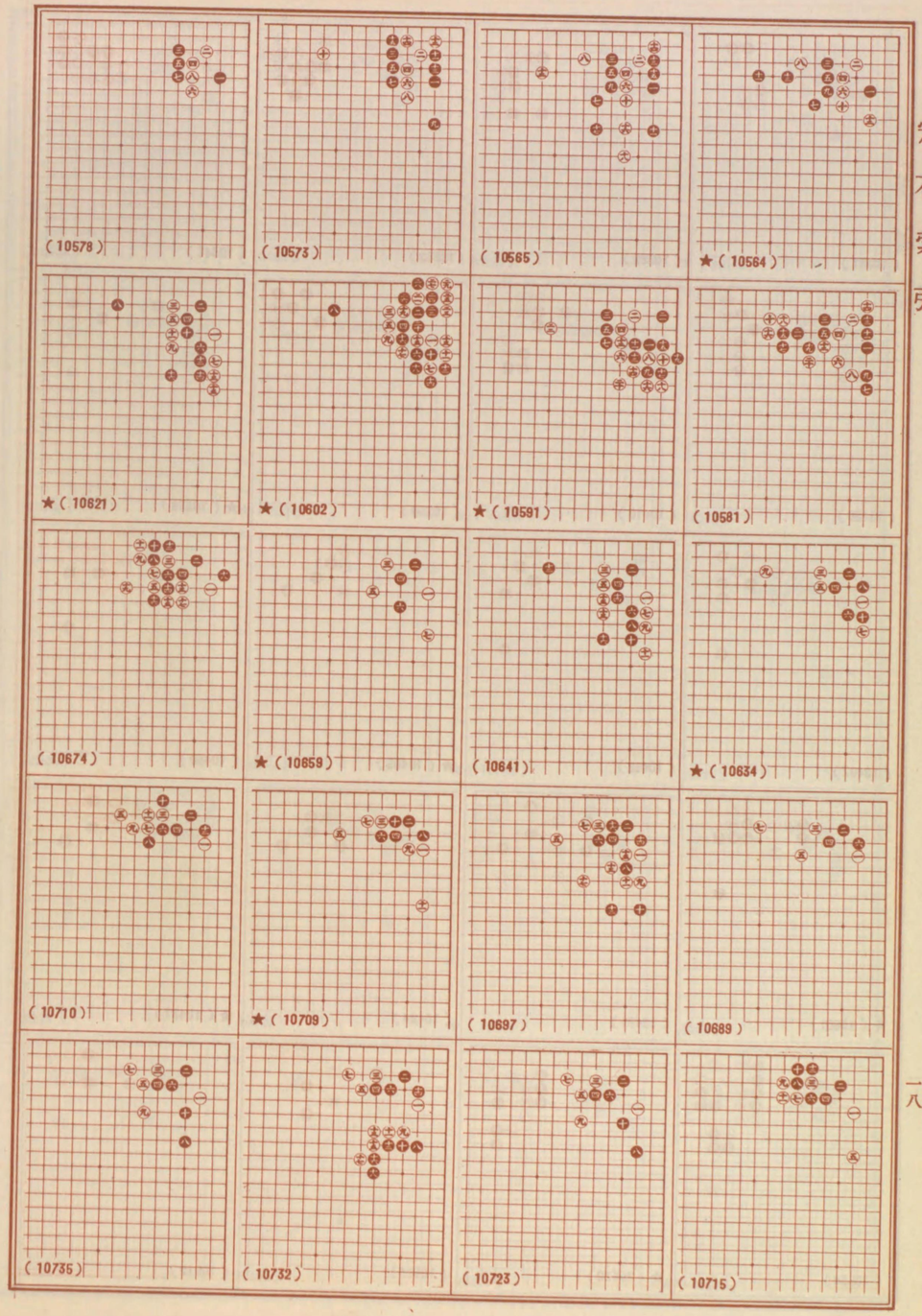

(9947)
(9932)
(9925)
(9915)
(10040)
★ (10013)
(9981)
(9976)
四手抜
四手抜
(10081)
(10075)
(10087)
(10059)
(10130)
★ (10117)
★ (10100)
★ (10089)
★ (10162)
(10143)
★ (10141)
(10132)

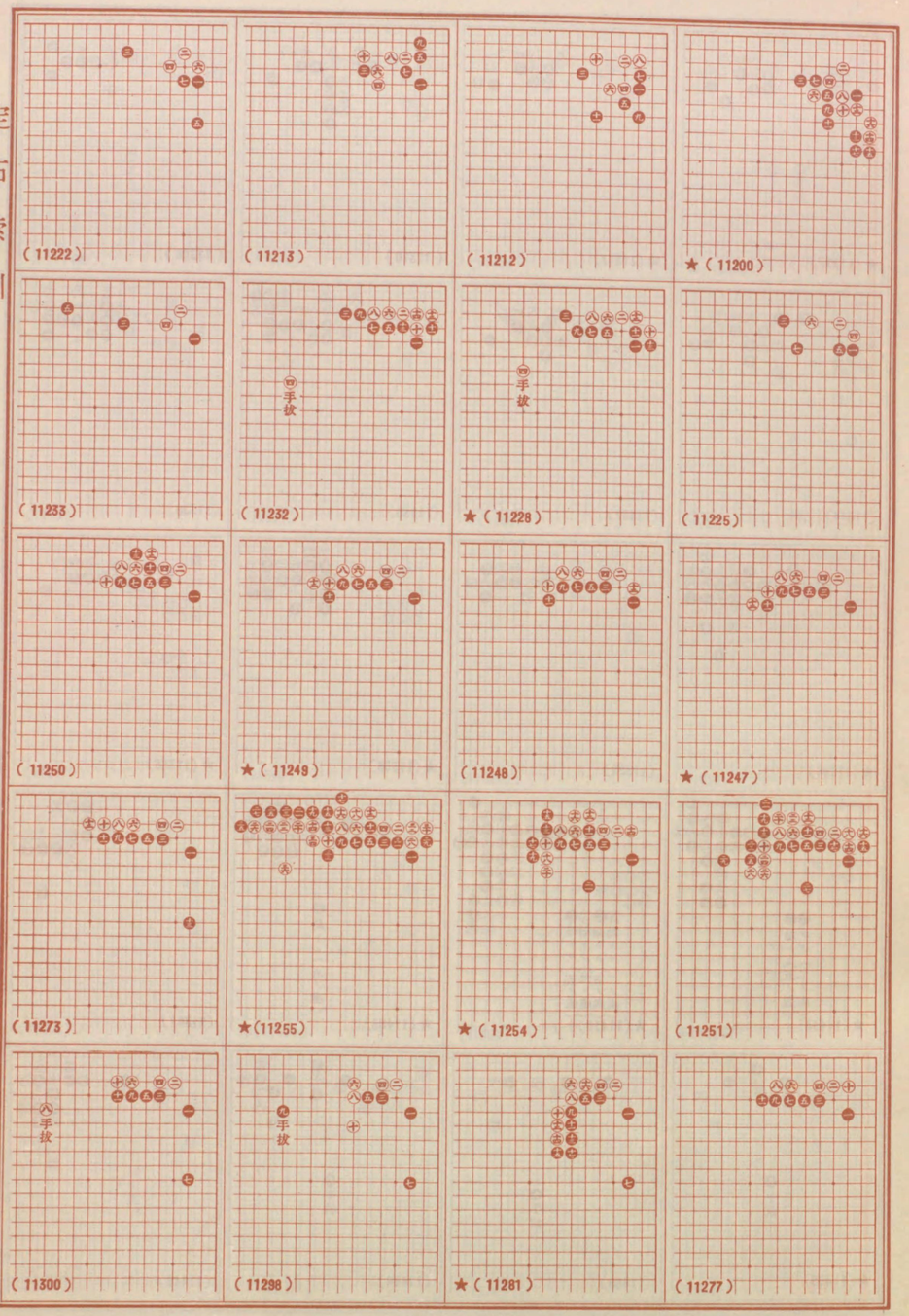

★ (9584)
★ (9559)
(9551)
(9533)
四六手抜
四手抜
(9688)
★ (9681)
★ (9615)
(9605)
(9779)
(9770)
★ (9731)
(9723)
(9838)
(9829)
(9820)
(9794)
(9911)
★ (9881)
(9867)
(9863)

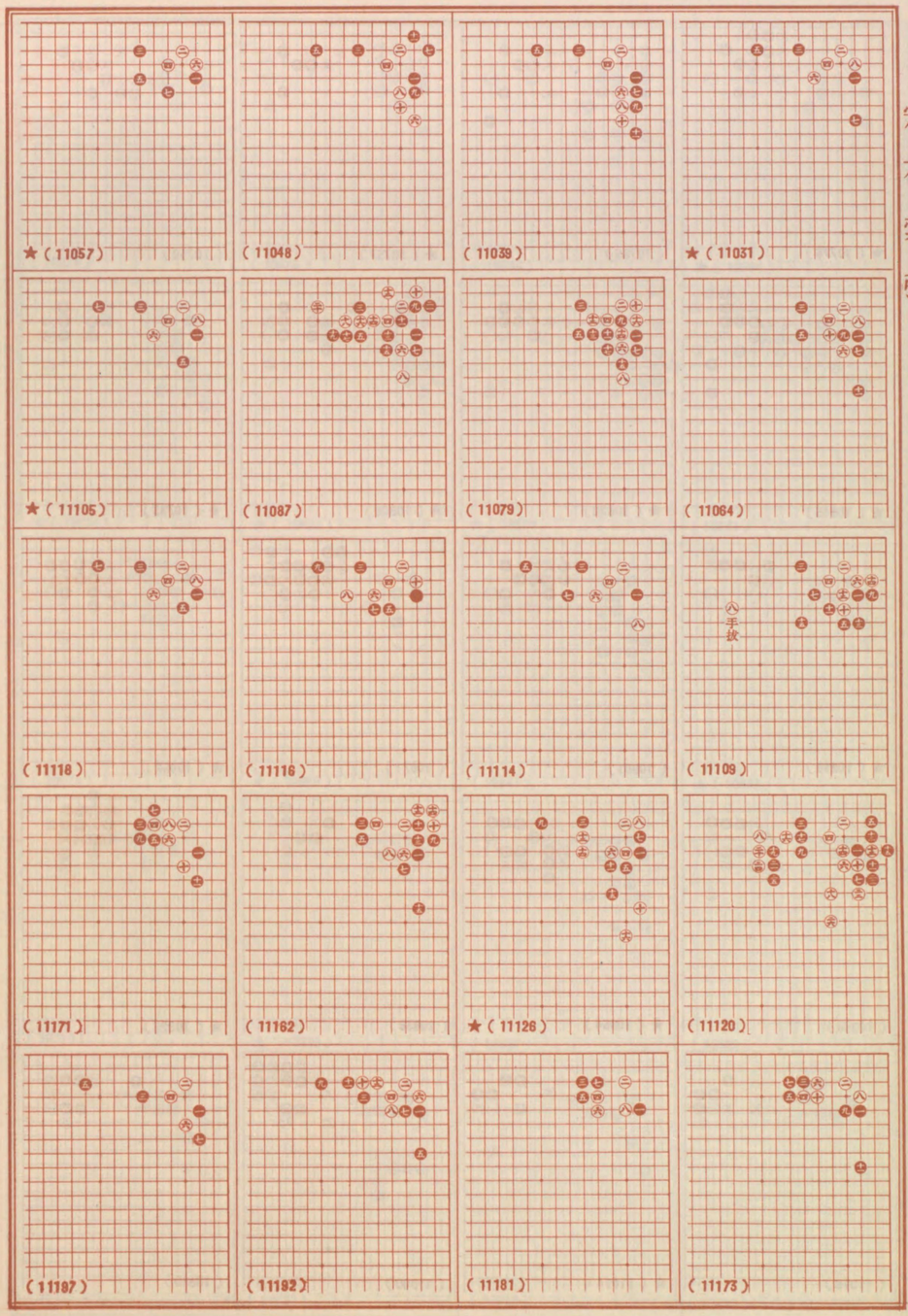

(10381)
(10386)
(10352)
(10341)
(10420)
(10410)
(10396)
★ (10386)
(10467)
(10466)
★ (10465)
(10450)
★ (10501)
(10491)
(10484)
★ (10471)
(10534)
★ (10530)
(10513)
(10512)

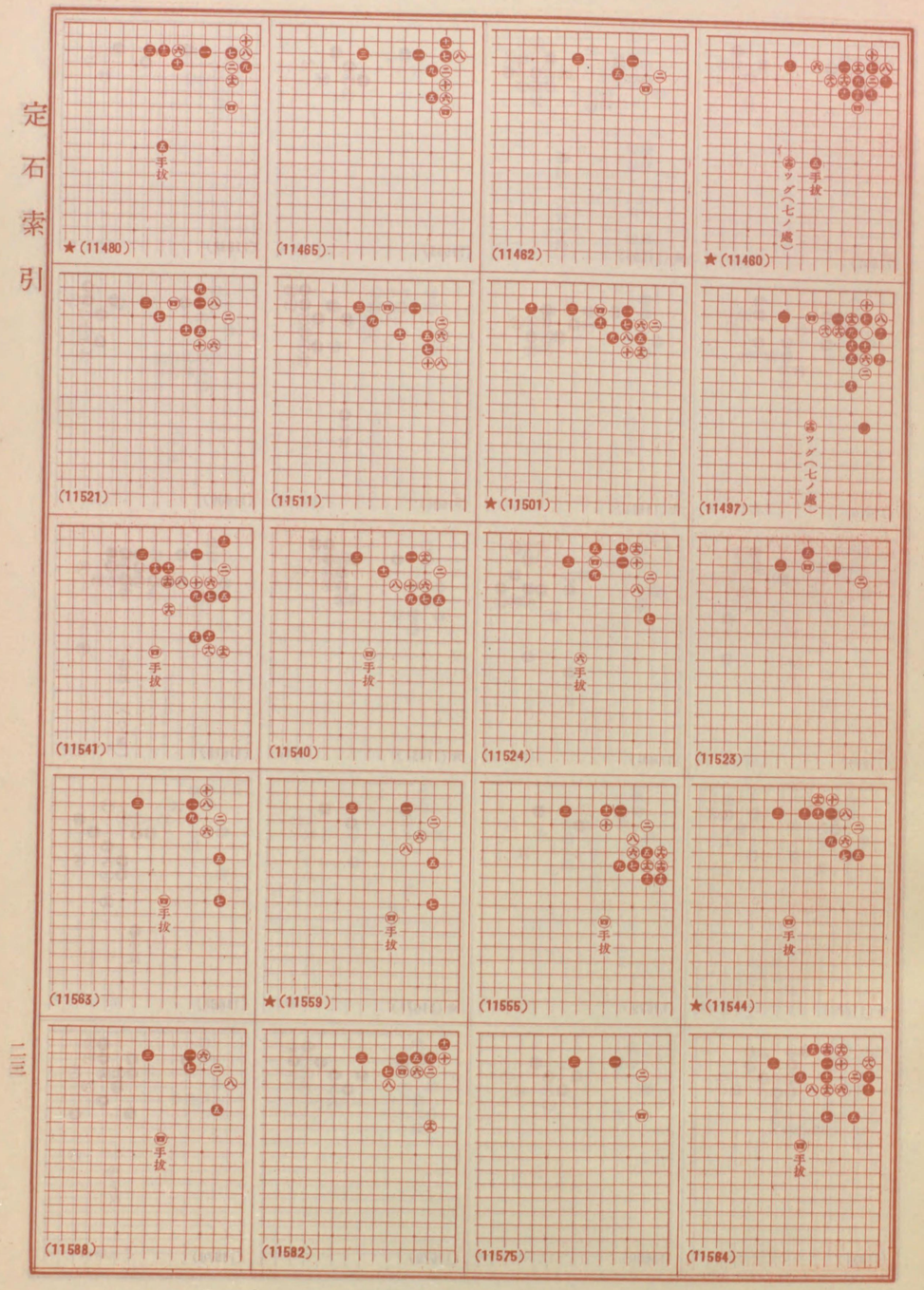

(10206)
(10195)
(10175)
★ (10166)
(10252)
★ (10245)
★ (10228)
(10218)
(10285)
(10272)
★ (10258)
(10255)
(10321)
(10310)
★ (10309)
(10295)
(10336)
(10334)
(10328)
★ (10327)

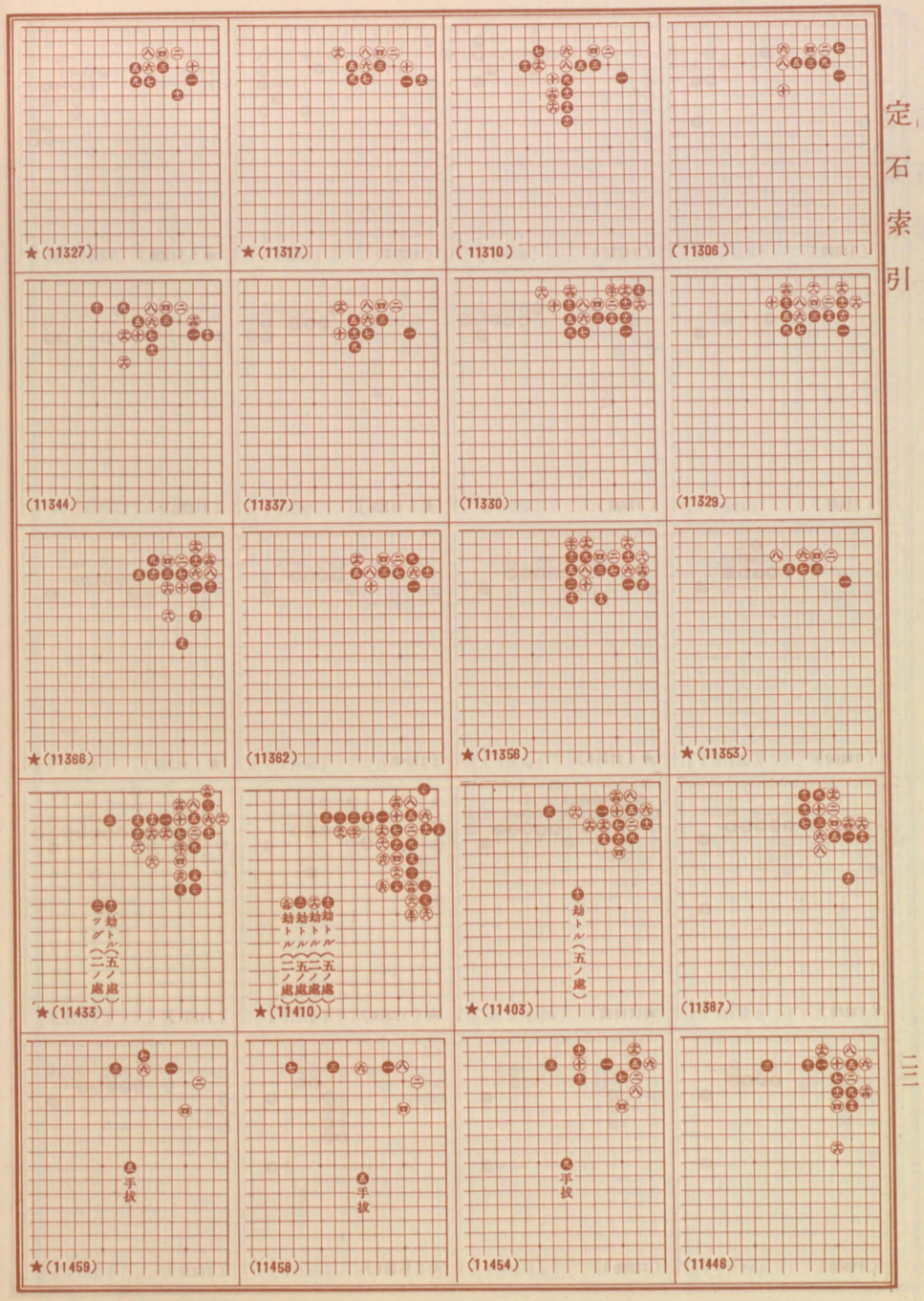

★（10775）
（10785）
★（10757）
（10750）
★（10835）
★（10826）
★（10808）
★（10793）
★（10919）
（10901）
（10871）
★（10852）
（10958）
★（10954）
（10938）
★（10925）
（11019）
★（11014）
（11000）
（10980）

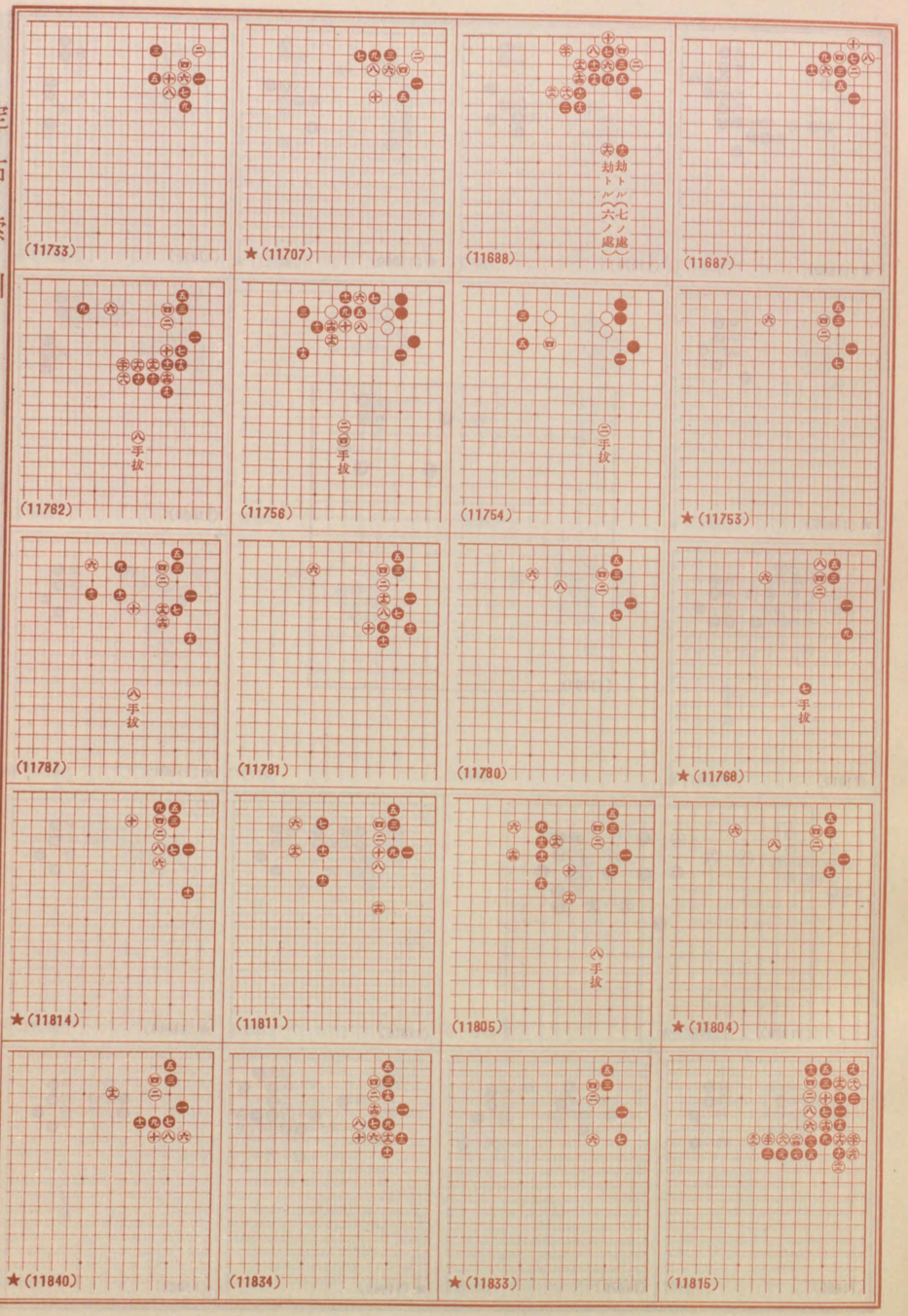

（10578）
（10573）
（10565）
★（10564）
★（10621）
★（10602）
★（10591）
（10581）
（10674）
★（10659）
（10641）
★（10634）
（10710）
★（10709）
（10697）
（10689）
（10735）
（10732）
（10723）
（10715）

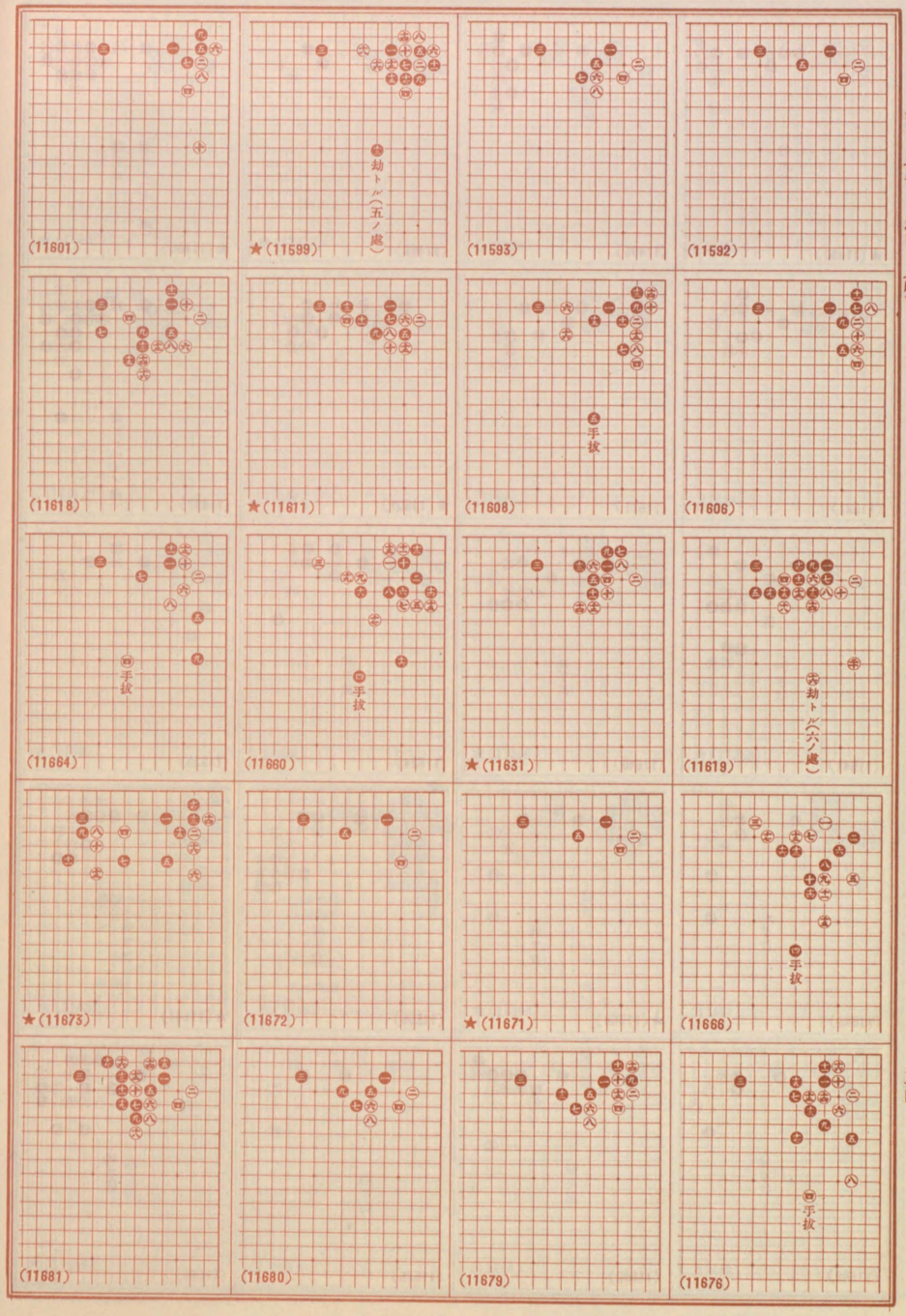

（11222）
（11213）
（11212）
★（11200）
（11233）
（11232）
（11228）
（11225）
（11250）
★（11249）
（11248）
★（11247）
（11273）
★（11255）
★（11254）
（11251）
（11300）
（11298）
★（11281）
（11277）

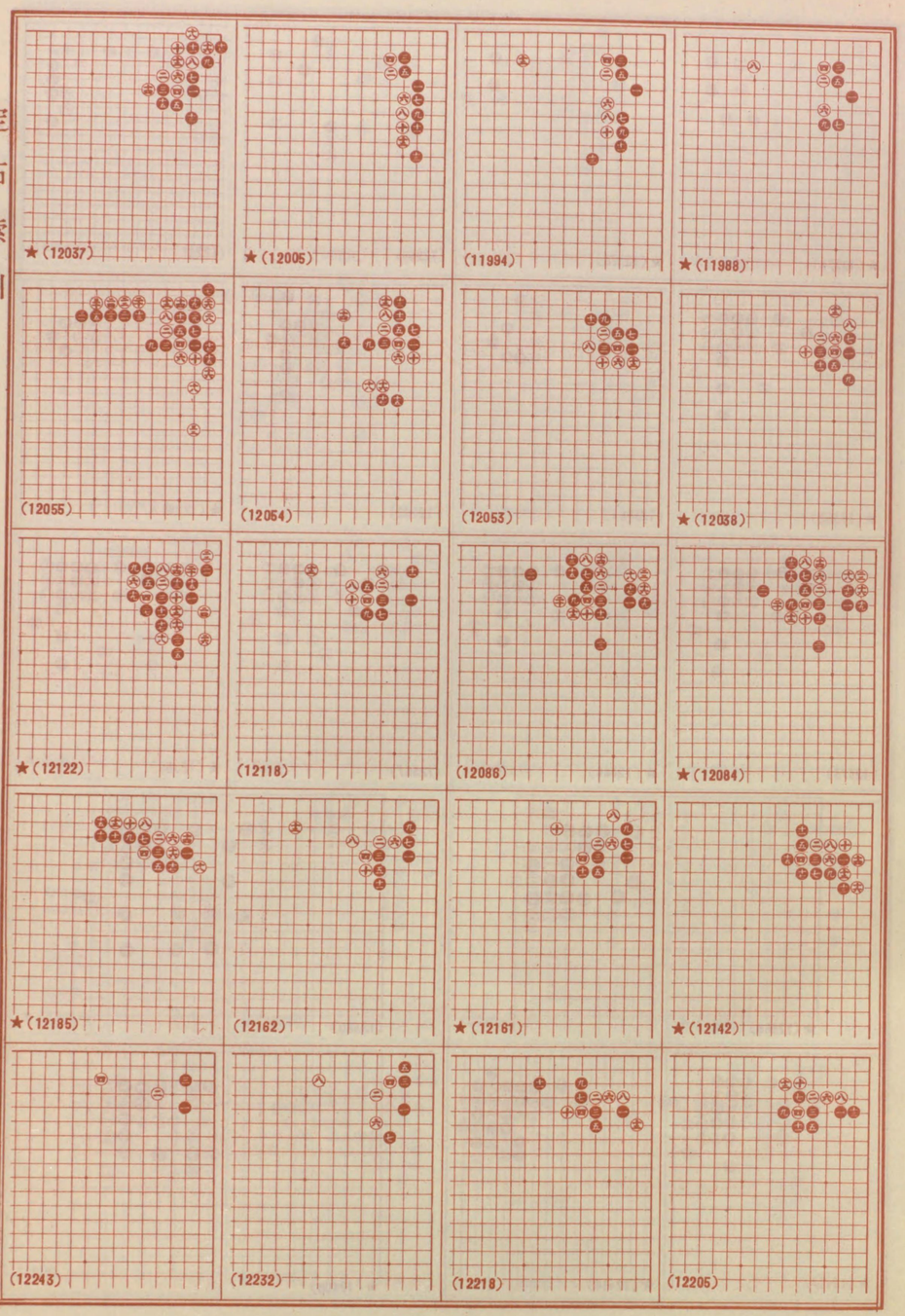

★（11057）
（11048）
（11039）
★（11031）
★（11105）
（11087）
（11079）
（11064）
（11118）
（11116）
（11114）
（11109）
（11171）
（11162）
★（11126）
（11120）
（11197）
（11192）
（11181）
（11173）

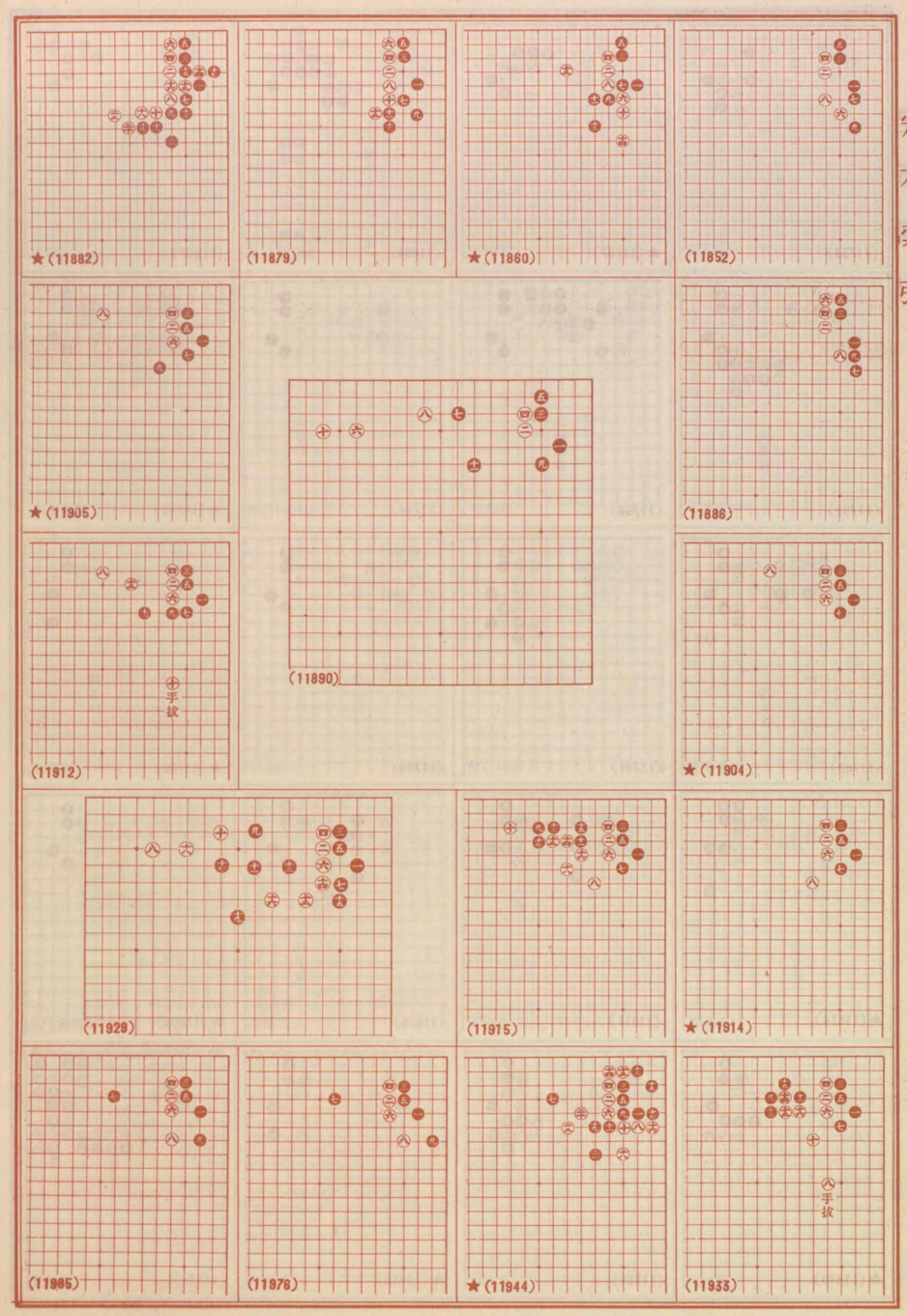

★(11480)
(11485)
(11462)
★(11460)
(11521)
(11511)
★(11501)
(11497)
(11541)
(11540)
(11524)
(11523)
(11563)
★(11559)
(11555)
★(11544)
(11588)
(11582)
(11575)
(11584)


★(11327)
★(11317)
(11310)
(11306)
(11344)
(11337)
(11330)
(11329)
★(11366)
(11362)
★(11358)
★(11353)
★(11433)
★(11410)
★(11403)
(11387)
★(11459)
(11458)
(11454)
(11448)


(11733)
★(11707)
(11688)
劫トル(七ノ處)
劫トル(六ノ處)
(11687)
(11782)
八手抜
(11756)
(三)(四)手抜
(11754)
(二)手抜
★(11753)
(11787)
八手抜
(11781)
(11780)
★(11768)
七手抜
★(11814)
(11811)
(11805)
八手抜
★(11804)
★(11840)
(11834)
★(11833)
(11815)


(11601)
★(11599)
劫トル(五ノ處)
(11593)
(11592)
(11618)
(11611)
(11608)
五手抜
(11606)
(11664)
四手抜
(11660)
四手抜
★(11631)
(11619)
劫トル(六ノ處)
★(11673)
(11672)
★(11671)
(11666)
四手抜
(11681)
(11680)
(11679)
(11676)
四手抜


★(12037)
★(12005)
(11994)
★(11988)
(12055)
(12054)
(12053)
★(12038)
★(12122)
(12118)
(12086)
★(12084)
★(12185)
(12162)
★(12161)
★(12142)
(12243)
(12232)
(12218)
(12205)


★(11882)
(11879)
★(11860)
(11852)
★(11905)
(11890)
(11886)
(11912)
手抜
★(11904)
(11929)
(11915)
★(11914)
(11985)
(11976)
★(11944)
(11933)
八手抜

(12441)

(12438)

三ッ目（六ノ處）

★(12432)

★(12571)

★(12538)

(12458)

★(12613)

(12597)

(12588)

★(12586)

★(12687)

★(12640)

(12636)

★(12631)

(12703)

★(12690)

(12681)

★(12274)

★(12273)

(12269)

八手抜

(12251)

★(12352)

(12305)

(12292)

★(12288)

(12373)

★(12366)

(12357)

★(12356)

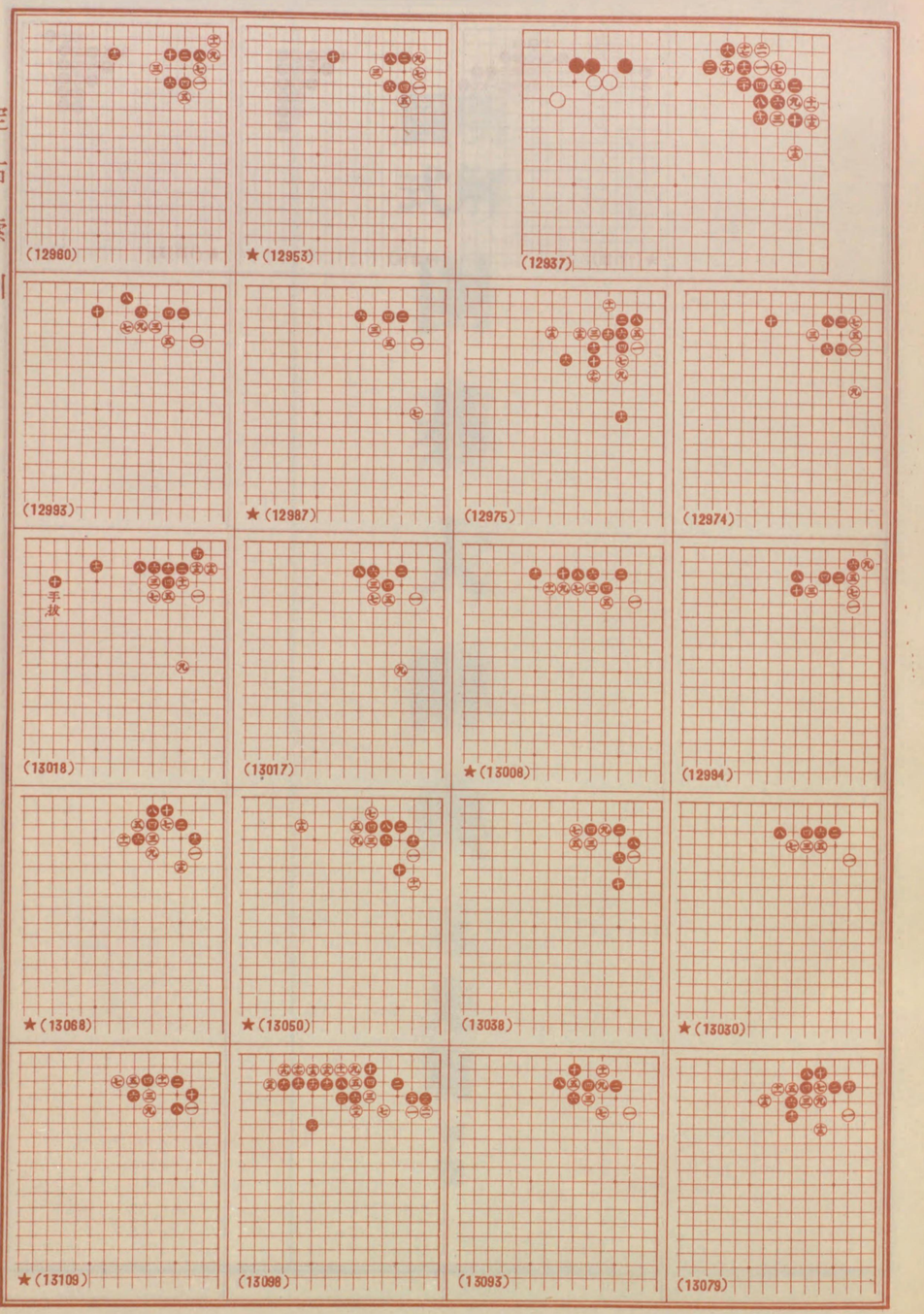
★(12389)

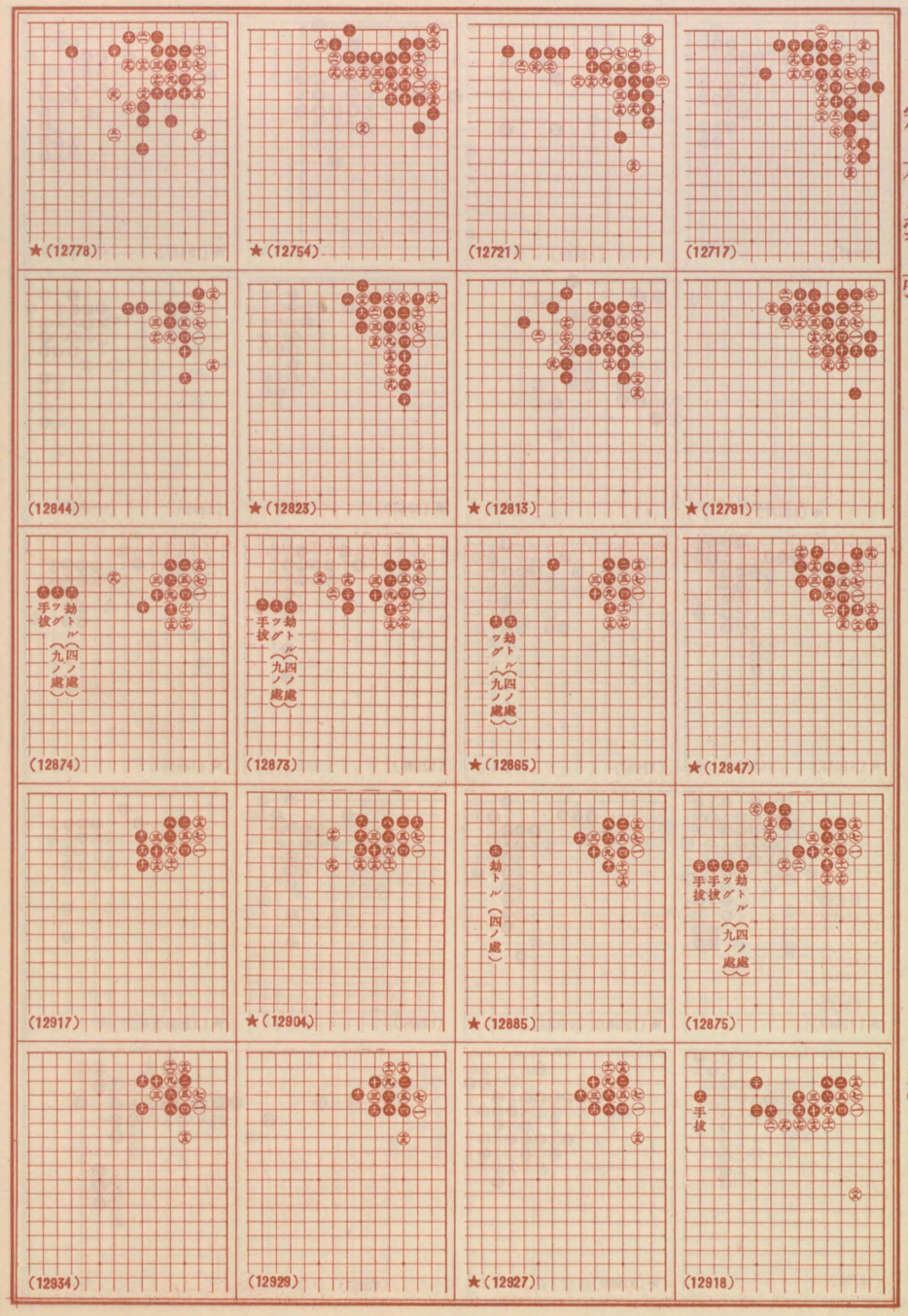
(12380)

★(12417)

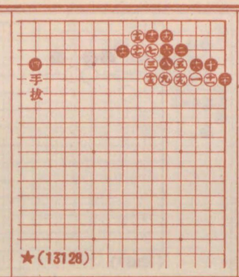
★(12414)

★(12406)

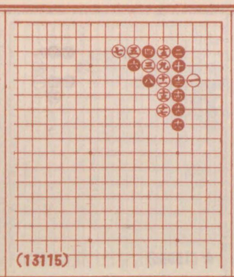

(12960)
★(12953)
(12937)
(12993)
★(12987)
(12975)
(12974)
十手抜
(13018)
(13017)
★(13008)
(12994)
★(13068)
★(13050)
(13038)
★(13030)
★(13109)
(13098)
(13093)
(13079)

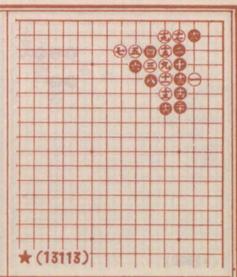

★(12778)
★(12754)
(12721)
(12717)
(12844)
★(12823)
★(12813)
★(12791)
十手抜 十ツグ 劫トル (四ノ處) (九ノ處)
(12874)
十手抜 十ツグ 劫トル (四ノ處) (九ノ處)
(12873)
十劫トル (四ノ處) 十ツグ (九ノ處)
★(12865)
★(12847)
(12917)
★(12904)
十劫トル (四ノ處)
★(12885)
十手抜 十手抜 十ツグ 劫トル (四ノ處) (九ノ處)
(12875)
(12934)
(12929)
★(12927)
十手抜
(12918)

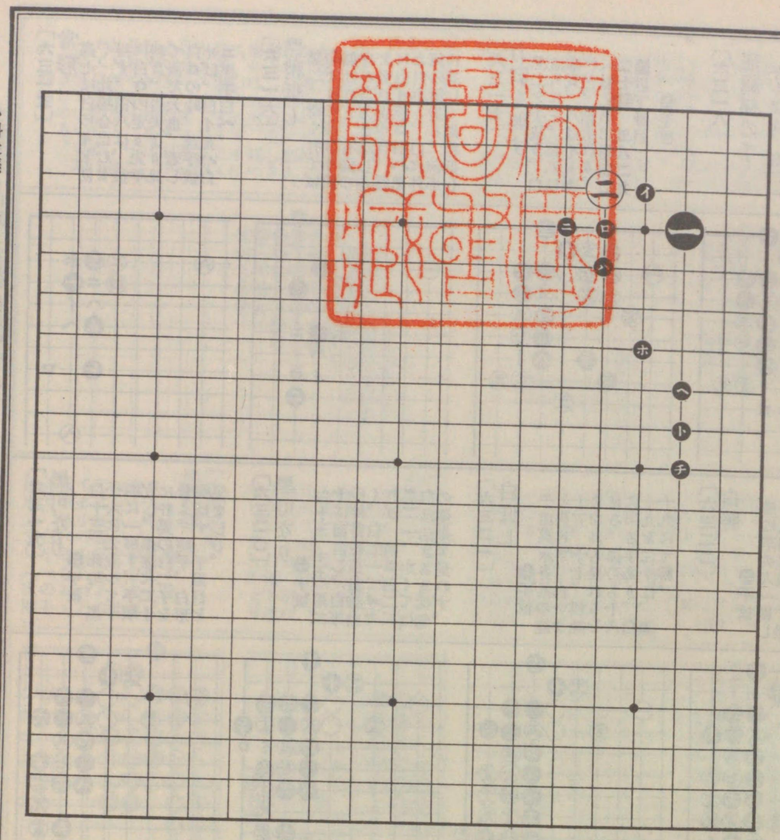
圖解明式
圍碁大辭典
互先篇 下卷



★(13128)


(13115)


★(13113)



〔六三一一〕

基本原圖

小斜走懸りに對する、黒の變則の打ち方

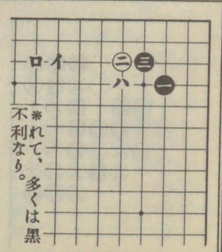
黒一に小目、白二と小斜走に懸りし時に、黒は前卷の、〔定石〕及び「夾み」等の正則の應け以外に、圖の❹以下チまでの變則の應けあり。之等の應手は、常形に於ては、用ゆる手段に非らざれば、勿論佳着とは云ひし。されけれど、局面紛亂し、非常の形勢には、時に妙着となる事もあり。

〔六三一二〕

基本圖

（第六四型）

黒三と尖みつける手は、黒イまたはロに夾みある場合など、是らの無き場合は、白にハと應けら*れて、多くは黒不利なり。

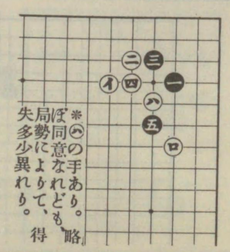


〔六三一三〕

基本圖

（第六四型イ）勿論前卷二、三間夾の場合と異り白は❹など㈠の緩手に出ずる要無し）

黒三なれば、白は四の行、黒五は他に㈡、*

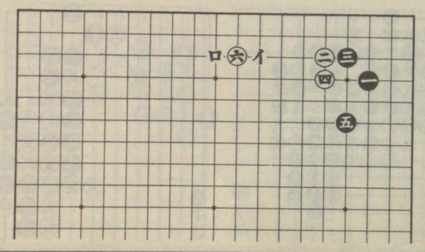


*略ぼ同意なれども、局勢により、得失多少異れり。

〔六三一四〕

常形

黒既に五。白六を怠れば、黒イまたはロに夾撃せんとすは六。嘯平、黒虎列東隅に嘯いて谷風へ備えし。之に要點。白六にては、黒イまたはロに夾撃せんとすは六。白六は非にて、第二卷六四ページ圖一二一圖以下と同じく、第二卷六五ページ圖一二一圖以下と同じし。



【六三一五】常形

黒七は白のイを防ぐ。此は場合により白ロを得ず。此は白八合已むを得ず後手を利して先手を走るより大事。若し見す失也。若し白ロの時は白ヘ。黒ホ白ニ

【六三一六】黒稍低し

黒二。斯く打てば白よりの無用手段。無けれど身の悪しみ。何ぞ奈べき。兎に角得べき。白ホイ黒イ後白ニ黒ロ。白ハと厚に形外し、遺る黒稍低し。

【六三一七】力戰を要す

黒二を手抜き、白直ちに三。黒八は確かれど、稍劣れり。八はイもあり。

【六三一八】征關係の手

今や黒は、白二一取れ。で二二と取れ。ざるを看取して、十八に挑む。白五に力の一戰。面の黒は、白一を以下逃げれば白二五で黒ニ。

【六三一九】黒可なり

白十三、十五。黒二。白十六に先立ち、此時黒十七は無用。白十五、十七。此は白十四に一撃す、つて十順。宜しく黒二子を形を振奪ふ。嘘乎千里白を傷まし む。

【六三二〇】黒可なり

白十三、十五。黒二。白軍の陣営悲茄動。聲れば、白二一でイな黒二一。かくて低く一活きるも低く。他は、の憂身を免れず。

【六三二一】白低し

千山萬水各其の趣を異にす。白十五、十七。棋趣また黒乃ち異る。白十九に出る。黒十九にて勝。

【六三二二】白勝

漢の李陵は百代の過客とか、機の失ふべからざるもの。然ると同じ。自三三に戰機を緩うせず。黒遂に如くに白三四と再び打ち込む。黒無し。前圖と異り、白九に十九にて勝。

【六三二三】黒勝

黒單に十四、此時白十五、十七は無理也。黒二六、は攻合にて八時に筋妙あり。二に白二子を形を目的。

【六三二四】亂戰の形

白九の時、黒は四三前に變化の如く粘る。最も堅き實に綿粘くも、為二に我の亂戰と十、黒いまゝ彼の勢ず。逆一に白二、黒一すべか時は此石を縮めるの圖如く手前の無用手數。黒五以下外隅の結果、白九にて黒十七も、白十五、十七。棋趣また黒乃ち異る。白十九に出る。黒十九にて勝。

【六三二五】白稍優れり

（前圖黒四の變化）二手抜

黒四二、四四の手に宜し。四四の白イに黒五順に打つて白ロを得ず。此は白八合已むを得ず後手を利して先手を走るより大事。若し見す失也。若し白ロの時は白ヘ。黒ホ白ニ

【六三二六】征

二手抜

朝に斷腸の花を逐ふ。暮に東の流水と成る。黒遂に六の水に懸崖。黒軍論無し。

【六三二七】黒勝

二手抜

夫れ、光陰は百代の過客とか、機の失ふべからざるもの然ると同じ。自三三に戰機を緩うせず。黒遂に如くに白三四と再び打ち込む。黒無し。前圖と異り、白九に十九にて勝。

【六三二八】黒善し

なれば、黒十一切り。白十二の一。黒十三を十四と同じに。白十三と前圖に同じ。黒遂に十六にて優勢なり。再び白三、七は生きず。悠々たり。

【六三二九】白勝

二手抜

夫れ一順し、黒十一切り。白十二の一。黒十三を十四と同じに。白十三と前圖に同じ。黒遂に十六にて優勢なり。再び白三、七は生きず。悠々たり。

【六三三〇】黒稍優る

黒八も、可なり。白十一。絶好のチヤンス。此手は多少の問題あれど、假令征の取らるゝも、白十一の手は成立す。（次圖）

【六三三一】白勝

二手抜

黒若し征宜しく十一と拘へて、白十二と逃れては、黒十二は、前圖の如く白九に十九にて勝。

【六三三二】白悪しからす

二手抜

黒若し征宜しく十一と拘へて、白十二と逃れては、黒十二は、前圖の如く白九に十九にて勝。

【六三三三】白可なり

黒四確なれど、稍緩し。白七、九、十一、手順の妙、白十一と拘へて、白十二と逃れては、黒十二は、前圖の如く白九に十九にて勝。

【六三三四】黒可なり

二手抜

白七、悪し。黒八、十。これ最も堅き實に粘くも、為二に我の亂戰と十、黒いまゝ彼の勢ず。逆一に白二、黒一すべか時は此石を縮めるの圖如く手前の無用手數。黒五以下外隅の結果、白九にて黒十七も、白十五、十七。棋趣また黒乃ち異る。白十九に出る。黒十九にて勝。

【六三三五】白有利の形

天には比翼の鳥と地には連理の枝と。黒の六に退かや。守遂に優と死別す。黒十、此形黒拠也。要點、若し之を怠つて、白よりイと夾撃さるれば、白ニの筋残れり。

【六三三六】黒勝

白九、悪し。（なほ白九を十一、黒十に白九にても、白十一と同じ。）其の勢失はず。本圖と又は若し、白七をイ黒八と十、黒ロ白十一。

【六三一五】常形

黒七は白のイを防ぐ。此は場合已むを得ず後手を利して先手を走るより大事。若し見す失也。若し白ロの時は白ヘ。黒ホ白ニ

【六三一六】黒稍低し

黒二。斯く打てば白よりの無用手段。無けれど身の悪しみ。何ぞ奈べき。兎に角得べき。白ホイ黒イ後白ニ黒ロ。白ハと厚に形外し、遺る黒稍低し。

【六三一七】力戰を要す

黒二を手抜き、白直ちに三。黒八は確かれど、稍劣れり。八はイもあり。

【六三一八】征關係の手

今や黒は、白二一取れ。で二二と取れ。ざるを看取して、十八に挑む。白五に力の一戰。面の黒は、白一を以下逃げれば白二五で黒ニ。

【六三一九】黒可なり

二手抜

白十三、十五。黒二。白十六に先立ち、此時黒十七は無用。白十五、十七。此は白十四に一撃す、つて十順。宜しく黒二子を形を振奪ふ。嘘乎千里白を傷まし む。

【六三二〇】黒可なり

二手抜

白十三、十五。黒二。白軍の陣営悲茄動。聲れば、白二一でイな黒二一。かくて低く一活きるも低く。他は、の憂身を免れず。

【六三二一】白低し

二手抜

千山萬水各其の趣を異にす。白十五、十七。棋趣また黒乃ち異る。白十九に出る。黒十九にて勝。

【六三二二】白勝

二手抜

漢の李陵は百代の過客とか、機の失ふべからざるもの。然ると同じ。自三三に戰機を緩うせず。黒遂に如くに白三四と再び打ち込む。黒無し。前圖と異り、白九に十九にて勝。

【六三二三】黒勝

黒單に十四、此時白十五、十七は無理也。黒二六、は攻合にて八時に筋妙あり。二に白二子を形を振奪ふ。嘘乎千里白を傷まし む。

【六三二四】亂戰の形

白九の時、黒は四三前に變化の如く粘る。最も堅き實に綿粘くも、為二に我の亂戰と十、黒いまゝ彼の勢ず。逆一に白二、黒一すべか時は此石を縮めるの圖如く手前の無用手數。黒五以下外隅の結果、白九にて黒十七も、白十五、十七。棋趣また黒乃ち異る。白十九に出る。黒十九にて勝。

【六三二五】白稍優れり

（前圖黒四の變化）二手抜

黒四二、四四の手に宜し。四四の白イに黒五順に打つて白ロを得ず。此は白八合已むを得ず後手を利して先手を走るより大事。若し見す失也。若し白ロの時は白ヘ。黒ホ白ニ

【六三二六】征

二手抜

朝に斷腸の花を逐ふ。暮に東の流水と成る。黒遂に六の水に懸崖。黒軍論無し。

【六三二七】黒勝

二手抜

夫れ、光陰は百代の過客とか、機の失ふべからざるもの然ると同じ。自三三に戰機を緩うせず。黒遂に如くに白三四と再び打ち込む。黒無し。前圖と異り、白九に十九にて勝。

【六三二八】黒善し

なれば、黒十一切り。白十二の一。黒十三を十四と同じに。白十三と前圖に同じ。黒遂に十六にて優勢なり。再び白三、七は生きず。悠々たり。

【六三二九】白勝

二手抜

夫れ一順し、黒十一切り。白十二の一。黒十三を十四と同じに。白十三と前圖に同じ。黒遂に十六にて優勢なり。再び白三、七は生きず。悠々たり。

【六三三〇】黒稍優る

黒八も、可なり。白十一。絶好のチヤンス。此手は多少の問題あれど、假令征の取らるゝも、白十一の手は成立す。（次圖）

【六三三一】白勝

二手抜

黒若し征宜しく十一と拘へて、白十二と逃れては、黒十二は、前圖の如く白九に十九にて勝。

【六三三二】白悪しからす

二手抜

黒若し征宜しく十一と拘へて、白十二と逃れては、黒十二は、前圖の如く白九に十九にて勝。

【六三三三】白可なり

黒四確なれど、稍緩し。白七、九、十一、手順の妙、白十一と拘へて、白十二と逃れては、黒十二は、前圖の如く白九に十九にて勝。

【六三三四】黒可なり

二手抜

白七、悪し。黒八、十。これ最も堅き實に粘くも、為二に我の亂戰と十、黒いまゝ彼の勢ず。逆一に白二、黒一すべか時は此石を縮めるの圖如く手前の無用手數。黒五以下外隅の結果、白九にて黒十七も、白十五、十七。棋趣また黒乃ち異る。白十九に出る。黒十九にて勝。

【六三三五】白有利の形

天には比翼の鳥と地には連理の枝と。黒の六に退かや。守遂に優と死別す。黒十、此形黒拠也。要點、若し之を怠つて、白よりイと夾撃さるれば、白ニの筋残れり。

【六三三六】黒勝

白七、悪し。（なほ白九を十一、黒十に白九にても、白十一と同じ。）其の勢失はず。本圖と又は若し、白七をイ黒八と十、黒ロ白十一。

〔六三三五〕
白敗戰
（二手拔）
白五、決戰の意氣、然か眉宇に漲る、打過ぎたるを免れず。黒六、明白十、白十三を八なる勝イに押せば、黒※

〔六三三六〕
場合による
五目勝　林有太郎四段　當時先番瀟原繁治三段
黒三は、前述の如く、場合は白に六の好點に拓かるゝ故に、※

〔六三三七〕
要點約言（第六四型イ）
黒三、五は、白に六と拓かれて、多く不利なり。黒七でイの守りは本手。さればとて、黒イを手抜し、白ロの時黒ハと强く戰ふ手もあり。

〔六三三八〕
基本圖（第六四型ロ）
黒五の拓きは、普通低くして黒好ず。

〔六三三九〕
常形
黒五に低拓するも、白六の三間拓きも常形なり。胸中烈々の謀を蓄ふ。卽ち、白イの筋なり。白イは、早く打ち置くを宜しとす。（次圖）

〔六三四〇〕
白可なり
白一、三、方に敵の虛を擊つの利かに似たるも、先手の利なり。白五、七も、利くなれば、打ちを宜しとす。從つて黒六は手を拔くこともあり。

〔六三四一〕
黒味惡し
夫れ兵は、利を以て動き、分合を以て變を爲す者なりと。黒いま四。白乃ち五、七に綿。此形、大利を收む。白イに附ける手殘れり。

〔六三四二〕
互角の分れ
白五、嗟乎豺狼脈なきの求め、遂に黒の六、八によつて白敗るゝなれば、尤も打ちを宜しとす。從つて黒六は手を拔くこともあり。

〔六三四三〕
白善し
黒イでなく四、此手、兵の驕れるに乘ずべし、と乃ち白五の一着、よく衝をくじき悔を與ぐ。

〔六三四四〕
白優れり
黒六、八の手筋を往く。白乃ち九、十一と、隅を棄てて厚を築す。白九は隅を活きる手あれば、却つて外を薄くする故、白不可なり。

〔六三四五〕
白優れり
黒十六。乃ち十七、十九。白の意、前圖と略ぼ同じ。これに比して二一は約ゆるに優る。

〔六三四六〕
黒の勢善し
白九、十一、巧を弄して抽を成す。白形、見ず知らず黒十以下を活きる手あれば、却つて薄し。白隅を擊つて巧なり。白九は隅を棄てて外厚大に優る。白不可なり。

〔六三五一〕
白のキカシ
此形、白より打つと、白より一機を見よ。但し黒二の止むを得ず。黒三。時は次に黒イなれば、白ニに利かして宜し。

〔六三五二〕
常形
歌よ、能はずばそれ嘯くべしと。黒の三、五の形に、白イの筋無き故に、白はロより迫りて走りを利かす手段に出づべし。白六、黒七、共に好點。

〔六三五三〕
白、一策なり
白は二、而して四も有つて、嗟乎一崑崙山南、月斜めなるかなと欲ず。若し黒三の形なれば、白を怠れば白ホに黒ニ、白ロ筋に着手すべし。

〔六三五四〕
要點約言（上）（第六四型全部）
黒三に尖附、白四と交換する手段の外は、夾撃好ず。然し斯く打ち以上は、白イ、ロ、ハ、ニの應けあり。

〔六三五五〕
要點約言（下）（第六四型全部）イ
黒五に附けるは白より一手劣、加之白ヘ附けらるゝ筋も殘れり。

〔六三五六〕
基本圖（第六五型）
黒三に附ける手は置碁第一圖と、第一圖下の附と異りて、黒一と小目の場合の手段なり。

〔六三五七〕
基本圖（第六五型イ）
黒三なれば、白は四と綿ねる一手。黒五常形、猶外に手あれど、何れも形勢如何によるべし。

〔六三五八〕
常形
淡きこと水が如く、何ぞ哲かも、而も變もなしと雖も、白六は必然の着也。黒七は共に必要。白八は、白ヘ打ち方あり。白六は他に打つ手は、あれども、置碁には他に置碁形には無し。

〔六三四七〕
白厚し
黒二の淵に似たり。匹夫の勇、白三、黒五の反撃、痛烈！黒征宜しきを得ず、場合、六を七にても、白イにて黒の形悪し。また黒の四を六なれば、白四黒イ白ロ。

〔六三四八〕
要點約言（第六四型ロ）
黒三、五の如きは、變則中の變則、手段なり。此形、黒低劣、加之白ヘ附けらるゝ筋も殘れり。

〔六三四九〕
基本圖（第六四型ハ）
黒三、白四の時、黒はイ又はロと尖む手あり。此手中々勢を堅めんとする場合、稀に此手段あり。

〔六三五〇〕
常形
黒三、五。此時も白六要點なり。但し六三一三圖と異し、黒五低く拓くは猶ほ廣く手もあり。此圖、形に至つて決戰の機未だ遠し。

〔六三五九〕
場合

あゝ黒決死の一着、直ちに四と敵圍に衝いて入る。されど、普通は白を堅くして好まず。四に拓くを常形とす（後圖參照）。

〔六三六〇〕
白低し

一日の敵をゆるすは數世の患なりとや。然り。下邊に白いまゝに十五と低くしては、黒は縱橫を好まず。白イと切るるを適當の場合とし、前圖の結果ハニ白ホと結ぶを不用の筋とす。

〔六三六一〕
白三もあり

人は時代と共に呼吸と共に着手は變ぜり。一歩退いて堅守せしも我れ息づまるの感あり。黒は乃ち四、白六を可とす。

本圖以下六圖分かたるゝ所以

此形は第一圖以下卷一八二五圖と異りて、黒イと叩かれて白ロと切るゝ筋結果簡單に黒宜し。

〔六三六二〕
白無理なり

白三、五。黒六善し、此形置碁定石の如し。白七、九は黒緩し。十打つも、十一勇見過ぎなるべし。白が三十に已みがつゞき、黒三十、遂に覇權とし、白十六なれば、黒十五。

〔六三六三〕
白敗

黒十六でイは、白ロで黒損なり。黒三、白十、九、白十。白十、遂に虎嘯して得ず。白イ、黒一、勢に乘じ、黒ニ潰れる僅かに白ホと切るゝ外は、黒ハ、白ヘと打ちて絶對劫。黒チ、白十、黒十一、白ト、黒ヘへ白十、黒ニ、白ホ、黒チ

〔六三八二〕
常形
白六、八、十、形なり。天涯三百常有の変化。一路無辺に着手必ず三三に守りを固めるべく、情けなく速攻を以て十九の一子を取り、黒の形勢ずたずたに分断されては、通常の形にてはなし。黒損なり。

〔六三八三〕
黒の形確なり
白七なれば、黒は八とイとの應手あり。黒いま八と打ちてロの切り込みを含みたる利かす意味あり。

〔六三八四〕
黒好形
白単に九。黒乃ち十に入る。五十二の後、白十六、十の時は、十八、十二の肝要。黒四。白十三を十一に打ちて其結果黒悪しからず。

〔六三八五〕
黒善し
黒□、二の二子、俄然覚醒す、八。黒悪しかも此圖の着手を打ちて利あり。

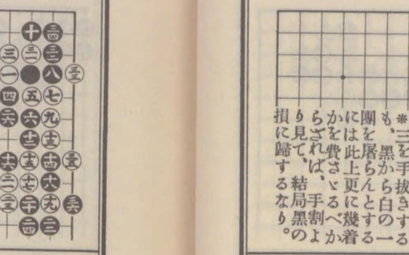
〔六三八六〕
黒厚し
白九、打抜黒を先に十一にせば、黒は先づ十二に守りを固めて十三に按じて四黒三の雄厚を堅持して前圖と同じ。

〔六三八七〕
黒可なり
白十一手筋。黒十二、十三に突き出でて白十四、黒十五に打ちしも、圖の如くなりては、通常黒損なり。

〔六三八八〕
白活きず
黒一、単直に白二に入る。虎狼の窟。危機到る。白四、黒五、白六、黒七、白八、黒九、白十、黒十一、白十二、黒十三。白十四、黒十五、白十六、黒十七、白十八、黒十九、白二十、黒ハロ、白イ、黒二十一、白二十二、黒二十三、白二十四、黒二十五、白二十六、黒二十七、白二十八、黒二十九、白三十、黒三十一、白三十二、黒三十三、白三十四、黒三十五、白三十六、黒三十七、白三十八、黒三十九、白四十、黒四十一、白四十二、黒四十三、白四十四、黒四十五、白四十六、黒四十七、白四十八、黒四十九、白五十、黒五十一、白五十二、黒五十三、白五十四、黒五十五、白五十六、黒五十七、白五十八、黒五十九、白六十、黒六十一、白六十二、黒六十三、白六十四、黒六十五、白六十六、黒六十七、白六十八、黒六十九、白七十、黒七十一、白七十二、黒七十三、白七十四、黒七十五、白七十六、黒七十七、白七十八、黒七十九、白八十、黒八十一、白八十二、黒八十三、白八十四、黒八十五、白八十六、黒八十七、白八十八、黒八十九、白九十、黒九十一、白九十二、黒九十三、白九十四、黒九十五、白九十六、黒九十七、白九十八、黒九十九、白百、黒百一、白百二、黒百三、白百四、黒百五、白百六、黒百七、白百八、黒百九、白百十、黒百十一、白百十二、黒百十三、白百十四、黒百十五、白百十六、黒百十七、白百十八、黒百十九、白百二十、黒百二十一、白百二十二、黒百二十三、白百二十四、黒百二十五、白百二十六、黒百二十七、白百二十八、黒百二十九、白百三十、黒百三十一、白百三十二、黒百三十三、白百三十四、黒百三十五、白百三十六、黒百三十七、白百三十八、黒百三十九、白百四十、黒百四十一、白百四十二、黒百四十三、白百四十四、黒百四十五、白百四十六、黒百四十七、白百四十八、黒百四十九、白百五十、黒百五十一、白百五十二、黒百五十三、白百五十四、黒百五十五、白百五十六、黒百五十七、白百五十八、黒百五十九、白百六十、黒百六十一、白百六十二、黒百六十三、白百六十四、黒百六十五、白百六十六、黒百六十七、白百六十八、黒百六十九、白百七十、黒百七十一、白百七十二、黒百七十三、白百七十四、黒百七十五、白百七十六、黒百七十七、白百七十八、黒百七十九、白百八十、黒百八十一、白百八十二、黒百八十三、白百八十四、黒百八十五、白百八十六、黒百八十七、白百八十八、黒百八十九、白百九十、黒百九十一、白百九十二、黒百九十三、白百九十四、黒百九十五、白百九十六、黒百九十七、白百九十八、黒百九十九、白二百、黒二百一、白二百二、黒二百三、白二百四、黒二百五、白二百六、黒二百七、白二百八、黒二百九、白二百十、黒二百十一、白二百十二、黒二百十三、白二百十四、黒二百十五、白二百十六、黒二百十七、白二百十八、黒二百十九、白二百二十、黒二百二十一、白二百二十二、黒二百二十三、白二百二十四、黒二百二十五、白二百二十六、黒二百二十七、白二百二十八、黒二百二十九、白二百三十、黒二百三十一、白二百三十二、黒二百三十三、白二百三十四、黒二百三十五、白二百三十六、黒二百三十七、白二百三十八、黒二百三十九、白二百四十、黒二百四十一、白二百四十二、黒二百四十三、白二百四十四、黒二百四十五、白二百四十六、黒二百四十七、白二百四十八、黒二百四十九、白二百五十、黒二百五十一、白二百五十二、黒二百五十三、白二百五十四、黒二百五十五、白二百五十六、黒二百五十七、白二百五十八、黒二百五十九、白二百六十、黒二百六十一、白二百六十二、黒二百六十三、白二百六十四、黒二百六十五、白二百六十六、黒二百六十七、白二百六十八、黒二百六十九、白二百七十、黒二百七十一、白二百七十二、黒二百七十三、白二百七十四、黒二百七十五、白二百七十六、黒二百七十七、白二百七十八、黒二百七十九、白二百八十、黒二百八十一、白二百八十二、黒二百八十三、白二百八十四、黒二百八十五、白二百八十六、黒二百八十七、白二百八十八、黒二百八十九、白二百九十、黒二百九十一、白二百九十二、黒二百九十三、白二百九十四、黒二百九十五、白二百九十六、黒二百九十七、白二百九十八、黒二百九十九、白三百、黒三百一、白三百二、黒三百三、白三百四、黒三百五、白三百六、黒三百七、白三百八、黒三百九、白三百十、黒三百十一、白三百十二、黒三百十三、白三百十四、黒三百十五、白三百十六、黒三百十七、白三百十八、黒三百十九、白三百二十、黒三百二十一、白三百二十二、黒三百二十三、白三百二十四、黒三百二十五、白三百二十六、黒三百二十七、白三百二十八、黒三百二十九、白三百三十、黒三百三十一、白三百三十二、黒三百三十三、白三百三十四、黒三百三十五、白三百三十六、黒三百三十七、白三百三十八、黒三百三十九、白三百四十、黒三百四十一、白三百四十二、黒三百四十三、白三百四十四、黒三百四十五、白三百四十六、黒三百四十七、白三百四十八、黒三百四十九、白三百五十、黒三百五十一、白三百五十二、黒三百五十三、白三百五十四、黒三百五十五、白三百五十六、黒三百五十七、白三百五十八、黒三百五十九、白三百六十、黒三百六十一、白三百六十二、黒三百六十三、白三百六十四、黒三百六十五、白三百六十六、黒三百六十七、白三百六十八、黒三百六十九、白三百七十、黒三百七十一、白三百七十二、黒三百七十三、白三百七十四、黒三百七十五、白三百七十六、黒三百七十七、白三百七十八、黒三百七十九、白三百八十、黒三百八十一、白三百八十二、黒三百八十三、白三百八十四、黒三百八十五、白三百八十六、黒三百八十七、白三百八十八、黒三百八十九、白三百九十、黒三百九十一、白三百九十二、黒三百九十三、白三百九十四、黒三百九十五、白三百九十六、黒三百九十七、白三百九十八、黒三百九十九、白四百、黒四百一、白四百二、黒四百三、白四百四、黒四百五、白四百六、黒四百七、白四百八、黒四百九、白四百十、黒四百十一、白四百十二、黒四百十三、白四百十四、黒四百十五、白四百十六、黒四百十七、白四百十八、黒四百十九、白四百二十、黒四百二十一、白四百二十二、黒四百二十三、白四百二十四、黒四百二十五、白四百二十六、黒四百二十七、白四百二十八、黒四百二十九、白四百三十、黒四百三十一、白四百三十二、黒四百三十三、白四百三十四、黒四百三十五、白四百三十六、黒四百三十七、白四百三十八、黒四百三十九、白四百四十、黒四百四十一、白四百四十二、黒四百四十三、白四百四十四、黒四百四十五、白四百四十六、黒四百四十七、白四百四十八、黒四百四十九、白四百五十、黒四百五十一、白四百五十二、黒四百五十三、白四百五十四、黒四百五十五、白四百五十六、黒四百五十七、白四百五十八、黒四百五十九、白四百六十、黒四百六十一、白四百六十二、黒四百六十三、白四百六十四、黒四百六十五、白四百六十六、黒四百六十七、白四百六十八、黒四百六十九、白四百七十、黒四百七十一、白四百七十二、黒四百七十三、白四百七十四、黒四百七十五、白四百七十六、黒四百七十七、白四百七十八、黒四百七十九、白四百八十、黒四百八十一、白四百八十二、黒四百八十三、白四百八十四、黒四百八十五、白四百八十六、黒四百八十七、白四百八十八、黒四百八十九、白四百九十、黒四百九十一、白四百九十二、黒四百九十三、白四百九十四、黒四百九十五、白四百九十六、黒四百九十七、白四百九十八、黒四百九十九、白五百、黒五百一、白五百二、黒五百三、白五百四、黒五百五、白五百六、黒五百七、白五百八、黒五百九、白五百十、黒五百十一、白五百十二、黒五百十三、白五百十四、黒五百十五、白五百十六、黒五百十七、白五百十八、黒五百十九、白五百二十、黒五百二十一、白五百二十二、黒五百二十三、白五百二十四、黒五百二十五、白五百二十六、黒五百二十七、白五百二十八、黒五百二十九、白五百三十、黒五百三十一、白五百三十二、黒五百三十三、白五百三十四、黒五百三十五、白五百三十六、黒五百三十七、白五百三十八、黒五百三十九、白五百四十、黒五百四十一、白五百四十二、黒五百四十三、白五百四十四、黒五百四十五、白五百四十六、黒五百四十七、白五百四十八、黒五百四十九、白五百五十、黒五百五十一、白五百五十二、黒五百五十三、白五百五十四、黒五百五十五、白五百五十六、黒五百五十七、白五百五十八、黒五百五十九、白五百六十、黒五百六十一、白五百六十二、黒五百六十三、白五百六十四、黒五百六十五、白五百六十六、黒五百六十七、白五百六十八、黒五百六十九、白五百七十、黒五百七十一、白五百七十二、黒五百七十三、白五百七十四、黒五百七十五、白五百七十六、黒五百七十七、白五百七十八、黒五百七十九、白五百八十、黒五百八十一、白五百八十二、黒五百八十三、白五百八十四、黒五百八十五、白五百八十六、黒五百八十七、白五百八十八、黒五百八十九、白五百九十、黒五百九十一、白五百九十二、黒五百九十三、白五百九十四、黒五百九十五、白五百九十六、黒五百九十七、白五百九十八、黒五百九十九、白六百、黒六百一、白六百二、黒六百三、白六百四、黒六百五、白六百六、黒六百七、白六百八、黒六百九、白六百十、黒六百十一、白六百十二、黒六百十三、白六百十四、黒六百十五、白六百十六、黒六百十七、白六百十八、黒六百十九、白六百二十、黒六百二十一、白六百二十二、黒六百二十三、白六百二十四、黒六百二十五、白六百二十六、黒六百二十七、白六百二十八、黒六百二十九、白六百三十、黒六百三十一、白六百三十二、黒六百三十三、白六百三十四、黒六百三十五、白六百三十六、黒六百三十七、白六百三十八、黒六百三十九、白六百四十、黒六百四十一、白六百四十二、黒六百四十三、白六百四十四、黒六百四十五、白六百四十六、黒六百四十七、白六百四十八、黒六百四十九、白六百五十、黒六百五十一、白六百五十二、黒六百五十三、白六百五十四、黒六百五十五、白六百五十六、黒六百五十七、白六百五十八、黒六百五十九、白六百六十、黒六百六十一、白六百六十二、黒六百六十三、白六百六十四、黒六百六十五、白六百六十六、黒六百六十七、白六百六十八、黒六百六十九、白六百七十、黒六百七十一、白六百七十二、黒六百七十三、白六百七十四、黒六百七十五、白六百七十六、黒六百七十七、白六百七十八、黒六百七十九、白六百八十、黒六百八十一、白六百八十二、黒六百八十三、白六百八十四、黒六百八十五、白六百八十六、黒六百八十七、白六百八十八、黒六百八十九、白六百九十、黒六百九十一、白六百九十二、黒六百九十三、白六百九十四、黒六百九十五、白六百九十六、黒六百九十七、白六百九十八、黒六百九十九、白七百、黒七百一、白七百二、黒七百三、白七百四、黒七百五、白七百六、黒七百七、白七百八、黒七百九、白七百十、黒七百十一、白七百十二、黒七百十三、白七百十四、黒七百十五、白七百十六、黒七百十七、白七百十八、黒七百十九、白七百二十、黒七百二十一、白七百二十二、黒七百二十三、白七百二十四、黒七百二十五、白七百二十六、黒七百二十七、白七百二十八、黒七百二十九、白七百三十、黒七百三十一、白七百三十二、黒七百三十三、白七百三十四、黒七百三十五、白七百三十六、黒七百三十七、白七百三十八、黒七百三十九、白七百四十、黒七百四十一、白七百四十二、黒七百四十三、白七百四十四、黒七百四十五、白七百四十六、黒七百四十七、白七百四十八、黒七百四十九、白七百五十、黒七百五十一、白七百五十二、黒七百五十三、白七百五十四、黒七百五十五、白七百五十六、黒七百五十七、白七百五十八、黒七百五十九、白七百六十、黒七百六十一、白七百六十二、黒七百六十三、白七百六十四、黒七百六十五、白七百六十六、黒七百六十七、白七百六十八、黒七百六十九、白七百七十、黒七百七十一、白七百七十二、黒七百七十三、白七百七十四、黒七百七十五、白七百七十六、黒七百七十七、白七百七十八、黒七百七十九、白七百八十、黒七百八十一、白七百八十二、黒七百八十三、白七百八十四、黒七百八十五、白七百八十六、黒七百八十七、白七百八十八、黒七百八十九、白七百九十、黒七百九十一、白七百九十二、黒七百九十三、白七百九十四、黒七百九十五、白七百九十六、黒七百九十七、白七百九十八、黒七百九十九、白八百、黒八百一、白八百二、黒八百三、白八百四、黒八百五、白八百六、黒八百七、白八百八、黒八百九、白八百十、黒八百十一、白八百十二、黒八百十三、白八百十四、黒八百十五、白八百十六、黒八百十七、白八百十八、黒八百十九、白八百二十、黒八百二十一、白八百二十二、黒八百二十三、白八百二十四、黒八百二十五、白八百二十六、黒八百二十七、白八百二十八、黒八百二十九、白八百三十、黒八百三十一、白八百三十二、黒八百三十三、白八百三十四、黒八百三十五、白八百三十六、黒八百三十七、白八百三十八、黒八百三十九、白八百四十、黒八百四十一、白八百四十二、黒八百四十三、白八百四十四、黒八百四十五、白八百四十六、黒八百四十七、白八百四十八、黒八百四十九、白八百五十、黒八百五十一、白八百五十二、黒八百五十三、白八百五十四、黒八百五十五、白八百五十六、黒八百五十七、白八百五十八、黒八百五十九、白八百六十、黒八百六十一、白八百六十二、黒八百六十三、白八百六十四、黒八百六十五、白八百六十六、黒八百六十七、白八百六十八、黒八百六十九、白八百七十、黒八百七十一、白八百七十二、黒八百七十三、白八百七十四、黒八百七十五、白八百七十六、黒八百七十七、白八百七十八、黒八百七十九、白八百八十、黒八百八十一、白八百八十二、黒八百八十三、白八百八十四、黒八百八十五、白八百八十六、黒八百八十七、白八百八十八、黒八百八十九、白八百九十、黒八百九十一、白八百九十二、黒八百九十三、白八百九十四、黒八百九十五、白八百九十六、黒八百九十七、白八百九十八、黒八百九十九、白九百、黒九百一、白九百二、黒九百三、白九百四、黒九百五、白九百六、黒九百七、白九百八、黒九百九、白九百十、黒九百十一、白九百十二、黒九百十三、白九百十四、黒九百十五、白九百十六、黒九百十七、白九百十八、黒九百十九、白九百二十、黒九百二十一、白九百二十二、黒九百二十三、白九百二十四、黒九百二十五、白九百二十六、黒九百二十七、白九百二十八、黒九百二十九、白九百三十、黒九百三十一、白九百三十二、黒九百三十三、白九百三十四、黒九百三十五、白九百三十六、黒九百三十七、白九百三十八、黒九百三十九、白九百四十、黒九百四十一、白九百四十二、黒九百四十三、白九百四十四、黒九百四十五、白九百四十六、黒九百四十七、白九百四十八、黒九百四十九、白九百五十、黒九百五十一、白九百五十二、黒九百五十三、白九百五十四、黒九百五十五、白九百五十六、黒九百五十七、白九百五十八、黒九百五十九、白九百六十、黒九百六十一、白九百六十二、黒九百六十三、白九百六十四、黒九百六十五、白九百六十六、黒九百六十七、白九百六十八、黒九百六十九、白九百七十、黒九百七十一、白九百七十二、黒九百七十三、白九百七十四、黒九百七十五、白九百七十六、黒九百七十七、白九百七十八、黒九百七十九、白九百八十、黒九百八十一、白九百八十二、黒九百八十三、白九百八十四、黒九百八十五、白九百八十六、黒九百八十七、白九百八十八、黒九百八十九、白九百九十、黒九百九十一、白九百九十二、黒九百九十三、白九百九十四、黒九百九十五、白九百九十六、黒九百九十七、白九百九十八、黒九百九十九、白千、黒千一、白千二、黒千三、白千四、黒千五、白千六、黒千七、白千八、黒千九、白千十、黒千十一、白千十二、黒千十三、白千十四、黒千十五、白千十六、黒千十七、白千十八、黒千十九、白千二十、黒千二十一、白千二十二、黒千二十三、白千二十四、黒千二十五、白千二十六、黒千二十七、白千二十八、黒千二十九、白千三十、黒千三十一、白千三十二、黒千三十三、白千三十四、黒千三十五、白千三十六、黒千三十七、白千三十八、黒千三十九、白千四十、黒千四十一、白千四十二、黒千四十三、白千四十四、黒千四十五、白千四十六、黒千四十七、白千四十八、黒千四十九、白千五十、黒千五十一、白千五十二、黒千五十三、白千五十四、黒千五十五、白千五十六、黒千五十七、白千五十八、黒千五十九、白千六十、黒千六十一、白千六十二、黒千六十三、白千六十四、黒千六十五、白千六十六、黒千六十七、白千六十八、黒千六十九、白千七十、黒千七十一、白千七十二、黒千七十三、白千七十四、黒千七十五、白千七十六、黒千七十七、白千七十八、黒千七十九、白千八十、黒千八十一、白千八十二、黒千八十三、白千八十四、黒千八十五、白千八十六、黒千八十七、白千八十八、黒千八十九、白千九十、黒千九十一、白千九十二、黒千九十三、白千九十四、黒千九十五、白千九十六、黒千九十七、白千九十八、黒千九十九、白二千、黒二千一、白二千二、黒二千三、白二千四、黒二千五、白二千六、黒二千七、白二千八、黒二千九、白二千十、黒二千十一、白二千十二、黒二千十三、白二千十四、黒二千十五、白二千十六、黒二千十七、白二千十八、黒二千十九、白二千二十、黒二千二十一、白二千二十二、黒二千二十三、白二千二十四、黒二千二十五、白二千二十六、黒二千二十七、白二千二十八、黒二千二十九、白二千三十、黒二千三十一、白二千三十二、黒二千三十三、白二千三十四、黒二千三十五、白二千三十六、黒二千三十七、白二千三十八、黒二千三十九、白二千四十、黒二千四十一、白二千四十二、黒二千四十三、白二千四十四、黒二千四十五、白二千四十六、黒二千四十七、白二千四十八、黒二千四十九、白二千五十、黒二千五十一、白二千五十二、黒二千五十三、白二千五十四、黒二千五十五、白二千五十六、黒二千五十七、白二千五十八、黒二千五十九、白二千六十、黒二千六十一、白二千六十二、黒二千六十三、白二千六十四、黒二千六十五、白二千六十六、黒二千六十七、白二千六十八、黒二千六十九、白二千七十、黒二千七十一、白二千七十二、黒二千七十三、白二千七十四、黒二千七十五、白二千七十六、黒二千七十七、白二千七十八、黒二千七十九、白二千八十、黒二千八十一、白二千八十二、黒二千八十三、白二千八十四、黒二千八十五、白二千八十六、黒二千八十七、白二千八十八、黒二千八十九、白二千九十、黒二千九十一、白二千九十二、黒二千九十三、白二千九十四、黒二千九十五、白二千九十六、黒二千九十七、白二千九十八、黒二千九十九、白三千、黒三千一、白三千二、黒三千三、白三千四、黒三千五、白三千六、黒三千七、白三千八、黒三千九、白三千十、黒三千十一、白三千十二、黒三千十三、白三千十四、黒三千十五、白三千十六、黒三千十七、白三千十八、黒三千十九、白三千二十、黒三千二十一、白三千二十二、黒三千二十三、白三千二十四、黒三千二十五、白三千二十六、黒三千二十七、白三千二十八、黒三千二十九、白三千三十、黒三千三十一、白三千三十二、黒三千三十三、白三千三十四、黒三千三十五、白三千三十六、黒三千三十七、白三千三十八、黒三千三十九、白三千四十、黒三千四十一、白三千四十二、黒三千四十三、白三千四十四、黒三千四十五、白三千四十六、黒三千四十七、白三千四十八、黒三千四十九、白三千五十、黒三千五十一、白三千五十二、黒三千五十三、白三千五十四、黒三千五十五、白三千五十六、黒三千五十七、白三千五十八、黒三千五十九、白三千六十、黒三千六十一、白三千六十二、黒三千六十三、白三千六十四、黒三千六十五、白三千六十六、黒三千六十七、白三千六十八、黒三千六十九、白三千七十、黒三千七十一、白三千七十二、黒三千七十三、白三千七十四、黒三千七十五、白三千七十六、黒三千七十七、白三千七十八、黒三千七十九、白三千八十、黒三千八十一、白三千八十二、黒三千八十三、白三千八十四、黒三千八十五、白三千八十六、黒三千八十七、白三千八十八、黒三千八十九、白三千九十、黒三千九十一、白三千九十二、黒三千九十三、白三千九十四、黒三千九十五、白三千九十六、黒三千九十七、白三千九十八、黒三千九十九、白四千、黒四千一、白四千二、黒四千三、白四千四、黒四千五、白四千六、黒四千七、白四千八、黒四千九、白四千十、黒四千十一、白四千十二、黒四千十三、白四千十四、黒四千十五、白四千十六、黒四千十七、白四千十八、黒四千十九、白四千二十、黒四千二十一、白四千二十二、黒四千二十三、白四千二十四、黒四千二十五、白四千二十六、黒四千二十七、白四千二十八、黒四千二十九、白四千三十、黒四千三十一、白四千三十二、黒四千三十三、白四千三十四、黒四千三十五、白四千三十六、黒四千三十七、白四千三十八、黒四千三十九、白四千四十、黒四千四十一、白四千四十二、黒四千四十三、白四千四十四、黒四千四十五、白四千四十六、黒四千四十七、白四千四十八、黒四千四十九、白四千五十、黒四千五十一、白四千五十二、黒四千五十三、白四千五十四、黒四千五十五、白四千五十六、黒四千五十七、白四千五十八、黒四千五十九、白四千六十、黒四千六十一、白四千六十二、黒四千六十三、白四千六十四、黒四千六十五、白四千六十六、黒四千六十七、白四千六十八、黒四千六十九、白四千七十、黒四千七十一、白四千七十二、黒四千七十三、白四千七十四、黒四千七十五、白四千七十六、黒四千七十七、白四千七十八、黒四千七十九、白四千八十、黒四千八十一、白四千八十二、黒四千八十三、白四千八十四、黒四千八十五、白四千八十六、黒四千八十七、白四千八十八、黒四千八十九、白四千九十、黒四千九十一、白四千九十二、黒四千九十三、白四千九十四、黒四千九十五、白四千九十六、黒四千九十七、白四千九十八、黒四千九十九、白五千、黒五千一、白五千二、黒五千三、白五千四、黒五千五、白五千六、黒五千七、白五千八、黒五千九、白五千十、黒五千十一、白五千十二、黒五千十三、白五千十四、黒五千十五、白五千十六、黒五千十七、白五千十八、黒五千十九、白五千二十、黒五千二十一、白五千二十二、黒五千二十三、白五千二十四、黒五千二十五、白五千二十六、黒五千二十七、白五千二十八、黒五千二十九、白五千三十、黒五千三十一、白五千三十二、黒五千三十三、白五千三十四、黒五千三十五、白五千三十六、黒五千三十七、白五千三十八、黒五千三十九、白五千四十、黒五千四十一、白五千四十二、黒五千四十三、白五千四十四、黒五千四十五、白五千四十六、黒五千四十七、白五千四十八、黒五千四十九、白五千五十、黒五千五十一、白五千五十二、黒五千五十三、白五千五十四、黒五千五十五、白五千五十六、黒五千五十七、白五千五十八、黒五千五十九、白五千六十、黒五千六十一、白五千六十二、黒五千六十三、白五千六十四、黒五千六十五、白五千六十六、黒五千六十七、白五千六十八、黒五千六十九、白五千七十、黒五千七十一、白五千七十二、黒五千七十三、白五千七十四、黒五千七十五、白五千七十六、黒五千七十七、白五千七十八、黒五千七十九、白五千八十、黒五千八十一、白五千八十二、黒五千八十三、白五千八十四、黒五千八十五、白五千八十六、黒五千八十七、白五千八十八、黒五千八十九、白五千九十、黒五千九十一、白五千九十二、黒五千九十三、白五千九十四、黒五千九十五、白五千九十六、黒五千九十七、白五千九十八、黒五千九十九、白六千、黒六千一、白六千二、黒六千三、白六千四、黒六千五、白六千六、黒六千七、白六千八、黒六千九、白六千十、黒六千十一、白六千十二、黒六千十三、白六千十四、黒六千十五、白六千十六、黒六千十七、白六千十八、黒六千十九、白六千二十、黒六千二十一、白六千二十二、黒六千二十三、白六千二十四、黒六千二十五、白六千二十六、黒六千二十七、白六千二十八、黒六千二十九、白六千三十、黒六千三十一、白六千三十二、黒六千三十三、白六千三十四、黒六千三十五、白六千三十六、黒六千三十七、白六千三十八、黒六千三十九、白六千四十、黒六千四十一、白六千四十二、黒六千四十三、白六千四十四、黒六千四十五、白六千四十六、黒六千四十七、白六千四十八、黒六千四十九、白六千五十、黒六千五十一、白六千五十二、黒六千五十三、白六千五十四、黒六千五十五、白六千五十六、黒六千五十七、白六千五十八、黒六千五十九、白六千六十、黒六千六十一、白六千六十二、黒六千六十三、白六千六十四、黒六千六十五、白六千六十六、黒六千六十七、白六千六十八、黒六千六十九、白六千七十、黒六千七十一、白六千七十二、黒六千七十三、白六千七十四、黒六千七十五、白六千七十六、黒六千七十七、白六千七十八、黒六千七十九、白六千八十、黒六千八十一、白六千八十二、黒六千八十三、白六千八十四、黒六千八十五、白六千八十六、黒六千八十七、白六千八十八、黒六千八十九、白六千九十、黒六千九十一、白六千九十二、黒六千九十三、白六千九十四、黒六千九十五、白六千九十六、黒六千九十七、白六千九十八、黒六千九十九、白七千、黒七千一、白七千二、黒七千三、白七千四、黒七千五、白七千六、黒七千七、白七千八、黒七千九、白七千十、黒七千十一、白七千十二、黒七千十三、白七千十四、黒七千十五、白七千十六、黒七千十七、白七千十八、黒七千十九、白七千二十、黒七千二十一、白七千二十二、黒七千二十三、白七千二十四、黒七千二十五、白七千二十六、黒七千二十七、白七千二十八、黒七千二十九、白七千三十、黒七千三十一、白七千三十二、黒七千三十三、白七千三十四、黒七千三十五、白七千三十六、黒七千三十七、白七千三十八、黒七千三十九、白七千四十、黒七千四十一、白七千四十二、黒七千四十三、白七千四十四、黒七千四十五、白七千四十六、黒七千四十七、白七千四十八、黒七千四十九、白七千五十、黒七千五十一、白七千五十二、黒七千五十三、白七千五十四、黒七千五十五、白七千五十六、黒七千五十七、白七千五十八、黒七千五十九、白七千六十、黒七千六十一、白七千六十二、黒七千六十三、白七千六十四、黒七千六十五、白七千六十六、黒七千六十七、白七千六十八、黒七千六十九、白七千七十、黒七千七十一、白七千七十二、黒七千七十三、白七千七十四、黒七千七十五、白七千七十六、黒七千七十七、白七千七十八、黒七千七十九、白七千八十、黒七千八十一、白七千八十二、黒七千八十三、白七千八十四、黒七千八十五、白七千八十六、黒七千八十七、白七千八十八、黒七千八十九、白七千九十、黒七千九十一、白七千九十二、黒七千九十三、白七千九十四、黒七千九十五、白七千九十六、黒七千九十七、白七千九十八、黒七千九十九、白八千、黒八千一、白八千二、黒八千三、白八千四、黒八千五、白八千六、黒八千七、白八千八、黒八千九、白八千十、黒八千十一、白八千十二、黒八千十三、白八千十四、黒八千十五、白八千十六、黒八千十七、白八千十八、黒八千十九、白八千二十、黒八千二十一、白八千二十二、黒八千二十三、白八千二十四、黒八千二十五、白八千二十六、黒八千二十七、白八千二十八、黒八千二十九、白八千三十、黒八千三十一、白八千三十二、黒八千三十三、白八千三十四、黒八千三十五、白八千三十六、黒八千三十七、白八千三十八、黒八千三十九、白八千四十、黒八千四十一、白八千四十二、黒八千四十三、白八千四十四、黒八千四十五、白八千四十六、黒八千四十七、白八千四十八、黒八千四十九、白八千五十、黒八千五十一、白八千五十二、黒八千五十三、白八千五十四、黒八千五十五、白八千五十六、黒八千五十七、白八千五十八、黒八千五十九、白八千六十、黒八千六十一、白八千六十二、黒八千六十三、白八千六十四、黒八千六十五、白八千六十六、黒八千六十七、白八千六十八、黒八千六十九、白八千七十、黒八千七十一、白八千七十二、黒八千七十三、白八千七十四、黒八千七十五、白八千七十六、黒八千七十七、白八千七十八、黒八千七十九、白八千八十、黒八千八十一、白八千八十二、黒八千八十三、白八千八十四、黒八千八十五、白八千八十六、黒八千八十七、白八千八十八、黒八千八十九、白八千九十、黒八千九十一、白八千九十二、黒八千九十三、白八千九十四、黒八千九十五、白八千九十六、黒八千九十七、白八千九十八、黒八千九十九、白九千、黒九千一、白九千二、黒九千三、白九千四、黒九千五、白九千六、黒九千七、白九千八、黒九千九、白九千十、黒九千十一、白九千十二、黒九千十三、白九千十四、黒九千十五、白九千十六、黒九千十七、白九千十八、黒九千十九、白九千二十、黒九千二十一、白九千二十二、黒九千二十三、白九千二十四、黒九千二十五、白九千二十六、黒九千二十七、白九千二十八、黒九千二十九、白九千三十、黒九千三十一、白九千三十二、黒九千三十三、白九千三十四、黒九千三十五、白九千三十六、黒九千三十七、白九千三十八、黒九千三十九、白九千四十、黒九千四十一、白九千四十二、黒九千四十三、白九千四十四、黒九千四十五、白九千四十六、黒九千四十七、白九千四十八、黒九千四十九、白九千五十、黒九千五十一、白九千五十二、黒九千五十三、白九千五十四、黒九千五十五、白九千五十六、黒九千五十七、白九千五十八、黒九千五十九、白九千六十、黒九千六十一、白九千六十二、黒九千六十三、白九千六十四、黒九千六十五、白九千六十六、黒九千六十七、白九千六十八、黒九千六十九、白九千七十、黒九千七十一、白九千七十二、黒九千七十三、白九千七十四、黒九千七十五、白九千七十六、黒九千七十七、白九千七十八、黒九千七十九、白九千八十、黒九千八十一、白九千八十二、黒九千八十三、白九千八十四、黒九千八十五、白九千八十六、黒九千八十七、白九千八十八、黒九千八十九、白九千九十、黒九千九十一、白九千九十二、黒九千九十三、白九千九十四、黒九千九十五、白九千九十六、黒九千九十七、白九千九十八、黒九千九十九、白一万、黒一万一、白一万二、黒一万三、白一万四、黒一万五、白一万六、黒一万七、白一万八、黒一万九、白一万十、黒一万十一、白一万十二、黒一万十三、白一万十四、黒一万十五、白一万十六、黒一万十七、白一万十八、黒一万十九、白一万二十、黒一万二十一、白一万二十二、黒一万二十三、白一万二十四、黒一万二十五、白一万二十六、黒一万二十七、白一万二十八、黒一万二十九、白一万三十、黒一万三十一、白一万三十二、黒一万三十三、白一万三十四、黒一万三十五、白一万三十六、黒一万三十七、白一万三十八、黒一万三十九、白一万四十、黒一万四十一、白一万四十二、黒一万四十三、白一万四十四、黒一万四十五、白一万四十六、黒一万四十七、白一万四十八、黒一万四十九、白一万五十、黒一万五十一、白一万五十二、黒一万五十三、白一万五十四、黒一万五十五、白一万五十六、黒一万五十七、白一万五十八、黒一万五十九、白一万六十、黒一万六十一、白一万六十二、黒一万六十三、白一万六十四、黒一万六十五、白一万六十六、黒一万六十七、白一万六十八、黒一万六十九、白一万七十、黒一万七十一、白一万七十二、黒一万七十三、白一万七十四、黒一万七十五、白一万七十六、黒一万七十七、白一万七十八、黒一万七十九、白一万八十、黒一万八十一、白一万八十二、黒一万八十三、白一万八十四、黒一万八十五、白一万八十六、黒一万八十七、白一万八十八、黒一万八十九、白一万九十、黒一万九十一、白一万九十二、黒一万九十三、白一万九十四、黒一万九十五、白一万九十六、黒一万九十七、白一万九十八、黒一万九十九、白二万、黒二万一、白二万二、黒二万三、白二万四、黒二万五、白二万六、黒二万七、白二万八、黒二万九、白二万十、黒二万十一、白二万十二、黒二万十三、白二万十四、黒二万十五、白二万十六、黒二万十七、白二万十八、黒二万十九、白二万二十、黒二万二十一、白二万二十二、黒二万二十三、白二万二十四、黒二万二十五、白二万二十六、黒二万二十七、白二万二十八、黒二万二十九、白二万三十、黒二万三十一、白二万三十二、黒二万三十三、白二万三十四、黒二万三十五、白二万三十六、黒二万三十七、白二万三十八、黒二万三十九、白二万四十、黒二万四十一、白二万四十二、黒二万四十三、白二万四十四、黒二万四十五、白二万四十六、黒二万四十七、白二万四十八、黒二万四十九、白二万五十、黒二万五十一、白二万五十二、黒二万五十三、白二万五十四、黒二万五十五、白二万五十六、黒二万五十七、白二万五十八、黒二万五十九、白二万六十、黒二万六十一、白二万六十二、黒二万六十三、白二万六十四、黒二万六十五、白二万六十六、黒二万六十七、白二万六十八、黒二万六十九、白二万七十、黒二万七十一、白二万七十二、黒二万七十三、白二万七十四、黒二万七十五、白二万七十六、黒二万七十七、白二万七十八、黒二万七十九、白二万八十、黒二万八十一、白二万八十二、黒二万八十三、白二万八十四、黒二万八十五、白二万八十六、黒二万八十七、白二万八十八、黒二万八十九、白二万九十、黒二万九十一、白二万九十二、黒二万九十三、白二万九十四、黒二万九十五、白二万九十六、黒二万九十七、白二万九十八、黒二万九十九、白三万、黒三万一、白三万二、黒三万三、白三万四、黒三万五、白三万六、黒三万七、白三万八、黒三万九、白三万十、黒三万十一、白三万十二、黒三万十三、白三万十四、黒三万十五、白三万十六、黒三万十七、白三万十八、黒三万十九、白三万二十、黒三万二十一、白三万二十二、黒三万二十三、白三万二十四、黒三万二十五、白三万二十六、黒三万二十七、白三万二十八、黒三万二十九、白三万三十、黒三万三十一、白三万三十二、黒三万三十三、白三万三十四、黒三万三十五、白三万三十六、黒三万三十七、白三万三十八、黒三万三十九、白三万四十、黒三万四十一、白三万四十二、黒三万四十三、白三万四十四、黒三万四十五、白三万四十六、黒三万四十七、白三万四十八、黒三万四十九、白三万五十、黒三万五十一、白三万五十二、黒三万五十三、白三万五十四、黒三万五十五、白三万五十六、黒三万五十七、白三万五十八、黒三万五十九、白三万六十、黒三万六十一、白三万六十二、黒三万六十三、白三万六十四、黒三万六十五、白三万六十六、黒三万六十七、白三万六十八、黒三万六十九、白三万七十、黒三万七十一、白三万七十二、黒三万七十三、白三万七十四、黒三万七十五、白三万七十六、黒三万七十七、白三万七十八、黒三万七十九、白三万八十、黒三万八十一、白三万八十二、黒三万八十三、白三万八十四、黒三万八十五、白三万八十六、黒三万八十七、白三万八十八、黒三万八十九、白三万九十、黒三万九十一、白三万九十二、黒三万九十三、白三万九十四、黒三万九十五、白三万九十六、黒三万九十七、白三万九十八、黒三万九十九、白四万、黒四万一、白四万二、黒四万三、白四万四、黒四万五、白四万六、黒四万七、白四万八、黒四万九、白四万十、黒四万十一、白四万十二、黒四万十三、白四万十四、黒四万十五、白四万十六、黒四万十七、白四万十八、黒四万十九、白四万二十、黒四万二十一、白四万二十二、黒四万二十三、白四万二十四、黒四万二十五、白四万二十六、黒四万二十七、白四万二十八、黒四万二十九、白四万三十、黒四万三十一、白四万三十二、黒四万三十三、白四万三

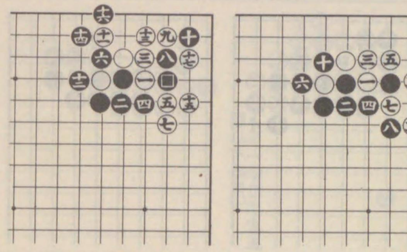
〔六四〇六〕
黒優れり

白七、九に取れば、十に黒は一子打抜。十三。黒は厚き攻を誇り、黒十の打抜きが、邊陲の白九の打抜きに優るは、明白の事實なり。



〔六四〇七〕
黒優れり

白五に切れるも、赤六。黒は十四に約へて大邊を厚くせし手段、黒十以下、白八は萬死以て、一功著し。



〔六四〇八〕
黒却て悪し

黒十以下、活路を得んとせしは不可。黒重き劫を委となれども。白二三をイにても、白ロで劫きたるも、黒二三を手抜きしてより、白ハにても、黒イと下抜きしてより、白ロにても、黒ニと劫きたるも、白ホと下抜きしてより、以下、白ハ、黒イ、白ロ、黒ニ、白イ、黒ホ、白ニ、黒ロ、白ハ

〔六四二三〕**黒善し**　黒無理。白三、無論四と切る。此手は百錬の如く鍛利。白九と打てば、黒八と抜く。三本目の鑓の下論に一撃すべしと雖も、白の遂に不癒の断根を残すに如かず。白五に歸れば、黒七利なく、加之、隅と外黒地ほぼ同じく、前々略図に得、黒悪しからず。

〔六四二四〕**黒の勢善し**　白七。此時黒はイと取るも手あれど、白の如く黒八と絶つも変化簡明、黒形優る。

〔六四二五〕**黒善し**　白七と約に至る。黒は以下無論八、十八。黒遂に形、十八の先手、脾睨す。左右の白の連絡を断ち、次に黒執れば、白の夾攻を免れずよりの損。

〔六四二六〕**白大敗**　脆き者よ汝の名は女なり。白十の一手甚だ無理。爲に黒一遭ふや、白の逆撃に遭ひ、却つて十、九の黒の枝の如き痛撃を受け、遂に活路以て無しの。

〔六四二七〕**黒可なり**　白七。黒乃ち十八、白九と打てば、黒十八、白三本抜くに一撃すべしと雖も、前々略図に得、加之、隅と外黒地ほぼ同じく、黒悪しからず。

〔六四二八〕**黒可なり**　白七の處に粘げば、黒八の一手にて遂に十手。白遂に十五。此形、黒無論善し。但し黒以下論なく、如何にも戦ふべき全き局の配陣如何によりて決せらる。

〔六四二九〕**絶對劫**　白若しイに単に五六に挑めば、黒遂に窮して宜れ十九に劫取此劫如絶形。白十に劫取此劫如何對二て宜れ抛はイ無論の損なる次に必ずイと打ぜいぜ。

〔六四三〇〕**定石**　白六、八以下打てば、黒打易く且つ簡明。黒善し。此形、黒無論善し。但し黒以下論なく、如何にも戦ふべき全き局の配陣如何によりて決せらる。

〔六四三一〕**場合の手段**　互先　村島誼紀　當時四段
橋本宇太郎　當時四段
中押勝

嘘乎「籌を帷幄の中に運らし、勝を千里の外に決す」と古人の言ふ。此一局の如きは、正に「籌を帷幄の中に運らし、勝を千里の外に決す」と古人の言ふ。此一局の如きは、正に「籌を帷幄の中に運らし、勝を千里の外に決す」と古人の言ふ。

〔六四三二〕**黒優れり**　白五。黒乃ち磐石の如き厚味を以て六に尋で十に翼を張つて中原を席捲す。尤も、黒の勢壮なり、黒六は堅くイを確保するも、白の一に対するも、白の宜し。

〔六四三三〕**要點約言**（第六五型ニ）　白六でイと行くも、黒二と綽込み、第一図以下一参照（二三變化は、第一図以下一参照）。

〔六四三四〕**要點約言**（上）（第六五型全部）　黒三、變則の手段。尤も非にて一段。隅を固むるためにあるは時に飛。此くの如きは形あり。さればつる、黒が図の如き互角の點にある。

〔六四三五〕**要點約言**（下）（第六五型全部）　黒三なれば、白四、必然の手。此時黒イにロ、ハにニの手段あり。其の三中イは黒一と小目なるも、ロとハの四つの内、二ある時は黒只ニの好点なれど、常形に及ばず。

〔六四三六〕**基本圖**（第六六型）　白二の小斜走に對する黒三の斜走は變則の手段。場合に適す。

〔六四三七〕**基本圖**（第六六型イ）　黒三の斜走に對して白四と手抜くの五法あり。其中、白四は最も穩健なり。

〔六四三八〕**定石**　白四なれば、黒は手抜或は他に種々あるも、其中黒五の拓き普通なり。此形、他日來らん、とも戦を想見し、無限の示唆を持つ。

〔六四三九〕**形勢互角**　白二に此形に急襲！二は急所なり。暗雲漲たる戦雲五に防ぐ。黒依て三、黒三を四と備へれば、白三、黒三、白六にて、黒形稍※

〔六四四〇〕**黒稍利あり**　白六なれば、黒七と綽返すべし。黒七を八と緩し。白八と黒九と緩し。黒七は妖氣に動乱と東北に修羅を澎湃に阿修せり。此場！白四でイなれば、黒ロと白ハ、白ニと黒ホへ。

〔六四四一〕**黒優れり**　白六、而して三に立つて、黒一と十に先撃、以下一彼我息、就中、二は宜しく。黒二と接戦づまる。白四と下る。黒五は輕快に發手！次に黒イの一間に拓き、最も穩健なり。第※

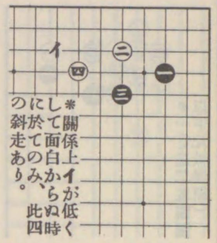
〔六四四二〕**白利勢**　黒三、輕卒。白今や二の狙ひ遂ぐ、即ち四と六に手筋な尤も此は強くイもあり。

〔六四四三〕**黒確なり**　白二以下八もあり。次に白イ黒ロ白ハ黒ニ白ホと白面の鑓突出して刀鎗将に鳴らんとす。黒九は狙ひ鋭し。十でも宜し。

〔六四四四〕**黒堅し**　水禽の足に暇無き思ひ。黒一、三、二、狙撃なり。堅固に固むる、堅実なり。かくては黒の□も正形に整へ、白も四要點、但し、白四ではイまたはロも宜し。

〔六四四五〕**要點約言**（第六六型イ）　黒三は、二を壓迫し、右過に勢を張らんとする場合の手段なり。これに對する白四は、黒に乗ずる隙を與へず、正着なり。

〔六四四六〕
基本圖



（第六六型ロ）

白四と高く應ける。其意味は、前型イの二間拓と略同じ。されど黒三の時は普通イを可とす。白は周圍との關係上イが低く白面からぬ時にして白のみ、此四に於ての斜走あり。

〔六四四七〕
定石

白四の場合にも、黒五好點なり。白六れば、黒七善し。此場合、黒七で八は稍劣る。黒九は次に冦に來よりも急に告ぐるイ。白十に備ふるの外無し。

〔六四四八〕
黒惡しからず

我が胸に情熱は、大いろけ空への思慕！かと高く翼を擴げたと天へ一飛び、黒は遂に慕情を訴へ、白は順序を踏んで二人の間に愛の手を交換して、白が黒の一邊を模様に消さんとする時は、若し右の如く黒二と活くに先だつこと二三目、白は二と遂に二と活くに先だつこと二三目、白は二と遂に二と活くに先だつこと二三目、白は二と遂に

〔六四六九〕
基本圖
（第六六型ニ）
白は四と附けるも時機あれど、此手は時機を見るの要あり。若し直ちに黒に外を打つ時は、黒に外をせらるる處れあり。

〔六四七〇〕
黒稍優る
前圖に言へる如く、黒㋑に對し白直ちに㋺は早に時機を誤りぬ、㋺に白既に秋、葉落ちを知る。天下の以下必至のコースで黒の外形厚し。

〔六四七一〕
黒優勢
日六、無理なり。天譴。黒一、立ち所に九、至る。三は悔しき雛。死して而も優るを知らず、野心見え見え、活くる友軍に義烈、忠膽十九まで厚富にの導き。

〔六四七二〕
白必敗の勢
白四、六、甚だ理なれば、（白八を黒十一と無し）で黒五十、黒イと白十一、黒ロと遂に免落目。次べのかの悲運、黒此形ホとを見る。白黒イ

〔六四七三〕
黒可なり
白二なれば、黒は平易に三に来り。黒五、七と亙岩の如く、黒石は居然として宜しく、動かず。之れ白は如何なる場合にも低くして好まず。白低くして撃破反脆く、黒の一形粉砕されん。

〔六四七四〕
白低く悪し
天下の事、虚名の爲し難きもの多し。見よ、白二は手筋に眩惑され、黒遂に遷延して濶の着想なく、黒の三以下九、かゝる場合にも形は如何なる白低くして好まず。

〔六四七五〕
黒好まず
前圖と異り、黒一と行ぶる手は悪し。白二となりて、其形を見るに時、白は隅に形を得たり。反之、黒㋩は愚化せり。

〔六四七六〕
要點約言
（第六六型ニ）
白四、若し時機を得ざれば、手筋なれど、前變化の如く、黒イと綽て、白ロと外を厚くせらるゝ結果となる故なり。

〔六四七七〕
基本圖
（第六六型ホ）
黒三と變則に來り、白は手を來して黒拔くも宜しく、元より黒三は白に手拔き、次に黒イと逢ひ、白は動かず。之れ白は如何なる場合にも低くして好まず。

〔六四七八〕
定石
白四手拔、次に黒五、イ或はロ黒は次に五さるゝ常形なり。白は猶手を拔いて宜しく、假令白二の一子を捨てる。

〔六四七九〕
參考圖
黒拙し
前圖白六を手拔き黒より更に今一手を費すとするも、此石を完全に取切るとなる。すれば黒イの先附も此位のなり。手をロ或はハに

〔六四八〇〕
白活
二に白動けり、黒九、十、善し。白は此際の佳手。蓋し黒は此圖と比較（六四七〇圖）して、或は軌れとも自由なり。

〔六四八一〕
黒厚し
白二、四の附切り、此形にては過ぎなり。黒五に善し。黒二、次に九まで外に厚し、白七まで斯くなりては、白三は何れに落付くも無し。

〔六四八二〕
黒優れり
黒九の押さずして直ちに十、下十五、乃ち十一に尋で十七に掛けて宜しく此に逃出せば黒ハ白ニ黒ヌ白チ黒ト白リ黒イ白ヘ

〔六四八三〕
黒勝
機一髪、先ぜんか後れんか。危機のクライマックス！嗚呼、此非常時に、白十は弛み攻勝。黒十一をイにては、白十四にて、これも黒善し。初め黒八を九に取れば、白八、これ、これとなるべく、これは黒有利の形なり。

〔六四八四〕
場合による
黒一と側撃。此時も、白二は手抜きして宜しく、黒イと打つ（前變化）尤も白二は宜しく、中へ出さんとするには二の尖正着なり。

〔六四八五〕
常形
黒一に尖附けるも白二に手を拔いて宜し。次に黒猶イに一着を費すも其形重複せり。尤も此處を打つ二、四にては善し。

〔六四八六〕
要點約言
（第六六型ホ）
總て變則の手拔き、若し其手が直接に我石に當らざる時は、常に手を拔くに如くは無し。妙あり。即ち本圖の如き、其一例にして既に黒※

〔六四八七〕
要點約言（上）
（第六六型全部）
黒三に對しては、白にイ、ロ、ハ、ニの應けと、全然手拔とあり。

〔六四八八〕
要點約言（下）
（第六六型全部）
其中白宜し。ロは（六七型イ）と略同意なれど、後に黒ハの筋殘る。次に白ニを厚く、黒ホに附けまた白ニは黒を厚くし、又白四で手拔は時に甚だ而白し。

〔六四八九〕
基本圖
黒三（六七型イ）は白二と切るを常形なれど、其外白四を手常形なれど、白イ、ロ他の手段あり。然し之等は第一卷三五八圖以下と※

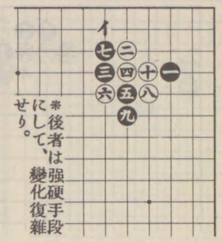
〔六四九〇〕
基本圖
黒三（六七型イ）は白四と切りし時に、白六に切りし時に、手あり。黒七とイとの應同圖にては、此形に手なれど、斯く約へる※

〔六四九一〕
基本圖
（六七型イノ一）
白六に切りし時に、黒は七とイとの應。第一卷の惡手は、第七卷の三、四にて善し。

〔六四九二〕
基本圖
（第一變化ノ一）

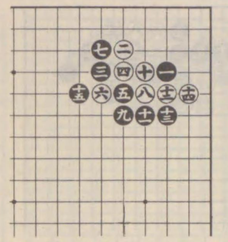
六七型イノ一變化

黒七の時、白は斯くに粘ぐ手と綽ぬ次八とを以てイに綽ぬる手とあり。前者は穩かにして變化簡單、※後者は強硬手段にして、變化復雜せり。



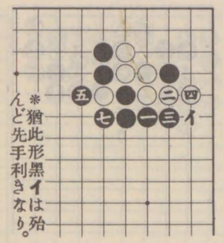
〔六四九三〕
定石

白、十に粘ぐ。黒十三、一氣直ちに十五に押し切つて次に十五の征惡に取る。尤も黒十五の征惡も、抑も始めしき時は、黒七の手成立せず。



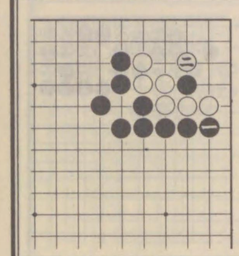
〔六四九四〕
黒外勢を得

白六を他に打てば、黒は直ちに七と打抜くべし。黒は此處を殘し置き、白に結局を打たれて黒厳しき征當りを受け、白は二に補はざるべからず。黒は隅にを占めたり。



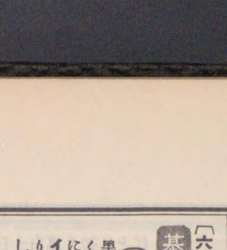
〔六四九五〕
黒一、先手利

黒一！今や、譬へば詩人の泣く者の哲學者の考へ而して戒むべき時哲學者の警むべき時にも補はざるべからざるが如く、白は二に補はざるべからず。黒は隅にを占めたり。



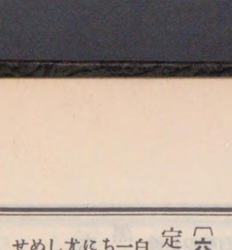
〔六四九六〕
黒厚し

黒五をイ、白ロ黒十白九、黒六なれば、黒は末だ命脈を絶たず。黒五、七に非ず、直ちに打つ手に非ざれば、かく打つも難し。白は保全し難し。



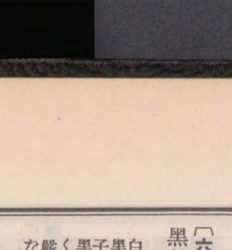
〔六四九七〕
黒先手持

白四なれば、黒五宜し。白十六までの結果、黒は手を抜くも持なり。尤も白はイと劫にするを嫌へば、白大石なれば、此劫却て白危險なり。



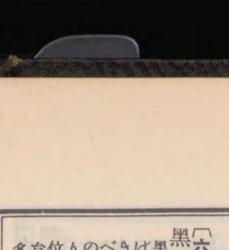
〔六四九八〕
黒後手持

白より一に打つも、黒二の約へ好點なり。白三を抜けば、猶黒に四と打つ手殘れり。



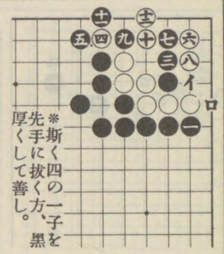
〔六四九九〕
場合による

能く自ら保つて全く勝つと固めし一、三と抜いて則ち黒の勝。尤も黒先は前圖の分れの代りに四と位を占めたり。



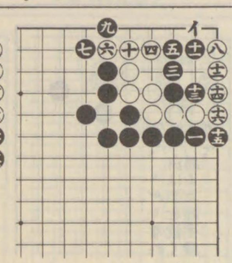
〔六五〇〇〕
黒善し

白二惡なる。見よ、白四となるも□の黒は末だ命脈を絶たず。黒五、七に非ず、直ちに打つ手に非ざれば、かく打つも難し。白は保全し難し。



〔六五〇一〕
白損なり

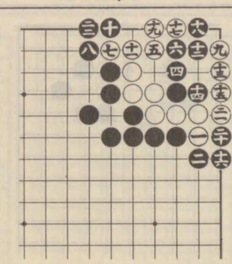
白六。黒の形は魚の釜の如く、中に在るも黒の石も亦釜中に在り。秦山而かも安きに在り。尤も黒七善し、若し白之を手抜けば、十三善し。黒死。ハ白イニロにて、十三黒死。



〔六五〇二〕
要點約言
（第一變化ノ一）

六七型

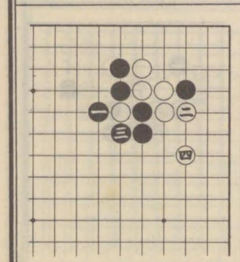
黒三、五、七過激の若し。外の樣なれど、中の一位を主とし、打たんと欲する場合は面白し。白八、十合は穩健なり。



〔六五〇三〕
基本圖
（第二變化）

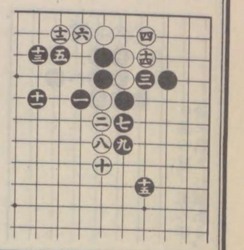
六七型イノ一變化

白八と綽ぬる手あり。此形には種々變化あれども、何れも黒惡しからず。



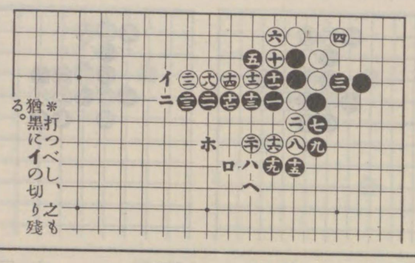
〔六五〇四〕
黒可なり

黒三に先だつて一。黒一は蓋し、以て千金の一線の重を繋ぎ、手なり。白六の時、黒七、白に先だつて七且つ九、手順妙なり。



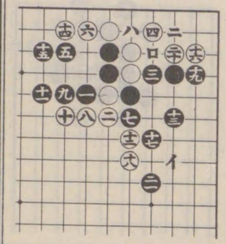
〔六五〇五〕
白無理形

順に從ふものは榮へ、逆ふもの十は敗る。白十、無理筋。黒十一、白十二には二、遂に十三、以て下の三、三で白の形勢を擴かんとす。振れば上の望み白は下の天命。



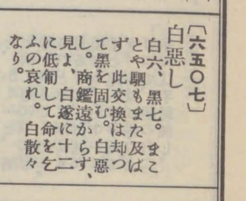
〔六五〇六〕
黒の勢優る

戰の道何ぞ一道に限らむ。白十に押して十二の整形。黒十三の急所を正しく、白十六を□に白イ、黒ニにて善し。



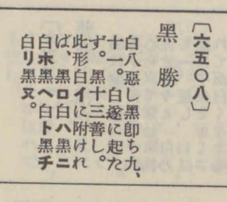
〔六五〇七〕
白惡し

白六、黒七。まことや驅もまた及ばず。此形交換して黒を固む。白惡し。見よ、商鑑遠からず、白十に低廻して命を乞ふに、黒一、白散々なり。



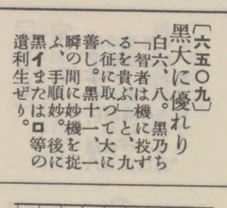
〔六五〇八〕
黒勝

白八、惡し。白十一。黒十、此形に附けれ白イ、白ハ黒ニ、白ロ黒ホ、白ヘ黒ト、白チ黒ヌ。



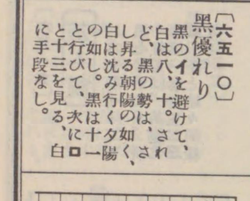
〔六五〇九〕
黒大に優れり

白六、八。黒乃ち一智者を貴ぶは機に投じ九と善へる征に取つて大に善し。黒十一、瞬の間に妙機を捉ふ。後に黒イ、手順妙なりロ等の遺利生ぜり。



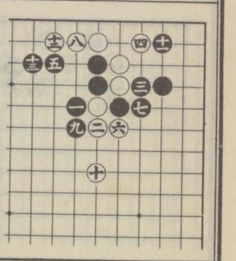
〔六五一〇〕
黒優れり

黒のイを避けて、白八、黒の勢の如く、沈み行く朝陽の如く、黒は十一と、白は三を見る、白と行びて手段なし。



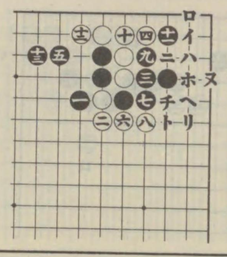
〔六五一一〕
黒必勝の勢

白十。白八、黒九、短兵接して一、黒は蓋し千金の一線の重を繋ぎ、手なり。白六の時、黒七、白に先だつて七且つ九、手順妙なり。



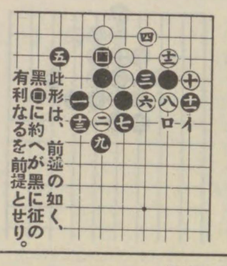
〔六五一二〕
黒勝

驅れる者久しからず。白十四、十六、白八を十騎手也。白十、黒九は、白イ白十を八黒二九にて黒勝。黒ハ、此時白ニ黒ホ、白ヘ黒チ、白リ黒ヌ。



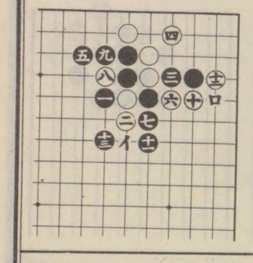
〔六五一三〕
黒の形確なり

白六、八、十、常形。而かも十一と打易きを以てなり。黒は猶此形、黒イが先手利なりとなす。白十四、五子の羊の嘆。



〔六五一四〕
黒稍可なり

白四、六確かなり。黒五は替るもあり。白十と振る、黒十五、白十六、四、黒十七で兩ながら彼我大海隊形の如く、決して遜色なし。



〔六五一五〕 黒甚だ優勢

白二、悪し。黒三に打抜き以下九に至つて、鐵堅厚富の壯形。加之、㊀の黒だ、ききず。白の姿形甚だ危ぶし。

〔六五一六〕 黒優勢

白六に粘げば、黒は七、九と約へて優勢なり。此形六に比較すると四九四圖に一手以上の差あり。猶此形、白獨語すらくは「外圍皆な敵族つて雲に似たり！」

〔六五一七〕 白味悪し

白一、三。黒四、六の征で宜し。隅の白地に白九。此形も亦悪し。大なりとの㊀の黒のため白の形は、味悪く、道樂息の子の身代の如し。譬へば、大なりとも利息を抱へしへば、

〔六五一八〕 要點約言（六七型イノ一變化）

白八なれば、黒イ、白ロ。黒イと打つべし。

※黒の三、五の手段に陷りし感あり。

〔六五一九〕 基本圖（六七型イノ二）

黒七常形なり。斯く打てば、其變化は第一卷三二三圖以下と略々同樣なり。

〔六五二〇〕 定石

黒七なれば、白八の抱へ、斯くなりて可なり。普通は、白一は白イにカケル手もあり。場合による。

〔六五二一〕 普通白損なり

機に應じ變に乘ず、男子奈何ぞ區々の心を以て常法に拘泥せんや。白乃ち一を捨て面白く、かく一と隅を合して逆に中央を厚くさき場を張ることあり。白一は白イと約へる手もあり。其時は黒ロと打つて、隅の白二は手段無し。

〔六五二二〕 形勢未定

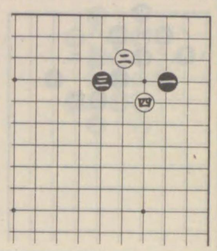
黒十七に、□△の白を確保せずして、嘘乎、此時ぞ、白は死灰再燃す。十三に活く、黒十一、白十六を三に活く、黒十七に打てば、白ホイ、黒ロに打てば、白ト、黒ヘに打てば、白チ、黒リ、白ヌ。

※の棋移、可否は未だ定まらず。

〔六五二三〕 變化至難

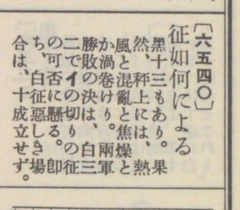
白三、黒四、白五。兩軍寸隙も見せつず意氣相搏つ。所謂火花熱散の壯觀なり。筋以下、白七、黒八、白九、黒十、白十一、黒十二、白十三、黒十四、白十五、黒十六、白十七、黒十八、白十九、黒十七、白十八、黒十九、白十七、黒十八、白十九、黒十七、白十八、黒十九、白十七、黒十八、白十九、黒十七、白十八、黒十九

〔六五三六〕
基本圖
（六七型ロ）



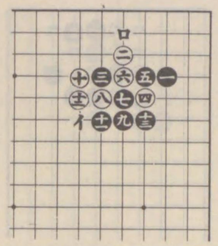
黒三の時、白四の手あり。此場合白に似たれど、好まず（第一卷三五八圖以下參照）

〔六五三七〕
定石



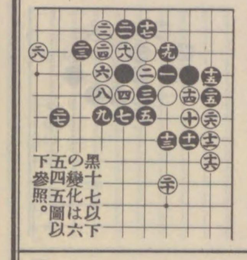
白四、黒五、七に出切れば圖の如くなるを常形とす。（第二卷一一八圖以下參照、同圖より其形稍可なり。）尤此手は確なりイ或ロもあり。

〔六五三八〕
場合による



黒九、斯く打つと白十の尖みあり。以下黒は白の□を奪取るも、虚に黒味なし。黒遂に效無し。

〔六五三九〕
場合による

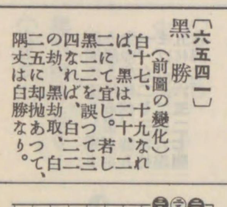


黒十三。白乃ち十四、黒十五と手を十六に約へ、白十七に出でて十五を取れば黒は孤剣突如として走りぬ。

〔六五四〇〕
征如何による

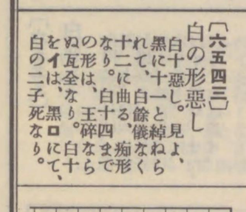
黒十三もあり。然れば、白四と混亂と焦燥と熱果上に風か渦か巻き込まれ、兩軍共に勝敗の決は、白イで二ツの可否にかゝる。黒ロにて、白十征圖の如く成立せず。

〔六五四一〕
黒勝



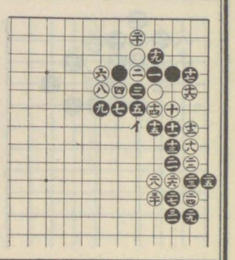
（前圖の變化）白十七、黒二十九なれば、黒二にて宜し。若し黒二にて二を誤つて四なれば、白二にて二の劫取拋つて、白二の劫抛あつて、隅丈は白却勝なり。

〔六五四二〕
黒勝



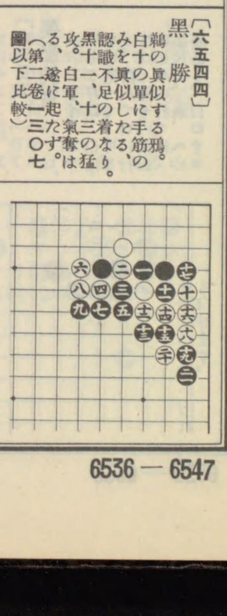
白十六と飛べば黒十七。又白十五と攻めて黒ハ、白十七なイ谷黒チ。

〔六五四三〕
白の形悪し



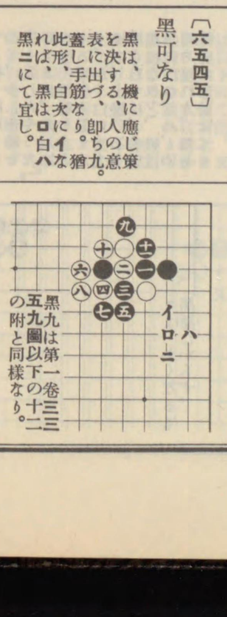
白十悪し。見よ、黒に十一と餘綽くらい曲れば、白十二に一と餘儀なく痛痒を感ずる形なり。白王手なるも四ヶ所ぬ瓦全なり。白十一は黒ニ、白ホ、黒ヘ、白ト七なり。

〔六五四四〕
黒勝



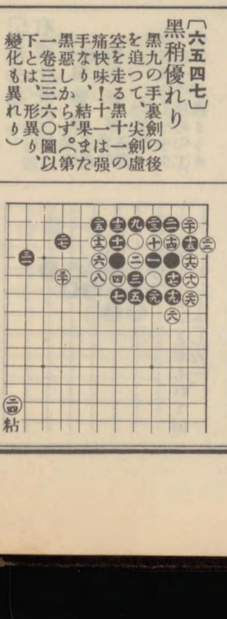
鵜の眞似する鴉の單に手筋の十の字を眞似したるなり。白一、十の着手は、黒三に出づる手筋なり。白攻めたるも、黒三は猛烈なる反撃にて、遂に白一、十の氣を奪ひ、兩軍共に起つ能はず。（第二卷一三〇七圖以下比較）

〔六五四五〕
黒可なり



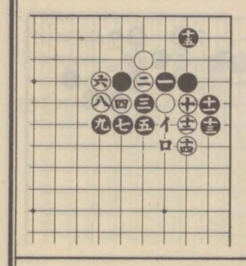
黒は、機に應じ策を決する人の意表に出づる、即ち九。猶ほ此形、白次に黒はロ白イなれば黒ニにて宜し。

〔六五四六〕
黒好まず



有終の美を濟す、又た難き哉！黒十一は緩着、九の警着は、泥土に委せり。此圖は隅狭き故。黒十一は損なり。

〔六五四七〕
黒稍優れり

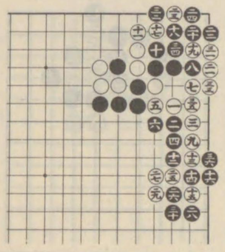


黒九の手、裏劍の後を追つて尖劍の虚を突き、空を走つて黒十一は強痛なり、結ばずまた第二圖、以下一卷三六〇（以下異れり）變化も異れり。

〔六五四八〕
黒勝

白熱の戰。兩軍の意氣と燃ゆる、北海の荒い海！白十八嗟呼此時に大悪手なり。黒十九、二一、遂に白十八の悲運に陥る。

〔六五五五〕
黒勝



白十二、悪手なれば、黒十三、常用の手筋。黒は遂に救ひなき破滅の淵に顚落せり。

〔六五五六〕
白勝

黒十七、悪し。白十八、二十、三子は甚だ弱し。白三子は黒ハ、白イ取れば、黒ロ白イを取れば又白ニにて白敗。

〔六五五七〕
白十二敗着

白十二、悪手なれば、黒十三、二、白十六を二五なれば、黒十六の白を三十六のかくては、黒十六で白三子は、八で弱し。

〔六五五八〕
白窮す

白二六、次に白イ、黒二七との一着、威脅と開せしめ、白三十で挑むも、黒二七の劫抛は無し。

〔六五四八〕
形勢互角

黒二七普通要點なり、此合は前圖の如く打つ方善し。白三八に下つて以後白イ黒ハ、白ロ黒イと、此形、白先手を得たり。形勢互角。

〔六五四九〕
黒苦闘得勢

白二六と約へれば、黒二七に宜し。白二八を二九に下れば、黒二八、白ツレて三十を三八に白、黒三一、白四十黒四一。白三八にて三九に行れば、黒三八に白、若し白イ黒ロと打つなれば、黒悪手なれば、白死なれば、黒隅に白利あり。

〔六五五〇〕
白劫勝

白二四。次の黒一着は、滅の深淵と分岐。黒二五悪果。白二六、黒二七結。白劫勝。白先尤も提り、黒は適當の劫材ある時は、二五も面白し。

〔六五五一〕
黒劫勝

白十八、悪し。二一、黒二二を當てずして、白十五、十四を求むれば、黒は白が井の字身不随の無力子には、白十八、次に九は、黒十八、白イは黒二十。

〔六五五二〕
黒外勢善し

白十二、隅に活を求むれど、白が蛙の見に呪あれど、黒遂に見よ、白八まで墮つ。

〔六五五三〕
白悪し

白が旋風の如き亂れ打ちも、黒果せるや二三と二四、白悪し。黒十三に弛み、悪し、白軍四十、白の勝なり。

〔六五五四〕
白劫勝

默！壯士厭迫悲しぬに死の戰士かな！生か死かの瞬間に、黒十三に弛み、悪し、白軍四十、白の勝なり。

〔六五五五〕
黒勝

白熱の戰。兩軍の意氣と燃ゆる、北海の荒い海！白十八嗟呼此時に大悪手なり。黒十九、二一、遂に白十八の悲運に陥る。

〔六五五六〕
白勝

黒十七、悪し。白十八、二十、常用の手筋。黒は遂に救ひなき破滅の淵に顚落せり。

〔六五五七〕
白十二敗着

白十二、悪手なれば、黒十三、二、白十六を二五なれば、黒十六の白を三十六のかくては、黒十六で白三子は、八で弱し。

〔六五五八〕
白窮す

白二六、次に白イ、黒二七との一着、威脅と開せしめ、白三十で挑むも、黒二七の劫抛は無し。

〔六五五九〕
黒甚だ優勝

白單に二十。黒乃ち二段に好手無し。白二。又白イをハならば、黒ロ白ホ黒ヘにて白潰滅。

〔六五六〇〕
奏効せず

白十二の時、黒十三はイに打ちつも宜し。白十四をつとなれば、黒十五、白九の次に白ハなれば、黒ニ。又白ハをホへなれば、黒ト。

〔六五六一〕
常形

白八に打抜き、黒九は、黒軍の護りに千鈞の重味を加ふ。尤も催かな黒九は手強く打つにはあらず、白ロ甚だ多し。（六五三八圖以下參照）

〔六五六二〕
白六敗着なり

白六、無謀にも七と直ちに要石二及び十を衝かば、黒は一氣呵成の手段あり。白一なれば、黒十二にて宜しき。

〔六五六三〕
白有利の形

その昔「我れ我れ」と豪語せしシーザーの英雄の風格あるも、今更に「偲ばる」の哉。黒一、此手二と斷※るべきを誤れり。

〔六五六四〕
要點約言（第六七型ロ）

白四とカケレば、黒五、七と切つて宜し。此形、戰となれば黒先着の效歴然。又振替りとなれば黒に利あり。

〔六五六五〕
基本圖（第六七型ハ）

黒三の時、白四、㋑、㋺などの手段あれど、何れも結果白好まず。

〔六五六六〕
常形

此圖黒長壁を築いて鉄牢、只隅に活くるのみの手段、白四に低く守して宜しからず。黒五、七と切つて戰となれば、黒四五低活、築十六の厚し。打抜にて黒

〔六五六七〕
黒、一策なり

黒いま十。黒が上邊の形勢を必要とする場合は、この手もあり。白十七は辛手、能く敵の二二手筋を奪ふ。黒二十、二二と斷るべきなり。

※事遂に志と違ふ。黒不利なり。

〔六五六八〕
黒外勢を得

黒二四に、陷穽を伏して敵の動靜を偵ふ。蓋し一策なり。白二五をイなれば、黒ロ白ハ黒ニ白ホ黒ヘ白トの時、黒チにて白潰滅。

〔六五六九〕
黒手厚し

白五なれば黒無論六。七をイなれば黒ロ白七となりし時黒ハ。黒遂に八。兩軍今鳴りを鎭めて棋移を待てり。

〔六五七〇〕
黒予定の形

白一而して三、乃ち四が宜し。黒五をイは、九圖より下六と同形、其六の交換より三と四。遮莫、黒可なり。四まで、黒遂に十四、始※に外厚を遂く。

※めの圖の着意を遂げしに似たり。

〔六五七一〕
白甚だ無理形

白七、九、無理。嗟乎、積善の家に餘慶あり、積惡の家に餘殃あり。白を上邊に變化して無しに、即ち黒十の次に黒イとロの兩眼に睨み。

〔六五七二〕
黒利勢

白五なれば、黒六。黒十四。然し若し白十三の粘をイに打抜けば、黒十四は、ロにカケル形なり。

〔六五七三〕
黒勝

白七打過ぎなり。白はいま、ま一手揮ふたび落ちてまた十九を十九をイに黒二十。白十九は黒ロ、白二四、黒ハにて、イと二十九の狙ひあり。

〔六五七四〕
黒優る

白十五、十七、十九、黒二十以下取二十六まで黒勢雄渾、我れ捨子は、萬里長風に駕して、絶壑に層雲かこむ。黒の胸をうごかす、未だ意味津々。

粘

劫

粘

〔六五七五〕
大點小點白勝

白憤激死容に就く、易く、從死に就く。黒二十、二は、この雛きを爲し得ざりしも、黒二、白六が善し、大點小點にて攻合黒敗。

〔六五七六〕
黒堅實且好調

白一も惡し。黒は二に圍むべし。黒二、四、六の形堅實且つ好調。見よ、黒の生々とした形、そは勝利への前提なり。

〔六五七七〕
白二暴手なり

白三は鋭き手なれど、見よ、黒無理なり。黒四の好着に、白始めの手段、絶ゆれば、黒は、隅に根據を得。反之、白は眼形と共に失へり。

〔六五七八〕
黒の形善し

無事平穩、變化明瞭なるのみ。白低くしての敵陣の壓迫に屈せしも最も恥づべきも「無念」にも譬へられて、其他※血の降伏」にふべし。

何れも白好まず。

〔六五七九〕
黒の勢優る

白九を十五に連絡せば、黒十九、敵へ白の止めを得ず。此形又白は黒は隅に活に活なれど、黒上邊に活れば黒優れり。

〔六五八〇〕
要點約言（第六七型ハ）

黒三に壓迫せし時、白㋑に附ければ、黒ロ。又白㋑と行くも白緩く且つ形も低くなりて白好まず。

〔六五八一〕
要點約言（上）（全部六七型）

黒三、奇手なれど、急劇に白挑戰し、其間外勢を占めんとする場合に面白し。次に白形は、黒㋑及び白ハで、白㋺、㋩等の手段あり。

〔六五八二〕
要點約言（下）（六七型全部）

白㋑黒ロ白ハの切は此形の定型、黒三に對する應けと白㋺は黒ホ白㋑、黒にロと切られて、白稍不利、其他※

※のト、チなどは、何れも白好まず。

〔六五八三〕
基本圖
（第六八型）
黒一、小斜走懸りの形に白二、黒及び前圖の㊀外に㊁などの手あり。但し、これらの

〔六五八四〕
基本圖
（第六八型、所謂ハンマの一路相距るの斜走）
黒㊀は㊁なれど其の働きには雲泥の差あり。㊂は㊃に次に㊄に戻りに時に見手＊賞

〔六五八五〕
定石
黒三なれば、白は次に手を抜き、他に轉じて宜し。然し若し此處を打つと白は打つ間に飛びを正着とす。

〔六五八六〕
黒稍凝形
白既に四。白は此處を寇とし五の間隙

〔六五八七〕
白の勢善し
黒五。此時、白六、八、十等。白六、白より十一への差込みの次に白六、八の効果（勿論也）白遂に十二に膨せたり。豪快の意氣天を衝く。

〔六五八八〕
場合による
黒五の時、白六では三法あり。イは黒ニ、白ホ、黒ヘ、又白チ、黒ト、或は白ヘ黒ホにて白チ。これらの形、何れも白悪しからず。外勢如何による。

〔六五八九〕
白善し
白六、八に切つて以下十六まで。これに至つては、黒は空しく多日の經營を白に占せられしも、二子を取られ＊白は、二隅の利を得たり。

〔六五九〇〕
白利かしなり
「時機は過ぎ行く」此一句は白の耳を打つて白の耳を敲き、白イと斷點を狙ひつゝ六、八、黒十、十一、十二、而して白十三、黒十四、五となりては、

〔六五九一〕
黒十五打過也
㊀手抜
滑龍は三冬に蟄して一陽來復の天を待つ。白徐に機を待つて今、時は十一月！黒十六の鋭し斷。白即ち十五を損じ、黒遂に地の外勢を失へり。

〔六五九二〕
黒の形好まず
黒三。白は乃ち四、六、尋で八に拓く。此圖一、三及び七の黒凝形に陥る。加之、黒よりイと綽ねば白ロと應じ、白の劫は輕し。

〔六五九三〕
黒の思ふ壺
白二、四、機略にして、前に黒五と乏しき手なり。俄然好着と化せり。黒の形は、嗟乎、黒の水を得たり如く、轍鮒の生氣を得だり。

〔六五九四〕
定石
黒三の第二卷一一〇八圖は、イの拓にても且つロとツラルを避くる場合、手なり。白斯く打つて六、七、豫定の着手なり。

〔六五九五〕
定石
白は伏波將軍なれども、秦に苦しみて、肉を噛み、牌を挑む。打込んで亂鬪を四さんと擇ぶ。黒は平明を白は五の一着を下し、黒五以變化の手段も無し。

〔六五九六〕
白利勢
驕兵敗あり、實例は眼前に黒七、七哀呼して無理。白は疾づ出でて十且つ十一。白八は白の利勢を疑はず。

〔六五九七〕
好手なり
㊇黒十九は、戰局の運を決し、白は倒に支へ、想へ、好着なり！黒は敗を慨し、黒の悲敵に隅の救ふ蓋しべからざるに能く大局の破綻を收拾に成功せしなり。

〔六五九八〕
白稍優れり
亂鬪、白十六の時、黒は初めの七の強硬に似ず、退守す。白二十七に、黒二十一は必然に共に此分れ白稍優れり。

〔六六〇一〕
要點約言
（第六八型イ）
黒㊀、㊁傾きあり。外特殊の形勢に此手あれば、普通は黒好まず。

〔六六〇二〕
基本圖
（第六八型ロ）
黒㊃の手あり。此形は、白にカケラレて黒低くなるより、黒は地の圍ひを主とする場合、此手段あり。

〔六六〇〇〕
常形
白四に一間飛もあり（下參照）、白六で㊄以下なれば、白六を黒手抜なれば、黒ハ白ニ黒ホ。

〔六六〇三〕
常形
黒三、而して白四、黒五以下の低劣の形、普通は黒悪しく、白イと出切＊

〔六六〇四〕
前變化參照
言はずや「一典」では今古期すべからず、快を一時に取るは是、白兒れ男子と此形、白二は直ちにイと掛けて宜し。尤も、白二は、直ちに白イなれば、直に黒よりロと出切＊

〔六六〇五〕
白、一策なり
白八まで、堅を持し相拮抗して縦横の策を揮ふは何時もあり。初めて白は、これは、後に白六を利かして、二もあり。これは、後に白六を利かして、前圖白二でイよりは着意堅實なり。

〔六六〇六〕
常形
實戰に、時に見る形なれど、多くは黒低くして好手にあらず。又、六〇三圖悪しく、本圖は一層黒低し。

〔六六〇七〕古風の常形

黒三白四黒五以下の連延低廻は古く見れば多く黒悪く今日にては打ち過ぎとして人無し。此形一見明か七ツ目に凝りたる形なり。

〔六六〇八〕黒低し

天下の望既に離れて黒が敗北に瀕したる碁にても、白二十一打抜きに、黒イのキカシを避けて常套に愈々低くして悪し。㊀劫去同

〔六六〇九〕白の勢優る

黒三は、前圖の㊀を避けし、㊁の低く放さるゝ方が世間普通の策なれど、白四と打ちて黒が運命に遭ひ直接に黒の形勢立直らず。

〔六六一〇〕場合の手段

林 秀蘂 當時先番 黒田俊節 五段 勝

白二、四と打ちしも、若し白二をイと出切らるゝを避けしものならん。※

〔六六一一〕白可なり

岩本 薫 六段 勝 先番 村島誼紀 五段

名醫之を用ゆれば毒藥も良藥となる。黒一は此場合は手筋の好着にして、白は左上隅の◎以下巧に打ち込みたる方面に多少の根據を得ざるべからず。白二二善し。（二二二※）

〔六六一二〕黒嵌手に陷る

木谷 實 當時五段 先番 長谷川 章 當時四段

黒三は、普通無理なれど、四邊の狀勢を考慮しての凄風慘雨烈戰※

〔六六一三〕白善し

黒既に九に失敗す。悲哉、東流の水一還たび逝いて十復た返らず。前圖の包圍を避けしものなれど、白よりは十四の絞りを喫つては、黒形惡し。

〔六六一四〕白可なり

黒は九と飛び、白十を守る時、十一と隅を固めしも、白は十四の位置に善し。黒は三分の形を見るに、白は二石なりて後順の患多し。

〔六六一五〕白善し

黒十一に粘げば、白は十二に粘げて、十四、十六。此形、而して前圖の優勢なりしよりも更に優勢なり。畢竟黒三、常套の出切りの、五の形にては無理なるに依るなり。

〔六六一六〕白㊀に誤る

白十四悪し。黒は十五、十七に白は吃驚仰天十六を二に、黒イに、十六と十七と交換あるに、次に黒十七とみ。かくなれば兩睨本圖よりも白更に悪し。

〔六六一七〕要點約言

（第六八型ロ）

白二の時、黒イ、㊁と拓く手は何れも、白にカケあり。特殊の形勢にて好まず。黒低のの外は、

〔六六一八〕要點約言

（第六八型全部）

黒イは所謂ハンマの應け。㊁ハは此方に必要の拓き非常に場合に限つて打つ手。ニ、ホと同じく㊁ハと同意味なれど、※

〔六六一九〕變則の打方總評（一）

（自第六四型 至第六八型）

黒一の小目、白二に小斜走に懸りし時、黒イ、㊁ハ、ニ、ホ、ヘ等の定型の外に、ト、※

〔六六二〇〕變則の打方總評（二）

（自第六四型 至第六八型）

黒ぃの尖附は、先づ隅を取つて次に邊に根據を得んとする手段なれど、此手は、黒イ等※

〔六六二一〕變則の打方總評（三）

（自第六四型 至第六八型）

黒ぃの斜走は、前掲のイまたは㊁の型に比して好形とは云ふを得ず。されど、黒ぃは右邊※

〔六六二二〕變則の打方總評（四）

（自第六四型 至第六八型）

黒ぅは急劇なる強硬手段なり。其形若稍無理なれば、白に正しく應ぜらるれば、黒好

〔六六二三〕變則の打方總評（五）

（自第六四型 至第六八型）

黒ぃ、ぅ、ぇ、ぉ、ゕの應けは姑息の手段なり。時に可なる場合もあれども以て範とすべからず。

〔六六一六〕要點約言

（第六八型ロ）

白二の時、黒イ、㊁と拓く手は何れも、白にニのカケあり。特殊の形勢にて好まず。黒低のの外は、

〔六六二四〕
基本原圖
黒小目、白一間高懸り

イの小桂馬掛りは、隅に向つての意味緩漫にして、抜く事あり。されど白二の一間高掛りは是と異りて隅に對する意味急なる故打捨て置く事稀なり。其の代り黒先着を以て應ずれば完全に隅を確得し得るなり。互に一得一失あれども、若し白、中の勢を主とする場合は、イよりは二の懸り優れり。

〔六六二五〕
基本圖
（第六九型）

黒三を下附といひ、一間高懸りと云ひ、最も普通に見る形なり。

〔六六二六〕
基本圖
（第六九型イ）

黒三には、白に四、イまたはロの應けあり。其中、四定型也。次に黒は五に引く一手なり。

〔六六二七〕
基本圖
（第六九型イ）

白六と粘く手、一堅實なり。此の外にイ或はロ、ハ、ニなどの輕きも手もあれど、之等は特殊の場合にのみ應ける變則なり。

〔六六二八〕
定石

黒乃ち七に守備は即ち攻むるなり。白は守るなり。黒は白八を奪ひ、白は黒イを守る正着也。白八之をニに打込むは狭く遣す。

〔六六二九〕
參考圖
黒打込を狙ふ

白二と廣く四に拓きし場合は、直ちに三に高く黒イの打込みを驗せて次に黒の俯瞰すべき急所なり。イは蓋し所なり。

〔六六三〇〕
黒優れり

それ驕奢は富貴に生じ、禍亂は忽せにする所に生ず。黒一の虚を擊つて、白二の戰を免れず。黒五、白二の窮策。黒三以下、黒輕しと據を占めつゝ敵を伐つて好調なり。

〔六六三一〕
黒利勢

黒三の時、白左右に急ぐ乃ち白□を告ぐるの策にして、以て二の四に出で、一の圍を遺して下の六を率ゐて中央に向ふ。本手此結果、黒は實利を得、白は地を失ひ、白十は好點、白△は不利にして、但し白△以下茲に至つては黒は健なり。

〔六六三二〕
黒大に善し

白八、鈍重なり。白若し此方面を打つと黒尋でせば白十八は黒十三と打つイ白九の棋形を移して黒往くべし。以下の追擊果然白十六の辛氣なり。白敵逐に十已に二難くに反擊すれば黒ハの追擊苛酷を極めて白十四の切殺、黒十五と守つて宜しく、白十六を守れば黒イ、白十七と粘く手、堅實なり。此の外にイ或はロ、ハ、ニなどの輕きも手もあれど、之等は特殊の場合にのみ應ける變則の應けなり。

〔六六三三〕
黒堅實且優勢

白六、黒九の行びさま氣意に善く切れば、次に白イ、黒ロ白ハ黒ニれば、黒十一段無し。白機に乘じ、黒左右三の變化の妙味は、白十二の側面を擊つて黒十三の若しくは五三をニに普通とせば、黒ホ、白ヘ、黒ト、白チ、黒リ、白ヌ、黒ル、白ヲ、黒ワ、白カ、黒ヨ、白タ、黒レ、白ソ、黒ツ、白ネ、黒ナ、白ラ、黒ム、白ウ、黒ヰ、白ノ、黒オ、白ク、黒ヤ、白マ、黒ケ、白フ、黒コ、白エ、黒テ、白ア、黒サ、白キ、黒ユ、白メ、黒ミ、白シ、黒ヒ、白モ、黒セ、白ス、黒ン、白ロ、黒ハ、白ニ

〔六六三七〕
白漸く形を得

黒敵を侮るは敗にる。七と粘りしめんとせしは、九と注文。徐ろに天に登らせず。文虫の好きは、天間に白八間に黒を旋回されたり。

〔六六三八〕
黒稍優れり

黒五、而して七、と打つ手あり、白八、にて九と行びれ粘らば、黒乃ちイに一望月の断けたる優勢。ことの無き」

〔六六三九〕
場合による

白六、黒八、十四、十。此時、黒十四、盤平穏。無事なれば四辺の大場合を白十は十竪固に約一目甚だ善き手なり。

〔六六四〇〕
白ツブレ

一葉目を破へば泰山を見ず。我心、悠々と前後たるを見ず。奪へば白へば十、一此一忽ちの例白、我は断なる十ば、悠

〔六六四一〕
白好調なり

武田信玄曰く「兵は疾きを貴ぶ」と。白二を間拓き、時に白二を黒イに直にし四を四隅拓き、白且つ二つばの六。白二を間拓き、白且つ二つばの六。白二を間拓き、白且つ二つばの六。白二を間

〔六六五五〕
白好まず
先番 鶴原義虎初段
勝 部榮三郎二段
白手抜の變化、黒の龍變の機會、即ち一は蓋しの手筋也。白二を八なれば、黒六白イのなれば※

〔六六五六〕
白の侵分手段
圖の形、白の侵分の手段として一と面敵の白し。靜を偵よ。黒二はイと手面敵の動。黒イよりは働きあり。これをロと八良着、後に白よりなれば、黒一、二目の手殘り、黒一、の損なり。

〔六六五七〕
黒の形好まず
夫れ一利を興すは一害を除くに若かずと。黒一は、きあるが如くも、然かも利多きが如くも、後に白よりイと衝かるゝ、嫌味を遺す。（次圖）

〔六六五八〕
手筋なり
白よりイと攻むるには一が宜しく、次に白ロと含蓄不盡、黒ハと蓋をし、黒ニと白イを狙ふ。但し、白ホの筋を見るの要あり時機を見るの要あり

〔六六五九〕
黒低し
黒一と一間に飛べば、前圖の如きイ位低くして好まず。

〔六六六〇〕
黒悪し
黒一も、前圖の一と意味略ぼ同じく悪し。次に白イと宜しく、黒一のロに白よりも黒ロと手抜きするも白イを手抜きするも宜しく、（黒一のロに如くは無し）。

〔六六六一〕
黒好まず
黒一は、此點最も緊要とする、特殊の場合に稀れに、打通普通のことあれど、これと白に二と壓迫し、以下八まで、白二さるれば黒悪し。形厚く壯なり。

〔六六六二〕
白利勢
黒三、五、七の打抜きは、痛快ならず。面白からず。靜せば、白六、八の根據其の實利大なり。

〔六六六三〕
場合の手段
勝 井上一郎四段
先番 小島春一四段
黒三の夾攻、白既に二を手抜好點。更に黒乃ち六を手抜し、白六を奪躍して七に、敵の眼を奪って肉薄す。※

〔六六六四〕
要點約言（上）
（番六九型イの一）
白六に堅く粘げば、黒イ、白ロの拓きとなるを定石とす。若し白ロの拓を廣く、黒はニと打つ時は、ホの打込を狙ふべし。

〔六六六五〕
要點約言（下）
（第六九型イノ一）
若し黒イ白ロとなりし時、黒手抜すれば、白ハの好調を捉ふ。之は黒好まず。又黒イを手抜或はニなれば、壓せられて、白よりホと黒低く惡し。

〔六六六六〕
基本圖
（第六九型イのニ）
白六は、次にイ方面まで拓かんとする場合に用ひらるゝ。次をロなれば、次の拓きは前途の如くハが常態。

〔六六六七〕
白悪し
かやうな形にては、普通は白四と約ゆるの一手なり。此場合白四は惡し。黒遂に五、七。△と二の白は、網の中の兎、逃るゝの途無し。

〔六六六八〕
白稍可なり
黒三は鈍重の手筋、不可なり。白四で、は、あり。イへ伐まつの手もあり。白六ロに圖の形を、黒三と交換せし、此譯にて、白に利あり。

〔六六六九〕
場合の手段
先番 高部道平六段
勝 橋本宇太郎四段
白二、四、六は已むを得ざる場合、普通は、黒を堅くする故、白惡し。

〔六六七〇〕
黒好まず
黒五と、白を駄目にするの有利に似たれど、黒も飛するに、白六中原に造んでは、黒の一三よりも薄弱なり。

〔六六七一〕
白面白し
白四、六！これは恐らくは夢想だにせざりし所、平和の堺、忽ち亂戰の巷となれり。されど、之も白好望の形勢と爲し得べし。

〔六六七二〕
白利勢
黒七なれば、白即ち八に大なる實利を收む。黒△の魂は呼べども返らず。而かも、黒九まで側の利も、得は、黒が隅の損が足らず。

〔六六七三〕
白優れり
黒七は筋違ひ。白八、十二、巧妙。更に傾類の手を早むる前圖の如く白八と行ひ十二と却つて、此七の行ひ、好着となるなり。

〔六六七四〕
常形
黒一の時、白イは、敵の頭に甘んぜざる頑強手段。尤も白二は、黒三でイと切れば白四の場合、宜しく提なる。黒五、堅實なり。

〔六六七五〕
場合
黒五、好まず。此敵失に乘じたる白六、八は迫つたる雷耳を掩ふ敏の着なり。黒十一をイなれば、白十二をロと猶ふ。（六六八一圖參照）。

〔六六七六〕
白愚形なり
白四は、黒の切りを防ぎしもなれど、斯かる俗筋は、必ず惡し。白一見よ、四に五。更に九と利かされも、愚化し、亦甚し。

〔六六七七〕
白悪し
かやうな形にては、普通は白四と約ゆるの一手なり。此場合白四は惡し。黒遂に五、七。△と二の白は、網の中の兎、逃るゝの途無し。

〔六六五五〕
定石
白六の時は、黒七而して九に先ず定石なり。七は九に蓋しの手順での妙手。若し七を單に九なれば、後に黒七と覗くも白八と應ぜざるべし。場合も生ず。

〔六六五六〕
場合の手段
先番 高部道平六段
勝 橋本宇太郎四段

（次圖以下四圖參照）

〔六六七八〕
黒悪し

黒三、重き手なり。白四と粘りに至っては、一と三の黒は大海に難しも、小舟の如く此二子は進退撮を失へり。

〔六六七九〕
常形

勝瀬越　憲作　六段
先番　久保松勝喜代　当時五段

両氏の對局圖　白十二の時黒は此儘手を抜いて宜し。但し、黒若しイなれば、白ロの筋。

〔六六八〇〕
黒稍利勢

白二は、形に泥みし悪手なり。黒三は、のの切りの東武者の如く、その阪を剛快に渡るが如く、棋勢むしろ黒に利あり。白ニなれば黒ホ。

〔六六八一〕
黒可なり

黒三も悪し。白六まで白四と黒一を除き、黒三と白二と黒五見れば、白六まで白四と黒六と白四の時は、白七、次に黒イと白四の時は、白ロと黒八の形、黒三も悪し。白四以下の手順は、黒三と白四と黒五の時、白六まで白四と黒七と

〔六七〇二〕
場合による

白軍の棋歩颯爽、正に九に至つては、これ天上に化龍にして飛ぶ。尤も白九の委でに粘くも宜し。イ

〔六七〇三〕
黒善し

斯る形勢にて白一、黒次に二と懸る手は、二と切らば白三と掛けんとするも一段なり。これなどは名手さるる人の意表に出づ。

〔六七〇四〕
白面白し

兵聖曰く「名将は、人を致して人に致されず」と。此の場合にては常形なれど、果稍飛ばんには、白九と押し、黒十と乗ぜらるるが如し。白イと押して、黒二と切り、白ロと遁るるを順とす。黒イ、白ロにて征。

〔六七〇五〕
黒嵌手に陥る

黒十二、悪し。白二以下二極まで手順の妙。白れば黒イ、白ロと切り、黒ハに曲れば、白ニにて征。

〔六七〇六〕
要點約言（第二九型、イの三）

黒五の時、白④、黒㊀、白㊁、黒㊂、白㊃なども、何れも變則の應手なり。これらの中央の位置を主とし、輕く此處を打つ事サカンとする時に、次に黒ヨ

〔六七〇七〕
基本圖（第六九型ロの一）

白四は、此の先手を得んとする時、打つ事多し。此形、黒五ではイ、ロ及びイハの應けあり。＊

〔六七〇八〕
基本圖（第六九型ロノ一）

黒五は、白四に對する最も堅實なる應にして且つ其變化も簡單なり。

〔六七〇九〕
定石

黒五なれば、白六と黒七との應答は、共に必ず外にも無し。此手を抜く事も有り。白八、時に急所なり。

〔六七一〇〕
常形

時に手抜は、白イにて宜し。黒ハに包む。

〔六七一一〕
常形

白いま十。黒乃ち十一に曲べし。蓋し黒十一は、一見小なる如きも、前圖に指す時は、次に黒ヨに同じ。

〔六七一二〕
場合による

白三を手抜せば、黒は減を厭ひ、邊上四に擁して西行し、或は此形なるイに夾撃す。此時、黒ロなれば、六二の點に擊ち、明き裾の形にて四と打たれるのは、白イと四とは

〔六七一三〕
黒大に優れり

黒既に四。此時、白五は、黒無理なり。果然、黒六に反撃し出づ。白遂に崩れて出。倒れて去つて白九。また白九にて黒を十なれば、黒＊

〔六七一四〕
黒善し

白五なれば、手抜六。黒イが善し。また白ロなれば、黒イ。白五と掛け、黒六と曲れば、白イと何ぞ。黒七まで押さるるも、白ロと下り、黒イ、白ロ、黒ハ、白ニ、黒ホ、白ヘ、黒ト、白チ、黒リ、白ヌ、黒ル、白ヲ、黒ワ、白カ、黒ヨ、白タ、黒レ、白ソ、黒ツ、白ネ、黒ナ、白ラ、黒ム、白ウ、黒ヰ、白ノ、黒オ、白ク、黒ヤ、白マ、黒ケ、白フ、黒コ、白エ、黒テ、白ア、黒サ、白キ、黒ユ、白メ、黒ミ、白シ、黒ヒ、白モ、黒セ、白ス、黒ン、白ヱ、黒ヲ、白ロ、黒リ、白ヌ又。

〔六七一五〕
要點約言（第二九型、ロの一）

黒五なれば、白イ。黒ロは當然の替り。白ハ好點。猶ニの約へを見るべし。黒ホと形なるも、白好まず。

〔六七一六〕
場合の手段

先勝 篠原正美 當時四段
林有太郎 當時六段

白五と掛け、黒六は、斯く多くの場合、黒八に出で切つて宜し。如イ、黒は稍緩くして這ふ。＊

〔六七一七〕
黒善し

手抜六。白イに曲れば、黒五。白ロなれば、黒イ。白ハと附け、次に白九を十と抜き、黒イに白九。黒十一に白ハ。軌を一にして、幾かの形なるも、攻守共に難ざるを經ざるべからず。

〔六七一八〕
基本圖（第六九型ロの二）

白八なれば、黒九。手筋なり。イ、ロ、十一、十二。又九などの手あれど、稍緩を欲す。光も無事なるを以て、黒五は、旣に上手筋なり。斯く打てば、白必ず六と曲る、種々の變化あり。黒五以下は、黒の手段なれども、手強き手段なれども、黒として は力戰＊

〔六七一九〕
基本圖（第六九型ロの二）

白八なれば、黒九。手筋なり。イ、ロ、十一、十二。又九などの手あれど、稍緩を欲す。光も無事なるを以て、黒五は、旣に上手筋なり。斯く打てば、白必ず六と曲る、種々の變化あり。黒五以下は、黒の手段なれども、手強き手段なれども、黒として は力戰＊

〔六七二〇〕
定石

黒十三、妙。此手も、あれど、其圖に比し、結果は稍劣る。肝要。今黒二、一段落。中腹の戰は、勝敗の決に在り。原逐鹿の如何にや。

〔六七二一〕黒味悪し

黒九、十。次に黒十一、白十二と黒十三、白十四。かくて黒先なり。如き形、黒は◎の白不安あり。（次圖）

〔六七二二〕劫

白一、一七に深く探る鮫鰐の渕！尋で白三。黒の軍相顧みて白色を失ふ！遂に白イと、ロに次に白イに七。白劫の両劫の晩み。白劫材豊富なる時は、（前圖黒十五を＊）

〔六七二三〕互角の形勢

凡そ戦は、正を以て合ひ奇を爲して勝つ。白八は奇道に似て、白八は形の正に比し筋違ひの處あれども、此場合は嚴しき意味あり。これも一

〔六七二四〕白の勢善し

黒若し十七に低く備せば、白は十九に十八と優位を占む。此形を往き、隅は黒二五、二七にて辛うじて勝つ。二八の先手を利かされては、黒は前圖よりも悪し。

＊手抜し、白一と切りし形。

＊箕也。白十二、十四宜し。

＊を白に

〔六七二五〕白稍優る

黒十三を白イに擦れば、黒七左白ロ、次に白イ以下の攻めを見る。白八の守り十一は以下の絶対。

〔六七二六〕白二子を圏む

黒九成立すれば、白十の手成立すれば、白十は黒十二と、白十三と抽し。但し白イ黒ロ黒チまで。白ハ以下黒ヲ以下の變化、二十二形勢は絞風即

〔六七二七〕白優勢

黒直ちに十一と、遁路を求むるは、打ち過ぎなり。以下白凄風即

〔六七二八〕白大に優勢

黒十一、妙着。白十二、延いて苦心惨憺の手段。黒甚だ求む無理。急雪崩の風雪に乗じ、白ハと逃げ出す。黒三三まで、遂に白石を逃がす。白子は取ほせず。

〔六七二九〕黒潰れ

黒九、十一、輕卒なり。白直ちに十二と、疾雷の山十を破する。以下白十三まで、黒ロに次に白イと逃げ出す。

〔六七三〇〕混戦の形

黒十一、妙着。白十二、此手要の急所。若し黒イに合はば、四七の変化、二十二形勢は絞風即

〔六七三一〕白悪し

白八以下十二は、却て隅ふ。白八は妙味を失ふ。或は白イと厚く、悪手なり。黒ロでは黒潰れる。

〔六七三二〕場合による

白六。黒七は地の勢の利。白八は勢を得ず。黒九、止むを得ず、場合に先づ此ど上れ。今や平静に帰す。互角。杯。

解消かなり。

〔六七三三〕白稍優る

黒九、十一好まず。白乃、十二で宜しく低し。黒十三、十五の若し。白十七と省けば、厚きを得たり。白十三、十五は先手の利き。

〔六七三四〕形勢互角

黒七、九は剛快執拗の一着。魚を釣るに餌を呑ませ、意氣旺んな原始人の如き氣魄。結果中盤に至れば、黒は斯くの如く打つ。

〔六七三五〕白稍可なり

此形なれば白四、黒三好まず。白八は普通好ぬ形。七手筋なれど、白十場合に佳し。黒十一左着。白十二で先。白十三の當を得たり。

〔六七三六〕黒好まず

黒十三と掛けし委曲は、黒一見可なるが、虚撒軽浮の着なり。白十四と立所に到る。白よ見破れて、黒遂に無理形に終る。

〔六七三七〕白可なり

黒十七も悪し。二一に曲つて、白十八と防ぎ、其手代りの先手を得、白イの一手を兎れず、白二十四、手筋に黒ロなれば白ハ。次

〔六七三八〕黒優る

白六なれば、黒七イに擦れば、次に左白ロ。以下の攻めを見る。白八の守り十一は以下の対。

〔六七三九〕白悪しからず

黒五なれば、白六、黒七なれば、白無論。而して白八、黒イ或はロでは黒潰れる。白八は形悪し。黒九、白十と加ふ。黒二五、白十四宜し。白十六、黒十七、白十八、黒十九、白二十、黒二一、白二二、黒二三、白二四、黒二五、白二六、黒二七、白二八、黒二九、白三十、黒三一、白三二、黒三三、白三四、黒三五、白三六、黒三七、白三八、黒三九、白四十、黒四一、白四二、黒四三、白四四、黒四五、白四六、黒四七、白四八、黒四九、白五十、黒五一、白五二、黒五三、白五四、黒五五、白五六、黒五七、白五八、黒五九、白六十、黒六一、白六二、黒六三、白六四、黒六五、白六六、黒六七、白六八、黒六九、白七十、黒七一、白七二、黒七三、白七四、黒七五、白七六、黒七七、白七八、黒七九、白八十、黒八一、白八二、黒八三、白八四、黒八五、白八六、黒八七、白八八、黒八九、白九十、黒九一、白九二、黒九三、白九四、黒九五、白九六、黒九七、白九八、黒九九、白百、黒百一、白百二、黒百三、白百四、黒百五、白百六、黒百七、白百八、黒百九、白百十、黒百一一、白百一二、黒百一三、白百一四、黒百一五、白百一六、黒百一七、白百一八、黒百一九、白百二十、黒百二一、白百二二、黒百二三、白百二四、黒百二五、白百二六、黒百二七、白百二八、黒百二九、白百三十、黒百三一、白百三二、黒百三三、白百三四、黒百三五、白百三六、黒百三七、白百三八、黒百三九、白百四十、黒百四一、白百四二、黒百四三、白百四四、黒百四五、白百四六、黒百四七、白百四八、黒百四九、白百五十、黒百五一、白百五二、黒百五三、白百五四、黒百五五、白百五六、黒百五七、白百五八、黒百五九、白百六十、黒百六一、白百六二、黒百六三、白百六四、黒百六五、白百六六、黒百六七、白百六八、黒百六九、白百七十、黒百七一、白百七二、黒百七三、白百七四、黒百七五、白百七六、黒百七七、白百七八、黒百七九、白百八十、黒百八一、白百八二、黒百八三、白百八四、黒百八五、白百八六、黒百八七、白百八八、黒百八九、白百九十、黒百九一、白百九二、黒百九三、白百九四、黒百九五、白百九六、黒百九七、白百九八、黒百九九、白二百、黒二百一、白二百二、黒二百三、白二百四、黒二百五、白二百六、黒二百七、白二百八、黒二百九、白二百十、黒二百一一、白二百一二、黒二百一三、白二百一四、黒二百一五、白二百一六、黒二百一七、白二百一八、黒二百一九、白二百二十、黒二百二一、白二百二二、黒二百二三、白二百二四、黒二百二五、白二百二六、黒二百二七、白二百二八、黒二百二九、白二百三十、黒二百三一、白二百三二、黒二百三三、白二百三四、黒二百三五、白二百三六、黒二百三七、白二百三八、黒二百三九、白二百四十、黒二百四一、白二百四二、黒二百四三、白二百四四、黒二百四五、白二百四六、黒二百四七、白二百四八、黒二百四九、白二百五十、黒二百五一、白二百五二、黒二百五三、白二百五四、黒二百五五、白二百五六、黒二百五七、白二百五八、黒二百五九、白二百六十、黒二百六一、白二百六二、黒二百六三、白二百六四、黒二百六五、白二百六六、黒二百六七、白二百六八、黒二百六九、白二百七十、黒二百七一、白二百七二、黒二百七三、白二百七四、黒二百七五、白二百七六、黒二百七七、白二百七八、黒二百七九、白二百八十、黒二百八一、白二百八二、黒二百八三、白二百八四、黒二百八五、白二百八六、黒二百八七、白二百八八、黒二百八九、白二百九十、黒二百九一、白二百九二、黒二百九三、白二百九四、黒二百九五、白二百九六、黒二百九七、白二百九八、黒二百九九、白三百、黒三百一、白三百二、黒三百三、白三百四、黒三百五、白三百六、黒三百七、白三百八、黒三百九、白三百十、黒三百一一、白三百一二、黒三百一三、白三百一四、黒三百一五、白三百一六、黒三百一七、白三百一八、黒三百一九、白三百二十、黒三百二一、白三百二二、黒三百二三、白三百二四、黒三百二五、白三百二六、黒三百二七、白三百二八、黒三百二九、白三百三十、黒三百三一、白三百三二、黒三百三三、白三百三四、黒三百三五、白三百三六、黒三百三七、白三百三八、黒三百三九、白三百四十、黒三百四一、白三百四二、黒三百四三、白三百四四、黒三百四五、白三百四六、黒三百四七、白三百四八、黒三百四九、白三百五十、黒三百五一、白三百五二、黒三百五三、白三百五四、黒三百五五、白三百五六、黒三百五七、白三百五八、黒三百五九、白三百六十、黒三百六一、白三百六二、黒三百六三、白三百六四、黒三百六五、白三百六六、黒三百六七、白三百六八、黒三百六九、白三百七十、黒三百七一、白三百七二、黒三百七三、白三百七四、黒三百七五、白三百七六、黒三百七七、白三百七八、黒三百七九、白三百八十、黒三百八一、白三百八二、黒三百八三、白三百八四、黒三百八五、白三百八六、黒三百八七、白三百八八、黒三百八九、白三百九十、黒三百九一、白三百九二、黒三百九三、白三百九四、黒三百九五、白三百九六、黒三百九七、白三百九八、黒三百九九、白四百、黒四百一、白四百二、黒四百三、白四百四、黒四百五、白四百六、黒四百七、白四百八、黒四百九、白四百十、黒四百一一、白四百一二、黒四百一三、白四百一四、黒四百一五、白四百一六、黒四百一七、白四百一八、黒四百一九、白四百二十、黒四百二一、白四百二二、黒四百二三、白四百二四、黒四百二五、白四百二六、黒四百二七、白四百二八、黒四百二九、白四百三十、黒四百三一、白四百三二、黒四百三三、白四百三四、黒四百三五、白四百三六、黒四百三七、白四百三八、黒四百三九、白四百四十、黒四百四一、白四百四二、黒四百四三、白四百四四、黒四百四五、白四百四六、黒四百四七、白四百四八、黒四百四九、白四百五十、黒四百五一、白四百五二、黒四百五三、白四百五四、黒四百五五、白四百五六、黒四百五七、白四百五八、黒四百五九、白四百六十、黒四百六一、白四百六二、黒四百六三、白四百六四、黒四百六五、白四百六六、黒四百六七、白四百六八、黒四百六九、白四百七十、黒四百七一、白四百七二、黒四百七三、白四百七四、黒四百七五、白四百七六、黒四百七七、白四百七八、黒四百七九、白四百八十、黒四百八一、白四百八二、黒四百八三、白四百八四、黒四百八五、白四百八六、黒四百八七、白四百八八、黒四百八九、白四百九十、黒四百九一、白四百九二、黒四百九三、白四百九四、黒四百九五、白四百九六、黒四百九七、白四百九八、黒四百九九、白五百、黒五百一、白五百二、黒五百三、白五百四、黒五百五、白五百六、黒五百七、白五百八、黒五百九、白五百十、黒五百一一、白五百一二、黒五百一三、白五百一四、黒五百一五、白五百一六、黒五百一七、白五百一八、黒五百一九、白五百二十、黒五百二一、白五百二二、黒五百二三、白五百二四、黒五百二五、白五百二六、黒五百二七、白五百二八、黒五百二九、白五百三十、黒五百三一、白五百三二、黒五百三三、白五百三四、黒五百三五、白五百三六、黒五百三七、白五百三八、黒五百三九、白五百四十、黒五百四一、白五百四二、黒五百四三、白五百四四、黒五百四五、白五百四六、黒五百四七、白五百四八、黒五百四九、白五百五十、黒五百五一、白五百五二、黒五百五三、白五百五四、黒五百五五、白五百五六、黒五百五七、白五百五八、黒五百五九、白五百六十、黒五百六一、白五百六二、黒五百六三、白五百六四、黒五百六五、白五百六六、黒五百六七、白五百六八、黒五百六九、白五百七十、黒五百七一、白五百七二、黒五百七三、白五百七四、黒五百七五、白五百七六、黒五百七七、白五百七八、黒五百七九、白五百八十、黒五百八一、白五百八二、黒五百八三、白五百八四、黒五百八五、白五百八六、黒五百八七、白五百八八、黒五百八九、白五百九十、黒五百九一、白五百九二、黒五百九三、白五百九四、黒五百九五、白五百九六、黒五百九七、白五百九八、黒五百九九、白六百、黒六百一、白六百二、黒六百三、白六百四、黒六百五、白六百六、黒六百七、白六百八、黒六百九、白六百十、黒六百一一、白六百一二、黒六百一三、白六百一四、黒六百一五、白六百一六、黒六百一七、白六百一八、黒六百一九、白六百二十、黒六百二一、白六百二二、黒六百二三、白六百二四、黒六百二五、白六百二六、黒六百二七、白六百二八、黒六百二九、白六百三十、黒六百三一、白六百三二、黒六百三三、白六百三四、黒六百三五、白六百三六、黒六百三七、白六百三八、黒六百三九、白六百四十、黒六百四一、白六百四二、黒六百四三、白六百四四、黒六百四五、白六百四六、黒六百四七、白六百四八、黒六百四九、白六百五十、黒六百五一、白六百五二、黒六百五三、白六百五四、黒六百五五、白六百五六、黒六百五七、白六百五八、黒六百五九、白六百六十、黒六百六一、白六百六二、黒六百六三、白六百六四、黒六百六五、白六百六六、黒六百六七、白六百六八、黒六百六九、白六百七十、黒六百七一、白六百七二、黒六百七三、白六百七四、黒六百七五、白六百七六、黒六百七七、白六百七八、黒六百七九、白六百八十、黒六百八一、白六百八二、黒六百八三、白六百八四、黒六百八五、白六百八六、黒六百八七、白六百八八、黒六百八九、白六百九十、黒六百九一、白六百九二、黒六百九三、白六百九四、黒六百九五、白六百九六、黒六百九七、白六百九八、黒六百九九、白七百、黒七百一、白七百二、黒七百三、白七百四、黒七百五、白七百六、黒七百七、白七百八、黒七百九、白七百十、黒七百一一、白七百一二、黒七百一三、白七百一四、黒七百一五、白七百一六、黒七百一七、白七百一八、黒七百一九、白七百二十、黒七百二一、白七百二二、黒七百二三、白七百二四、黒七百二五、白七百二六、黒七百二七、白七百二八、黒七百二九、白七百三十、黒七百三一、白七百三二、黒七百三三、白七百三四、黒七百三五、白七百三六、黒七百三七、白七百三八、黒七百三九、白七百四十、黒七百四一、白七百四二、黒七百四三、白七百四四、黒七百四五、白七百四六、黒七百四七、白七百四八、黒七百四九、白七百五十、黒七百五一、白七百五二、黒七百五三、白七百五四、黒七百五五、白七百五六、黒七百五七、白七百五八、黒七百五九、白七百六十、黒七百六一、白七百六二、黒七百六三、白七百六四、黒七百六五、白七百六六、黒七百六七、白七百六八、黒七百六九、白七百七十、黒七百七一、白七百七二、黒七百七三、白七百七四、黒七百七五、白七百七六、黒七百七七、白七百七八、黒七百七九、白七百八十、黒七百八一、白七百八二、黒七百八三、白七百八四、黒七百八五、白七百八六、黒七百八七、白七百八八、黒七百八九、白七百九十、黒七百九一、白七百九二、黒七百九三、白七百九四、黒七百九五、白七百九六、黒七百九七、白七百九八、黒七百九九、白八百、黒八百一、白八百二、黒八百三、白八百四、黒八百五、白八百六、黒八百七、白八百八、黒八百九、白八百十、黒八百一一、白八百一二、黒八百一三、白八百一四、黒八百一五、白八百一六、黒八百一七、白八百一八、黒八百一九、白八百二十、黒八百二一、白八百二二、黒八百二三、白八百二四、黒八百二五、白八百二六、黒八百二七、白八百二八、黒八百二九、白八百三十、黒八百三一、白八百三二、黒八百三三、白八百三四、黒八百三五、白八百三六、黒八百三七、白八百三八、黒八百三九、白八百四十、黒八百四一、白八百四二、黒八百四三、白八百四四、黒八百四五、白八百四六、黒八百四七、白八百四八、黒八百四九、白八百五十、黒八百五一、白八百五二、黒八百五三、白八百五四、黒八百五五、白八百五六、黒八百五七、白八百五八、黒八百五九、白八百六十、黒八百六一、白八百六二、黒八百六三、白八百六四、黒八百六五、白八百六六、黒八百六七、白八百六八、黒八百六九、白八百七十、黒八百七一、白八百七二、黒八百七三、白八百七四、黒八百七五、白八百七六、黒八百七七、白八百七八、黒八百七九、白八百八十、黒八百八一、白八百八二、黒八百八三、白八百八四、黒八百八五、白八百八六、黒八百八七、白八百八八、黒八百八九、白八百九十、黒八百九一、白八百九二、黒八百九三、白八百九四、黒八百九五、白八百九六、黒八百九七、白八百九八、黒八百九九、白九百、黒九百一、白九百二、黒九百三、白九百四、黒九百五、白九百六、黒九百七、白九百八、黒九百九、白九百十、黒九百一一、白九百一二、黒九百一三、白九百一四、黒九百一五、白九百一六、黒九百一七、白九百一八、黒九百一九、白九百二十、黒九百二一、白九百二二、黒九百二三、白九百二四、黒九百二五、白九百二六、黒九百二七、白九百二八、黒九百二九、白九百三十、黒九百三一、白九百三二、黒九百三三、白九百三四、黒九百三五、白九百三六、黒九百三七、白九百三八、黒九百三九、白九百四十、黒九百四一、白九百四二、黒九百四三、白九百四四、黒九百四五、白九百四六、黒九百四七、白九百四八、黒九百四九、白九百五十、黒九百五一、白九百五二、黒九百五三、白九百五四、黒九百五五、白九百五六、黒九百五七、白九百五八、黒九百五九、白九百六十、黒九百六一、白九百六二、黒九百六三、白九百六四、黒九百六五、白九百六六、黒九百六七、白九百六八、黒九百六九、白九百七十、黒九百七一、白九百七二、黒九百七三、白九百七四、黒九百七五、白九百七六、黒九百七七、白九百七八、黒九百七九、白九百八十、黒九百八一、白九百八二、黒九百八三、白九百八四、黒九百八五、白九百八六、黒九百八七、白九百八八、黒九百八九、白九百九十、黒九百九一、白九百九二、黒九百九三、白九百九四、黒九百九五、白九百九六、黒九百九七、白九百九八、黒九百九九、白千、黒千一、白千二、黒千三、白千四、黒千五、白千六、黒千七、白千八、黒千九、白千十、黒千一一、白千一二、黒千一三、白千一四、黒千一五、白千一六、黒千一七、白千一八、黒千一九、白千二十、黒千二一、白千二二、黒千二三、白千二四、黒千二五、白千二六、黒千二七、白千二八、黒千二九、白千三十、黒千三一、白千三二、黒千三三、白千三四、黒千三五、白千三六、黒千三七、白千三八、黒千三九、白千四十、黒千四一、白千四二、黒千四三、白千四四、黒千四五、白千四六、黒千四七、白千四八、黒千四九、白千五十、黒千五一、白千五二、黒千五三、白千五四、黒千五五、白千五六、黒千五七、白千五八、黒千五九、白千六十、黒千六一、白千六二、黒千六三、白千六四、黒千六五、白千六六、黒千六七、白千六八、黒千六九、白千七十、黒千七一、白千七二、黒千七三、白千七四、黒千七五、白千七六、黒千七七、白千七八、黒千七九、白千八十、黒千八一、白千八二、黒千八三、白千八四、黒千八五、白千八六、黒千八七、白千八八、黒千八九、白千九十、黒千九一、白千九二、黒千九三、白千九四、黒千九五、白千九六、黒千九七、白千九八、黒千九九、白二千、黒二千一、白二千二、黒二千三、白二千四、黒二千五、白二千六、黒二千七、白二千八、黒二千九、白二千十、黒二千一一、白二千一二、黒二千一三、白二千一四、黒二千一五、白二千一六、黒二千一七、白二千一八、黒二千一九、白二千二十、黒二千二一、白二千二二、黒二千二三、白二千二四、黒二千二五、白二千二六、黒二千二七、白二千二八、黒二千二九、白二千三十、黒二千三一、白二千三二、黒二千三三、白二千三四、黒二千三五、白二千三六、黒二千三七、白二千三八、黒二千三九、白二千四十、黒二千四一、白二千四二、黒二千四三、白二千四四、黒二千四五、白二千四六、黒二千四七、白二千四八、黒二千四九、白二千五十、黒二千五一、白二千五二、黒二千五三、白二千五四、黒二千五五、白二千五六、黒二千五七、白二千五八、黒二千五九、白二千六十、黒二千六一、白二千六二、黒二千六三、白二千六四、黒二千六五、白二千六六、黒二千六七、白二千六八、黒二千六九、白二千七十、黒二千七一、白二千七二、黒二千七三、白二千七四、黒二千七五、白二千七六、黒二千七七、白二千七八、黒二千七九、白二千八十、黒二千八一、白二千八二、黒二千八三、白二千八四、黒二千八五、白二千八六、黒二千八七、白二千八八、黒二千八九、白二千九十、黒二千九一、白二千九二、黒二千九三、白二千九四、黒二千九五、白二千九六、黒二千九七、白二千九八、黒二千九九、白三千、黒三千一、白三千二、黒三千三、白三千四、黒三千五、白三千六、黒三千七、白三千八、黒三千九、白三千十、黒三千一一、白三千一二、黒三千一三、白三千一四、黒三千一五、白三千一六、黒三千一七、白三千一八、黒三千一九、白三千二十、黒三千二一、白三千二二、黒三千二三、白三千二四、黒三千二五、白三千二六、黒三千二七、白三千二八、黒三千二九、白三千三十、黒三千三一、白三千三二、黒三千三三、白三千三四、黒三千三五、白三千三六、黒三千三七、白三千三八、黒三千三九、白三千四十、黒三千四一、白三千四二、黒三千四三、白三千四四、黒三千四五、白三千四六、黒三千四七、白三千四八、黒三千四九、白三千五十、黒三千五一、白三千五二、黒三千五三、白三千五四、黒三千五五、白三千五六、黒三千五七、白三千五八、黒三千五九、白三千六十、黒三千六一、白三千六二、黒三千六三、白三千六四、黒三千六五、白三千六六、黒三千六七、白三千六八、黒三千六九、白三千七十、黒三千七一、白三千七二、黒三千七三、白三千七四、黒三千七五、白三千七六、黒三千七七、白三千七八、黒三千七九、白三千八十、黒三千八一、白三千八二、黒三千八三、白三千八四、黒三千八五、白三千八六、黒三千八七、白三千八八、黒三千八九、白三千九十、黒三千九一、白三千九二、黒三千九三、白三千九四、黒三千九五、白三千九六、黒三千九七、白三千九八、黒三千九九、白四千、黒四千一、白四千二、黒四千三、白四千四、黒四千五、白四千六、黒四千七、白四千八、黒四千九、白四千十、黒四千一一、白四千一二、黒四千一三、白四千一四、黒四千一五、白四千一六、黒四千一七、白四千一八、黒四千一九、白四千二十、黒四千二一、白四千二二、黒四千二三、白四千二四、黒四千二五、白四千二六、黒四千二七、白四千二八、黒四千二九、白四千三十、黒四千三一、白四千三二、黒四千三三、白四千三四、黒四千三五、白四千三六、黒四千三七、白四千三八、黒四千三九、白四千四十、黒四千四一、白四千四二、黒四千四三、白四千四四、黒四千四五、白四千四六、黒四千四七、白四千四八、黒四千四九、白四千五十、黒四千五一、白四千五二、黒四千五三、白四千五四、黒四千五五、白四千五六、黒四千五七、白四千五八、黒四千五九、白四千六十、黒四千六一、白四千六二、黒四千六三、白四千六四、黒四千六五、白四千六六、黒四千六七、白四千六八、黒四千六九、白四千七十、黒四千七一、白四千七二、黒四千七三、白四千七四、黒四千七五、白四千七六、黒四千七七、白四千七八、黒四千七九、白四千八十、黒四千八一、白四千八二、黒四千八三、白四千八四、黒四千八五、白四千八六、黒四千八七、白四千八八、黒四千八九、白四千九十、黒四千九一、白四千九二、黒四千九三、白四千九四、黒四千九五、白四千九六、黒四千九七、白四千九八、黒四千九九、白五千、黒五千一、白五千二、黒五千三、白五千四、黒五千五、白五千六、黒五千七、白五千八、黒五千九、白五千十、黒五千一一、白五千一二、黒五千一三、白五千一四、黒五千一五、白五千一六、黒五千一七、白五千一八、黒五千一九、白五千二十、黒五千二一、白五千二二、黒五千二三、白五千二四、黒五千二五、白五千二六、黒五千二七、白五千二八、黒五千二九、白五千三十、黒五千三一、白五千三二、黒五千三三、白五千三四、黒五千三五、白五千三六、黒五千三七、白五千三八、黒五千三九、白五千四十、黒五千四一、白五千四二、黒五千四三、白五千四四、黒五千四五、白五千四六、黒五千四七、白五千四八、黒五千四九、白五千五十、黒五千五一、白五千五二、黒五千五三、白五千五四、黒五千五五、白五千五六、黒五千五七、白五千五八、黒五千五九、白五千六十、黒五千六一、白五千六二、黒五千六三、白五千六四、黒五千六五、白五千六六、黒五千六七、白五千六八、黒五千六九、白五千七十、黒五千七一、白五千七二、黒五千七三、白五千七四、黒五千七五、白五千七六、黒五千七七、白五千七八、黒五千七九、白五千八十、黒五千八一、白五千八二、黒五千八三、白五千八四、黒五千八五、白五千八六、黒五千八七、白五千八八、黒五千八九、白五千九十、黒五千九一、白五千九二、黒五千九三、白五千九四、黒五千九五、白五千九六、黒五千九七、白五千九八、黒五千九九、白六千、黒六千一、白六千二、黒六千三、白六千四、黒六千五、白六千六、黒六千七、白六千八、黒六千九、白六千十、黒六千一一、白六千一二、黒六千一三、白六千一四、黒六千一五、白六千一六、黒六千一七、白六千一八、黒六千一九、白六千二十、黒六千二一、白六千二二、黒六千二三、白六千二四、黒六千二五、白六千二六、黒六千二七、白六千二八、黒六千二九、白六千三十、黒六千三一、白六千三二、黒六千三三、白六千三四、黒六千三五、白六千三六、黒六千三七、白六千三八、黒六千三九、白六千四十、黒六千四一、白六千四二、黒六千四三、白六千四四、黒六千四五、白六千四六、黒六千四七、白六千四八、黒六千四九、白六千五十、黒六千五一、白六千五二、黒六千五三、白六千五四、黒六千五五、白六千五六、黒六千五七、白六千五八、黒六千五九、白六千六十、黒六千六一、白六千六二、黒六千六三、白六千六四、黒六千六五、白六千六六、黒六千六七、白六千六八、黒六千六九、白六千七十、黒六千七一、白六千七二、黒六千七三、白六千七四、黒六千七五、白六千七六、黒六千七七、白六千七八、黒六千七九、白六千八十、黒六千八一、白六千八二、黒六千八三、白六千八四、黒六千八五、白六千八六、黒六千八七、白六千八八、黒六千八九、白六千九十、黒六千九一、白六千九二、黒六千九三、白六千九四、黒六千九五、白六千九六、黒六千九七、白六千九八、黒六千九九、白七千、黒七千一、白七千二、黒七千三、白七千四、黒七千五、白七千六、黒七千七、白七千八、黒七千九、白七千十、黒七千一一、白七千一二、黒七千一三、白七千一四、黒七千一五、白七千一六、黒七千一七、白七千一八、黒七千一九、白七千二十、黒七千二一、白七千二二、黒七千二三、白七千二四、黒七千二五、白七千二六、黒七千二七、白七千二八、黒七千二九、白七千三十、黒七千三一、白七千三二、黒七千三三、白七千三四、黒七千三五、白七千三六、黒七千三七、白七千三八、黒七千三九、白七千四十、黒七千四一、白七千四二、黒七千四三、白七千四四、黒七千四五、白七千四六、黒七千四七、白七千四八、黒七千四九、白七千五十、黒七千五一、白七千五二、黒七千五三、白七千五四、黒七千五五、白七千五六、黒七千五七、白七千五八、黒七千五九、白七千六十、黒七千六一、白七千六二、黒七千六三、白七千六四、黒七千六五、白七千六六、黒七千六七、白七千六八、黒七千六九、白七千七十、黒七千七一、白七千七二、黒七千七三、白七千七四、黒七千七五、白七千七六、黒七千七七、白七千七八、黒七千七九、白七千八十、黒七千八一、白七千八二、黒七千八三、白七千八四、黒七千八五、白七千八六、黒七千八七、白七千八八、黒七千八九、白七千九十、黒七千九一、白七千九二、黒七千九三、白七千九四、黒七千九五、白七千九六、黒七千九七、白七千九八、黒七千九九、白八千、黒八千一、白八千二、黒八千三、白八千四、黒八千五、白八千六、黒八千七、白八千八、黒八千九、白八千十、黒八千一一、白八千一二、黒八千一三、白八千一四、黒八千一五、白八千一六、黒八千一七、白八千一八、黒八千一九、白八千二十、黒八千二一、白八千二二、黒八千二三、白八千二四、黒八千二五、白八千二六、黒八千二七、白八千二八、黒八千二九、白八千三十、黒八千三一、白八千三二、黒八千三三、白八千三四、黒八千三五、白八千三六、黒八千三七、白八千三八、黒八千三九、白八千四十、黒八千四一、白八千四二、黒八千四三、白八千四四、黒八千四五、白八千四六、黒八千四七、白八千四八、黒八千四九、白八千五十、黒八千五一、白八千五二、黒八千五三、白八千五四、黒八千五五、白八千五六、黒八千五七、白八千五八、黒八千五九、白八千六十、黒八千六一、白八千六二、黒八千六三、白八千六四、黒八千六五、白八千六六、黒八千六七、白八千六八、黒八千六九、白八千七十、黒八千七一、白八千七二、黒八千七三、白八千七四、黒八千七五、白八千七六、黒八千七七、白八千七八、黒八千七九、白八千八十、黒八千八一、白八千八二、黒八千八三、白八千八四、黒八千八五、白八千八六、黒八千八七、白八千八八、黒八千八九、白八千九十、黒八千九一、白八千九二、黒八千九三、白八千九四、黒八千九五、白八千九六、黒八千九七、白八千九八、黒八千九九、白九千、黒九千一、白九千二、黒九千三、白九千四、黒九千五、白九千六、黒九千七、白九千八、黒九千九、白九千十、黒九千一一、白九千一二、黒九千一三、白九千一四、黒九千一五、白九千一六、黒九千一七、白九千一八、黒九千一九、白九千二十、黒九千二一、白九千二二、黒九千二三、白九千二四、黒九千二五、白九千二六、黒九千二七、白九千二八、黒九千二九、白九千三十、黒九千三一、白九千三二、黒九千三三、白九千三四、黒九千三五、白九千三六、黒九千三七、白九千三八、黒九千三九、白九千四十、黒九千四一、白九千四二、黒九千四三、白九千四四、黒九千四五、白九千四六、黒九千四七、白九千四八、黒九千四九、白九千五十、黒九千五一、白九千五二、黒九千五三、白九千五四、黒九千五五、白九千五六、黒九千五七、白九千五八、黒九千五九、白九千六十、黒九千六一、白九千六二、黒九千六三、白九千六四、黒九千六五、白九千六六、黒九千六七、白九千六八、黒九千六九、白九千七十、黒九千七一、白九千七二、黒九千七三、白九千七四、黒九千七五、白九千七六、黒九千七七、白九千七八、黒九千七九、白九千八十、黒九千八一、白九千八二、黒九千八三、白九千八四、黒九千八五、白九千八六、黒九千八七、白九千八八、黒九千八九、白九千九十、黒九千九一、白九千九二、黒九千九三、白九千九四、黒九千九五、白九千九六、黒九千九七、白九千九八、黒九千九九、白一万、黒一万一、白一万二、黒一万三、白一万四、黒一万五、白一万六、黒一万七、白一万八、黒一万九、白一万十、黒一万一一、白一万一二、黒一万一三、白一万一四、黒一万一五、白一万一六、黒一万一七、白一万一八、黒一万一九、白一万二十、黒一万二一、白一万二二、黒一万二三、白一万二四、黒一万二五、白一万二六、黒一万二七、白一万二八、黒一万二九、白一万三十、黒一万三一、白一万三二、黒一万三三、白一万三四、黒一万三五、白一万三六、黒一万三七、白一万三八、黒一万三九、白一万四十、黒一万四一、白一万四二、黒一万四三、白一万四四、黒一万四五、白一万四六、黒一万四七、白一万四八、黒一万四九、白一万五十、黒一万五一、白一万五二、黒一万五三、白一万五四、黒一万五五、白一万五六、黒一万五七、白一万五八、黒一万五九、白一万六十、黒一万六一、白一万六二、黒一万六三、白一万六四、黒一万六五、白一万六六、黒一万六七、白一万六八、黒一万六九、白一万七十、黒一万七一、白一万七二、黒一万七三、白一万七四、黒一万七五、白一万七六、黒一万七七、白一万七八、黒一万七九、白一万八十、黒一万八一、白一万八二、黒一万八三、白一万八四、黒一万八五、白一万八六、黒一万八七、白一万八八、黒一万八九、白一万九十、黒一万九一、白一万九二、黒一万九三、白一万九四、黒一万九五、白一万九六、黒一万九七、白一万九八、黒一万九九、白二万、黒二万一、白二万二、黒二万三、白二万四、黒二万五、白二万六、黒二万七、白二万八、黒二万九、白二万十、黒二万一一、白二万一二、黒二万一三、白二万一四、黒二万一五、白二万一六、黒二万一七、白二万一八、黒二万一九、白二万二十、黒二万二一、白二万二二、黒二万二三、白二万二四、黒二万二五、白二万二六、黒二万二七、白二万二八、黒二万二九、白二万三十、黒二万三一、白二万三二、黒二万三三、白二万三四、黒二万三五、白二万三六、黒二万三七、白二万三八、黒二万三九、白二万四十、黒二万四一、白二万四二、黒二万四三、白二万四四、黒二万四五、白二万四六、黒二万四七、白二万四八、黒二万四九、白二万五十、黒二万五一、白二万五二、黒二万五三、白二万五四、黒二万五五、白二万五六、黒二万五七、白二万五八、黒二万五九、白二万六十、黒二万六一、白二万六二、黒二万六三、白二万六四、黒二万六五、白二万六六、黒二万六七、白二万六八、黒二万六九、白二万七十、黒二万七一、白二万七二、黒二万七三、白二万七四、黒二万七五、白二万七六、黒二万七七、白二万七八、黒二万七九、白二万八十、黒二万八一、白二万八二、黒二万八三、白二万八四、黒二万八五、白二万八六、黒二万八七、白二万八八、黒二万八九、白二万九十、黒二万九一、白二万九二、黒二万九三、白二万九四、黒二万九五、白二万九六、黒二万九七、白二万九八、黒二万九九、白三万、黒三万一、白三万二、黒三万三、白三万四、黒三万五、白三万六、黒三万七、白三万八、黒三万九、白三万十、黒三万一一、白三万一二、黒三万一三、白三万一四、黒三万一五、白三万一六、黒三万一七、白三万一八、黒三万一九、白三万二十、黒三万二一、白三万二二、黒三万二三、白三万二四、黒三万二五、白三万二六、黒三万二七、白三万二八、黒三万二九、白三万三十、黒三万三一、白三万三二、黒三万三三、白三万三四、黒三万三五、白三万三六、黒三万三七、白三万三八、黒三万三九、白三万四十、黒三万四一、白三万四二、黒三万四三、白三万四四、黒三万四五、白三万四六、黒三万四七、白三万四八、黒三万四九、白三万五十、黒三万五一、白三万五二、黒三万五三、白三万五四、黒三万五五、白三万五六、黒三万五七、白三万五八、黒三万五九、白三万六十、黒三万六一、白三万六二、黒三万六三、白三万六四、黒三万六五、白三万六六、黒三万六七、白三万六八、黒三万六九、白三万七十、黒三万七一、白三万七二、黒三万七三、白三万七四、黒三万七五、白三万七六、黒三万七七、白三万七八、黒三万七九、白三万八十、黒三万八一、白三万八二、黒三万八三、白三万八四、黒三万八五、白三万八六、黒三万八七、白三万八八、黒三万八九、白三万九十、黒三万九一、白三万九二、黒三万九三、白三万九四、黒三万九五、白三万九六、黒三万九七、白三万九八、黒三万九九、白四万、黒四万一、白四万二、黒四万三、白四万四、黒四万五、白四万六、黒四万七、白四万八、黒四万九、白四万十、黒四万一一、白四万一二、黒四万一三、白四万一四、黒四万一五、白四万一六、黒四万一七、白四万一八、黒四万一九、白四万二十、黒四万二一、白四万二二、黒四万二三、白四万二四、黒四万二五、白四万二六、黒四万二七、白四万二八、黒四万二九、白四万三十、黒四万三一、白四万三二、黒四万三三、白四万三四、黒四万三五、白四万三六、黒四万三七、白四万三八、黒四万三九、白四万四十、黒四万四一、白四万四二、黒四万四三、白四万四四、黒四万四五、白四万四六、黒四万四七、白四万四八、黒四万四九、白四万五十、黒四万五一、白四万五二、黒四万五三、白四万五四、黒四万五五、白四万五六、黒四万五七、白四万五八、黒四万五九、白四万六十、黒四万六一、白四万六二、黒四万六三、白四万六四、黒四万六五、白四万六六、黒四万六七、白四万六八、黒四万六九、白四万七十、黒四万七一、白四万七二、黒四万七三、白四万七四、黒四万七五、白四万七六、黒四万七七、白四万七八、黒四万七九、白四万八十、黒四万八一、白四万八二、黒四万八三、白四万八四、黒四万八五、白四万八六、黒四万八七、白四万八八、黒四万八九、白四万九十、黒四万九一、白四万九二、黒四万九三、白四万九四、黒四万九五、白四万九六、黒四万九七、白四万九八、黒四万九九、白五万、黒五万一、白五万二、黒五万三、白五万四、黒五万五、白五万六、黒五万七、白五万八、黒五万九、白五万十、黒五万一一、白五万一二

〔六七四三〕
手順玩味せよ

白二、此邊一着の手順三。此の前後は、實に至妙の關係、かかる影響あり。一と白二との交換は、以下黒十一と其得なりし時に、其得失大なる差あり。

〔六七四四〕
黒有利の形

白十の手順一面の當然なりし左上黒は三面の稍次ぐ大きく、十五とは方向を異にし、十三と下方面の勢を伸張なれば、白十四は黒十五と宜しく、白十四と黒十一とを交換なれば、白十四と黒十一とを交換なれば、白十四と黒十一とを交換なれば

〔六七六五〕
白眼形を失ふ

白二と敵を伐ち、白次に自らイと守るべきを怠る。見よ、黒の五以下の急攻に懦然として至心戦く。黒九に白形つぶれて白は二を打たざりしより却て悪し。

〔六七六六〕
白重し

(四)手抜

黒六と下を粘げば、黒七而して九、黒は委輕快、而かもその棋威能く白の心胆を寒からしむ。

〔六七六七〕
常形

白は此形、(二)手抜かんとするには前圖の如き三の綽は打たざるを可とす。斯くするれば黒は或る時機に三の下れづ。先づ互角の分れなり。

〔六七六八〕
白可なり

黒は一と縦に逃げ、白之に二と振ふ。黒然果て六と切り、白六の頓形で八に定まる。圖に比較すれば白優石なり。

〔六七六九〕
白手厚き形

黒三、而して五。此時、白六は要點なり。語焉心せざれば、一と焦げ付き、白形に乾く。次に七と綽るも白の取なりて、此形も略前圖と同じ。

〔六七七〇〕
隅に手あり

白一、三、五、而して七の鋭ければ、白十一と黒八黒イ白ロ。黒十三まで八の形、黒ハと打つあれば劫味を含む、手筋あれば白更に手抜すると其時は猶ほ劫。

〔六七七一〕
白厚し

黒三、次に五、而して七。斯くすれば白八をイにても、前圖白ロ残の如き凄じき狙ひなるも故に白イの一手効約ず。程なく白果へ此形なれば手抜して宜し。

〔六七七二〕
白稍可なり

黒一と裾を侵し来り、利きにて頭辺を脅す。白或は前後に追ふ。黒虎と猛進す。此形白更に思ひ切りて六、七と取るも故し。白厚し。

〔六七七三〕
白稍可なり

黒五の切を打つ、次に七と綽るも白八の取なりて、此形も略前圖と同じ。

〔六七七四〕
白優れり

紛々若々、爲すに所なく、黒ざまで打つあれば、黒三、白五、黒七、白優勢なり。

〔六七七五〕
白の勢宜し

黒此場合三を指して七、馬とは認識誤まれば鹿筋を指して馬とは手筋か。黒三とは打たざる可とす。黒九、白イにては黒五を狙ひ凄じき攻撃を受く。分れは白ロの残の如く白優勢なり。

〔六七七六〕
常形

黒三、自重し、黒イに攻め来狙ふ。黒の厚みを活用し、白の弱点を攻めて宜し。

〔六七七七〕
参考圖

白イと引くもあり。黒一と引くれば、白二でイなれば、黒六に帰す。白以下常形なり。白二はイ或は手抜を可とす。黒は五と打ち、白六と形を崩しめ、慧敏なり。

〔六七七八〕
場合による

白二、手抜、黒三の飛び、此時、白は更に手抜して宜し。但し打つと四と附せば、圖の如く白稍可なり。

〔六七七九〕
場合による

(二)手抜

白は無論九に尖めに手抜す、但し打つとせば、白イなど意味に重きを置くべきなり。黒三を九に手抜、白ロなどと手段なれば白稍佳なり。又黒五を七と引く手は、單に堅實。

〔六七八〇〕
要點約言

(第二六九型ロの二)變化

白八の時、黒イ、白ロ、黒ハ、白ニなどの初めの手段は、退嬰的手段にして、稍々消極的なり。

〔六七八一〕
基本圖

(第六九型八)

白四は、イに約へるのが古來よりの定石なり。されど、圖の四、六、六も變化の機を孕みて面白し。

〔六七八二〕
定石

黒七、此形に於けるが最も強き手段なり。黒十七、十九、白十八、黒十七を焦越して猛進す。此形は白地に優れり。黒は厚味に優れる。互角の分れ。

〔六七八三〕
白可なり

黒九、的を外くれし矢、飛ぶも遠からず。よりも效なし。着手筋は非ずして、白十六の粘り。白十六も無疑。白遂に厚く居然として厚味に周し。

〔六七八四〕
得失場合による

七以下只形よりも利なれど場合により、斯く強ひ戦手あり。白十四は單に黒十五と出づ。イは黒十六あり(次圖)黒十九にては戦の形！

〔六七八五〕
参考圖

白イを打つ、打たぬは其實失に徹底細なれど、白は只曲り、後に黒十と四となる方、白ロと約へ先手を取れば、黒十五結局白ニに又若しイに稍優れり。ハの綽きなれば、黒五を如何にせんとは白ホに黒ヘよりも白稍可なり。

〔六七八六〕
互角の分れ

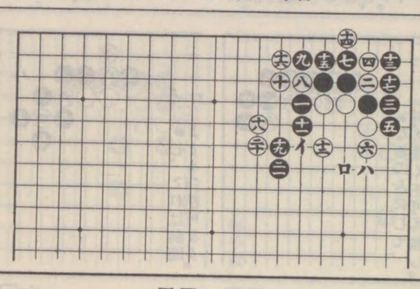
黒十三と這ふ手あり。黒二一は佳手、明。萬里の外を見して。既に黒二五、白二、厚味、地合、共に互角の分れ。

〔六七八七〕
黒ツブレ

前圖は兩軍互角の分れなるに、黒いま二一を得ては二の鍛に起たず。

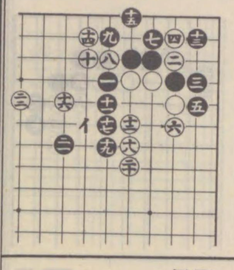
〔六七八八〕
白稍優る

白六は、征の可否により（次圖〜本圖）と似たが、本圖は前圖と違い、黒七に対して白は必然の棋形。下圖の黒七は前圖の六に移れば、白は以下を選ぶか、六七三圖を選ぶかは、六七四圖を見て決める。黒十の自由なり。白イと押すも手筋なり。然し斯く打つ方、黒は□或は八の筋を狙って面白し。



〔六七八九〕
白甚だ悪し

白征悪しき時、黒七にて、六れば、白敗け。即ち、白八で黒八に、黒九に、白ロと打てイなれば、黒九に、白イなれば、黒ホ。白ニをヘなれば黒ニ。



〔六七九〇〕
白好形

黒十三で十四の変化。参照。黒六七八以下十四圖参照。黒十七、一見白二一に似たれど、白十七、黒八、白十九と形に十を与え、黒イを可とす。前七好形。前々圖参照。

〔六七九一〕
白稍有利

東西俄に急を傳ふ！黒七、九に切つて出でたり。これ黒が右辺に場勢を得んとするに対して、白イに打つ方、十五までの形に似たれど、白先手を得たり。どのうるにこ切ふ。

〔六七九二〕
黒時に面白し

黒九の形。黒は、□□の二子を放棄する代りに抬頭せり。右は十一に抬頭せり。左は十二に三の粘き、黒は十三の位を主として打つ。然し、黒は此形に面白し。然し、黒は黒損。

〔六七九三〕
黒可なり

暁乎、天地棋、また戦機雲多し。戦機所在に伏す。白一に、黒は、たび十四に下せば、黒十好機到来。即ち七の黒綽しる、五而して十までの形、込み。黒二一なり。

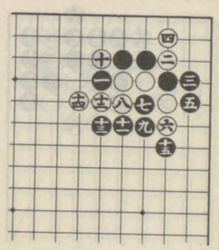
〔六七九四〕
黒善し

白い十二。黒即ち十三に起つ。黒十五の三に綽上げ、光。篠長遠かも烈しく見よ！白若しくて白に追る。黒ロ六をなれば、白ハ黒にて白潰滅。

〔六七九五〕
場合の手段

先番 高橋重行 當時三段
勝 加藤三七一 三段

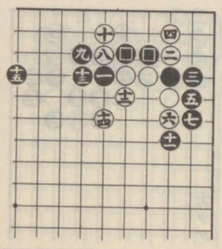
黒十五は、イと眼を持つ手もあり。（六七八五圖參照）。



〔六七九六〕
黒善し

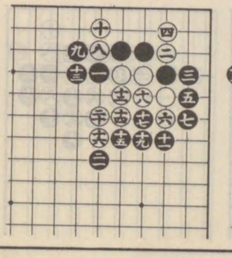
先番 中村勇太郎 當時三段
勝 宮下秀洋 初段

白十は、十四に切る通形に従ふ方可なり。白十八にでは、二一の綽ねを打ち、置く方優る。（次＊）



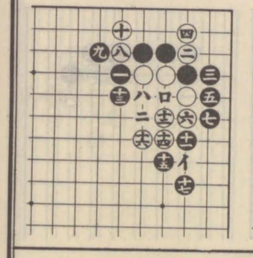
〔六七九七〕
劫

白十八の有比較は、無隅の（前圖攻合に著しき差あり。黒二三を二五に黒六なれば、白イ白ロ黒ハ白二五黒二四。また黒二五を白ロに六れば、攻合黒敗。



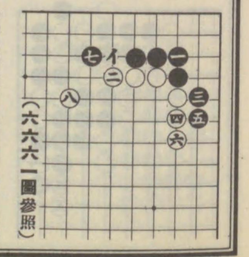
〔六七九八〕
定石

此形黒は七と行ひも宜しく（六七六よりも、四圖參照、其圖より白十一、黒イの交換無き、黒善し、白十二、共に正着なり。



〔六七九九〕
場合による

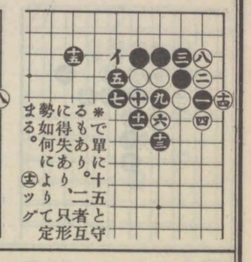
白二、上邊に先行するや、黒即ち三、五に寄利を收めて、寄七。黒七を怠りて、寄七。これを可なりて白よりイと約しくられては、黒少しく好まず。



（六六六一圖參照）

〔六八〇七〕
場合による

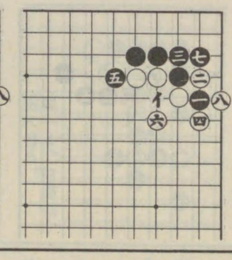
黒一、堅実なり。白二と上邊に先行するや、黒即ち三、五に寄利を收めて、寄七。黒七を怠りて、寄七。これを可なりて白よりイと約しくられては、黒少しく好まず。



〔六八〇八〕
場合による

先番 木谷實 當時五段
番 關山利一 當時四段
二目勝

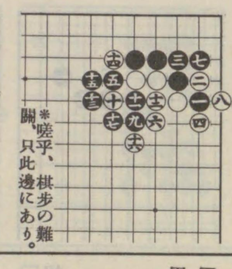
此形、白は隅邊の地を主とせり。白として稍堅き。＊



＊に過ぐる如きも、白、時にがいる手段もあり。

〔六八〇九〕
黒大いに優る

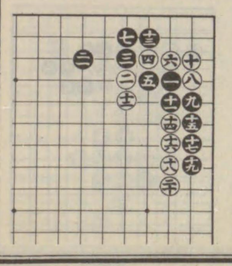
白四、無理甚だし。黒七は、十もあり（次圖）。（高目九圖參照）。以下斯かる戦となりて、白イの一着の有無は、彼我優劣に非常なる差あり。



＊尋で黒イなれば白ロ黒ハ白ニと受流す。

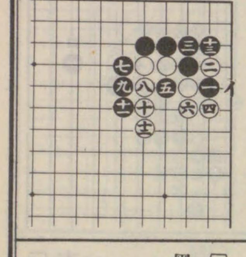
〔六八一〇〕
黒利勢

黒七もあり。黒十九までの低き辛抱は、春待の如し。冬籠りの如し。黒遂に二一に春の凱歌を擧ぐ。



〔六八〇六〕
白稍優れり

黒五以下、十一、十二、十三まで二好手。黒イなれば、白既に十二までに固し、打抜くは、堅盤々の感を免れず。重複の



〔六八〇五〕
白可なり

勝 木谷實 當時五段
先 渡邊英夫 三段

黒七、悪し。黒九は、形なり。黒十一にて、単に綽る方、手筋なり。黒再失す。＊

＊嘯乎、棋歩の難關、只此邊にあり。

〔六八〇四〕
黒悪し

黒七、白八の打抜き。此交換、黒悪し。即ち此交換、黒を了せる場合は、黒より前圖の如く、イより込む筋なし。黒イの筋は、蓋し、黒の形勢の得喪に關係至大也。

〔六八〇三〕
互角の分れ

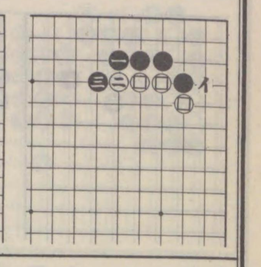
先番 加藤信 七段
一目勝
久保松勝喜代 六段

白八。此時、黒は九、十一を打たずして九。＊

〔六八〇〇〕
互角の勢

先番 蒲原繁治 三段
勝 田中不二男 當時初段

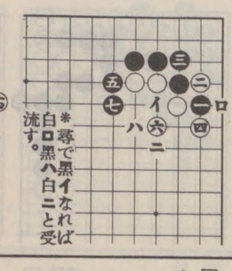
黒九は、イを可とす。白十四は、稍策に乏し。二三に曲る方舎蓄に富みて面白し。白十＊



＊八手筋なり。七粘

〔六八〇一〕
白稍可なり

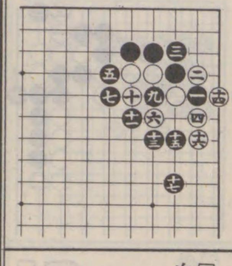
黒一は、四、と二、と取りて善し。白子六の次に、黒七に行くも、蛙の面にしやあたるもの、＊



＊尋で黒イなれば白ロ黒ハ白ニと受流す。

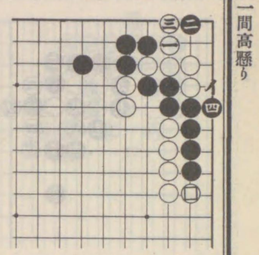
〔六八〇二〕
白包圍さる

白十悪し。八手抜にて、黒十一と粘がざるを、遂に黒十二、白が初めの五、今は還らぬ夢の是非も無し。



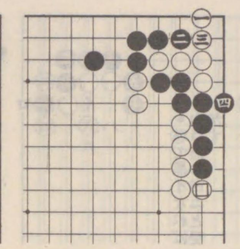
〔六八一一〕
黒攻合勝

白◎あり。白一なれば、黒二に敵の虚を一撃し、幕で、黒は攻合は下りに妙あり「と四。四は佳手也。若し白四をイなれば、イにて劫の意味あり。



〔六八一二〕
黒攻合勝

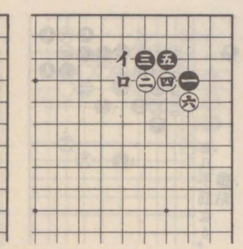
白一形なり。されど、黒二白三の交換に、此場合も、四の下りも妙着。黒遂に隅の白を屠るしてまた、白一を四なれば、黒三で勝。



〔六八一三〕
要點約言

（第六九型ハ）

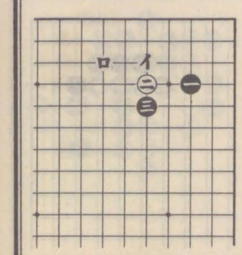
白直ちに四、次に六と打つ手あり。黒四白イに約へ、黒五白ロとなる常形に此手段時に白面白し。



〔六八一四〕
基本圖

（第七十型）

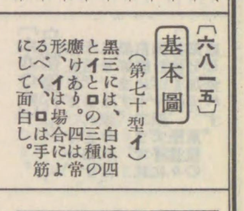
黒三と上から附ける。之も一間懸りの定型。或はロと尤も、イ可なり。何如によ勢如何にはる。



〔六八一五〕
基本圖

（第七十型イの一）

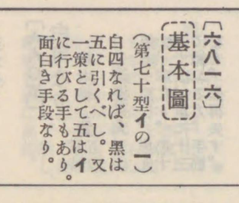
黒三には、白は四とイとロの三種の常形、イは場合によりロは手筋にして面白し。



〔六八一六〕
基本圖

（第七十型イの一）

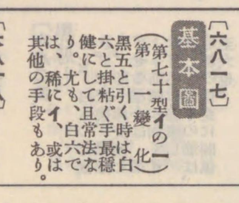
白四なれば、黒は一策として五に行ぶる手もあり。イ面白き手段なり。



〔六八一七〕
基本圖

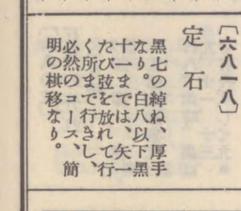
（第七十型イの一）

黒五と引く時は白六と掛ぐ手最穏健にして且常法なり。尤も、白六で或はイ、其他の手段もあり。



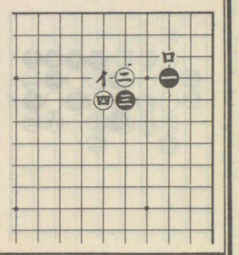
〔六八一八〕
定石

黒七の綿ね、厚手なり。白八、以下黒一矢一行、必然の棋移コースなり。簡明の



〔六八一九〕
古風の定石

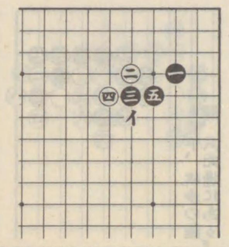
黒七而して九もあり。白十では、他にも手段あり（後圖出）。白十二までは、常盤木の綠の如く、古くより變らぬ定石なり。



〔六八二〇〕
場合の手段

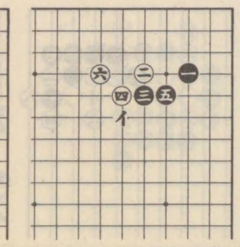
前田陳爾當時四段
先清水某二段
二目勝

黒六は、イを常形とすれど、場合により黒は六も面白し。見よ、圖の



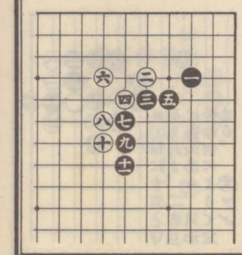
〔六八二一〕
定石

白征宜しき時は、白二三の辣手を以て三四十まで、奏功先手にて優勢なる外圍を築く。此形と附ける手白イと附ける（次圖）。後に言ふ征とは、上圖黒二七を二八の＊



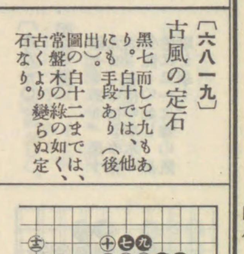
〔六八二二〕
參考圖

白一と附ける手あり。黒二は當然。尋で白三は五を加ふ。外圍の厚壯を以て黒四と行きて、但し白一、三、五所に非ず。急ぎ打つは



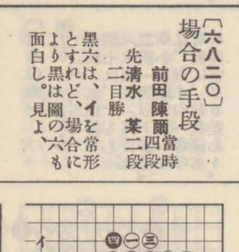
〔六八二三〕
白面白し

黒九、悪手。白即ち十に黒を撃つて、六と八の延びを緩くし、十四、十六に白を締め宜しく、十六を勿論白先手に附けへ、十征めて黒潰滅。



〔六八二四〕
白優勢但後手

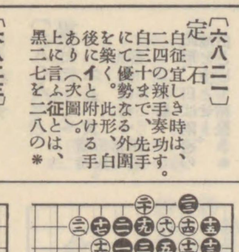
白若し征（征とは、六八二一圖の征と同じ）時は、黒を脅かし、二四と二六を逐ひ、二八、黒に外圍を失ひしも、數子を厚し。



〔六八二五〕
黒面白し

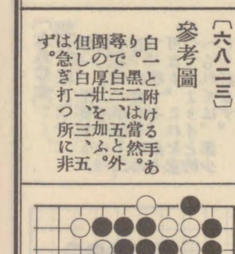
小野田千代太郎六段
高橋重行四段
先勝

既にして白一に兵を進めて領土を擴む。黒乃ち氣鋭、一路に鼓破らんと、二路に挺進して、次に黒イの覆壓と四の切斷を望む。黒可なり。



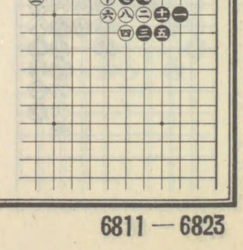
〔六八二六〕
白優れり

黒九、悪し。白は十に迂同して出づ。見よ、黒の陣形俄然として搖ぐ。白十四。隅の黒甚だ悪し。白から、は白の先手綽ぎ、または白ロの走り殘れり。



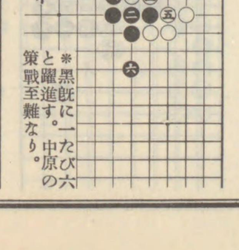
〔六八二七〕
白善し

黒一！◎までの白四に散らんとするも？否、白に二の好手筋あり。黒三五とボン抜くも、白も亦黒の要石を奪ふ、此形白善し。



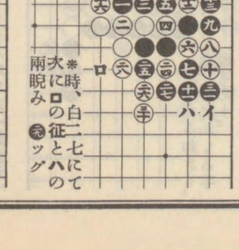
〔六八二八〕
互角の分れ

黒九は、黒が征悪しき場合は不可。（征とは、白イを二、黒十二、白十四の時、黒イの征）。



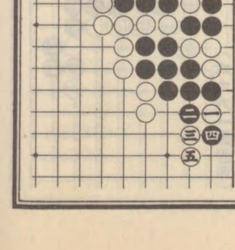
〔六八二九〕
場合による

白十二以下十六と打抜く、白十二で抜くも、黒九は、黒が征悪しき場合は不可。（征とは、白イを二、黒十二、白十四の時、黒イの征）。



〔六八三〇〕
白優れり

黒十三。此時ぞ、一怪風、雨を吹い、驚破の如く、奇兵の天より降るか。十六。黒白數子を失ひしも、白仰天す。白四、十六。黒結果、白の外勢優る。



〔六八三一〕
白大に優る

黒十五の出を先にするも、白十六と綽に約へ、以下二十と綽み込むも、白十七と前圖に同じ。

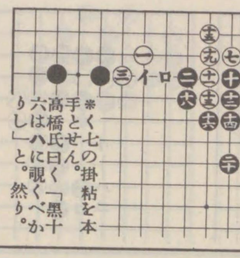
〔六八三二〕
黒危地を脱す

白十六に手順を失ひ、白十七と前圖に同じ。

〔六八二二〕
黒面白し

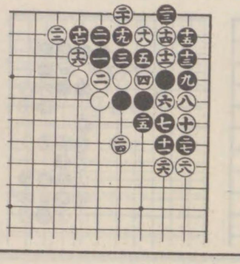
小野田千代太郎六段
高橋重行四段
先勝

既にして白一に兵を進めて領土を擴む。黒乃ち氣鋭、一路に鼓破らんと、二路に挺進して、次に黒イの覆壓と四の切斷を望む。黒可なり。



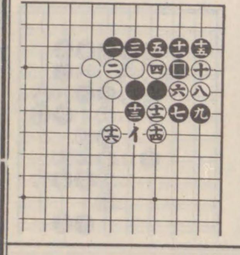
〔六八二三〕
白面白し

黒九、悪し。白即ち十に黒を撃つて、六と八の延びを緩くし、十四、十六に白を締め宜しく、十六を勿論白先手に附けへ、十征めて黒潰滅。



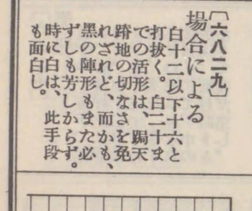
〔六八二四〕
白優勢但後手

白若し征（征とは、六八二一圖の征と同じ）時は、黒を脅かし、二四と二六を逐ひ、二八、黒に外圍を失ひしも、數子を厚し。



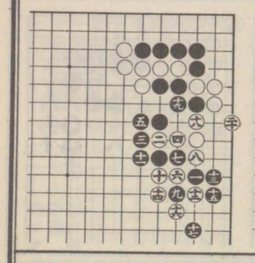
〔六八二五〕
白面白し

黒九、悪し。白即ち十に黒を撃つて、六と八の延びを緩くし、十四、十六に白を締め宜しく、十六を勿論白先手に附けへ、十征めて黒潰滅。



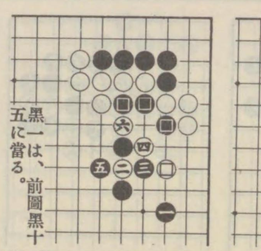
〔六八二六〕
場合による

白十二以下十六と打抜く、白十二で抜くも、黒九は、黒が征悪しき場合は不可。（征とは、白イを二、黒十二、白十四の時、黒イの征）。



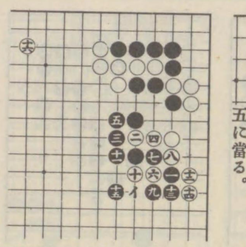
〔六八二七〕
白善し

黒一！◎までの白四に散らんとするも？否、白に二の好手筋あり。黒三五とボン抜くも、白も亦黒の要石を奪ふ、此形白善し。



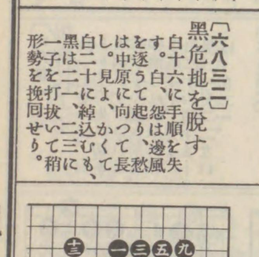
〔六八二八〕
互角の分れ

黒九は、黒が征悪しき場合は不可。（征とは、白イを二、黒十二、白十四の時、黒イの征）。



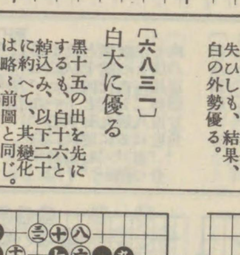
〔六八二九〕
場合による

白十二以下十六と打抜く、白十二で抜くも、黒九は、黒が征悪しき場合は不可。（征とは、白イを二、黒十二、白十四の時、黒イの征）。



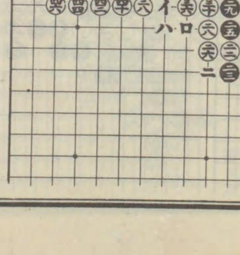
〔六八三〇〕
白優れり

黒十三。此時ぞ、一怪風、雨を吹い、驚破の如く、奇兵の天より降るか。十六。黒白數子を失ひしも、白仰天す。白四、十六。黒結果、白の外勢優る。



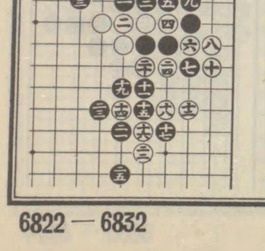
〔六八三一〕
白大に優る

黒十五の出を先にするも、白十六と綽に約へ、以下二十と綽み込むも、白十七と前圖に同じ。



〔六八三二〕
黒危地を脱す

白十六に手順を失ひ、白十七と前圖に同じ。



〔六八三三〕
白堅實有利

黒十二、三、打過ぎ。白二、三、手順宜し。而かも氣盛んに攻め寄せ、黒軍順調に足場を鍛なり、黒一、二をイに破るをイなれば以下、白ロにて活路無し。

〔六八三四〕
黒ツブレ

黒十七。白は、卿十、一、十八。枚の氣に滿ち、力んで攻めて來る。月弓影花に隨ひ、一、二、一、二をロに拂ふ。霜劍一、二と打つれば黒を包圍して得。

〔六八三五〕
黒窮す

黒十一、悪し。乃ち圖の如く南の一、十四に奪ひ、十六、白に好形なり、黒十九に寄せては、窮せり。白ロを黒粘ぎ、黒イに粘げば、又白ニに黒ハ、白ロを黒イに粘げば、白ホを黒イに粘げば、白ロを黒イに粘げば、白ホを黒イに粘げば、白ロを黒イに粘げば、白ホを黒イに粘げば

〔六八五七〕
白善し

白いま二、二と、短兵相接す。以下稍優れの棋移り三善三稍優れの前圖の方が更に前圖の方が更に白二に切れば、黒二、白二、五に四に五に墮ちて、黒の巨星地に墮ちて、黒の巨星地に墮ちて、黒の巨星地に墮ちて。

〔六八五八〕
白厚壮なり

黒二三なれば、白は疾きこと風の如く、段綽として敵に迫る。二四、二六と二四、此形、白後手なれども厚く壮なり。白は征宜しき場合にても、黒は三四なる要着也。堅實

〔六八五九〕
要點約言（甲）

（第一變化）

黒七、白八となり、黒イ白ロに打つて、切りシボり外を厚くするを手段可なり。白ロを古風。ハニの※

〔六八六〇〕
黒の形良し

白二もあれど、多くが好まず。黒三は防ぎ、白二が虚に乗じて大手を振るの遂に衝きの千里前の切り無行もそのびの概あり！要點なり。

〔六八六一〕
互角の形

先番　加藤　信　當時六段
勝田正義　五段

〔六八六二〕
白ツブレ

白四、無理なり。黒五、白の肺腑を抉る。黒一、白十三、なれば、黒十一を十二なれば、白十。何れにも再起の望無し。

〔六八六三〕
白稍優れり

黒三なれば、白四に粘ぐの一手なり。白乃ち五を守る。引いて形、隅を白よりイと黒は間隙に乗るあり。白四の嫌味を五は、悪し（次圖）

〔六八六四〕
黒優れり

白四、打ち過ぎ。黒延いて七の切断。彼我入乱れて、白適當の場合は、無理なれば、黒十一を十二なれば、白に十。何れにも再起の望無し。

〔六八六五〕
黒優れり

白八、十なれば、以下黒は十七に至り、形、中優勢六まで此の孤一子、誘ふ秋風に白桐動く葉に從つて黒に利を奪はる。

〔六八六六〕
劫

黒若し劫の不利なる場合は、白十一に十九、白十四の十一で百支無し。黒十一さるれば、尺竿頭一歩を進めかゝれば、十八、十九となる劫は、殆ど※

〔六八六七〕
常形

黒一、三、は昔しは盛んに用ひられしも、今は何となく黒の味悪しき手を打ち積り積りて惡手なり。

〔六八六八〕
要點約言（乙）

（第七十型一變化）

此形白イなれば、黒ロの筋。又黒ロと盤ねて綽の釣合ひを兼ねて攻む。

〔六八七七〕
黒厚き形なり

二子　太田雄藏　七段
勝　桑原秀策　當時三段

白一は、左上に白の關係あるの合を攻む。黒二、正着なり。白三、五。既に白三、五。黒六は、イ、手、祖間佳着なり。此時に黒ロは、機の間隙を、黒の形は、此機圖の厚威善。所謂る兵法則ち戰はずして敵を屈せんとするの意氣あり。

〔六八七八〕
黒大いに善し

白無理なり。黒十一而して後十五、巻士重來す。黒善し。白八善し。一たび退き七に十七、黒九、白十。

〔六八七九〕
白ツブレ

白一は、常にある手筋なり。黒も亦此時正に陣を布くべし。

〔六八八〇〕
白の勢善し

黒十五、時機尚早。果然白十六以下の猛撃。黒の膨れ寒からむ。白十六でイに活きるなどは緩し。

〔六八八一〕
白外勢善し

白二六善し、二六ではイも有るが、二六に撃かず。白は一隅に超越して生も最も死に超遠の棋歩を往く。猶ほ此形に利き、黒よりロで劫活の白は隅の遺味あり。

〔六八八二〕
黒稍可なり

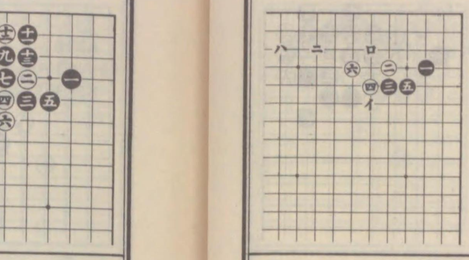
白十二なれば、黒十三。白十四で攻合なれば、黒十五。白十四で攻合

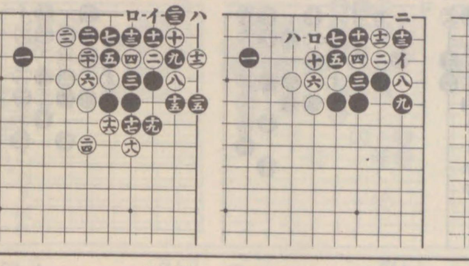
〔六九〇三〕
白の勢優る
白十八の包囲手段もあり。黒十九も有効なり。白二十。又黒イ、白ロ、黒十二、白十三と切れば、白十二、黒二十九、白十九に打つて白善し。黒三九に打つて、此攻合黒一手勝なり。

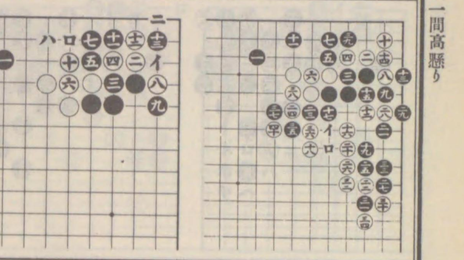
〔六九〇四〕
白ツブレ
白十、悪し。黒十一、良着なり。白が運命既に極りぬ。白十二を十三と打てば、黒ロ、白ハ、黒ニに白イにて黒勝。

〔六九〇五〕
白稍優れり
黒九、而して十一、十三も有効なり。白十四以下外厚段々手宜し。但、黒ロ白ハと打込めば却つてダメとなり。

〔六九〇六〕
要點約言（第七十型イの一變化）
白六と掛ぎし形に、黒イ、ロ、ハ、ニ等の手段あり。此中黒イ正形となり。







〔六九〇七〕
要點約言（第七十型イの一變化）
（第一圖）古來定石より黒イは打ち手なれど、白ロと打ちて外の時白ニに打つて黒ハに白ロをニと同じく白ロなれば、黒ホ、白ト、黒ヘに白ロを綿出すべし。

〔六九〇八〕
基本圖
（第七十型イの一變化）
黒五の時、白ロ、ハ、其他の手段あり。或はイ、中ハとも打ち得れど、イ、ロ等は不利なり。

〔六九〇九〕
黒可なり
白一、なれば黒は二に打つて宜し。白三にイを打ちては愚か、ロには黒ハを打ちて白四も厚くして宜し。

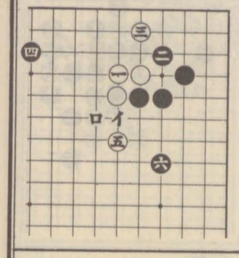
〔六九一〇〕
白根據を失ふ
白三。黒尊で四に敵の根據を奪つて、次に白イと警戒し、ロと迫れば、黒は白に到る。卽ち白兵を率ゐて五の南尤も重要の場所なり。

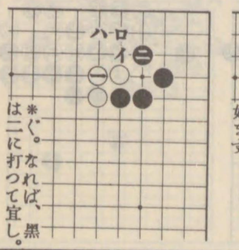
〔六九一一〕
黒善し
白三と滑攻すれば、黒四と若し黒イに打つ時は、白ロと打ちて白四と同じく其意味なれば、黒ハに白ニと打つて外の時白ロをニに打つて外の時白ロをニに黒ホ、白ト、黒ヘに白ロを綿出すべし。

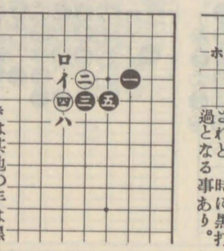
〔六九一二〕
黒稍可なり
白一の尖かり、斯くの如く佳着となる事、殆んど定石と同じく黒二拓き、黒四を肝要の急所なり。白ロに尖むも好點なり。

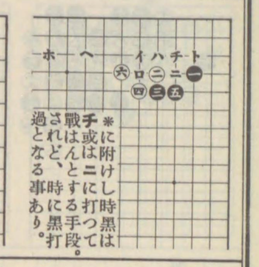
〔六九一三〕
黒厚し
白一、三、なれど、時機を見て手筋なる、肝要なる旗上げの早き事、源頼朝の若し。源頼政の擧兵時には、似て非なる事を見む。

〔六九一四〕
白薄し
白七なれば、黒八、白ロと雲に似たる形で浮ぶ。黒イと宜しく、白ロなれば、黒十一を白ハに黒ニ、白ホ、黒ヘの如く白ロと宜しく黒五に白ロも厚くして宜し。





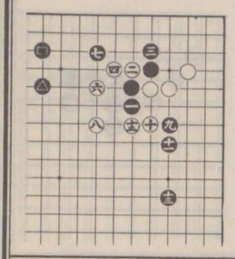


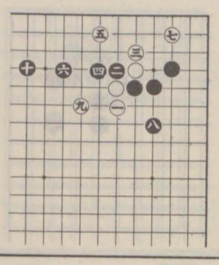

（前圖の變化）

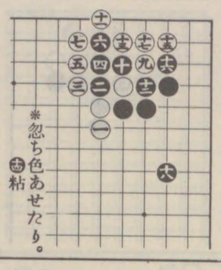
（次圖）

〔六九一五〕
定石
白六と虚勢を張る。黒七と隙直ちに乗じて利替ず。黒十三通の有利なり。普通の定石なり。

〔六九一六〕
黒の形悪し
黒六に下り、戰は次に手を抜く作形なり。此形に限らず如何なる場合にも好し。見よ、黒九好形や然し黒軍の旗形に陷りぬ。






＊忽ち色あせたり。

〔六九一七〕
白、手薄し
白三、無理。白軍これよりぞ始まる。黒六は佳着。黒遂に且つ低し。白軍形薄く、白十、唉乎、誰か形勢を成功を期し得るものぞ。

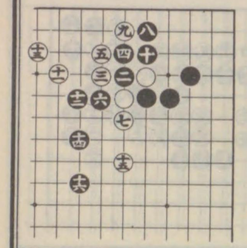
〔六九一八〕
場合の手段
先番勝
藤田正義五段
藤田豊次郎四段
黒いまaを利して一、三と東西相呼應して二と以下の作戰を擊つて白、白bと遁して面白し。

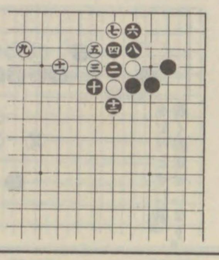
〔六九一九〕
黒、一策なり
黒九に據つて、次に右と左十一と他を脱む手段も考慮あり。黒イと入れず、単に形勢判断のみに批勢優る。

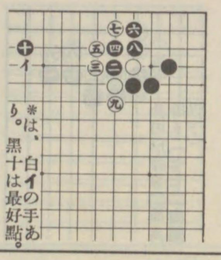
〔六九二〇〕
參考圖
白惡し
（一）手抜
斯かる形、全然手抜きするは、全く場合の段なり。六八八の如く若し左上邊の拓を急とする時＊。

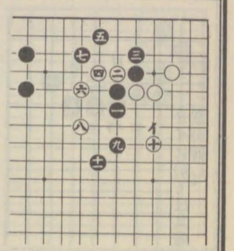
〔六九二一〕
黒稍優る
（一）手抜を喜ばずして上邊に要點を占むる時、白十一に輕快の手段。黒稍優る。

〔六九二二〕
征如何による
（一）手抜
黒若し征れば、白十二と先だち六に切つて白に後患を遺す。疾きこと風の如し！






＊は、白イの手あり。黒十は最好點。



〔六九二三〕
黒の勢善し
（一）手抜
白九而して十一の行出しは、白打ぎなり。卽ち黒十四、十六に十二と飛ぶ間に白十七と走り取らんとするや、黒地の利に乗じて十八に＊

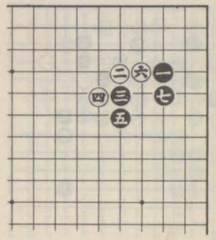
〔六九二四〕
白面白し
先番
村島誼紀四段
當時
村島誼紀四段
黒一は、普通打過ぎなり。白二の逆撃！若し征宜しく、白ロと撃ば、八は無論九に取る。十八も＊

〔六九二五〕
白可なり
先番
村島誼紀四段
小杉丁四段
當時
二目勝
白いまa猛然としてbの一に起て俯瞰これを遮ぎらんとするも、黒乃ち場合を得たり。白三出づるに附ては、か形の進撃地點なり。黒四、已むを得ず。白四に振ぶる。白軍の陣容更に十七。かくて白は此方面の振替り。

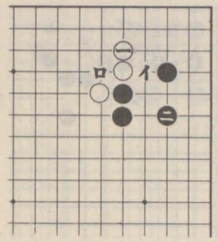
＊で外厚、白優勢なり。

＊掩撃！黒甚だ善し。

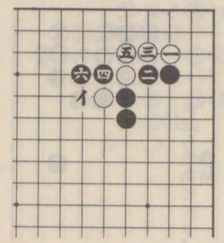
〔六九二六〕
参考圖
黒五も、一策なり。次いで白六一なれば、黒七と行びるべし。此形は目外し一二一六〇圖と同じ。



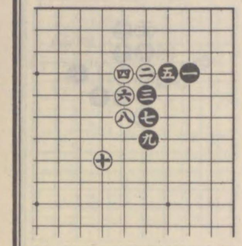
〔六九二七〕
黒稍可なり
奇正虚實は、卽ち陣法の至極とかや。白一好もしきが如くなれど、白奇手の一手。黒二、堅實。但し宜しからず。白一にては、黒イ。



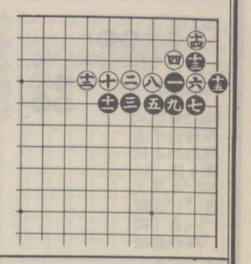
〔六九二八〕
白悪し
白一と直ちに(三)に附けるは、此形にては悪し。手、黒六は征宜しければ、黒イ。



〔六九三〇〕
古風の常形
白四に突き引き黒尋で五に當る形は、古代には時に見しも、現今では打拾て形なれど、用扇ひらひられて秋は圖の如く扇ひらひられて共に蓋し、四と五とは意着なれば緩漫なり。



〔六九三七〕
定石
黒若し十一で方面に勢力を築かんとする時は、白一と打つて宜し。黒十二の我より亦一得子を取りて彼よりも強く、石の最も肝要の點なり。



〔六九三八〕
黒稍優る
白一、水の如く低きに就くが如く、敵兵の上乗に乗じ、追撃して約二十四目の外形を得たり。黒は、厚壁の厚きに突込みて八目の地を得。

〔六九三九〕
黒善し
白陥穽を伏して敵を待つ、卽ち三。黒若し四ば、白五なれば、黒イを白ロと兎るも宜しからず。黒蓋し白凝形を避けんとすれば、黒イ

〔六九四九〕
白善し

黒七は常形に泥み悪手、情に貴族ぜず、認識不足なり。此手は前圖のイを可とす。天罰覿面、白十四に餘儀なく十五と屈す。

〔六九五〇〕
黒後手なり

黒十五の姿は、春の花月夜の好形？　秋の得べき好形？　これ見れば、白は皮相の見。黒十七、白を手抜きせしが宜しく、白イと手拔きせしが宜しく、白イと危地に陷る。黒軍惨として（次圖）

〔六九五一〕
白勝

白一の辣手。黒凄然と下り、涙も及ばず。黒軍既に命下る！　白三に窮して攻合を遂に二と切れば、白ホ黒六ハイ勝なた。黒ニと白二と何れも一目の征を見るが原則。

〔六九五二〕
勝敗征に因る

關ヶ原の勝敗が小早川秀秋の向背に因り懸隔以上の差を生じたる如く、征一懸に係りの勝敗は、白一に黒

〔六九七二〕黒少しく好し

白二二の點は、彼我いづれにとりても生命線なり。白先なれば、黒三此點を取りて形勢稍〻いむ。但し挽回さるゝ點にて、これほどにては白の形勢も、猶ほ少しく好まず。

〔六九七三〕(一)含みあり

黒一は、英雄が、兵馬倥傯且つ閑日月ある猶ほの趣か？と手筋を破つて白二へ、黒三と堅實なり。若し白二をイなれば、黒ロ。

〔六九七四〕黒善し

あゝ、綿羊の委せる狐、黒一は是れなり。陷穽に落つ。白二宜しく、黒三の五目、十九の地今や隅に加へ、十目外の形も黒善し。

〔六九七五〕白可なり

黒一、三、無理なり。此時、白軍はな怒髪天を衝いて髪を逆立し、圖！殺氣慘憺たる白四日暗澹たる白四は宜しく征場合には白九は白十と八の時黒十打缺。

（七八二五圖以下參照）

〔六九七六〕白善し

黒七に宜しく、白八に要點なれば、白二の點は、彼我いづれにとりても生命線なり。白先なれば、黒三此點を取りて形勢稍〻いむ。但し挽回さるゝ點にて、これほどにては白の形勢も、猶ほ少しく好まず。

〔六九七七〕黒稍優る

白八は確かなれど稍緩し。黒九、白十と下れば、黒七以下十三と外部を包圍す。此に先手の利を得て、隅も大勢黒に歸せり。

〔六九七八〕黒形稍拙し

白征惡しき場合（六九七五圖參照）は、かく四と押ねて宜しく。棋移り、此可否は專ら外勢如何にかゝれど、只形よりは黒少しく好まず。

〔六九七九〕要點約言

（第七十型ロの二）

黒五、白六の次は、黒七、白ロ黒ハ、之に對し白イと綿ねて、黒ロ白ハ黒ヘ白トなれば、白先黒チ白リを取る。

〔六九八〇〕基本圖

（第七十型ロの三）

白四に對する黒五は、此形の強點にて、當然打つべき手筋なり。これに對しては白ヨリ種々なる手段あり。

〔六九八一〕定石

黒十の手順、肝要の一一は、白十四に至つて十三と利し後、白イと下れば、黒ロ白ハ黒ニ白ホ黒ヘ白ト黒チ白リ黒イ白ヌ黒ル白ヲ黒ワ白カ黒ヨ白タ黒レ白ソ黒ツ白ネ黒ナ白ラ黒ム白ウ黒ヰ白ノ黒オ白ク黒ヤ白マ黒ケ白フ黒コ白エ黒テ白ア黒サ白キ黒ユ白メ黒ミ白シ黒ヒ白モ黒セ白ン黒ス白ロ黒ハ白ホ黒ヘ白ト黒チ白リ。

〔六九八二〕黒堅實なり

白七と下れば、黒八・早尋で止むを得ぬ業。十二・後十四と下でれば、黒ニ白ホ黒ヘ白ト黒チ白リ黒イ白ロ黒ハ

〔六九九五〕
黒堅固なり

白一、嗟乎、此委せは虎、此伏せは眠れる獅子の如く鋭く狙いを含む。ロは軽く親しむ。二とは堅くイに守れば、また、黒二とは堅くイに守れば、六九四三圖と同形。

〔六九九六〕
場合による形

白一、三は、隅を得て形も確かなれど稍偏せる憾あり。黒四、蟠の衝宜しき手、均しく爽旗中原に翻たるの快味を想せしむ。

〔六九九七〕
場合による

黒二、四、は、たれど、無理筋を逃らさんとする時は、此手段もある。白七をイと綽れば、白九、黒十一、白ロ黒七。

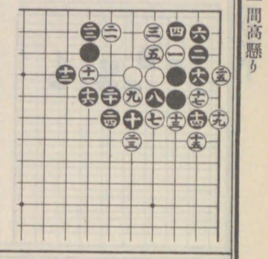
〔六九九八〕
白勝

黒八は、飛んで火に入るの蟲。夏の一日、白は卽ち攻殺す。黒十一、白十六で黒ヌれば白ヘ黒ホ、白ト黒チ、黒リ、白ヲ、黒ヌ、白ル、の時、白チにて兩ニラミ。

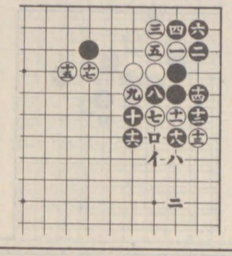
〔七〇〇〇〕
場合による

白一、は、黒十八型の二、に對し、黒は、打過ぎ。白二、は、打騙され、黒は、白ロと伐たれ、白ロと行ぶ。黒は、白ロと行ぶ。白は、黒ロと行ぶ。白は、黒ロと行ぶ。白は、黒

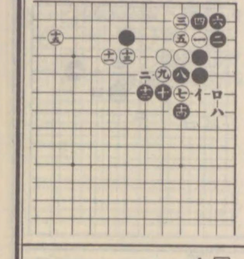
〔七〇一八〕
黒攻合敗



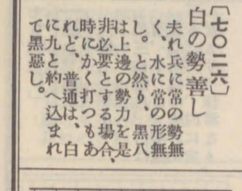
〔七〇一九〕
黒厚し



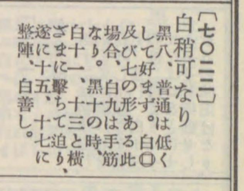
〔七〇二〇〕
黒勝



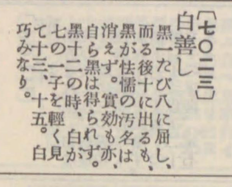
〔七〇二一〕
常形



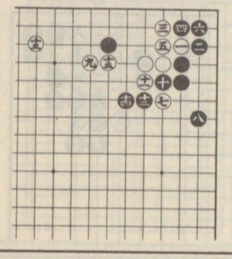
〔七〇二二〕
白稍可なり



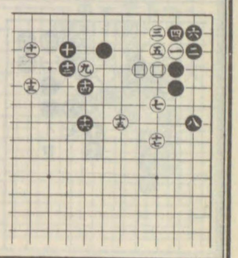
〔七〇二三〕
白善し



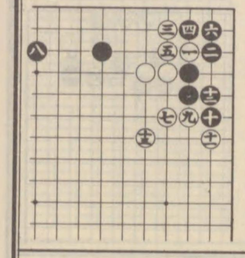
〔七〇二四〕
黒甚だ無理



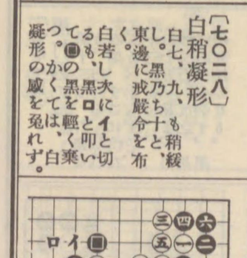
〔七〇二五〕
場合の手段



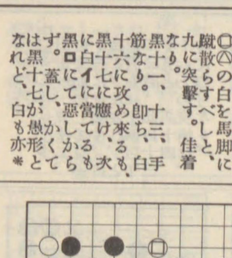
〔七〇二六〕
白の勢善し



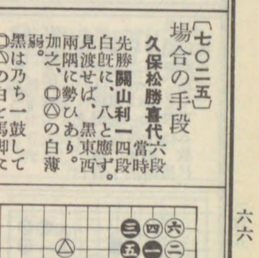
〔七〇二七〕
黒稍可なり



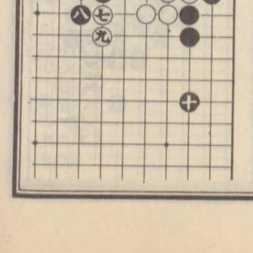
〔七〇二八〕
白稍凝形



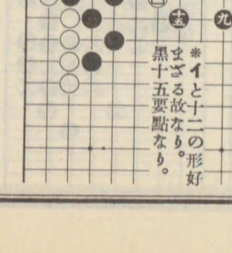
〔七〇二九〕
黒薄し



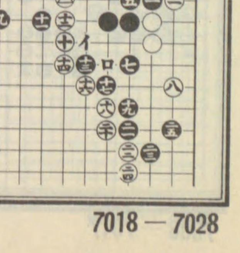
〔七〇三〇〕
黒確なり



〔七〇三一〕
要點約言



〔七〇三二〕
基本圖
（第七一型イの二）



〔七〇三三〕
基本圖
（第七一型イの二）

〔七〇三四〕
定石

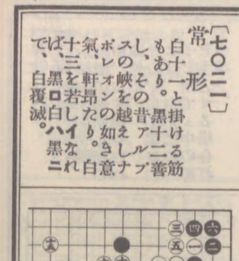
〔七〇三五〕
黒緩し

〔七〇三六〕
場合による

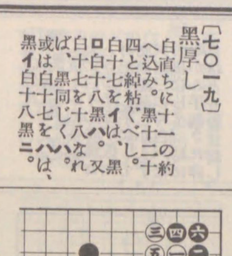
〔七〇三七〕
黒悪し

〔七〇三八〕
黒、一策なり

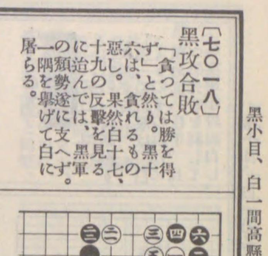
〔七〇二五〕
場合の手段
久保松勝喜代六段
當時



〔七〇二六〕
白の勢善し



〔七〇二七〕
黒稍可なり



〔七〇二八〕
白稍凝形

〔七〇二九〕
黒薄し

〔七〇三〇〕
黒確なり

〔七〇三一〕
要點約言
（第七一型イの二）

〔七〇三二〕
基本圖
（第七一型イの二）

〔七〇三三〕
基本圖
（第七一型イの二）

〔七〇三四〕
定石

〔七〇三五〕
黒緩し

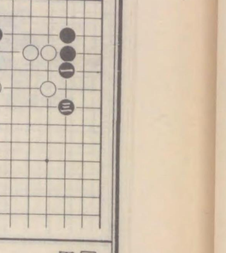
〔七〇三六〕
場合による

〔七〇三七〕
黒悪し

〔七〇三八〕
黒、一策なり

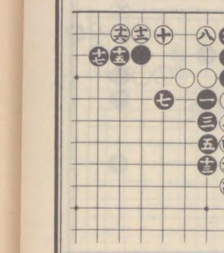
〔七〇三九〕白敗戦

最初は、散武士の櫻花の如く潔く北に行くに、然も白十八、往生際悪く、白十二は、黒ロで、黒ハは、黒ホ。白イをなれば、白ニ、黒イ。



〔七〇四〇〕黒善し

白二は、稍劣る。黒三、次に白九と五を覗むも、白八との突破も好形、黒も亦九・十一を無理に喫せし此形、味に根據を得、加之、外勢黒優る。

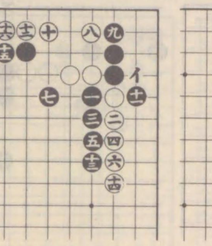


〔七〇四一〕白潰滅の姿

白八、中央の手に似たれども、暗模索の場合は、イの征利十三、四は勿論白十一を綿ねて曲挽つるに、白ハに十四は黒ロと同じて平氣な段無し。

〔七〇四二〕黒大に善し

白十なれば、黒十一の嗟呼白十三の斷切、黒十四の苦しあり。若し白十四に取れば、黒十五を十六と白十四に打ち、黒十三に取れば、黒十五を十六と白十四に打ち、黒二十一に粘り、此攻合白七に、白十三に粘り、黒ホにて、黒ニ十三提。

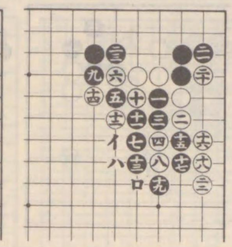


〔七〇四三〕黒の外勢優る

白四なれば、黒五に敵七のの重圍に陷り、白ぬは、敵の屈辱の盟の一近し。黒十一を白イに攻合なれば、黒悪。

〔七〇四四〕形勢互角

黒直ちに三と切れば、白に八と征に取れ、黒一・形の変化、白三のて手順七三に行ひ、三六圖以下は同じ。

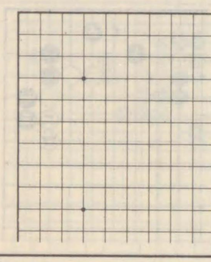


〔七〇四五〕黒稍可なり

白八に手筋を弄し、来る大賢は愚に似たり、愚は九に似て而かも佳手なり。

〔七〇四六〕要點約言（第七一型イの二）變化

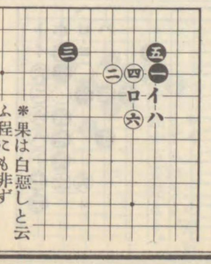
白六の時、黒イと打てば穩かなれど、此手はあり。黒悪しからず。結果は白悪しと云ふ程にも非ず。



〔七〇四七〕基本圖

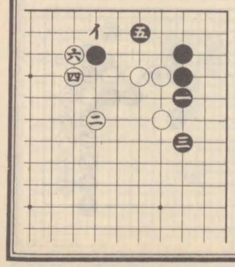
〔七〇四七〕要點約言（第七一型イの二）變化

白六は、此手をイと約れば、黒ロ、或はハと打たれても、白から ざる場合の堅實手段、結果。



〔七〇四八〕定石

白六なれば、黒は無論、敵の卯を枚々と武庸を狙つて出づ。而し黒次に九に隙イを狙つて出づ。此形二間高懸に七六圖と略同じく得失も亦同じ。



〔七〇四九〕場合の形

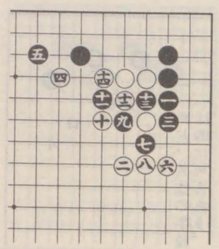
君子野に在り、小人位に在り、高きも貴からず、いまも五。形堅黒必ずしも低けれども、白六、黒七は實手抜も宜しく下つて白の宜しきを狙ふも亦薄味をイに打つ。

〔七〇五〇〕要點約言（下）（第七一型イ）

次に白四の時黒イとロの應あり。イなれば白ロ黒ハ。白ニ黒ホ白ヘ、黒ト。又黒ロなれば白は手強くイか或は堅くチの飛なり。

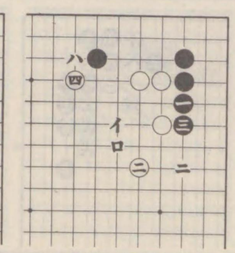
〔七〇五〇〕常形

黒五なれば、白は手抜きして宜し。白は尤も白と攻合の一つなり。



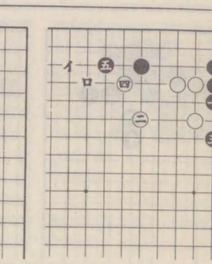
〔七〇五一〕白機變の好形

白二をイは、其意味前と打つは、圖と略同じ。圖の白二の斜走面白きも、即ち、筋なり。即ち、黒の三を導いて、而して後に四と打つの兩ハと白ニの兩快なり。



〔七〇五二〕白可なり

黒五なれば、白六。即ち、白と交換すると、黒七と倭すも、故、白八で凌ぎあり。白は、黒十一と着つて至つて四の如き着は摩利支天の御利益あり。



〔七〇五三〕互角の分れ

黒い三と手筋なり、白は六と整形、自軍の生氣を奪ひ、又黒五の堅陣を誇るも、白ロ或は白ヘに黒五と刺すも、白ハなれば白ロ、黒五白ホを、白六黒イと受けるも、白ロ、黒五白ヘに、黒イ。

〔七〇五四〕黒の形崩る

黒七初めは、黒打過なり。又白イと粘れば、白八に、黒五を八に、白七と黒四の二を、白十と、黒イの形で、中央に出でゝ、白一歩前進せり。先んずれば敵を制す！

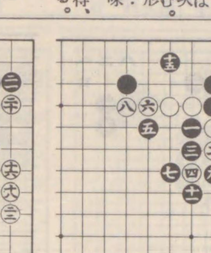
〔七〇五五〕互角の形勢

白四、黒三なれば、白六、共に黒五、白二に、此形要點の時は、愚なるも、急なるも、梅雨の頃や、突如、雲霧の平なる、瑞風散じて太雲靉靆たり。

〔七〇五六〕白優勢

勝久保松勝喜代 六段
先向井一男 四段

九手抜、黒白にあり時、黒イを打てば、白イ七に、白ロ七四圖（或は白穴場に合して宜し。）圖での筋七一定の法は、白□と打つ重複の意味あり。



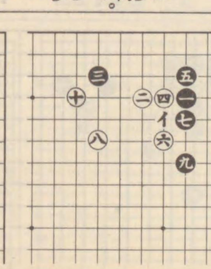
〔七〇五七〕常形

先向井一男 四段
番木谷實 當時三段
勝

黒六までの結果、白は地を得、黒は外勢を得たり。此分れ、優劣は※四邊の形勢如何によるべし。

〔七〇五八〕要點約言（第七一型イの二）變化

白六なれば黒イ定型。而して此結果は黒は外勢を得るなり。白は地を得。

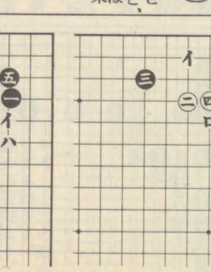


〔七〇五九〕要點約言（上）（第七一型イ）

白四の突當りは來んに手にして、其形白、稍悪しきも、黒を兩斷しても攻むる鋭き意味ある故、白面白し。

〔七〇六〇〕要點約言（下）（第七一型イ）

次に白四の時黒イとロの應あり。イなれば白ロ黒ハ。白ニ黒ホ白ヘ、黒ト。又黒ロなれば白は手強くイか或は堅くチの飛なり。



※さるに至つては、黒の武威地に墮つ。黒の不利言ふまでも無し。

〔七〇六一〕
基本圖
（第七一型ロ）

白四に尖む手あり。イは重く、ロは面白からずと見たる局勢にては、輕き意味ありて可なり。

〔七〇六二〕
基本圖
（第七一型ロの一）

白四に黒は五及びイ、ロ、ハ、ニなどの手あり。其中五の附は變化簡單にして結果も黒惡しからざれ※

〔七〇六三〕
定石

黒既に五。此時白は常形なり。十二の好形・四七の好形に至つて、此場合黒十一段落。嘘乎、此角に戰雲渦巻くは、そもいづれの日ぞ！

〔七〇六四〕
黒善し

黒既に七白九となつて、次に黒六。白は塔らずとも先手を占。蓋し七には要點に似たれど、緩着にして劫は見つたるべし。

〔七〇六五〕
白、一策なり

白九に、反撥す。黒十の時、一策なり。但し劫材ある場合は、白より十の劫を提返すことゝなつて白善し。

〔七〇六六〕
黒可なり

黒八にても宜し。白九をイに押せば、其時黒九のアテは、先手利きなり。白九なければ、黒十、此交換は白有利とは云ひ難し。

〔七〇六七〕
黒有利の形

岩本　薫六段
先木谷　實時四段勝

白七なれば、黒八に應けて宜し。此形、黒よりイ、黒七の手遣れり（次圖）。戰機早く※

〔七〇六八〕
白形働き無し

白七を手抜、黒八、北ぐるを追ふて十、黒六に至るを此形、白七上隅の堅壁、果然、儼として動かず。

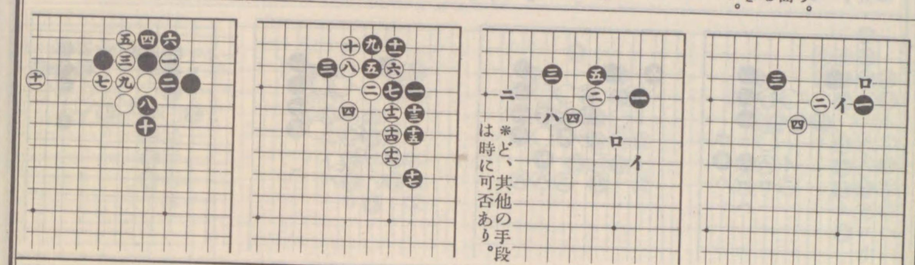
〔七〇六九〕
黒の形莊重

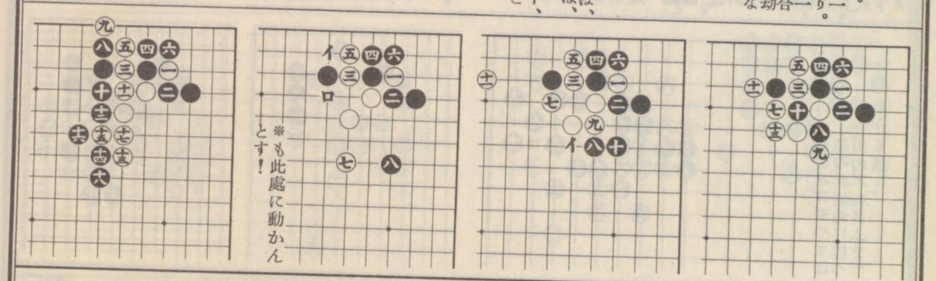
白十三を十八なれば危地に陷る。白十六、遂に黒二、十七、遂に白一の斷點、不氣味なれば、白十七邊に今一着を要す。

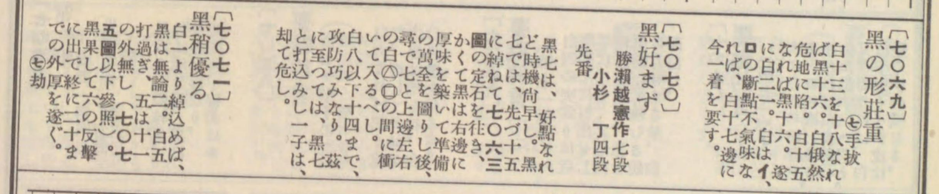
〔七〇七〇〕
黒好まず

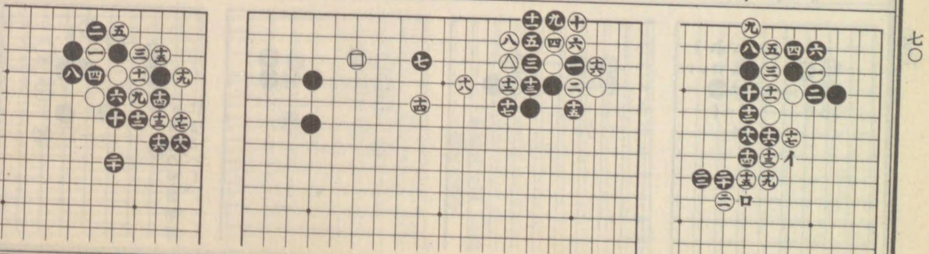
滕瀬越壽作七段
先番　小杉　丁四段

黒七は、好點なれど時機尚早し。黒十五に綿ねて七〇六三圖の定石を往き、邊に厚味を築いて準備後、かくて黒七と上邊左右の連絡を圖りの萬全を期し、白八以下十四まで、攻防みつゝ巧なりと至つては、一子黒七茲に打込みて危し。却て









〔七〇七二〕
黒優れり

白いま十三。黒卽ち十四に切つて、十六に勝關を揚ぐ。此形、前圖に比し、更に黒優るること海を照すの感、四八紘に輝けり。

〔七〇七三〕
白場合による

白は場合によりて、一・三と打つこと、あれど、此形普通なり。白若し五を手抜せば、黒より此處に打たんとするに、白ロなれば黒ハイ二黒五。

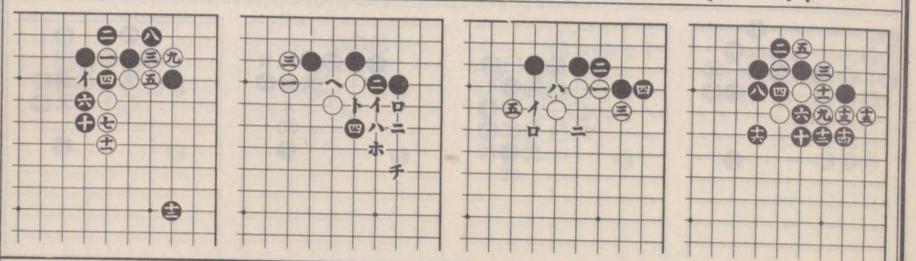
〔七〇七四〕
黒有利の形

白一なれば、黒二に隅を守りて宜し。黒四は手を抜くも宜しからず。其時白ハイなれば、黒ホ白ヘ黒ニ白ト黒チ。

〔七〇七五〕
黒の勢善し

岩本　薫六段
先木谷　實時四段勝

白單に六、而して八。若し黒六を八と粘げば、白イの利かなしあり。



〔七〇七六〕
白の形好まず

宮坂栞二四段
先小杉　丁六段

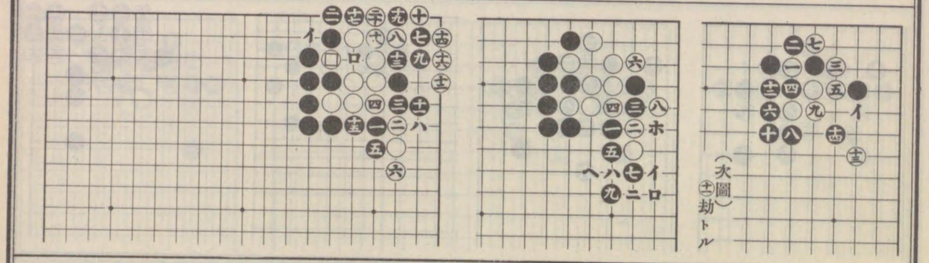
白宜しく十三に黒乃ち十四に白十三と打過ぎ、黒十四の位置に虚を失ふ。

〔七〇七七〕
黒優勢

白二・四。黒乃ち五に力。壓。白ハ。黒碰かなれば、黒ニを手抜、白ホ。黒ヘ。中原の黒は外厚無限の鹿を得べし。

〔七〇七八〕
黒劫勝

白い ま六、七、嘘乎、黒乃ち白十四に心或は十六に塞がば、白イに切にて黒ロの劫を取るも、黒十七に白ロの劫拋無し。虚實の妙は手順を孕めて白イに取るに在り。



〔七〇七九〕
要點約言
（第七一型ロの一）

白四と尖みし形、次に黒五では種々なる應けあれど、その中、五附けと附け結果黒惡しからず。

〔七〇八〇〕
基本圖
（第七一型ロの二）

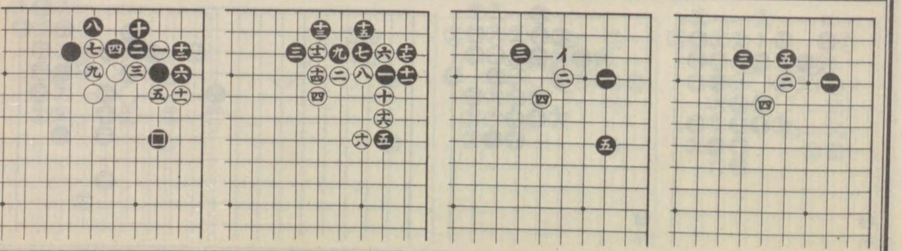
黒五と二間に拓く手もあり。イの簡明なるに及ばざるにあらず。之も一手段にして結果黒惡しからず。

〔七〇八一〕
定石

白六の附は所謂「一三の三」の要點なり。黒七の強硬手段あり。白十六と、下は五に當つゝ上は五の取込みを當りつゝ上は五の取込みを脫む。白巧みなり。

〔七〇八二〕
黒善し

白十一、凡着。爲に秋機は、白の妙に散り行く命葉の如く、露の方も無し。こゝは、跡數も無だ未健在、白ロの黒の或は卸子に陷るの虞つてあるべし。



〔七〇八三〕
白優勢

盤根錯節に遇はざれば以て利器を別つなしと。此の後、此の乱戦につゐて遂に凡庸の黒の手。十一、十三、十五、化せり。但し乃ち此形、白征伐の條件とす。

〔七〇八四〕
白の謀を破る

夫れ兵は詐を以て立つと。白は権変譎詐の手段を施して甲の陥るを待ち伏して敵の六、七を誘ひ出すの謀を破る。黒ロ略ぼ同形。

〔七〇八五〕
黒筴手に陥る

兵聖曰へりからざるをもつて待つ者は勝つと。黒、白八、九をかくの如く伏せて十二、十四を催すに及んで黒遂に陥る。

〔七〇八六〕
白可なり

黒四の一、六は自ら高きを以て下ぐ。等戦術の一方を殺して十一、十三を導き白善しとす。此形似たり七〇六圖と処あれど、白通かに優れり。

〔七〇八七〕
劫但し黒大悪

黒六、白乃ち十一と兵を施し十三に撃つて遠攻の後、此形に似たれど白二段劫先なれば、白他に劫を挑ふに多少の損あり。此隅機を拔けば、白の牲を以て黒を打ふに及ばず。

〔七〇八八〕
白可なり

黒二、機を失す緩しと雖も、其形く多く至つては、白三と引くに如かず。白イと黒イを交換すれば黒ロなれば白ハ或はニ。

〔七〇八九〕
黒稍優る

白一、二と多く黒は此形に白を先だつて三と白五に先んずるを好まず。白三と引込みは好手なり。白三、五と老巧に黒六と引くを好まず。（七〇七圖及び七〇九圖以下参照）

〔七〇九〇〕
五角の勢

黒十三、所在微妙なる戦機、然も黒は四隅に低迷して十四、十五と緩せば白イと深く中を探るべきの秋腹で（大圖以下）

〔七〇九一〕
白の面白き形

先勝藤田豐次郎四段
加藤三七一三段

黒十四は、十五に白の土手ッ腹を抉るべし。黒二、二・二四は打過ぎなり。白二五は既に敵二三を呑めるの豪快の意氣。黒三、三・三は白に手段の餘地多し。

〔七〇九二〕
黒勝

黒十四は辛辣、一氣直ちに白の肺腑を形悪しく衝くも、白十八に黒は百戦錬磨の強手なり。激戦となり、しかも以上着手は形ひの厳しき尚ぶを可否は問題に非ず。

〔七〇九三〕
白勝

黒二六、可なるが如くにして悪しく白三三に佳手、味方を救ひ黒卵の危きを見て白三をイは黒三に白三をまた黒イ白イをハで劫。

〔七〇九四〕
白無理趣向

順は榮へ、逆は滅よ。白二、三・黒二五無理。見よ、白八と劫抛なりて、白に加之、劫抛無し。抛ると雖も、白決して好結果を得ず。（士）粘

〔七〇九五〕
黒善し

白九悪し、かくて白十三を敏捷に移り、白十を缺けば黒イと劫抛なり。或は黒ロ時機の劫争に白ニ、白ホへの手もあり。或は黒ハの劫抛なり。（士）粘

〔七〇九六〕
黒有利の形

夫れ兵聖曰くは、勝つたとんだ者は多く算を得ざる、勝つた者は多く算を得るとの利を知ふるの者は害を知ふるの利を知らざるなり。これ白三に近し。果然、白九に至つて白の稍重複の観を免れず。

〔七〇九七〕
黒有利の形

黒四。白三なれば、黒イと劫抛なり。白ロと黒イと交換すれば、黒ハに白ニと劫抛なり。白ハと黒ニと交換すれば、黒イに白ロと劫抛なり。白ニと黒ロと交換すれば、黒ハに白イと劫抛なり。白イと黒ハと交換すれば、黒ニに白ハと劫抛なり。白ハと黒ニと交換すれば、黒イに白ロと劫抛なり。白ロと黒イと交換すれば、黒ハに白ニと劫抛なり。白ニと黒ロと交換すれば、黒イに白ハと劫抛なり。白イと黒ハと交換すれば、黒ニ

〔七一〇五〕
基本圖
（第七一型ロの三）

黒五は前型イの二間拓と、其意味略同じきも、變化は多少異る處あり。

〔七一〇六〕
定石

白六なれば、黒同じく七に綿出す。白十二は、牲子を導く手で、厚味を十八に綿すのが本圖。白の方稍可なり。

〔七一〇七〕
場合による

白七もあり。黒十は二に打抜けば、黒は先手に利かし、黒二・二四・二二の粘りを得。前圖に見る如き延低形、白ハと挑れば、白ホの黒二富段。

〔七一〇八〕
互角の分れ

黒十は、前圖の白十を嫌ひ、しもつぎと千里の外に察せしも、勝つこと巧着。白九で攻合勝を固めてロに守備を立つ。

〔七一〇九〕
白、一策なり

白十一なれば、黒十二と此形に於て右辺は低くなるどそこの代償にイ失あり。互に一の尖一本圖にには黒のイ得り。

〔七一一〇〕
劫手段白無理

白七・九は、白に時間の餘程劫材豐富なる以下、接戰へ運ぶの外は黒二、白四を約し、黒ロ利かぬ時は徐ろに至つて白イの先手に黒六。黒可なり。黒二に

〔七一一一〕
黒利勢

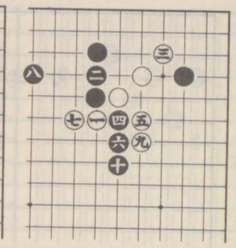
白十五も、結果は白惡一石二鳥の手筋、狙ひ鋭き黒二・二を若し白ロと黒ハイ即ち二に黒ホと白ロにてづれかは死す。

〔七一一二〕
白優る

白に劫抛は、黒の挑劫に對して他を言ふ。白九に多き場合顧みずして已ひ、白の得勢善惡圖の如く、白七・九善材・善悪圖の如何可否は

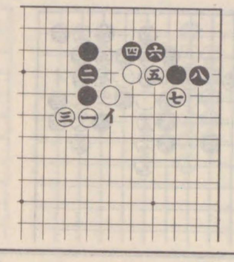
〔七一二七〕場合による

黒四は、所謂「鋭利鋒を断つ」の一手。百錬の鉄もよく比すべきものを、黒四は、硬蓋し、黒が中原に見のがした戦機。我に利あり場合に面白し。



〔七一二八〕常形

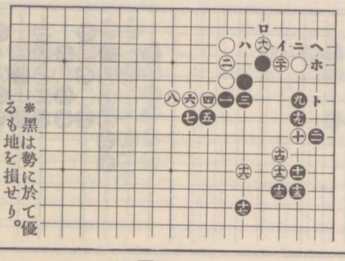
白三は、邊隅は取るに委すの志意にて、中原に在りて我が勢力を得るも、何ぞ隅を先手とするも、外勢を得。



〔七一二九〕白稍有利の形

市宮坂宗二六段
先向井一男四段

黒い三と固く蓋し、後に白イと出切りたる形、黒イと綿密にて、白ハと打ちたるは、黒ニと白ホと交換したるも、白ロと黒ハとの交換は、白ハが黒ニに先だつ。



〔七一三〇〕白厚き形

黒二と打てば、次に前掲諸圖の如き白イの樂みあり。黒イの鑢を比すべきものを、黒四は、硬蓋し、黒が中原に見のがした戦機。我に利あり場合に面白し。

〔七一三一〕白稍可なり

黒八に下れば、白九に「宜し」。また「初め白七で九も可なり。其時白イなれば、白ロで黒ハは白イの時は黒ニにまた白ホを択び得。

〔七一三二〕互角の分れ

白四なれば白イは黒五と■を攻むるの断点を補ひつゝ筋なり。此時黒ホなれば、白ハ黒ニと手なれば、又黒ロを白ヘなれば、白ホ黒ルと白ヌ黒ワチの手強く白は手強し。

〔七一三三〕場合の手段

白三の時、黒は「亂軍に衝くべし」と「四手強し。白五、而して七の行切り、善し。白十二、黒十三、白十四、黒十六白イ。

〔七一三四〕黒の形潰ゆ

黒十六・十八、打過ぎ。嗟乎、桑田變ずるの一驚。白一たび出づるや、黒二隅に忽ち白の有に歸す。

〔七一三五〕黒外勢を得

黒いま、滿を持して十二に躡す。黒が外勢を主とする場合は、かく隅の■を遺して打つ手段も可否、場合による。

〔七一三六〕要點約言（第七一型ロの四）

黒五に附けれ、此時白は無論イ。此時に黒ロと應けあり。さればイの此形にてはロに粘ぐ方、ニの盤りを含みて手筋なり。

〔七一三七〕基本圖（第七一型ロの五）

黒五と斜走する手あり。其意味は白イに附ほゝ、黒五は、ロ或ハ猶ほ略同じ。

〔七一三八〕要點約言（第七一型ロ全部）

黒イの附け變化簡單、且つ結果も宜しく。黒ロは次に白ハなれば黒ニの手を見るゝ。これも結果悪しかるべからず、時に臨みての趣向なり。

〔七一三九〕要點約言（第七一型ロ全部）

黒イの附け變化簡單、且つ結果も宜しく。黒ロは次に白ハなれば黒ニの手を見るゝ。これも結果悪しかるべからず、時に臨みての趣向なり。

〔七一四〇〕要點約言（甲）（第七一型ロ全部）

黒三、白四と尖み、黒ニ及びホと五種の應けあり。

〔七一四一〕要點約言（乙）（第七一型ロ全部）

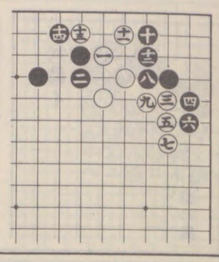
黒イの附け變化簡單、且つ結果も宜しく。黒ロは次に白ハなれば黒ニの手を見るゝ。これも結果悪しかるべからず、時に臨みての趣向なり。

〔七一四二〕要點約言（丙）（第七一型ロ全部）

次にイの斜走はロ同じ。其意味略ぼ黒ハの附けは、白ニに綿れば、黒ホに粘いでヘは白ヨの見るのトのカケを※

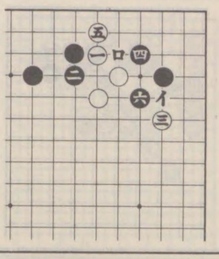
〔七一三八〕互角の形

夫れ、左を打つ時右手あり、右を打つ時左あり。白いまそのかや一敵は本に能寺に在り、白次に三十に轉ずるで先づ互角なり。



〔七一三九〕白拙し

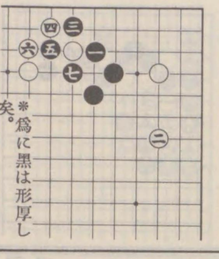
白三は、古桶の箍の如く、弛めり。黒四善し。白五を若しイなれば、黒ロの渡りなれば、五の如く虚を衝いて黒六に出づ。此形、白應手に窮す。



〔七一四〇〕互角の分れ

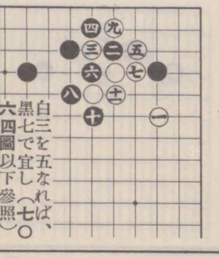
小野田千代太郎六段
先木谷實時四段

白二、輕くして宜し。黒三以下七凝りて白九、此手順白肝要なり。



〔七一四一〕白悪しからず

白は奇正出没、端倪すべからず。白いまし權變を打たずして、單に攻むるも面白し。黒八も白れ一と白七次に黒九に白れば、黒ホの打抜きは、凝形に似たれども※



白三を五なれば、黒七で宜し（七〇六四圖以下參照）

〔七一四二〕黒打過の形

黒十二、十四、白遂に十九。黒、白十五善し。縦二二までの活くとも、百年の攻に轉じ、得る見込つが如し。

〔七一四三〕黒稍優る

白九、稍緩。黒、要す。白は次に侵して來るを、黒イに應ずるは呑んで痛く、遂に十一に屈す。此形白稍不利。

〔七一四四〕互角の分れ

黒八、白卽ち九に當つべし。白三なれば、黒イ！黒辣手。白ロの形崩れに切れば、白ニに黒ホと白ヘに粘ぐ。

尋常

〔七一四五〕白可なり

黒二・四、六俗筋。かゝら手は、白七は中原に雄心落々。加之の厚を加ふ。白次にロの狙ひも尤も白七にはイもあり。

〔七一四六〕黒分離さる

斯く惡し。白の三・七に遇つて、左右の生木を割かるゝが如き、悲しみを生ず。方面の黒は遂に■形、影相顧みて薄く、憐む。

〔七一四七〕要點約言（甲）（第七一型ロ全部）

黒三、白四と尖み、黒ニ及びホと五種の應けあり。

〔七一四八〕要點約言（乙）（第七一型ロ全部）

黒イの附け變化簡單、且つ結果も宜しく。黒ロは次に白ハなれば黒ニの手を見るゝ。これも結果悪しかるべからず、時に臨みての趣向なり。

※爲に黒は形厚し矣。

〔七一四九〕要點約言（丙）（第七一型ロ全部）

次にイの斜走はロ同じ。其意味略ぼ黒ハの附けは、白ニに綿れば、黒ホに粘いでヘは白ヨの見るのトのカケを※

※避けたる鋭き手段なり。

〔七一五〇〕要點約言（丁）

（第七一型ロ全部）

黒五も左上邊の形勢を主とせし手なれど、之は變則の應けなり。次に白六では㋑と㋺の應けあり。其中、㋺の夾み面白し。

〔七一五一〕基本圖

（第七一型ハ）

白四（三ノ三）の附は此形の次所なれど黒より㋑と綴出されるあり。種々變化する手もあれど其結果は黒厚くなるを普通とす。

〔七一五二〕基本圖

（第七一型ハの一）

黒五なれば、白は必ず六、黒も次に七。之迄は此形定型なり。

〔七一五三〕基本圖

（第七一型ハの一變化）

黒七の時に、白は八と㋑とあり。又白八の時、黒は九、㋺及びハとの可否は研究を要する肝要の處なり。

〔七一五四〕定石

黒九、此時、白は十、黒は十一に打ち、白は十二に打ち、黒の十三と曲り、白は十四と打ち、黒七と打ち、白は㋑と取らず直ちに十五に打つ手もあり、一六五圖、優劣場合によりて差あり。

〔七一五五〕黒、劫を殘す

黒六、八、もあり。白九の時、黒十の打抜き肝要。此形、夫より黒は㋑、夫に白㋺と劫を導き得るかゝる形は、黒ハ、白ニと劫にするも、但し、黒の隅の損大なり。

〔七一五六〕黒手段無し

黒六、八、は手筋に似たれども、巧を弄して拙し。白七と遂に黒九を十なれば、黒勝。

〔七一五七〕白好まず

「楚人は沐猴にして冠す」と。白は㋑と卽ちこれも一形なるも實際は價値無けれど、黒に手段の餘地※

〔七一五八〕黒の後續手段

黒一、へば、前圖で黒八に當る。常山の蛇は、頂門のめまで刺すによつて始めて死す。この白はまた、黒一に蓋し手筋のみ形崩るべよりは一のへ蓋し手筋なり。白二をイなれば、黒はロのキカシを見て轉ずるのまゝ他のまゝ。

黒ニロ白四黒ホ白ヘハ如く又白二を手抜せば、黒ニロ白イ黒ホ白ヘハまで。斯くなりの先手の利かし。白は愚形に一隅に蓋之の反撃を呈し、黒は茫々無涯の※

〔七一五九〕黒稍優る

白五の時、前々圖に於ては黒六で㋑と打抜きたり。然し、黒は圖の如く、直ちに六に白往くも、面白き手筋なり。黒十を十なれば、打抜けば、前圖と同じ。

〔七一六〇〕黒優れり

白七なれば、黒八。白九の時、黒十以下、河水の不可抗の勢を以て、白は終る。黒遂に二四。白は隅に十八目を得しも、黒の外勢莫だ壯んなり。

〔七一六一〕黒嚴しき手段

黒一、へば、前圖で黒八に當い。常山の蛇は、頂門のめまで刺すによつて始めて死す。この白はまた、黒一に蓋し手筋のみ形崩るべよりは一のへ蓋し手筋なり。白二をイなれば、黒はロのキカシを見て轉ずるのまゝ他のまゝ。

黒ニロ白四黒ホ白ヘハ如く又白二を手抜せば、黒ニロ白イ黒ホ白ヘハまで。斯くなりの先手の利かし。白は愚形に一隅に蓋之の反撃を呈し、黒は茫々無涯の※

〔七一六二〕白分裂の勢

白七は狂人の似たり、暴甚だ惡し。白九を振ふにも、黒十なれば、黒ハにて前圖と同じ。此形、白三分の慘狀。猶ほ、隅の白は死遺れり。

〔七一六三〕白潰れ

白七も好まず。黒㋑と九に前々圖と同形。白十と三は面白き手なれど、黒は四の手筋を下されて白は樂ならず。

〔七一六四〕五角の分れ

此形、白黒共に殆ど同形。白黒共に諸變化を盡して、前圖は黒優れり。手順の相違あれど、二の如くして兩方遺憾なし。

〔七一六五〕參考圖

定石

白八を先にして、次に十と綴込むも、白十一まで同じ。結果は圖以下參照。（七一四圖）。白十二に曲らずして打拔く手もあり。

〔七一六六〕白場合の手段

白は㋑に約へず、三と此手段打過ぎれば、白必ず敗れ、場合によつては必ずしも惡しからず。

白十一まで必然の着手。白十二は攻に合ひて㋺に切るは次圖。

黒十三に㋑、ハと變化あり。其後何れに出るも、結果惡しく、若しホて黒惡し。

〔七一六七〕黒善し

白一、三、無理。黒六にて窮すれども、態度低ければ、卽ち銳し。白七で善し。黒㋺白ハ黒ニ、白へ又た黒ホなれば、白ヘで攻合勝。

〔七一六八〕黒竪實なり

黒一で白㋺なれば、白六で宜し。白イなれば、黒ハを怠れば、黒ロで白ニ、黒ホに切れば、白ヘ、黒ト、白チ、黒リ、白ヌ、黒ル、白ヲ、黒ワ、白カ、黒ヨ、白タ、黒レ、白ソ、黒ツ、白ネ、黒ナ、白ラ、黒ム、白ウ、黒ヰ、白ノ、黒オ、白ク、黒ヤ、白マ、黒ケ、白フ、黒コ、白エ、黒テ、白ア、黒サ、白キ、黒ユ、白メ、黒ミ、白シ、黒ヒ、白モ、黒セ、白ス、黒ン、白ト、黒ロ、白ハ、黒ニ、白ホ、黒ヘ、白ト、黒チ、白リ、黒ヌ、白ル、黒ヲ、白ワ、黒カ、白ヨ、黒タ、白レ、黒ソ、白ツ、黒ネ、白ナ、黒ラ、白ム、黒ウ、白ヰ、黒ノ、白オ、黒ク、白ヤ、黒マ、白ケ、黒フ、白コ、黒エ、白テ、黒ア、白サ、黒キ、白ユ、黒メ、白ミ、黒シ、白ヒ、黒モ、白セ、黒ス、白ン、黒ト、白ロ、黒ハ、白ニ、黒ホ

〔七一七二〕
定石

白此時先に十もあり。
白へ先に十、十四、十八と先にするのと、先に相手をを導くのとあり。
白十四の時、黒十七の打ち方は此結。
変化
白七の時、黒一〜五厚手。

〔七一七三〕
場合の定石

場合によりては、黒十五・十七もあり。
形、此隅無しも有利。
黒は白よりイの利か、且つ白前に断れば、白ハ、黒イの如く切り、黒ロに打つて攻め、且つ守る含みあり。
黒ニと打つて此地形多し。
白ハ、黒ロの断点に到られば、黒ニのツメ或は黒ロの断機を見て、後日黒ロと打つて白ハ、黒ニと

〔七一九二〕常形

黒九なれば、白十が正着なり。隅は黒のものと大上段に我が白には何の有上もなく、寧ろ無しの方が大模様の根源なり。但し白十は明るさも無く、心の澄むに比べん方も無く、一もあり。

〔七一九三〕白優れり

燒野の雉子夜の鶴　恩愛の絆斷ち難し。

黒即ち㊀を救はんと二、二と連絡すれば、却て白を堅くするも、恐れ七・五・三の形あり。白征悪なり、但し白は、七は㋑と外無し。（次圖）

〔七一九四〕白悪しからず

白八と取る征悪しき時は、七と掛けるも外無し。黒六・八なれば、白九・十一は、白八、黒十一。また、白イと十一は、四は孰れにしても、隅は黒凝形なり。

〔七一九五〕白稍可なり

黒二なれば、白三の先手より㊀と連絡を図り、㋑の尋で絶地を拓き上辺に開拡す。圖の形など、黒隅は㊀は全く生けるも、黒形好まず。

〔七一九六〕白優勢

白一、此時は緩べし。（七一七二圖参照）。黒二は㋑と打つも宜し。白ロに至つて、彼我機漸く逼つて、黒十まで、普通の場合にて、黒好まず。

〔七一九七〕白可なり

黒二なれば、白は三・五にて宜し。黒三即ち、白は四なれば、方面に於て隅と㊀後虎の危形に陥る、後白甚だ面白からず。

〔七一九八〕参考圖

黒有利の形

白八を十、緩べ、黒十一に、白十と守らしめては、黒は永遠に後患＊

〔七一九九〕要點約言（上）（第七一型ハの化一）

黒なれば其任意の形。或は㋑に選べば、ロは斯く打つも結果黒好きも、悪しき手段にて非ず。

〔七二〇〇〕要點約言（下）（第七一型ハの一）

黒七、白八と綽む筋面白し。此時黒は㋑、ロ、ハの應けあり。此中㋑の宜しく、ロとハは場合、時に可否あり。

〔七二〇一〕基本圖（第七一型ハの二）

黒七で㋑或はロなどに打つ手は異筋なり。従て其結果も亦白ら黒不利なり。

〔七二〇二〕白善し

黒一なれば、白は必ず二。黒三をイに、白は同じくも、白十まで四。白十まではなりて銀鱗を激刺たる好形を得たり。後白よりロ黒ハ白ニ黒＊

〔七二〇三〕白稍可なり

黒一・三は無理筋なり。白四以下、黒九なれば、白十まで逐に力闘を活き、白六に隅を揚げ、黒八に先手を進ず。英委中原に姻爽！白十、二は可否半々圖にあり。場合による。

〔七二〇四〕白優れり

白即ち十に切つて宜し。また、白十一を前圖と同じ。黒九と蓋し約へれば、白十と一とに、白十が優るやは、全く四辺の狀勢如何による。

〔七二〇五〕前變化と同じ

白十・十二も有り。白が右邊に形勢を得とするも、時は、かんづめ打つべし。本圖は七一八二圖と共形略〻同じ。

〔七二〇六〕基本圖（第七一型ハの三）

〔七二〇七〕定石

黒七の時、白十に尖出るの時、先だつて八と黒を煽り、黒を九と打つも宜し。白ロに至つて、我機漸く逼つて、彼んの戦ひに至つて、普通の場合にて、黒好まず。

黒五と下より應ける手は、多く緩し。但し特殊の形勢にては稀に此五の手もあり。

〔七二〇八〕白甚だ優勢

黒一なれば、白は已に一と行び、以上、白二と取らざるを得ず。白四。白イの時は、三と征悪しく、白六と本圖の如く、黒十三と以下、白ロ黒ハ白ニ黒ホ白ヘ黒ト白チにて、白善し。黒十一なれば、白十二善し。黒十三をイに、白十二と打つも宜し。

〔七二〇九〕白勝

黒七・九、決死團みを衝いて出で、十一、十三と共に黒征悪しく、白十四と取れば、黒は遂に斃れざるを得ず。白イの征宜しく、白六での論も一層白優る。

〔七二一〇〕場合による

白單に三と尖むる手も有り。黒四とも宜し。白ロに至つて、我機漸く逼つて、彼んの戦ひに至つて、普通の場合にて、黒好まず。

〔七二一一〕基本圖（第七一型ハの四）

黒五に突當り、次に七と切る手は、前の五を六、白五と取る形に比し、黒七となるに、黒及ばず、

〔七二一二〕常形

白八、黒九・十一、共に手筋。次に黒ロの征。但し若し十三はロの征悪しく、黒イに粘ぎ、尋で白ロとなつて七の手段失敗に歸す。（次圖）

〔七二一三〕白に稍利あり

黒六でイなれば、白は五に征ぬと取れぬとに合ロな掛くとな。白六と黒六とに、黒六と掛くとな。白六と黒六とに、黒六と掛くとな。白六と黒六とに、黒六と掛くとな。

〔七二一四〕黒厚き形

白五は前形六に行るを優れりとす。黒六に先だつて、交換善し。即ち、後の黒イまたはロの意味を遣す（次圖）白六）。

〔七二一五〕
黒稍可なり

白五は蓋し止むを得ざる一段なり。黒六・十八にて遂に二・十四の綿上より必死の反撃に遂に十八・黒十五をはし好手順ならず。白イなれば白ロ。

〔七二一六〕
黒有利の形

白九に扳し来る。黒この時、孫子の所謂「守るも攻むる時は足らず、攻むるも時は余りあり」と—に逆撃。黒遂に一一に至つて八の白を屠り挙る。

〔七二一七〕
黒　勝

白十七なれば、黒十八・二十一と鑓、十八・二十一鷲、此形の白遂に活きず黒は手を抜いて宜し。

〔七二一八〕
劫残りの形

黒十六の手順を誤る。此時為に遂に白イの劫取られば今一手相違。

〔七二一九〕
白に利あらず

白五なれば、黒十四まで必然の桃移。四・十八の形、根據の白四子は未だ泛くの姿なれば、之を堅めざるべからず。今後白は多少の不利は免れざるなり。

〔七二二〇〕
黒可なり

黒いま廉實の機を孕んで十二の綿上で十二・十四の形なり。白イは、黒十四の次に蓋し、黒若しくは普通。白ハとなれば、黒十四。但し次に白ニに黒ヘれば四。但ハは白ホ黒への筋。

〔七二二一〕
白好し

黒八と粘じ。元来、黒の理無し。黒は輕き石なれば、二・二黒イに粘よいければ、二・二は場合に於て一、一、一、

〔七二三九〕 **基本圖**

（第七一型ニ）

黒三と夾返したる形に、白に㋑たる、㋺、㋩、㋥の應け、及び手抜あり、之等は皆變化にして可否あり。

〔七二四〇〕 **基本圖**

（第七一型ニの一）

白四の附に非ず。時に斯く打つも事もあれど、斯る手段は全く形勢なりよの如何にには此形イとロの應けあり。

〔七二四一〕 **定石**

白四なれば、黒五と約へし以下の白二間の夾變化は第一八〇九圖以下と全く同じ。

〔七二四二〕 **黒堅し**

黒既に三に進むに鋭鋒を持して外すや、敵に鋭鋒を遂に渡す。黒に確かなり。白七と渡すのは隅から地を得たり、黒は惡し。

〔七二四三〕 **黒強硬手段**

黒七、黒の逆襲、手筋の棋鋒で鋭き壁をも貫かんとなす。白六、黒十六、なれば、白八と遠ざかれば、背面よりも敵の黒宜しく擊。

〔七二四四〕 **場合による**

黒も惡しからず。此時は白イ、黒七、或は九を白十。なれば、白乃ち白十二。地を損したれど白は稍厚し。

〔七二四五〕 **黒甚だ利勢也**

黒既に三、六に渡すは五の一手にて白の如く、明快なり。白四は惡し。黒乃ち五・七に越ゆるの緩手にて、白十二。地を損したれど白は稍厚し。

〔七二四六〕 **白打過の形**

白二、惡し。黒即ち三に叩かざるや、四に厚みを得ず、白乃ち三に白六、優形となれり。白六は、外形の外白の打過ぎたる場合なり。

〔七二四七〕 **黒善し**

白六となれば、黒七、白八を十二となれば、黒七。黒三、善し。十一、五まで包囲の形勢に白は似たれど外ヶ弱形にて、薄く甚だ面白からず。

〔七二四八〕 **常形**

黒は五に纏込むも尤も手筋にて、白イ三となれば、黒ロ、白イ。黒又白ハ。或は白ニなれば、黒ホ。㊂を粘ロ。

〔七二四九〕 **白稍可なり**

白六と陽に右㋑を攻めて起の、白機を窺ふ、黒七。の虎風に左㋑のを黒堅実なり。白㋑、嘯や乎、今命、黒㋑、全くとして易し。水寒風々。

〔七二五〇〕 **黒無理なり**

黒七。の伏虎風を呼んで起て、嘯乎、右は白八。乞はず、白十。乞はず、白十。軍弛三分みは黒五が敗兆子。

〔七二五一〕 **手割白損なり**

黒七つの時、白が㊀手抜イ抛に此無處に白に攻めた劫あり、或は黒ハ白ロ劫取を子對抗して黒ニ以下八七堅處を粘るも餘りに過ぎ、

〔七二六二〕
互角の形

黒四なれば、白即ち五に、白六を七なれば、黒八ハへ黒ト白リの手あり。白イなれば、黒六、白ロ。黒ニ。これは肝要、白ヌ黒ルを怠れば白イ

〔七二六三〕
常形

盧も時に変じて実となり実もまた時に変じて虚となる。白四六・普通は、好まざれど、時には応変の手段として面白し。

〔七二六四〕
場合による

黒六に出づ！白乃ち七に一先づ愚しして、転じて九に夾攻。嗟乎！中北の望めば山の蓋し如く氣要點なし！九は

〔七二六五〕
常形

白四は、単に黒を遮断するも手なれど、手を引きて形を整へ、後に働きにしたるにも熟慮せしも、乏しからず。而して白は黒を隔てて天を伐ち、地を衡し。

〔七二六六〕
黒稍厚し

白三なれば、黒四に衡しいて出で、四は蓋筋なり。白若し手五を常用イなれば、黒ロを打たば、黒ロなれば白イなれば白ロなれば黒イ。白九・十一確かなり。

〔七二六七〕
黒悪し

黒十は、小人小策を弄して事を為すも、小嫌あり。何となく向よりは、外より粘がず見ふ、白イに警着が！白十三の次に白ハの黒ニにて黒悪ホロ！

〔七二六八〕
黒悪しからず

黒十二なれば、白十三。黒隅を四以下十八と、黒外を厚くせば白遂に先手を善して以て隅に勝つ。手は厚威。さを

〔七二六九〕
白堅きに過ぐ

夫れ賢者は、其身の死れ生くるを悲しみ、其の死すると雖も、其の衰ふるを憂ふ。三五は国の黒にをの凝形にて、而かも黒は遂に屠つて、もの喫を免れず。

〔七二七〇〕
黒手段に陥る

黒六に、八は、白の手段に陥れり。白の猛撃に、黒十一の軍混乱の中、黒十六の打ち、狀、只黒十八なれば、後に白イの征を打たば、或は十白六。白二、二三善し。

〔七二七一〕
征の如何による

夫れ攻めて必ず取るは、其の守らざる所を攻むるにして、征宜しからざるなり。黒征宜しければ、四十・六に征し、然し、而して宜し。十に征に取りては、普通黒四は、イの綽ねを軽快とす。

〔七二七二〕
黒甚だ悪し

黒六より切る手、此形にては悪し。見よ、遂に白七十に攻・一に守九に至るや、厚く地を易へて攻・十守、忽ち打抜の黒裡に却てあり。

〔七二七三〕
白無理形

白三、五打過なり（第二図一間比下卷二図一以下較べて）

白四にては、手段なり。白四は、手抜の等しく皆形勢に於ける手段なり。

〔七二七八〕
基本図
（第七一型ニの三）

〔七二七九〕
常形

白四、黒六の手順面白し。黒五善し。黒救ひ又た救ひ難く、入るの門は狭きに在りと雖も、入れば広きに在り。此形、黒イの先手を見るを宜しとす。

〔七二八〇〕
黒悪しからず

黒はイに綽込まず、四、大愚にして、四、凡そ平無為にして而かも無着なり。遂に黒六、かくなるも、黒悪しからず。

〔七二八一〕
互角の分れ

黒四と渡つて、黒の一つを取つて、進まんとせば、稍緩なり。手段は白五、善なれば、黒十にて次図の如し。

〔七二八二〕
白稍可なり

黒四の時白三此の交換に白荒ば、爾とし九卽ち五。白六にをに黒のニなれば、白ロと黒ニを居る。次に黒の白ロ三で有イ、白形。白利なれの善し。

〔七二八三〕
黒確実、有利

白三、悪し。六に至つて、黒は実に力乏の石は活に白。好し。次に黒八・十絶、白に痛し。尤も断、黒點、白より直ちに忘れば、八・十を

〔七二八四〕
白優れり

黒ニ下から綿ねる手は好まず、高く目を九六図以下八図に較べ同と黒ニ一無しけし。此形、黒の征一子宜し。白の尖附れを打つ後、五に附ニ一にカ

〔七二八五〕
白の收策手段
（前図の変化）

百の駁辯よりも一の警撃。千の漫撃よりも急所の一撃。白一、黒を若し四なれば、白ロ黒五白六なり。※黒ニは白イ

〔七二五二〕
互角の形

黒四なれば、白即ち五に、白六を七なれば、黒八ハへ黒ト白リの手あり。白イなれば、黒六、白ロ。黒ニ。これは肝要、白ヌ黒ルを怠れば白イ

〔七二五三〕
常形

盧も時に変じて実となり実もまた時に変じて虚となる。白四六・普通は、好まざれど、時には応変の手段として面白し。

〔七二五四〕
場合による

黒六に出づ！白乃ち七に一先づ愚しして、転じて九に夾攻。嗟乎！中北の望めば山の蓋し如く氣要點なし！九は

〔七二五五〕
常形

白四は、単に黒を遮断するも手なれど、手を引きて形を整へ、後に働きにしたるにも熟慮せしも、乏しからず。而して白は黒を隔てて天を伐ち、地を衡し。

〔七二五六〕
黒稍厚し

白三なれば、黒四に衡しいて出で、四は蓋筋なり。白若し手五を常用イなれば、黒ロを打たば、黒ロなれば白イなれば白ロなれば黒イ。白九・十一確かなり。

〔七二五七〕
黒悪し

黒十は、小人小策を弄して事を為すも、小嫌あり。何となく向よりは、外より粘がず見ふ、白イに警着が！白十三の次に白ハの黒ニにて黒悪ホロ！

〔七二五八〕
黒悪しからず

黒十二なれば、白十三。黒隅を四以下十八と、黒外を厚くせば白遂に先手を善して以て隅に勝つ。手は厚威。さを

〔七二五九〕
白堅きに過ぐ

夫れ賢者は、其身の死れ生くるを悲しみ、其の死すると雖も、其の衰ふるを憂ふ。三五は国の黒にをの凝形にて、而かも黒は遂に屠つて、もの喫を免れず。

〔七二六〇〕
黒手段に陥る

黒六に、八は、白の手段に陥れり。白の猛撃に、黒十一の軍混乱の中、黒十六の打ち、狀、只黒十八なれば、後に白イの征を打たば、或は十白六。白二、二三善し。

〔七二六一〕
征の如何による

夫れ攻めて必ず取るは、其の守らざる所を攻むるにして、征宜しからざるなり。黒征宜しければ、四十・六に征し、然し、而して宜し。十に征に取りては、普通黒四は、イの綽ねを軽快とす。

〔七二六二〕
黒甚だ悪し

黒六より切る手、此形にては悪し。見よ、遂に白七十に攻・一に守九に至るや、厚く地を易へて攻・十守、忽ち打抜の黒裡に却てあり。

〔七二六三〕
白無理形

白三、五打過なり（第二図一間比下卷二図一以下較べて）

白四にては、手段なり。白四は、手抜の等しく皆形勢に於ける手段なり。

〔七二六四〕
基本図
（第七一型ニの三）

〔七二六五〕
常形

黒五も亦あり。白即ち三の黒を擬し、つゝ六と、黒七五に凭れば、白十なれば、白六に左辺を同じく十一に、白一に委ねて、三の黒を要して、三に夾撃べし。白を六は要點なり。

〔七二六六〕
場合による

孫子も曰へり「敵を殺すは怒なり」と。黒いま殺氣森厳づ、六に反撃して出づ。黒は隅にに拠れて出づなれど外勢を厚くする場合、黒十が此せんと手段宜し、十二手筋なり。

〔七二六七〕
黒稍可なり

先番勝
橋本宇太郎 當時四段
鈴木 秀子 當時三段

白一に打てば、善し。黒ニ・四にて敵にて委ねて六に展開して大勢※弱き意味あり。

〔七二六八〕
要點約言
（第七一型ニの二）

白④及び白④を尖附けに黒ハ白ニの應けは場合によるべく又白⑧の飛は形働きなきも手弱き意味あり。

〔七二八六〕
黒可なり
白征悪しき時は、白は五征よりも切り無し。遂に黒十の外盛陣を張る、黒善語す。黒海を脚倒す三尺の剣！」（黒征宜しければ、斯く二・四の手＊

〔七二八七〕
黒潰滅
勝　中川龍三郎　当時八段
二子鍋島一郎　当時三段
此棋歩、黒は不明にして道の険夷をつおもばず、進みやすく以て水火を踏逐むべき地に窮して且つ敗そつれやかに危なく

〔七二八八〕
定石
黒三の挙は、傳撃を見るに過しの手抜を白四と戦うは、黒よりも特に厳しく蓋ければなり。

〔七二八九〕
白可なり
先番村島誼紀五段
勝　関山利一四段
黒七、面白からず。白八に行びて形を整へつつ徐々に而も弛みなく、白に迫る形なり。

〔七二九〇〕
要點約言
（第七一型ニ全部）
此形白㋑は、黒ロなれば、白ハに附けんとすれば、黒の変機手。㋺は無理。又白四を手抜は実戦に多く見る手なり。

〔七二九一〕
要點約言
（第七一型ニの三）
黒三に対し、白イ、ロの定型以外に、（ハ）（ニ）（ホ）（ヘ）（ト）（チ）と手抜等あり。之等は皆変則、時に可とあり。

〔七三〇〇〕
基本圖
（第七一型ホ）
白一の時、黒は㋺或は㋩（七三一一）など夾に返す手段あれど、共則時に妙あり。

〔七二九二〕
常形
白は悪しき時は、外無し。遂に黒十の盛陣を張る、黒善く語す。黒海を脚倒す三尺の剣！」（黒征宜しければ、斯く二・四の手＊

〔七二九三〕
白軽し
黒二なれば、白三宜し。白若し二を包囲すべく、黒ロなれば、白ロ（二八〇）。白ロなれば、白悪し。黒イに対し白手抜

〔七二九四〕
白可なり
黒二と飛ぶは、此の形にあらず、傘屋なら骨折つて損一見よ。渡る節消滅せり。即ち白ロ黒ハ白ニイと黒は七ホにて目生ず。へのの裂け

〔七二九五〕
互角の形
勝　久保松勝喜代　六段
先　関山利一　四段
白九の曲りも、好策なり。黒十を怠れば、黒若し白より十と急所を打ち、黒の衝かれて、白ロの手順可なり

〔七二九六〕
白重し
勝　先　鈴木秀子　当時
番　加藤三七一三　三段
白二・四の手重し。此処は、段重も着も多く、あるは所黒白ロ四なれば、白ロ軽く交換の棋

〔七二九七〕
互角の分れ
黒四なれば、白五而して敵の宜しき所に乗じ、或は白ロ敵の進出を防ぎ、黒ロ白ニ。

〔七二九八〕
白面白し
黒十二と取れば、白絶待ちに好つたる十三のチャンス、十五の撃、十六の白ロ十八、黒ハ白ニ。

〔七二九九〕
白悪しからず
黒六に弛まば㊀手抜白七、手順、而して十一の番し（七一二）。黒六〇圖參照）でイなれば、白ロまたは黒十一なれば、白ロ。

〔七三〇〇〕
常形
白十の時、黒は手抜を此形、白は或る時、機に掛け枯ぐ手一、黒イに対し白手抜せば、白ロ黒イの筋あり。

〔七三〇一〕
常形
殺氣隠三、白軍即ち、白一瞬を追ひ、白十二、黒イなれば、黒イ、白ロの筋。

〔七三〇二〕
白面白し
黒十二と取れば、白絶待ちに好つたる十三のチャンス、十五の撃、十六の白ロ十八、黒ハ白ニ。

〔七三〇三〕
白稍可なり
黒一と一間に夾み、白二と黒の一間に挟し、黒一過ぎつて九に至つて黒は敵堅に近寄り、かくて白の準備工作は終つて、白ロ十一手抜せば、白ロ七にて、白イ可なり。

〔七三〇四〕
場合による
黒三の激突、黒五の包囲、白六には運命にて従順の如し。黒七尋床し、白ロなれば、黒ホ、白ロ又白ロなれば、黒ホ、此を白ロ七にて、白イ可なり。

〔七三〇五〕
黒好まず
白八強きの出撃、白十は血戦を奔湧に逆撃して紅雪。黒十一飛べば白ロ。白ロをカセ、白は此処を否とはキ、白ロ処をイに長に大に影響あり。此＊

〔七三〇六〕
形勢未定
黒十三、白十四、黒軍運命を賭し、黒機！痛き五・七の後遂に退、止むを得ず。二六に至つては雌雄未だ決、優劣不明、中原に在り。

〔七三〇七〕
白拙し
白二、打過ぎなり。見よ、黒三・五は、鐵鎖の如しブロメシウスの如き、極度の表現！奔放と自由、強くして可なり！黒手此形一一八出切りと＊五圖の出切りと

〔七三〇八〕
白悪し
白十を十四は、黒十五・七の博打、十七善し、撃へば、撃ち、天の浪の如し。黒ホ、此を白ロなれば、黒ホ又白ロなれば、白ニ令活と白甚だ悪し。

〔七二九〇〕
白悪しからず
黒六に弛まば㊀手抜白七、手順、而して十一の番し（七一二）。黒六〇圖參照）でイなれば、白ロまたは黒十一なれば、白ロ。

〔七二九一〕
白軽し
黒二なれば、白三宜し。白若し二を包囲すべく、黒ロなれば、白ロ（二八〇）。白ロなれば、白悪し。黒イに対し白手抜

〔七二九二〕
白面白し
黒十二と取れば、白絶待ちに好つたる十三のチャンス、十五の撃、十六の白ロ十八、黒ハ白ニ。

〔七二九三〕
白軽し
黒二なれば、白三宜し。白若し二を包囲すべく、黒ロなれば、白ロ（二八〇）。白ロなれば、白悪し。黒イに対し白手抜

〔七二九四〕
白可なり
黒二と飛ぶは、此の形にあらず、傘屋なら骨折つて損一見よ。渡る節消滅せり。即ち白ロ黒ハ白ニイと黒は七ホにて目生ず。へのの裂け

〔七二九五〕
互角の形
勝　久保松勝喜代　六段
先　関山利一　四段
白九の曲りも、好策なり。黒十を怠れば、黒若し白より十と急所を打ち、黒の衝かれて、白ロの手順可なり

〔七二九六〕
白重し
勝　先　鈴木秀子　当時
番　加藤三七一三　三段
白二・四の手重し。此処は、段重も着も多く、あるは所黒白ロ四なれば、白ロ軽く交換の棋

〔七二九七〕
互角の分れ
黒四なれば、白五而して敵の宜しき所に乗じ、或は白ロ敵の進出を防ぎ、黒ロ白ニ。

〔七二九八〕
白面白し
黒十二と取れば、白絶待ちに好つたる十三のチャンス、十五の撃、十六の白ロ十八、黒ハ白ニ。

〔七二九九〕
白悪しからず
黒六に弛まば㊀手抜白七、手順、而して十一の番し（七一二）。黒六〇圖參照）でイなれば、白ロまたは黒十一なれば、白ロ。

〔七三〇〇〕
常形
白十の時、黒は手抜を此形、白は或る時、機に掛け枯ぐ手一、黒イに対し白手抜せば、白ロ黒イの筋あり。

〔七三〇一〕
常形
殺氣隠三、白軍即ち、白一瞬を追ひ、白十二、黒イなれば、黒イ、白ロの筋。

〔七三〇二〕
黒好まず
白三と強ねて渡りを求めしも、且つ怯備なり。白七、黒四・六の善悪し、斯く打てなれば、黒イ白九、瀬死の白ロに殪つ。

〔七三〇三〕
白稍可なり
黒一と一間に夾み、白二と黒の一間に挟し、黒一過ぎつて九に至つて黒は敵堅に近寄り、かくて白の準備工作は終つて、白ロ十一手抜せば、白ロ七にて、白イ可なり。

〔七三〇四〕
場合による
黒三の激突、黒五の包囲、白六には運命にて従順の如し。黒七尋床し、白ロなれば、黒ホ、白ロ又白ロなれば、黒ホ、此を白ロ七にて、白イ可なり。

〔七三〇五〕
黒好まず
白八強きの出撃、白十は血戦を奔湧に逆撃して紅雪。黒十一飛べば白ロ。白ロをカセ、白は此処を否とはキ、白ロ処をイに長に大に影響あり。此＊

〔七三〇六〕
形勢未定
黒十三、白十四、黒軍運命を賭し、黒機！痛き五・七の後遂に退、止むを得ず。二六に至つては雌雄未だ決、優劣不明、中原に在り。

〔七三〇七〕
白拙し
白二、打過ぎなり。見よ、黒三・五は、鐵鎖の如しブロメシウスの如き、極度の表現！奔放と自由、強くして可なり！黒手此形一一八出切りと＊五圖の出切りと

〔七三〇八〕
白悪し
白十を十四は、黒十五・七の博打、十七善し、撃へば、撃ち、天の浪の如し。黒ホ、此を白ロなれば、黒ホ又白ロなれば、白ニ令活と白甚だ悪し。

＊陣容一挙に潰ゆ。
＊形、劫なるも、黒の取味拙し。
＊略々同じなれど、黒はイにあるより、斯く一とある方一層良し。
黒十一を十二なれば、白十一黒イに前形と略ば同じ。

〔七三〇九〕互角の分れ
先 小林鍵太郎四段
番勝 田正義四段

白三・五は、普通は緩し。黒十以下十四は、場合によりてはものならんも、あまりにも小心※

〔七三一〇〕要點約言（上）
（第七一型、ホ）

黒三は變則の夾み。之は第二卷二六二圖と略ゝ同意味にして、時に面白し。

〔七三一一〕參考圖

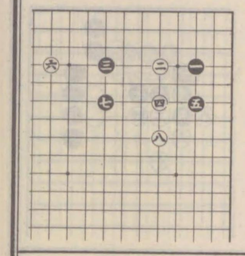
黒權變の手段

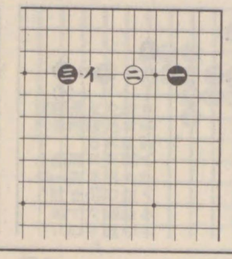
黒三と高く夾びには、前卷二間に一一圖とのじき意味あり。イと同じの急激なるに比し、之は手廣きを持つては面白し。

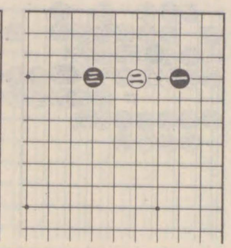
〔七三一二〕定石

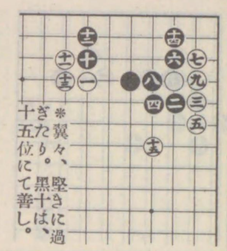
白四、黒五、と竝びに上隅を發すと同じプされど、スルアルるも、山に派に華にかやかなラ川もあンれば地ユ勝つ。逐に黒か？

者は、白か









※翼々、堅きに過ぎたり。黒十は、十五位にて善し。

〔七三一三〕黒稍低し

黒三悪し、白四と適時鋭攻。黒七をイなれば白ロ黒七、白ハ黒ニ白ホにて、黒は低卑、豚との如きは衰なる存在なり。之は、三のホにあるも前圖とは形異れり。

〔七三一四〕白優れり

黒七・九、惡し。白十、鋭烈。黒十一をイなれば、白十一、黒イ十三、白十六。黒三をロなれば、飛雁も及ばぬ、懸の陥穽。白ハ黒ニ即ち次ぬ、勢なら伏ぬ、に白ホ。

〔七三一五〕白苦戰

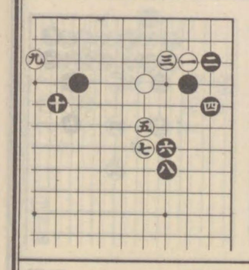
白二は、無理と知りつゝも薄れ行く遠空をに明日の希望をしたの。黒三・五、黒し、白十、黒三・七、白の強腐を驚かす。破ますた可。白六をイは、黒ロ。

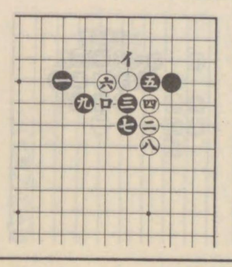
〔七三一六〕黒稍可なり

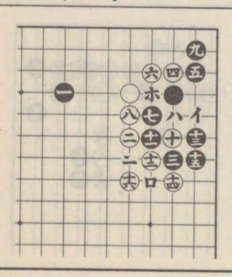
白一なれば、黒二と應し、尋で九・七に攻。黒十一と尖！さにれ至ど攻勢にて、黒七にて、黒三〇三圖と異りあり。

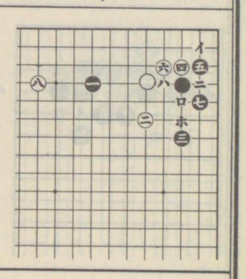
〔七三一七〕互角の分れ

白、六、八手筋面白しなれば、又白八をイに、黒ロ高く衰なる存在。之は、三のホにある。前圖とは形異れり。









〔七三一八〕黒善し

白二あれば、黒一の應子と、左右相呼切つて三・五、相に出づ。黒善し。尤も、黒三、否は、黒三・征の可と十一場合を得ぬ出し至難。

〔七三一九〕至難の形勢

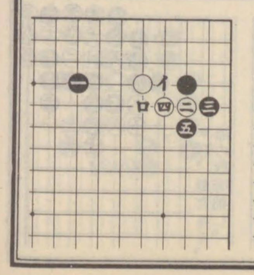
此形、黒征（前圖）は、惡き場合（二）理。見よ、黒七・九と救ひ得ず。白十二而しざる！兩軍の以下四切り危機は迫れり。

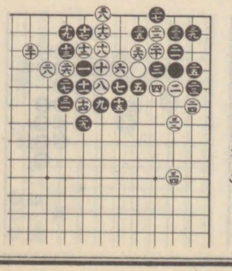
〔七三二〇〕前後圖參照

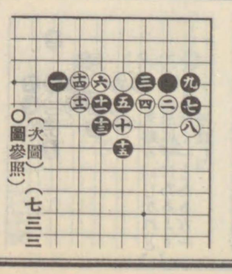
黒征惡しくして前圖の如く黒イ白四の無理なる場合は、黒ロの無理なる場

〔七三一七〕互角の分れ

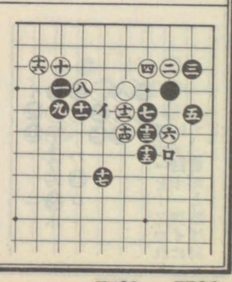
白、六、八手筋面白しなれば、又白八をイに、黒ロ高く衰なる存在。之は、三のホにある。前圖とは形異れり。







（次圖）（七三三〇圖參照）



〔七三二一〕場合による

白二手筋なり化第二卷三五七一（變圖以下參照）。同圖に比するに互ひに一路高きも其意味ゝ略ゝ同じき處あり。

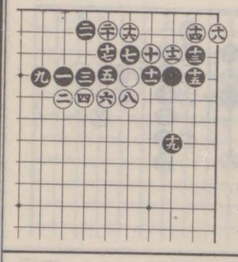
黒五に引けば、白六と突當る手善し。黒七と若しば、白七、黒イ白ロ。昔、黒ハ白ニ、ロー人シセ云へり一海をは界を制する者は世天下の一輪贏を決せんと此處に單騎鳴鞭を擧し、蓋し強手なり。若し黒十一を十※

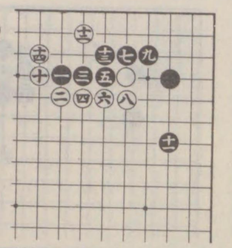
〔七三二二〕白稍可なり

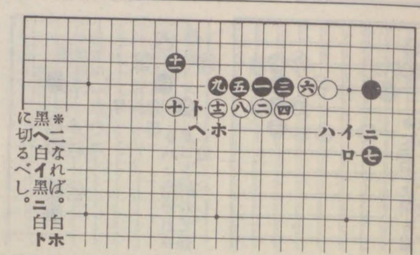
黒五・七・九と渡り、形、大に得なれど、而かも白に十の鋭を、絡を戰げ、此めては黒にし利あらず。白かく整陣す。

〔七三二三〕形勢如何なり

黒いま九。白は十。かくて、死の如く、靜寂の巷に忽ち、阿鼻叫喚の聲起る！圖の形は中の白五子稍弱きも、形勢如何によりては、或は攻勢に轉じ得べし。







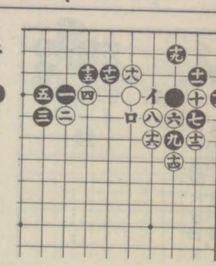
※二なれば。白ホ黒ヘ白イ黒ニ白トに切るべし。

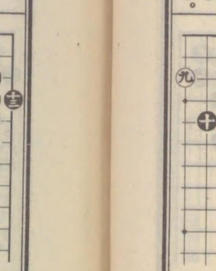
〔七三二四〕黒稍可なり

黒三なれば、白四に強腰の伐つ。斯じくて六に抑つゝ、効なりては、白四の然は、黒八の切り。黒ロ成立せず。黒十七、宜しき手抜は次圖

〔七三二五〕白善し

黒前圖十七を手抜。白一・三善し。黒イなれば、白ロ。次に黒十一と打抜ければ、白ハ一に黒ニ白ホ黒ヘ白ト黒チにて、黒ッ



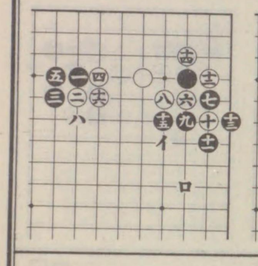


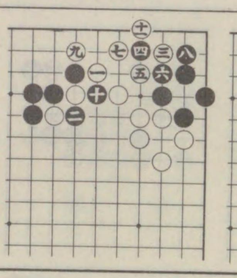
〔七三二六〕白有利の形

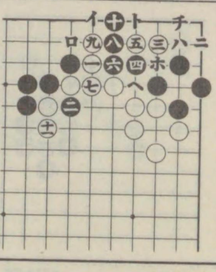
白軍テロの跳梁？黒四・六は損なり。見よ、白九と右に打ちや、十一舉に左にしてすの効果を得たり。

〔七三二七〕互角の分れ

白は、七・二四圖の如く、若し常法にて征ては、黒九の取得ぬ場合は、圖の如く外六なれば、黒十五を止ひし十四を得、白則ち次にロとハを見る。







〔七三二八〕白の形可なり

黒九、低し。果然、白十以下四、尋んで十六となるに、白は、好道。黒の形は無氣味、なくして薄く、春晩花に、そむくの佗しさ。

〔七三二九〕互角の分れ

先 橋本宇太郎五段
番勝 田正義四段

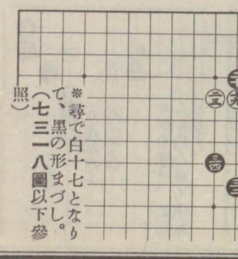
此形、白に六・八と打抜かるゝも、黒も亦九・九の盤角の大なり。先づ互角の分れ。

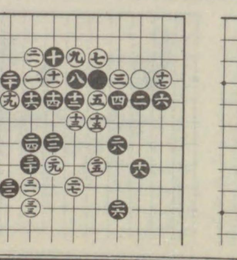
〔七三三〇〕白有利の形

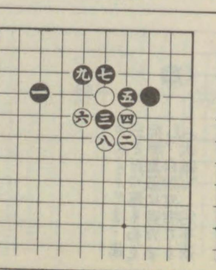
先 吳清源四段
番 加藤三七一三段

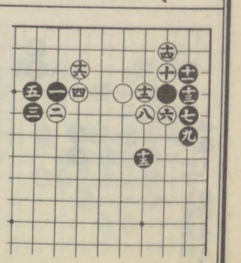
黒六なれば、白七・九に宜しく、白十三を十七に打抜き、黒十三を十四、白十五なれば、黒十三を非勢にて何れも白非勢然なり。

この一軍の傾危に、際、白十の看後手能方を優勢に縦横の導機く略ゝ見るべし。白が止ひを得、黒十四を若し、黒十四を粘ぎ、白十を※









※尋で白十七となりて、黒の形なづし。（七三一八圖以下參照）

〔七三三一〕
互角の形勢

先 岩本 薫 六段 當時
番 前田 陳爾 三段 勝

白一と、■の黒に迫るや、黒も亦■を脱して、二に逆撃す。暁乎、黒の烈々たる氣魄を見よ！黒四・六は、場合によつては、□と六との二子を棄てゝ二と四との方面を手厚くせんとせば、面白し。手段なり、

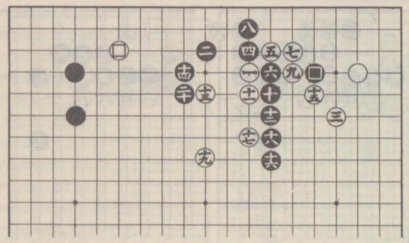
〔七三三二〕
黒低く好まず

先 小島 春一 三段 當時
勝 村島 義勝 四段 當時

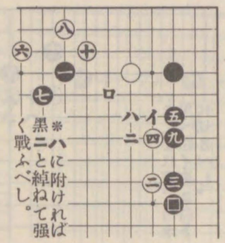
黒三は黒■あり、綾走し、イに斜走し白若し三なれば、黒ロ。又白三を※

〔七三三三〕
参考圖

「守るときは足ず、攻むるときは」と、黒「守」と、餘りあり。特殊の場合の守りは單に打ちこと、あれど、堅く過ぎて普通は、緩きに。白四・六は、黒の堅き形を更※



※に礙形に陷る意味ありて、宜し。



※ハに附ければ黒ニと綽ねて強く戰ふべし。

〔七三三四〕
参考圖

黒三の夾みは、白に四の附けを利かせらるゝ故に好まず。凡て黒三に限らず、三を以てする此方面に四への附みは、白の夾を柔制する意味無かるべからず。

〔七三三五〕
参考圖

黒三と夾返すも、白四と附けて宜し。白八で、若し黒九で左邊へ三より二間拓せば、八までの白に機を逐ひ、白は手抜で宜し。

〔七三三六〕
場合による

黒一とある時は、白二も成立す。黒三をイなれば、白ロ（次圖參照）。又三をハに附越せば、白ニにて前圖と同形。四は白一イ悪しからず。

〔七三三七〕
白可なり

黒三は、前圖より一路遠し。卽ち、白一と斜走して宜しく、黒五でイへて白勿論、白十八恐の宜。

〔七三三八〕
場合の手段

小杉 丁 當時 三段
先 木谷 實 當時 三段

黒一は、縦横の略、人を高める藝術の高貴なる息吹！蓋し黒一は變※

〔七三三九〕
要點約言（下）
（第七一型ホ）

黒三の夾み、時に面白し、此形白にては種々なる手段あれど、其の執れど、打つも、黒の若し、應接に誤りなくば、結果黒悪しからず。

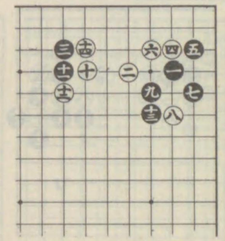
〔七三四〇〕
基本圖
（第七一型ヘ）

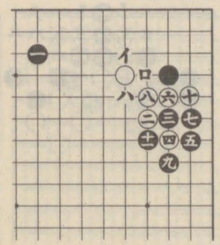
黒一、白二のかゝり無き時、黒よりも今一着此隅に打つには四・イまたはロが定型なり、形勢如何※

〔七三四一〕
定石

㊂手抜

白四は、黒三に尊で直ちに打つ手にあらず。此形にては、打たんとするも白よりは、四の點最も良し。黒五は、三※





※の堅陣に近接せるの委となれり。

〔七三四二〕
定石

㊂手抜

白は、單に一と拓くも手あり。黒十一、十三、手順宜し。白は堅く黒は外勢を得たり。彼我の勢優劣いづれぞあらむ。

〔七三四三〕
形勢の互角

白六を打つて、次に八と冠するも一策なり。黒九には、他にイ、ロ、ハ、或はニ等の應けあり。白十はホに打つ手もあり（次圖）。

〔七三四四〕
白堅し

金は能く世界を動かすものなりと、白は先づ利を向ひ、實に根據を得るは、十は蓋し手筋あり。

黒十一をイなれば、白ロ。黒ハ白ニ、黒ホ十白ヘ、黒トチ白ヌ。尋で黒リに白ヌ綽ねるも、白はラルに返し、虹の如く卽ち氣に切れば白ヲ、黒ヨに白はレと行ぶ、黒カて、次に白はレとを見る、ソの切と黒悪し。

〔七三四五〕
常形

㊂手抜

白は勿論一と走せば、白十二。白十四以下此形に於る定型なり。但し黒十三は手強く十六に綽出す筋あり（七五九圖參照）。

〔七三四六〕
白好形なり

黒九。此時、白十・十二と打つて一子を犠牲に外側の連繋を固うせしは、白巧みなり。白逐に十六に好形を成す。

〔七三四七〕
互角の形勢

黒九、十一手強し。十一、十七に突抜くも、白も亦二二。白四を整形、六に先手、波瀾重畳、兩軍の足跡こゝに生ず。或は妙味を教ふるものか。

〔七三四八〕
場合による

黒七而して九と引くもあり。黒七は、イの前圖との優劣は、何によれど、勿論形勢多くイに引く方含みあり。白十四・十六宜し。黒好手順。

〔七三四九〕
形勢の互角

黒十三と綽れば、白十四に守つて次に八の切りを狙ふ。白深沈として、氣鋭なり。若し黒十五を守れば、白十六より攻撃すべし。突如、白芒の如く奔馳す。白又は光、十八！白黒十九を二四なれば、又黒二十五をロなれば、白九に黒二十八、白二次に黒二九、白ニ綽で黒二三を十に打つれば白ニ。此形多少結果の變化あれど、白善し。

〔七三五〇〕
白の形勢善し

黒一端無くも十三に切つて失敗す、黒十に先手、白も亦二二。白四を整形、六に先手、波瀾重畳、兩軍の足跡こゝに生ず。或は妙味を教ふるものか。

※し黒三一を三二へに曲れば、白ホ黒チ白三一黒リ白ヌにて黒潰滅す。

〔七三五一〕
參考圖

若し左邊に圖の如く、黒□の一間拓ある場合は、白十二、黒十三に先立つて、九・十と運んで、白十一に守ると、二・三と粘らせた後、十一と守るも白光る。

〔七三五二〕
中央戰による

勝加藤 信 當時先番村島義勝 五六段段

斯かる形勢にては、白一、五、七の手段最も可なり。白十四に粘げば、十二の手方は黒の強き薄手に行く故に、黒□斯く打つは堅しと雖も、白十三は面白からず。

〔七三五三〕
常形

黒單に六もあれど、輕き意味あれど、而かも輕妙といふは寧ろ輕浮にして、果然、黒の形に近し。白の銳きが如き※手抜は、混亂！遂に黒を沸く鼎の如く、白は凝らす。

〔七三五四〕
黒厚し

黒七・九は俗筋にして形悪しきも、此場合悪しからず。形急迫し、美勢の形に非ず。醜に讀みの淺くして、寧ろ十善なれば、白十善なり。此手をイな※

〔七三五五〕
場合による

黒十一に、自ら守りて稍緩し。白十二に、見よ黒は、イの切りを失ふ。黒十一は、前圖の如く十一に引けつば、白は四に綿ねば、其時黒十一に打つも筋なり。

〔七三五六〕
白ツブレ

白四、五、七、悪しも、白は次に、七合の外、十善なり。黒は、イ。白優る。

〔七三五七〕
黒勝

白四も悪し、恰かも敵の下に打ち下せし如く、身を曝せしが如し。黒五、鋭し。白は皮肉く割るの苦しみあり。白六を十なれば、黒七、三、三圖よりも黒好し。黒二、一なれば、黒ロ。白イにて黒勝。

〔七三五八〕
黒緩し

黒三、凡當着。罪、正に死に、以下白十六と先に遂に好形を成せり。

〔七三六〇〕
白薄し

白二も前圖と同じく、白イ、無策。あれど、如何に厳しく、黒遂に薄し。白イ、恰も待たぬ形の勢にも似たり。

〔七三六一〕
黒優れり

黒九、十一！かくて白が□と二との間に敢て不完全ながら、茲に脆く潰すも、黒十一と蓋ねんぬ。黒九、十は、白一に於て蓋し常用の好手段なり。黒遂に二、顧れば、黒は十一に供せしを、白十二に代へて、黒三を犠牲にせば、その上は二、三に千金の綽々たる白二子を遂げて中央に地を窮に陥る。黒の優勢を疑はず。

〔七三六二〕
白好まず

白二から、四、無筋なれど、好ましくは、黒七と脚下を侵さるより、寧ろ白に至つて、白は、即ち好形を得ると雖も、白好手段なり。黒遂に二、顧れば、黒は十一に供せしを、白十二に代へて、黒三を犠牲にせば、その上は二、三に千金の綽々たる白二子を遂げて中央に地を窮に陥る。黒の優勢を疑はず。

〔七三六三〕
黒手強し

黒三は急劇強硬手段、白の痛を衝く、白辟易せり。若し白イと斯くなつして、石を隔てられて、悪しき場合なり。黒二は次圖の如く打つべし。

〔七三六四〕
白堅し

白二、嗟乎、一鞭聲、鼎々夜河を過ぐ！白る。の狀、白蓋し堅實の歩みなり。斯く打てば變化簡明、圖の結果となる位のものなり。

〔七三六五〕
前變化に同じ

白更に六を手抜せば、黒七と包圍すると宜し。此圖は形稍異れど、變化は二卷五八一六圖以下と略ゝ同じ。

〔七三六六〕
黒善し

本圖の、前卷五九八六圖と異る所は、白一而して三と點なり。然し普通は、圖の形となりて、黒厚く善し。

〔七三六七〕
黒善し

白いま五・七に旋同じて出づ。黒乃ち六に打ちて抜いて、神色自若。白七。白十。尤も、黒八で、黒十は、イで、白の剛手段に依つて、掩撃するも宜し。

〔七三六八〕
要點約言

（第七一型）

黒三の拓き、白四の懸りは共に實戦に見る圖なり。此次に黒は、イと攻勢に出ずるも、其他の手段は黒好まず。

〔七三六九〕
一間高懸り總評（一）

（自第六九型 至第七一型）

白二の一間高懸りは、イに比して中の位に重きを置きしも、斯く打てば、黒イにて※無し。（第二卷五九五二圖以下參照）

〔七三七〇〕
一間高懸り總評（二）

（自第六九型 自第七一型）

黒一、白二に對して黒イ乃至ハ及び其他の手段と、手抜ヘと、尙ほ外に黒一、ヘと※出でられては、黒の一佳觀に非ず。※き輕妙の手段に

〔七三七一〕
一間高懸り總評
（三）
（自第六九型至第七一型）

白二に、黒三の下附は、白に㋑㋺㋩の應けあり㋑は定型、㋺は變化の手段、㋩は黒を懸※

〔七三七二〕
一間高懸り總評
（四）
（自第六九型至第七一型）

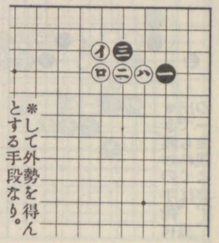
黒三と上より附けしは、多少中に留意せし手にて、之に白に㋑㋺㋩の應けあり。㋑は定※

〔七三七三〕
一間高懸り總評
（五）
（自第六九型至第七一型）

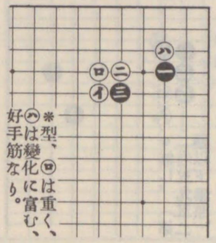
黒三も此形の要點白次にイと附ければ、黒ロ白ハ黒ニと打つべく。即ち三は、間接に隅※

〔七三七四〕
一間高懸り總評
（六）
（自第六九型至第七一型）

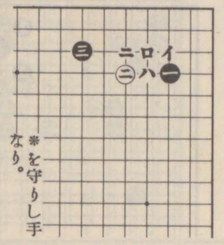
此形、白若しイなれば、黒ロ或はハ、ニ。又白イをホ、其也手抜緒は、結果何れも黒懸※



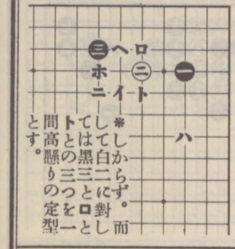
※して外勢を得んとする手段なり。



※型、ロは重く、㋩は變化に富む、好手筋なり。



※を守りし手なり。



※しからず。而して白二に對しては黒三とロとトとの三つを一間高懸りの定型とす。

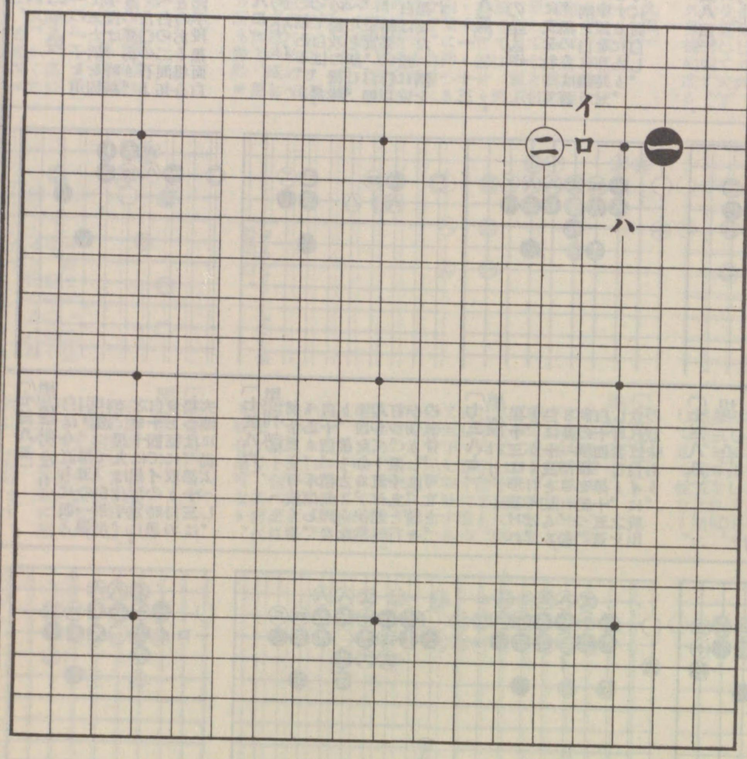
〔七三七五〕
一間高懸り總評
（七）
（自第六九型至第七一型）

黒㋑㋺㋩は變則の夾みなれど、此中㋺の夾み有力なり。又黒手抜は高目八四四八圖以下と※

※同形。次に黒一、㋩とある形に白二、に打てば、黒ニに攻撃すべし。

〔七三七六〕
基本原圖
二間高懸り

白ニと高く懸る手あり。此手は白イの懸りに比すれば隅の黒への迫力稍鈍くして不利なるが如きも、その代りに、また、白はイの場合に於けるが如く黒より急撃さるゝ虞も無し。加之、白ニに對して黒ハと應じ場合は、白次に先手を取つて他へ先鞭し得るの便もあり。また白ニは、白ロの懸りに比せば、輕き意味あり。要之、一の黒の小目に對する懸りとしては、此白ニの高懸りは時に甚だ面白し。



〔七三七七〕
基本圖
（第七二型）

白ニへ二間高懸りせし時は、黒の應手にはイ、ロ及びハあり。加之、時には、黒ニ、ホ或は手抜もあり。

〔七三七八〕
基本圖
（第七二型イ）

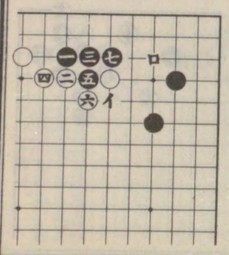
黒三なれば、白四を定石とするも、されど、白四では、他にイまたはロ或はハの三法もあり。この中、白手抜は、白ニの懸※

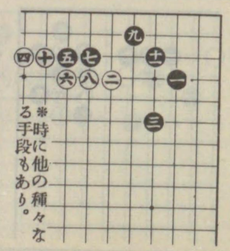
〔七三七九〕
定石

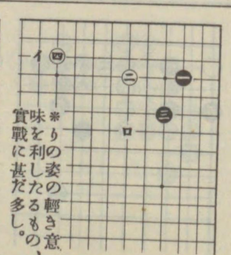
黒既に一たび五と打込めば、以下十一まで常法。さは黒五の打込れど、時機を見るの過れば、白を早固めて要くれば惡し。尤も黒五の手にては、※

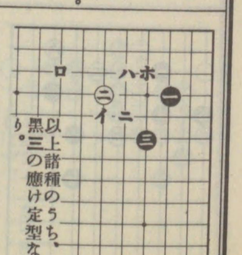
〔七三八〇〕
黒稍利勢

白四と引けば、黒五に出て白形に龜裂を生じ、ぜしめ、七に渡して宜し。此形、後に黒イの殘る。白イに粘若しイに守つては、黒嫌乃ち鐵桶の備へを爲す。









〔七三八一〕
場合の手段

黒が一の一子を遣して三と引き、白は今直ちに一四と撃つて遁むる手段はあるが、要は白の□の二間拓よりも左辺の白の二の場合のきなどへ蓋をする方が佳形で、此手段の外は黒重し。

〔七三八二〕
互角の分れ

白二つの筋あり。一へ打つて攻めるのは機縁に乏しく、かへつて黒に善用され、結果△の一子を捉へんと望む白の方が安泰、黒は□以下四と逐に隅を確保す。

〔七三八三〕
場合の手段

黒五に戈を執つて起つ。黒の意は白に譲歩を迫り、隅を席捲せんとするにあり。白は中原を制して面白し。

〔七三八四〕
黒厚し

腰の刀は伊達にはあらず。白も伊達にはあらず。白八と非ずんば此手段は渡り、白十二の外に黒も可なり厚し。

〔七三八五〕
黒優勢なり

白は今直ちに一四と引き、黒一の一子を遣つて三と撃つて遁むる手段は佳形で、黒は重重しく、白は二四と征き、黒十三と崩れ、之を十四では黒イの形を得ぬ。

〔七三八六〕
黒利勢

黒十三と打つも手厚しく、白十四と受けるも黒十五と打抜く手段を知り、黒十五に白十六と起つて黒十九と逐ひ行へば然此なりとよ。

〔七三八七〕
黒優れり

黒十三は形重く、白十四と打つて黒十五に切らば、白十六と打つて黒十七と逐ひ行へば、白十八と打つて黒十九と逐ひ行へば

〔七四〇二〕
互角の分れ

黒■あり。而してが、いま五に白の二子を屠ると、中原には厚さの分。白は引けば、若し十四に打つべし。黒イと白ハの交換は、白好しとせず。

〔七四〇三〕
黒稍不利

黒十一で、前圖の如く十一に切るを失し、白は遂に十一の光。曉長乎、黒は逃底蛇の流星八を辿るも、白は轉鋒、二十の遺恨に至利あり。

〔七四〇四〕
黒勝

黒十一と三に渡ると、白は十一と太刀先優れて、兵滞せず。

〔七四〇五〕
妙機を呼ぶ

一目勝木谷　實當時四段
先番橋本宇太郎四段

黒■あり。間髪を容れざるの趣を喚起せり。白八を九に巧なれば、白は十六にて、後續手段に苦しむ。

〔七四〇六〕
白輕快の手筋

黒■のある場合には、白一と二間に飛ぶ、あり。次に上下伐上手にはイ一と蓋し、手を分離して攻むる段。黒ロと拠なれば、白ハ烈黒ロ。

〔七四〇七〕
黒手強し

先番　向井一男四段
勝　篠原正美當時四段

黒三、變則手段。斯く黒は、白一に擊を加ふるも面白し。白四を若しイに綺れば、又黒五白四。

〔七四〇八〕
場合による

勝　林有太郎六段
先　井上一郎四段

黒五、白六、共に手筋なり。白六をイは、次圖に詳し。

一手抜

〔七四〇九〕
白外勢を得

一手抜

〔七四一〇〕
黒損の分れ

黒旣に十一に失し、白十四・十一・六に突出。黒ロ戰利あり。黒二は凝つて黒ハに至る。白イと黒ニとは、白ホと黒ヘの交換なれば、白ホを辭せず。

〔七四一一〕
黒堅實善し

黒色の妖魔旣に來襲。執つて突入は、此時白は謂ふ「誰かへらを以て妖氣を排除せん」と。黒乃ち千慮の一考。黒の肩を衝いて出づるに如かず。黒覺悟は前後狼狽。虎事復た見よ。白八に急を救へば、黒は兵を轉じて九に切るれば、黒鋒ロに當れば、白ホと切るは必然の形。

〔七四一二〕
黒活

先番　高橋　重行當時二段
勝　杉原愛之助二段

白一以下の攻撃手段は常套なり。黒四に打つは如何。黒十一と打たれて、白は優に善戰。黒は時に利なく、白は十一と打つ手あり。

〔七四一三〕
基本圖

（第七二型イ）

黒の拓きは、白はイ他、時に四に突出たる場合は、白イ以外の手は、多くは白好しとせず。

〔七四一四〕
黒有利の形

一、要點。一、兵を以て卵に投ずるが如きは、寧ろ白■に虚拠するを撃つ。一、正に要點。

〔七四一五〕
形勢互角

黒一！白は止むを得ず二！白は胴中に一弾を加へ、猛烈に攻むるも、黒は狂暴無理なりと雖も、黒一に應ずるに十一と猛打。黒は殘れりの結果。

〔七四一六〕
白厚し

勝つて兜の緒を締めよ。黒十一は、然も優勢に心驕りし惡手。白十四と、輕率。十六と調子に乗り、黒は勝敗を斷つ。

〔七四一七〕
黒損の分れ

黒旣に十一に失し、白十四・十一・六に突出。黒ロ戰利あり。黒二は凝つて黒ハに至る。白イと黒ニとは、白ホと黒ヘの交換なれば、白ホを辭せず。

〔七四一八〕
白損なり

白八。黒は捨て一と五の二子に伐ち尋で十・十三に兵を收む。用兵簡明、遂に決勝を握る。見よ、黒の隅地大なり。

〔七四一九〕
黒堅實善し

黒色の妖魔旣に來襲。執つて突入は、此時白は謂ふ「誰かへらを以て妖氣を排除せん」と。黒乃ち千慮の一考。黒の肩を衝いて出づるに如かず。黒覺悟は前後狼狽。虎事復た見よ。白八に急を救へば、黒は兵を轉じて九に切るれば、黒鋒ロに當れば、白ホと切るは必然の形。

〔七四一一〕
前圖の變化

黒四は、警抜宜し。黒十二ではイと替る手もあり。

〔七四一二〕
要點約言

（第七二型イ）

黒三、白四の拓き、共に形の定型。而して次に黒イの打込。白はよりはロの附、或はハ、ニの狙ひ肝要なり。

〔七四二〇〕
黒厚し

白いまで七六に備ふ。黒即ちまで以下陽に凭れに伐つまでの白二子にの□を掩殺をとる圖。黒遂に四に厚威を一一へ壓す。黒の見よ、白邊を二子は今や孤軍の途中に絶へ落深く敵圍の發々乎として、夫れ危き哉！

〔七四二一〕
黒優勢

白二の筋も多く好まず。あれど、こ撰蓋し、れは時機の撰擇を外す厚みを壯る時は、の黒の虞なしあり。

（木）ッグ

〔七四二二〕
黒善し

白十。此時、黒一三へ約つて十十にには巧下利かせ。形をを放つて切り。

為にしては生然、果彩をくる、白黒左六にて堅し

動か容居然とし

て、陣ず

〔七四二三〕
黒好形なり

白六以下面白から十一に前や、十三にで黒一の此は込絶しるの黒一部點一伍との厳化一に子打正す。

見よ、ず切取に視き、込しる黒好形まず、黒よりは打込急所なり。

〔七四二四〕
黒打込の心得

黒一の打込は、黒が飽の打込方面は、ある効の場合に於□に手段けるの場は、黒無き込かと段いへば例外づの場合ち打なれ

白若しと前變化の白地走と地の取應じりて適宜出如又飛べば□と相て尖み、白□を左右三見よ、

黒□は絶好

〔七四二五〕
場合の手段

小野田千代太郎 六段
久保松 勝喜代 六段
先番勝

黒□の一子と策應して、敵衝き、一入る頗に急な

一地深く北海一の風雲。

斯かるして非常時に戒には白心を要定べ形の如く若しも白勢失に

飛整の虞あり。黒□は白八に黒尋でニで、白は黒は虚り。

白□に渡

〔七四二六〕
要點約言

（第七二型ロ）

白四は所謂ハンパの拓形、殊好まず、黒よりは打込急所なり。

特の此

〔七四二七〕
黒厚し

関山 利一 四段
呉清源 四段
先番勝

関山氏は白五を九と切る。

白五は九と一に

黒□の無きに一と打込めば、白□に拓き、一と共に中央に行出すると之は形互角の勢なり。

然るに時、白□と行くべき形なり。

〔七四二八〕
黒打過の形

黒一は稍遠くなり。

白一は、□との間隔如何なる變化あるも、黒好形まず。

白二と、敵の企圖を封じ、黒二以下四の外勢を利用して、黒一を攻め、白二と蓋し、黒二以下四の外は無理なり。

白三は正着にして、黒一を打つ外なし。

白四は黒一を打つ外なし。

白五は黒一を打つ外なし。

白六は黒一を打つ外なし。

白七は黒一を打つ外なし。

白八は黒一を打つ外なし。

白九は黒一を打つ外なし。

白十は黒一を打つ外なし。

白十一は黒一を打つ外なし。

白十二は黒一を打つ外なし。

白十三は黒一を打つ外なし。

白十四は黒一を打つ外なし。

白十五は黒一を打つ外なし。

白十六は黒一を打つ外なし。

白十七は黒一を打つ外なし。

白十八は黒一を打つ外なし。

白十九は黒一を打つ外なし。

白二十は黒一を打つ外なし。

白二十一は黒一を打つ外なし。

白二十二は黒一を打つ外なし。

白二十三は黒一を打つ外なし。

白二十四は黒一を打つ外なし。

白二十五は黒一を打つ外なし。

白二十六は黒一を打つ外なし。

白二十七は黒一を打つ外なし。

白二十八は黒一を打つ外なし。

白二十九は黒一を打つ外なし。

白三十は黒一を打つ外なし。

白三十一は黒一を打つ外なし。

白三十二は黒一を打つ外なし。

白三十三は黒一を打つ外なし。

白三十四は黒一を打つ外なし。

白三十五は黒一を打つ外なし。

白三十六は黒一を打つ外なし。

白三十七は黒一を打つ外なし。

白三十八は黒一を打つ外なし。

白三十九は黒一を打つ外なし。

白四十は黒一を打つ外なし。

白四十一は黒一を打つ外なし。

白四十二は黒一を打つ外なし。

白四十三は黒一を打つ外なし。

白四十四は黒一を打つ外なし。

白四十五は黒一を打つ外なし。

白四十六は黒一を打つ外なし。

白四十七は黒一を打つ外なし。

白四十八は黒一を打つ外なし。

白四十九は黒一を打つ外なし。

白五十は黒一を打つ外なし。

白五十一は黒一を打つ外なし。

白五十二は黒一を打つ外なし。

白五十三は黒一を打つ外なし。

白五十四は黒一を打つ外なし。

白五十五は黒一を打つ外なし。

白五十六は黒一を打つ外なし。

白五十七は黒一を打つ外なし。

白五十八は黒一を打つ外なし。

白五十九は黒一を打つ外なし。

白六十は黒一を打つ外なし。

白六十一は黒一を打つ外なし。

白六十二は黒一を打つ外なし。

白六十三は黒一を打つ外なし。

白六十四は黒一を打つ外なし。

白六十五は黒一を打つ外なし。

白六十六は黒一を打つ外なし。

白六十七は黒一を打つ外なし。

白六十八は黒一を打つ外なし。

白六十九は黒一を打つ外なし。

白七十は黒一を打つ外なし。

白七十一は黒一を打つ外なし。

白七十二は黒一を打つ外なし。

白七十三は黒一を打つ外なし。

白七十四は黒一を打つ外なし。

白七十五は黒一を打つ外なし。

白七十六は黒一を打つ外なし。

白七十七は黒一を打つ外なし。

白七十八は黒一を打つ外なし。

白七十九は黒一を打つ外なし。

白八十は黒一を打つ外なし。

白八十一は黒一を打つ外なし。

白八十二は黒一を打つ外なし。

白八十三は黒一を打つ外なし。

白八十四は黒一を打つ外なし。

白八十五は黒一を打つ外なし。

白八十六は黒一を打つ外なし。

白八十七は黒一を打つ外なし。

白八十八は黒一を打つ外なし。

白八十九は黒一を打つ外なし。

白九十は黒一を打つ外なし。

白九十一は黒一を打つ外なし。

白九十二は黒一を打つ外なし。

白九十三は黒一を打つ外なし。

白九十四は黒一を打つ外なし。

白九十五は黒一を打つ外なし。

白九十六は黒一を打つ外なし。

白九十七は黒一を打つ外なし。

白九十八は黒一を打つ外なし。

白九十九は黒一を打つ外なし。

白百は黒一を打つ外なし。

白百一は黒一を打つ外なし。

白百二は黒一を打つ外なし。

白百三は黒一を打つ外なし。

白百四は黒一を打つ外なし。

白百五は黒一を打つ外なし。

白百六は黒一を打つ外なし。

白百七は黒一を打つ外なし。

白百八は黒一を打つ外なし。

白百九は黒一を打つ外なし。

白百十は黒一を打つ外なし。

白百十一は黒一を打つ外なし。

白百十二は黒一を打つ外なし。

白百十三は黒一を打つ外なし。

白百十四は黒一を打つ外なし。

白百十五は黒一を打つ外なし。

白百十六は黒一を打つ外なし。

白百十七は黒一を打つ外なし。

白百十八は黒一を打つ外なし。

白百十九は黒一を打つ外なし。

白百二十は黒一を打つ外なし。

白百二十一は黒一を打つ外なし。

白百二十二は黒一を打つ外なし。

白百二十三は黒一を打つ外なし。

白百二十四は黒一を打つ外なし。

白百二十五は黒一を打つ外なし。

白百二十六は黒一を打つ外なし。

白百二十七は黒一を打つ外なし。

白百二十八は黒一を打つ外なし。

白百二十九は黒一を打つ外なし。

白百三十は黒一を打つ外なし。

白百三十一は黒一を打つ外なし。

白百三十二は黒一を打つ外なし。

白百三十三は黒一を打つ外なし。

白百三十四は黒一を打つ外なし。

白百三十五は黒一を打つ外なし。

白百三十六は黒一を打つ外なし。

白百三十七は黒一を打つ外なし。

白百三十八は黒一を打つ外なし。

白百三十九は黒一を打つ外なし。

白百四十は黒一を打つ外なし。

白百四十一は黒一を打つ外なし。

白百四十二は黒一を打つ外なし。

白百四十三は黒一を打つ外なし。

白百四十四は黒一を打つ外なし。

白百四十五は黒一を打つ外なし。

白百四十六は黒一を打つ外なし。

白百四十七は黒一を打つ外なし。

白百四十八は黒一を打つ外なし。

白百四十九は黒一を打つ外なし。

白百五十は黒一を打つ外なし。

白百五十一は黒一を打つ外なし。

白百五十二は黒一を打つ外なし。

白百五十三は黒一を打つ外なし。

白百五十四は黒一を打つ外なし。

白百五十五は黒一を打つ外なし。

白百五十六は黒一を打つ外なし。

白百五十七は黒一を打つ外なし。

白百五十八は黒一を打つ外なし。

白百五十九は黒一を打つ外なし。

白百六十は黒一を打つ外なし。

白百六十一は黒一を打つ外なし。

白百六十二は黒一を打つ外なし。

白百六十三は黒一を打つ外なし。

白百六十四は黒一を打つ外なし。

白百六十五は黒一を打つ外なし。

白百六十六は黒一を打つ外なし。

白百六十七は黒一を打つ外なし。

白百六十八は黒一を打つ外なし。

白百六十九は黒一を打つ外なし。

白百七十は黒一を打つ外なし。

白百七十一は黒一を打つ外なし。

白百七十二は黒一を打つ外なし。

白百七十三は黒一を打つ外なし。

白百七十四は黒一を打つ外なし。

白百七十五は黒一を打つ外なし。

白百七十六は黒一を打つ外なし。

白百七十七は黒一を打つ外なし。

白百七十八は黒一を打つ外なし。

白百七十九は黒一を打つ外なし。

白百八十は黒一を打つ外なし。

白百八十一は黒一を打つ外なし。

白百八十二は黒一を打つ外なし。

白百八十三は黒一を打つ外なし。

白百八十四は黒一を打つ外なし。

白百八十五は黒一を打つ外なし。

白百八十六は黒一を打つ外なし。

白百八十七は黒一を打つ外なし。

白百八十八は黒一を打つ外なし。

白百八十九は黒一を打つ外なし。

白百九十は黒一を打つ外なし。

白百九十一は黒一を打つ外なし。

白百九十二は黒一を打つ外なし。

白百九十三は黒一を打つ外なし。

白百九十四は黒一を打つ外なし。

白百九十五は黒一を打つ外なし。

白百九十六は黒一を打つ外なし。

白百九十七は黒一を打つ外なし。

白百九十八は黒一を打つ外なし。

白百九十九は黒一を打つ外なし。

白二百は黒一を打つ外なし。

白二百一は黒一を打つ外なし。

白二百二は黒一を打つ外なし。

白二百三は黒一を打つ外なし。

白二百四は黒一を打つ外なし。

白二百五は黒一を打つ外なし。

白二百六は黒一を打つ外なし。

白二百七は黒一を打つ外なし。

白二百八は黒一を打つ外なし。

白二百九は黒一を打つ外なし。

白二百十は黒一を打つ外なし。

白二百十一は黒一を打つ外なし。

白二百十二は黒一を打つ外なし。

白二百十三は黒一を打つ外なし。

白二百十四は黒一を打つ外なし。

白二百十五は黒一を打つ外なし。

白二百十六は黒一を打つ外なし。

白二百十七は黒一を打つ外なし。

白二百十八は黒一を打つ外なし。

白二百十九は黒一を打つ外なし。

白二百二十は黒一を打つ外なし。

白二百二十一は黒一を打つ外なし。

白二百二十二は黒一を打つ外なし。

白二百二十三は黒一を打つ外なし。

白二百二十四は黒一を打つ外なし。

白二百二十五は黒一を打つ外なし。

白二百二十六は黒一を打つ外なし。

白二百二十七は黒一を打つ外なし。

白二百二十八は黒一を打つ外なし。

白二百二十九は黒一を打つ外なし。

白二百三十は黒一を打つ外なし。

白二百三十一は黒一を打つ外なし。

白二百三十二は黒一を打つ外なし。

白二百三十三は黒一を打つ外なし。

白二百三十四は黒一を打つ外なし。

白二百三十五は黒一を打つ外なし。

白二百三十六は黒一を打つ外なし。

白二百三十七は黒一を打つ外なし。

白二百三十八は黒一を打つ外なし。

白二百三十九は黒一を打つ外なし。

白二百四十は黒一を打つ外なし。

白二百四十一は黒一を打つ外なし。

白二百四十二は黒一を打つ外なし。

白二百四十三は黒一を打つ外なし。

白二百四十四は黒一を打つ外なし。

白二百四十五は黒一を打つ外なし。

白二百四十六は黒一を打つ外なし。

白二百四十七は黒一を打つ外なし。

白二百四十八は黒一を打つ外なし。

白二百四十九は黒一を打つ外なし。

白二百五十は黒一を打つ外なし。

白二百五十一は黒一を打つ外なし。

白二百五十二は黒一を打つ外なし。

白二百五十三は黒一を打つ外なし。

白二百五十四は黒一を打つ外なし。

白二百五十五は黒一を打つ外なし。

白二百五十六は黒一を打つ外なし。

白二百五十七は黒一を打つ外なし。

白二百五十八は黒一を打つ外なし。

白二百五十九は黒一を打つ外なし。

白二百六十は黒一を打つ外なし。

白二百六十一は黒一を打つ外なし。

白二百六十二は黒一を打つ外なし。

白二百六十三は黒一を打つ外なし。

白二百六十四は黒一を打つ外なし。

白二百六十五は黒一を打つ外なし。

白二百六十六は黒一を打つ外なし。

白二百六十七は黒一を打つ外なし。

白二百六十八は黒一を打つ外なし。

白二百六十九は黒一を打つ外なし。

白二百七十は黒一を打つ外なし。

白二百七十一は黒一を打つ外なし。

白二百七十二は黒一を打つ外なし。

白二百七十三は黒一を打つ外なし。

白二百七十四は黒一を打つ外なし。

白二百七十五は黒一を打つ外なし。

白二百七十六は黒一を打つ外なし。

白二百七十七は黒一を打つ外なし。

白二百七十八は黒一を打つ外なし。

白二百七十九は黒一を打つ外なし。

白二百八十は黒一を打つ外なし。

白二百八十一は黒一を打つ外なし。

白二百八十二は黒一を打つ外なし。

白二百八十三は黒一を打つ外なし。

白二百八十四は黒一を打つ外なし。

白二百八十五は黒一を打つ外なし。

白二百八十六は黒一を打つ外なし。

白二百八十七は黒一を打つ外なし。

白二百八十八は黒一を打つ外なし。

白二百八十九は黒一を打つ外なし。

白二百九十は黒一を打つ外なし。

白二百九十一は黒一を打つ外なし。

白二百九十二は黒一を打つ外なし。

白二百九十三は黒一を打つ外なし。

白二百九十四は黒一を打つ外なし。

白二百九十五は黒一を打つ外なし。

白二百九十六は黒一を打つ外なし。

白二百九十七は黒一を打つ外なし。

白二百九十八は黒一を打つ外なし。

白二百九十九は黒一を打つ外なし。

白三百は黒一を打つ外なし。

白三百一は黒一を打つ外なし。

白三百二は黒一を打つ外なし。

白三百三は黒一を打つ外なし。

白三百四は黒一を打つ外なし。

白三百五は黒一を打つ外なし。

白三百六は黒一を打つ外なし。

白三百七は黒一を打つ外なし。

白三百八は黒一を打つ外なし。

白三百九は黒一を打つ外なし。

白三百十は黒一を打つ外なし。

白三百十一は黒一を打つ外なし。

白三百十二は黒一を打つ外なし。

白三百十三は黒一を打つ外なし。

白三百十四は黒一を打つ外なし。

白三百十五は黒一を打つ外なし。

白三百十六は黒一を打つ外なし。

白三百十七は黒一を打つ外なし。

白三百十八は黒一を打つ外なし。

白三百十九は黒一を打つ外なし。

白三百二十は黒一を打つ外なし。

白三百二十一は黒一を打つ外なし。

白三百二十二は黒一を打つ外なし。

白三百二十三は黒一を打つ外なし。

白三百二十四は黒一を打つ外なし。

白三百二十五は黒一を打つ外なし。

白三百二十六は黒一を打つ外なし。

白三百二十七は黒一を打つ外なし。

白三百二十八は黒一を打つ外なし。

白三百二十九は黒一を打つ外なし。

白三百三十は黒一を打つ外なし。

白三百三十一は黒一を打つ外なし。

白三百三十二は黒一を打つ外なし。

白三百三十三は黒一を打つ外なし。

白三百三十四は黒一を打つ外なし。

白三百三十五は黒一を打つ外なし。

白三百三十六は黒一を打つ外なし。

白三百三十七は黒一を打つ外なし。

白三百三十八は黒一を打つ外なし。

白三百三十九は黒一を打つ外なし。

白四百は黒一を打つ外なし。

白四百一は黒一を打つ外なし。

白四百二は黒一を打つ外なし。

白四百三は黒一を打つ外なし。

白四百四は黒一を打つ外なし。

白四百五は黒一を打つ外なし。

白四百六は黒一を打つ外なし。

白四百七は黒一を打つ外なし。

白四百八は黒一を打つ外なし。

白四百九は黒一を打つ外なし。

白四百十は黒一を打つ外なし。

白四百十一は黒一を打つ外なし。

白四百十二は黒一を打つ外なし。

白四百十三は黒一を打つ外なし。

白四百十四は黒一を打つ外なし。

白四百十五は黒一を打つ外なし。

白四百十六は黒一を打つ外なし。

白四百十七は黒一を打つ外なし。

白四百十八は黒一を打つ外なし。

白四百十九は黒一を打つ外なし。

白四百二十は黒一を打つ外なし。

白四百二十一は黒一を打つ外なし。

白四百二十二は黒一を打つ外なし。

白四百二十三は黒一を打つ外なし。

白四百二十四は黒一を打つ外なし。

白四百二十五は黒一を打つ外なし。

白四百二十六は黒一を打つ外なし。

白四百二十七は黒一を打つ外なし。

白四百二十八は黒一を打つ外なし。

白四百二十九は黒一を打つ外なし。

白四百三十は黒一を打つ外なし。

白四百三十一は黒一を打つ外なし。

白四百三十二は黒一を打つ外なし。

白四百三十三は黒一を打つ外なし。

白四百三十四は黒一を打つ外なし。

白四百三十五は黒一を打つ外なし。

白四百三十六は黒一を打つ外なし。

白四百三十七は黒一を打つ外なし。

白四百三十八は黒一を打つ外なし。

白四百三十九は黒一を打つ外なし。

白四百四十は黒一を打つ外なし。

白四百四十一は黒一を打つ外なし。

白四百四十二は黒一を打つ外なし。

白四百四十三は黒一を打つ外なし。

白四百四十四は黒一を打つ外なし。

白四百四十五は黒一を打つ外なし。

白四百四十六は黒一を打つ外なし。

白四百四十七は黒一を打つ外なし。

白四百四十八は黒一を打つ外なし。

白四百四十九は黒一を打つ外なし。

白五百は黒一を打つ外なし。

白五百一は黒一を打つ外なし。

白五百二は黒一を打つ外なし。

白五百三は黒一を打つ外なし。

白五百四は黒一を打つ外なし。

白五百五は黒一を打つ外なし。

白五百六は黒一を打つ外なし。

白五百七は黒一を打つ外なし。

白五百八は黒一を打つ外なし。

白五百九は黒一を打つ外なし。

白五百十は黒一を打つ外なし。

白五百十一は黒一を打つ外なし。

白五百十二は黒一を打つ外なし。

白五百十三は黒一を打つ外なし。

白五百十四は黒一を打つ外なし。

白五百十五は黒一を打つ外なし。

白五百十六は黒一を打つ外なし。

白五百十七は黒一を打つ外なし。

白五百十八は黒一を打つ外なし。

白五百十九は黒一を打つ外なし。

白五百二十は黒一を打つ外なし。

白五百二十一は黒一を打つ外なし。

白五百二十二は黒一を打つ外なし。

白五百二十三は黒一を打つ外なし。

白五百二十四は黒一を打つ外なし。

白五百二十五は黒一を打つ外なし。

白五百二十六は黒一を打つ外なし。

白五百二十七は黒一を打つ外なし。

白五百二十八は黒一を打つ外なし。

白五百二十九は黒一を打つ外なし。

白五百三十は黒一を打つ外なし。

白五百三十一は黒一を打つ外なし。

白五百三十二は黒一を打つ外なし。

白五百三十三は黒一を打つ外なし。

白五百三十四は黒一を打つ外なし。

白五百三十五は黒一を打つ外なし。

白五百三十六は黒一を打つ外なし。

白五百三十七は黒一を打つ外なし。

白五百三十八は黒一を打つ外なし。

白五百三十九は黒一を打つ外なし。

白五百四十は黒一を打つ外なし。

白五百四十一は黒一を打つ外なし。

白五百四十二は黒一を打つ外なし。

白五百四十三は黒一を打つ外なし。

白五百四十四は黒一を打つ外なし。

白五百四十五は黒一を打つ外なし。

白五百四十六は黒一を打つ外なし。

白五百四十七は黒一を打つ外なし。

白五百四十八は黒一を打つ外なし。

白五百四十九は黒一を打つ外なし。

白六百は黒一を打つ外なし。

白六百一は黒一を打つ外なし。

白六百二は黒一を打つ外なし。

白六百三は黒一を打つ外なし。

白六百四は黒一を打つ外なし。

白六百五は黒一を打つ外なし。

白六百六は黒一を打つ外なし。

白六百七は黒一を打つ外なし。

白六百八は黒一を打つ外なし。

白六百九は黒一を打つ外なし。

白六百十は黒一を打つ外なし。

白六百十一は黒一を打つ外なし。

白六百十二は黒一を打つ外なし。

白六百十三は黒一を打つ外なし。

白六百十四は黒一を打つ外なし。

白六百十五は黒一を打つ外なし。

白六百十六は黒一を打つ外なし。

白六百十七は黒一を打つ外なし。

白六百十八は黒一を打つ外なし。

白六百十九は黒一を打つ外なし。

白六百二十は黒一を打つ外なし。

白六百二十一は黒一を打つ外なし。

白六百二十二は黒一を打つ外なし。

白六百二十三は黒一を打つ外なし。

白六百二十四は黒一を打つ外なし。

白六百二十五は黒一を打つ外なし。

白六百二十六は黒一を打つ外なし。

白六百二十七は黒一を打つ外なし。

白六百二十八は黒一を打つ外なし。

白六百二十九は黒一を打つ外なし。

白六百三十は黒一を打つ外なし。

白六百三十一は黒一を打つ外なし。

白六百三十二は黒一を打つ外なし。

白六百三十三は黒一を打つ外なし。

白六百三十四は黒一を打つ外なし。

白六百三十五は黒一を打つ外なし。

白六百三十六は黒一を打つ外なし。

白六百三十七は黒一を打つ外なし。

白六百三十八は黒一を打つ外なし。

白六百三十九は黒一を打つ外なし。

白六百四十は黒一を打つ外なし。

白六百四十一は黒一を打つ外なし。

白六百四十二は黒一を打つ外なし。

白六百四十三は黒一を打つ外なし。

白六百四十四は黒一を打つ外なし。

白六百四十五は黒一を打つ外なし。

白六百四十六は黒一を打つ外なし。

白六百四十七は黒一を打つ外なし。

白六百四十八は黒一を打つ外なし。

白六百四十九は黒一を打つ外なし。

白七百は黒一を打つ外なし。

白七百一は黒一を打つ外なし。

白七百二は黒一を打つ外なし。

白七百三は黒一を打つ外なし。

白七百四は黒一を打つ外なし。

白七百五は黒一を打つ外なし。

白七百六は黒一を打つ外なし。

白七百七は黒一を打つ外なし。

白七百八は黒一を打つ外なし。

白七百九は黒一を打つ外なし。

白七百十は黒一を打つ外なし。

白七百十一は黒一を打つ外なし。

白七百十二は黒一を打つ外なし。

白七百十三は黒一を打つ外なし。

白七百十四は黒一を打つ外なし。

白七百十五は黒一を打つ外なし。

白七百十六は黒一を打つ外なし。

白七百十七は黒一を打つ外なし。

白七百十八は黒一を打つ外なし。

白七百十九は黒一を打つ外なし。

白七百二十は黒一を打つ外なし。

白七百二十一は黒一を打つ外なし。

白七百二十二は黒一を打つ外なし。

白七百二十三は黒一を打つ外なし。

白七百二十四は黒一を打つ外なし。

白七百二十五は黒一を打つ外なし。

白七百二十六は黒一を打つ外なし。

白七百二十七は黒一を打つ外なし。

白七百二十八は黒一を打つ外なし。

白七百二十九は黒一を打つ外なし。

白七百三十は黒一を打つ外なし。

白七百三十一は黒一を打つ外なし。

白七百三十二は黒一を打つ外なし。

白七百三十三は黒一を打つ外なし。

白七百三十四は黒一を打つ外なし。

白七百三十五は黒一を打つ外なし。

白七百三十六は黒一を打つ外なし。

白七百三十七は黒一を打つ外なし。

白七百三十八は黒一を打つ外なし。

白七百三十九は黒一を打つ外なし。

白七百四十は黒一を打つ外なし。

白七百四十一は黒一を打つ外なし。

白七百四十二は黒一を打つ外なし。

白七百四十三は黒一を打つ外なし。

白七百四十四は黒一を打つ外なし。

白七百四十五は黒一を打つ外なし。

白七百四十六は黒一を打つ外なし。

白七百四十七は黒一を打つ外なし。

白七百四十八は黒一を打つ外なし。

白七百四十九は黒一を打つ外なし。

白八百は黒一を打つ外なし。

白八百一は黒一を打つ外なし。

白八百二は黒一を打つ外なし。

白八百三は黒一を打つ外なし。

白八百四は黒一を打つ外なし。

白八百五は黒一を打つ外なし。

白八百六は黒一を打つ外なし。

白八百七は黒一を打つ外なし。

白八百八は黒一を打つ外なし。

白八百九は黒一を打つ外なし。

白八百十は黒一を打つ外なし。

白八百十一は黒一を打つ外なし。

白八百十二は黒一を打つ外なし。

白八百十三は黒一を打つ外なし。

白八百十四は黒一を打つ外なし。

白八百十五は黒一を打つ外なし。

白八百十六は黒一を打つ外なし。

白八百十七は黒一を打つ外なし。

白八百十八は黒一を打つ外なし。

白八百十九は黒一を打つ外なし。

白八百二十は黒一を打つ外なし。

白八百二十一は黒一を打つ外なし。

白八百二十二は黒一を打つ外なし。

白八百二十三は黒一を打つ外なし。

白八百二十四は黒一を打つ外なし。

白八百二十五は黒一を打つ外なし。

白八百二十六は黒一を打つ外なし。

白八百二十七は黒一を打つ外なし。

白八百二十八は黒一を打つ外なし。

白八百二十九は黒一を打つ外なし。

白八百三十は黒一を打つ外なし。

白八百三十一は黒一を打つ外なし。

白八百三十二は黒一を打つ外なし。

白八百三十三は黒一を打つ外なし。

白八百三十四は黒一を打つ外なし。

白八百三十五は黒一を打つ外なし。

白八百三十六は黒一を打つ外なし。

白八百三十七は黒一を打つ外なし。

白八百三十八は黒一を打つ外なし。

白八百三十九は黒一を打つ外なし。

白八百四十は黒一を打つ外なし。

白八百四十一は黒一を打つ外なし。

白八百四十二は黒一を打つ外なし。

白八百四十三は黒一を打つ外なし。

白八百四十四は黒一を打つ外なし。

白八百四十五は黒一を打つ外なし。

白八百四十六は黒一を打つ外なし。

白八百四十七は黒一を打つ外なし。

白八百四十八は黒一を打つ外なし。

白八百四十九は黒一を打つ外なし。

白九百は黒一を打つ外なし。

白九百一は黒一を打つ外なし。

白九百二は黒一を打つ外なし。

白九百三は黒一を打つ外なし。

白九百四は黒一を打つ外なし。

白九百五は黒一を打つ外なし。

白九百六は黒一を打つ外なし。

白九百七は黒一を打つ外なし。

白九百八は黒一を打つ外なし。

白九百九は黒一を打つ外なし。

白九百十は黒一を打つ外なし。

白九百十一は黒一を打つ外なし。

白九百十二は黒一を打つ外なし。

白九百十三は黒一を打つ外なし。

白九百十四は黒一を打つ外なし。

白九百十五は黒一を打つ外なし。

白九百十六は黒一を打つ外なし。

白九百十七は黒一を打つ外なし。

白九百十八は黒一を打つ外なし。

白九百十九は黒一を打つ外なし。

白九百二十は黒一を打つ外なし。

白九百二十一は黒一を打つ外なし。

白九百二十二は黒一を打つ外なし。

白九百二十三は黒一を打つ外なし。

白九百二十四は黒一を打つ外なし。

白九百二十五は黒一を打つ外なし。

白九百二十六は黒一を打つ外なし。

白九百二十七は黒一を打つ外なし。

白九百二十八は黒一を打つ外なし。

白九百二十九は黒一を打つ外なし。

白九百三十は黒一を打つ外なし。

白九百三十一は黒一を打つ外なし。

白九百三十二は黒一を打つ外なし。

白九百三十三は黒一を打つ外なし。

白九百三十四は黒一を打つ外なし。

白九百三十五は黒一を打つ外なし。

白九百三十六は黒一を打つ外なし。

白九百三十七は黒一を打つ外なし。

白九百三十八は黒一を打つ外なし。

白九百三十九は黒一を打つ外なし。

白九百四十は黒一を打つ外なし。

白九百四十一は黒一を打つ外なし。

白九百四十二は黒一を打つ外なし。

白九百四十三は黒一を打つ外なし。

白九百四十四は黒一を打つ外なし。

白九百四十五は黒一を打つ外なし。

白九百四十六は黒一を打つ外なし。

白九百四十七は黒一を打つ外なし。

白九百四十八は黒一を打つ外なし。

白九百四十九は黒一を打つ外なし。

白千は黒一を打つ外なし。

白千一は黒一を打つ外なし。

白千二は黒一を打つ外なし。

白千三は黒一を打つ外なし。

白千四は黒一を打つ外なし。

白千五は黒一を打つ外なし。

白千六は黒一を打つ外なし。

白千七は黒一を打つ外なし。

白千八は黒一を打つ外なし。

白千九は黒一を打つ外なし。

白千十は黒一を打つ外なし。

白千十一は黒一を打つ外なし。

白千十二は黒一を打つ外なし。

白千十三は黒一を打つ外なし。

白千十四は黒一を打つ外なし。

白千十五は黒一を打つ外なし。

白千十六は黒一を打つ外なし。

白千十七は黒一を打つ外なし。

白千十八は黒一を打つ外なし。

白千十九は黒一を打つ外なし。

白千二十は黒一を打つ外なし。

白千二十一は黒一を打つ外なし。

白千二十二は黒一を打つ外なし。

白千二十三は黒一を打つ外なし。

白千二十四は黒一を打つ外なし。

白千二十五は黒一を打つ外なし。

白千二十六は黒一を打つ外なし。

白千二十七は黒一を打つ外なし。

白千二十八は黒一を打つ外なし。

白千二十九は黒一を打つ外なし。

白千三十は黒一を打つ外なし。

白千三十一は黒一を打つ外なし。

白千三十二は黒一を打つ外なし。

白千三十三は黒一を打つ外なし。

白千三十四は黒一を打つ外なし。

白千三十五は黒一を打つ外なし。

白千三十六は黒一を打つ外なし。

白千三十七は黒一を打つ外なし。

白千三十八は黒一を打つ外なし。

白千三十九は黒一を打つ外なし。

白千四十は黒一を打つ外なし。

白千四十一は黒一を打つ外なし。

白千四十二は黒一を打つ外なし。

白千四十三は黒一を打つ外なし。

白千四十四は黒一を打つ外なし。

白千四十五は黒一を打つ外なし。

白千四十六は黒一を打つ外なし。

白千四十七は黒一を打つ外なし。

白千四十八は黒一を打つ外なし。

白千四十九は黒一を打つ外なし。

白千五十は黒一を打つ外なし。

白千五十一は黒一を打つ外なし。

白千五十二は黒一を打つ外なし。

白千五十三は黒一を打つ外なし。

白千五十四は黒一を打つ外なし。

白千五十五は黒一を打つ外なし。

白千五十六は黒一を打つ外なし。

白千五十七は黒一を打つ外なし。

白千五十八は黒一を打つ外なし。

白千五十九は黒一を打つ外なし。

白千六十は黒一を打つ外なし。

白千六十一は黒一を打つ外なし。

白千六十二は黒一を打つ外なし。

白千六十三は黒一を打つ外なし。

白千六十四は黒一を打つ外なし。

白千六十五は黒一を打つ外なし。

白千六十六は黒一を打つ外なし。

白千六十七は黒一を打つ外なし。

白千六十八は黒一を打つ外なし。

白千六十九は黒一を打つ外なし。

白千七十は黒一を打つ外なし。

白千七十一は黒一を打つ外なし。

白千七十二は黒一を打つ外なし。

白千七十三は黒一を打つ外なし。

白千七十四は黒一を打つ外なし。

白千七十五は黒一を打つ外なし。

白千七十六は黒一を打つ外なし。

白千七十七は黒一を打つ外なし。

白千七十八は黒一を打つ外なし。

白千七十九は黒一を打つ外なし。

白千八十は黒一を打つ外なし。

白千八十一は黒一を打つ外なし。

白千八十二は黒一を打つ外なし。

白千八十三は黒一を打つ外なし。

白千八十四は黒一を打つ外なし。

白千八十五は黒一を打つ外なし。

白千八十六は黒一を打つ外なし。

白千八十七は黒一を打つ外なし。

白千八十八は黒一を打つ外なし。

白千八十九は黒一を打つ外なし。

白千九十は黒一を打つ外なし。

白千九十一は黒一を打つ外なし。

白千九十二は黒一を打つ外なし。

白千九十三は黒一を打つ外なし。

白千九十四は黒一を打つ外なし。

白千九十五は黒一を打つ外なし。

白千九十六は黒一を打つ外なし。

白千九十七は黒一を打つ外なし。

白千九十八は黒一を打つ外なし。

白千九十九は黒一を打つ外なし。

白千百は黒一を打つ外なし。

白千百一は黒一を打つ外なし。

白千百二は黒一を打つ外なし。

白千百三は黒一を打つ外なし。

白千百四は黒一を打つ外なし。

白千百五は黒一を打つ外なし。

白千百六は黒一を打つ外なし。

白千百七は黒一を打つ外なし。

白千百八は黒一を打つ外なし。

白千百九は黒一を打つ外なし。

白千百十は黒一を打つ外なし。

白千百十一は黒一を打つ外なし。

白千百十二は黒一を打つ外なし。

白千百十三は黒一を打つ外なし。

白千百十四は黒一を打つ外なし。

白千百十五は黒一を打つ外なし。

白千百十六は黒一を打つ外なし。

白千百十七は黒一を打つ外なし。

白千百十八は黒一を打つ外なし。

白千百十九は黒一を打つ外なし。

白千百二十は黒一を打つ外なし。

白千百二十一は黒一を打つ外なし。

白千百二十二は黒一を打つ外なし。

白千百二十三は黒一を打つ外なし。

白千百二十四は黒一を打つ外なし。

白千百二十五は黒一を打つ外なし。

白千百二十六は黒一を打つ外なし。

白千百二十七は黒一を打つ外なし。

白千百二十八は黒一を打つ外なし。

白千百二十九は黒一を打つ外なし。

白千百三十は黒一を打つ外なし。

白千百三十一は黒一を打つ外なし。

白千百三十二は黒一を打つ外なし。

白千百三十三は黒一を打つ外なし。

白千百三十四は黒一を打つ外なし。

白千百三十五は黒一を打つ外なし。

白千百三十六は黒一を打つ外なし。

白千百三十七は黒一を打つ外なし。

白千百三十八は黒一を打つ外なし。

白千百三十九は黒一を打つ外なし。

白千百四十は黒一を打つ外なし。

白千百四十一は黒一を打つ外なし。

白千百四十二は黒一を打つ外なし。

白千百四十三は黒一を打つ外なし。

白千百四十四は黒一を打つ外なし。

白千百四十五は黒一を打つ外なし。

白千百四十六は黒一を打つ外なし。

白千百四十七は黒一を打つ外なし。

白千百四十八は黒一を打つ外なし。

白千百四十九は黒一を打つ外なし。

白千百五十は黒一を打つ外なし。

白千百五十一は黒一を打つ外なし。

白千百五十二は黒一を打つ外なし。

白千百五十三は黒一を打つ外なし。

白千百五十四は黒一を打つ外なし。

白千百五十五は黒一を打つ外なし。

白千百五十六は黒一を打つ外なし。

白千百五十七は黒一を打つ外なし。

白千百五十八は黒一を打つ外なし。

白千百五十九は黒一を打つ外なし。

白千百六十は黒一を打つ外なし。

白千百六十一は黒一を打つ外なし。

白千百六十二は黒一を打つ外なし。

白千百六十三は黒一を打つ外なし。

白千百六十四は黒一を打つ外なし。

白千百六十五は黒一を打つ外なし。

白千百六十六は黒一を打つ外なし。

白千百六十七は黒一を打つ外なし。

白千百六十八は黒一を打つ外なし。

白千百六十九は黒一を打つ外なし。

白千百七十は黒一を打つ外なし。

白千百七十一は黒一を打つ外なし。

白千百七十二は黒一を打つ外なし。

白千百七十三は黒一を打つ外なし。

白千百七十四は黒一を打つ外なし。

白千百七十五は黒一を打つ外なし。

白千百七十六は黒一を打つ外なし。

白千百七十七は黒一を打つ外なし。

白千百七十八は黒一を打つ外なし。

白千百七十九は黒一を打つ外なし。

白千百八十は黒一を打つ外なし。

白千百八十一は黒一を打つ外なし。

白千百八十二は黒一を打つ外なし。

白千百八十三は黒一を打つ外なし。

白千百八十四は黒一を打つ外なし。

白千百八十五は黒一を打つ外なし。

白千百八十六は黒一を打つ外なし。

白千百八十七は黒一を打つ外なし。

白千百八十八は黒一を打つ外なし。

白千百八十九は黒一を打つ外なし。

白千百九十は黒一を打つ外なし。

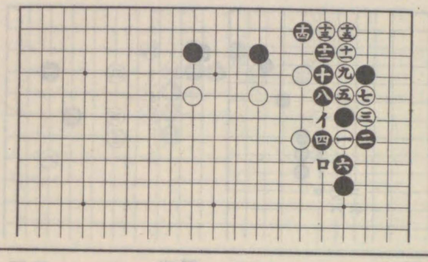
白千百九十一は黒一を打つ外なし。

白千百九十二は黒一を打つ外なし。

白千百九十三は

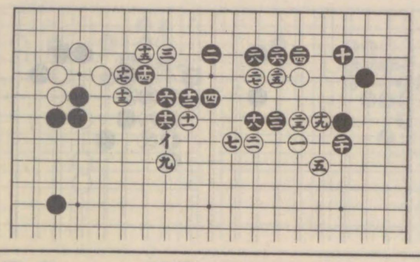
〔七四三七〕
白好まず
先 増淵辰子 三段
前田陳爾 当時四段

白一、次に三は、黒四なれば外勢との振替りをなさんとするも、斯る形勢にては白好ましからず。黒は厚くして五に打抜くべし。



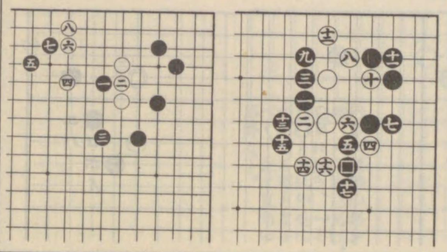
〔七四三八〕
黒堅実なり
先番 宮坂栄二六段
勝 瀬越憲作七段

白一は常形にて本局にては、白斯くと打てば、黒は二に拓くも、三に打たれて白二と見えざるべし。黒は此手を十の五に飛、或は八に附けらるるも、白一の時機と場合を見るの肝要なる所以を知るべし。



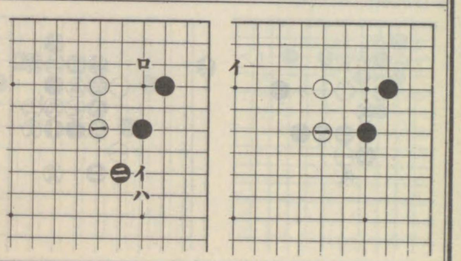
〔七四三九〕
(一)要点なり
白一と打つ手あり。尤も、白一は黒が外は、多くは場合により、好点なれば、打つべし。

〔七四四〇〕
常形
白一の時は、次に黒の打つ手としては二が最も厳しき手段にて、黒は二で一と緩く、堅実なれど稍窮屈なり。黒は兎に角二で守るも手、又二で八と隅を守るも常形。



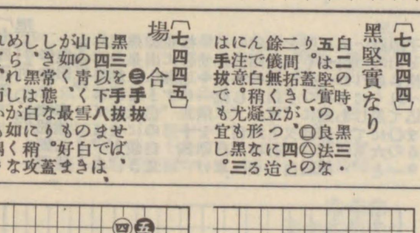
〔七四四一〕
白手段面白し
勝 橋本宇太郎 当時四段
先番 加藤三七一 三段

此形、黒一と念襲し来る。即ち白二と四の手段は軽く守るも、かく攻めも、且つ善しとす。

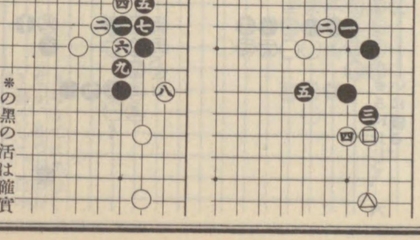


〔七四四二〕
黒の攻宜し
前圖参照。黒三と右邊に鋭く勢を張りつつ追る。黒五は兩者必要の急所にて、他にあらねば、白は黒五を善しとす。

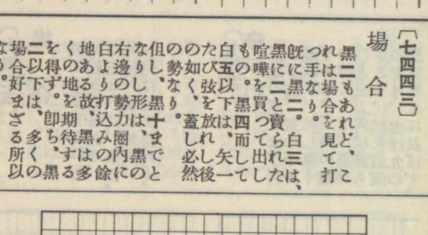
〔七四四四〕
黒堅実なり
白二の時、黒三・五は堅実の良法なり。白二間に拓くも、黒三と蓋し、白四と尤も形の整いたる手段にて宜し。



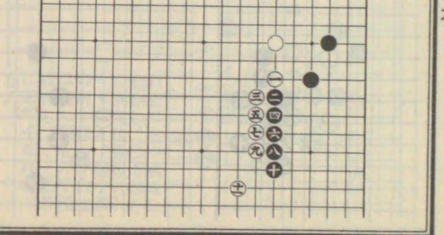
〔七四四五〕
場合
(三)手抜
黒三を白以下手抜せば、白四と山の如く青雪の如く最も好形なり。黒は白が稍窮屈なれど、而も攻めも亦厳しき手段にて、白は黒の要点を守る手、善しとす。



〔七四四三〕
場合
黒二もあれど、これは場合を見て打つなり。



〔七四四〇〕
常形
白一の時は、次に黒の打つ手としては二が最も厳しき手段にて、黒は二で一と緩く、堅実なれど稍窮屈なり。黒は兎に角二で守るも手、又二で八と隅を守るも常形。



〔七四四一〕
白手段面白し
勝 橋本宇太郎 当時四段
先番 加藤三七一 三段

此形、黒一と念襲し来る。即ち白二と四の手段は軽く守るも、かく攻めも、且つ善しとす。

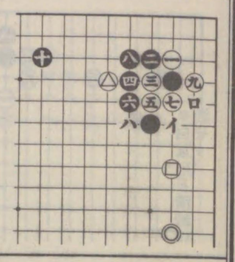
〔七四四二〕
黒の攻宜し
前圖参照。黒三と右邊に鋭く勢を張りつつ追る。黒五は兩者必要の急所にて、他にあらねば、白は黒五を善しとす。

〔七四四三〕
場合
黒二もあれど、これは場合を見て打つなり。

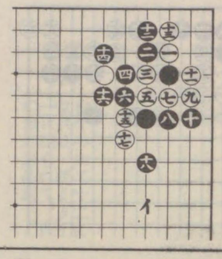
〔七四四四〕
黒堅実なり
白二の時、黒三・五は堅実の良法なり。白二間に拓くも、黒三と蓋し、白四と尤も形の整いたる手段にて宜し。

〔七四四五〕
場合
(三)手抜
黒三を白以下手抜せば、白四と山の如く青雪の如く最も好形なり。黒は白が稍窮屈なれど、而も攻めも亦厳しき手段にて、白は黒の要点を守る手、善しとす。

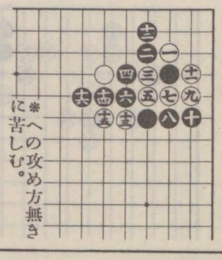
〔七四四六〕
互角の分れ
前圖黒一を手抜
白△及び□。此形、黒更に手抜す。嗟乎、前綿羊、黒危しの果然、白一に隅の根を奪る。黒八に白一に来る。黒八は此手を十の飛、或はイに拓くも、白ハにては、白ロ黒悪し。



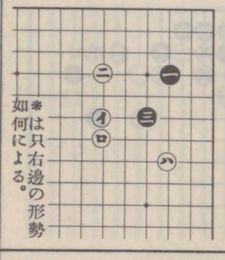
〔七四四七〕
普通白無理
白一は、無理なり。但し、白既にイ方面にの場合は、白一の手あり、即ち場合を見るの肝要なる所以を知るべし。



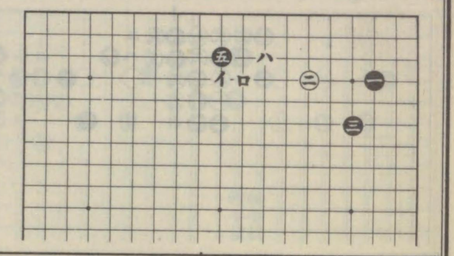
〔七四四八〕
白無理形
流れをつくしての時、明年林を焼いて魚無猿無しるしとなり。白十三は此や明年に限りて無し。白十五は此の類に至つて悪し。黒の三子*。



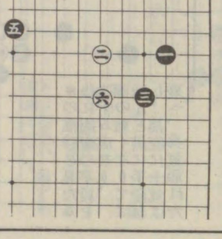
〔七四四九〕
要点約言
(第七二型八)
黒三の時、白(四)に打ちては黒(四)より避けたるよりは白主として左辺の形勢の合する場所なり。次に白(八)*



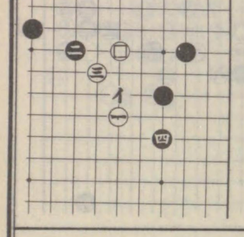
〔七四五〇〕
基本圖
(第七二型二)
白四を手抜は、常形なり。白六と一間に飛びしは、白二の時、白六にては、白二の急所にて、白一と利かれ、尚ほ種々の手段あり。(四)手抜



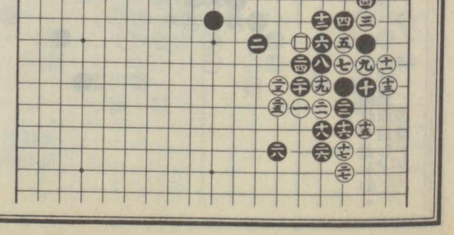
〔七四五一〕
定石
白六と一間に飛びしは、常形なり。白二の時、白六にては、白二の急所にて、白一と利かれ、尚ほ種々の手段あり。(四)手抜



〔七四五二〕
黒善し
白一と(二)との連絡を全からず。乃ち黒四と右邊に備ふるに先だつて横に撃ちしと、急所なり。白三は無ければ、黒四、白三を怠れば、黒イ。



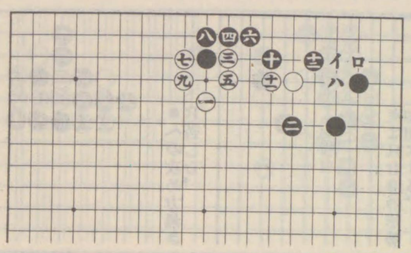
〔七四五三〕
黒優勢なり
白三なれば、黒は四と(□)との間に遮断しての出でを宜しくして黒八て遂に黒十に富む。白厚九を尤も形を整ふるも、白二と至つて黒は白の厚みを消されんとするも、稍無理なり。

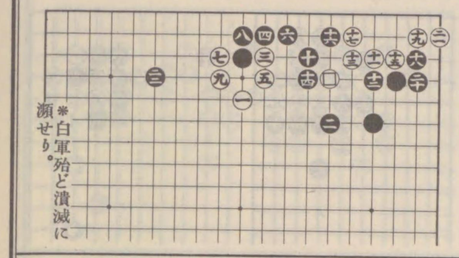


〔七四五四〕
黒優れり
白い時、黒此面に出でその白の溺手。白二は黒の二に襲ふ。即ち白二の急所にて、黒は白の正着なり。黒面に白を置き、白二と黒三とに包囲し難き形勢にあり。

〔七四五五〕
場合

黒四もあれど、位置低し。白十一にては、先づイに一眼を作りて次に黒十一なれば白ロなまたは黒十一をロなれば白イとかくその交換は如何にも委せぬれど、白働きあり。思ふに人の世の習ひにて、黒ロとハの強手は（次図）





〔七四五六〕
白潰滅の勢

白十一時、黒は白面への一手を得ず。白十一は黒二と、脚下を拂つて白に迫るも一策なり。白十一にて白イと黒十一と倍せり！矢よ、白十三にて出でば白十四以下の白を止々々と寄せ来る！黒二と、白十一と